

湯沢市長 佐藤一夫 様

業務委託名： 道の駅おがち「小町の郷」アスベスト調査等業務委託

アスベスト有無に関する事前調査結果報告書

令和 7 年 1 月 31 日



目 次

I. 調査概要

- ・調査対象建物一覧及び基本情報
- ・調査、分析担当者（資格証写し）
- ・調査目的、対象箇所、対象建材
- ・調査期間、数量
- ・参考とした書類
- ・事前調査の流れ
- ・報告書の構成と内容
- ・調査出来なかった部屋（箇所）
- ・その他調査条件と調査に伴う影響事項
- ・その他注意事項
- ・調査における免責事項

II. 調査報告書（建物単位）

- 1 アスベスト事前調査結果報告書
- 2 アスベスト事前調査詳細表
- 3 石綿含有建材の使用状況図
- 4 調査写真集

III. 添付資料及び建材毎の診断詳細

IV. 分析結果報告書

V. 石綿疑義建材一覧表

※調査結果により、内訳に含まない情報があります。

I . 調査概要

①調査対象建物一覧

分類	建物名称	竣工年 (増改築年)	構造	階数 地下/地上/PH	延べ床 面積(㎡)
1	道の駅おがち「小町の郷」	平成9年	S造	- / 2 / -	1387.68

②建物用途、対象工作物の有無と対象物

分類	建物用途	工作物有無	対象工作物
1	公共施設	なし	－

③設計図書類の有無と調査対象建物所在地

分類	設計図書類有無	所在地
1	あり	秋田県湯沢市小野字橋本90番地

④調査、分析担当者及び資格

※資格証の写しは別紙参照

[illegible]

⑤調査目的（チェック箇所該当）

- ☐ 建物解体前事前調査
（石綿障害予防規則第3条及び大気汚染防止法第18条の15に基づく石綿事前調査）
- ☒ 建物改修前事前調査
（石綿障害予防規則第3条及び大気汚染防止法第18条の15に基づく石綿事前調査）
- ☐ 資産除去債務に基づく調査

⑥調査対象箇所（チェック箇所該当）

- ☒ 建物内部・外部全て
- ☐ 建物内部の限定箇所
- ☐ 建物外部の限定箇所
- ☐ その他指定箇所（指定箇所：－）

⑦調査対象建材（チェック箇所該当）

- ☒ 全ての建築材料（これにチェックが入った場合はその他を除く以下の建材も含みます）
- ☐ 吹付け材
- ☐ 保温材
- ☐ 断熱材
- ☐ 成形板等
- ☐ 仕上塗材
- ☐ その他（材料名：－）

⑧調査期間及び建材分析数量

項目	調査期間
現地調査前準備（書面調査等）	令和 6年11月 1日 ～ 令和 6年11月 8日
現地目視調査	令和 6年11月11日 ～ 令和 6年11月12日
建材採取	令和 6年11月12日 ～ 令和 6年11月14日
項目	検体数（対象建物合計）
石綿定性分析	17 検体
石綿定量分析	－ 検体

⑨書面調査の参考とした設計図書類、情報（チェック箇所該当）

・設計図書類のある建物

- | | |
|--|-------------------------------------|
| ☒ 建築設計図書 | ☐ 建築竣工図書 |
| ☐ 確認申請書 | ☐ 建物改築図書 |
| ☐ 建物増築図書 | ☐ 建物設備図面 |
| ☐ 下見情報 | ☐ 関係者ヒヤリング情報 |
| その他 | |

参考とした設計図書類名称等：

「小町の郷」交流促進施設建築工事

・設計図書類のない建物

- ☐ 下見情報
- ☐ 関係者ヒヤリング情報

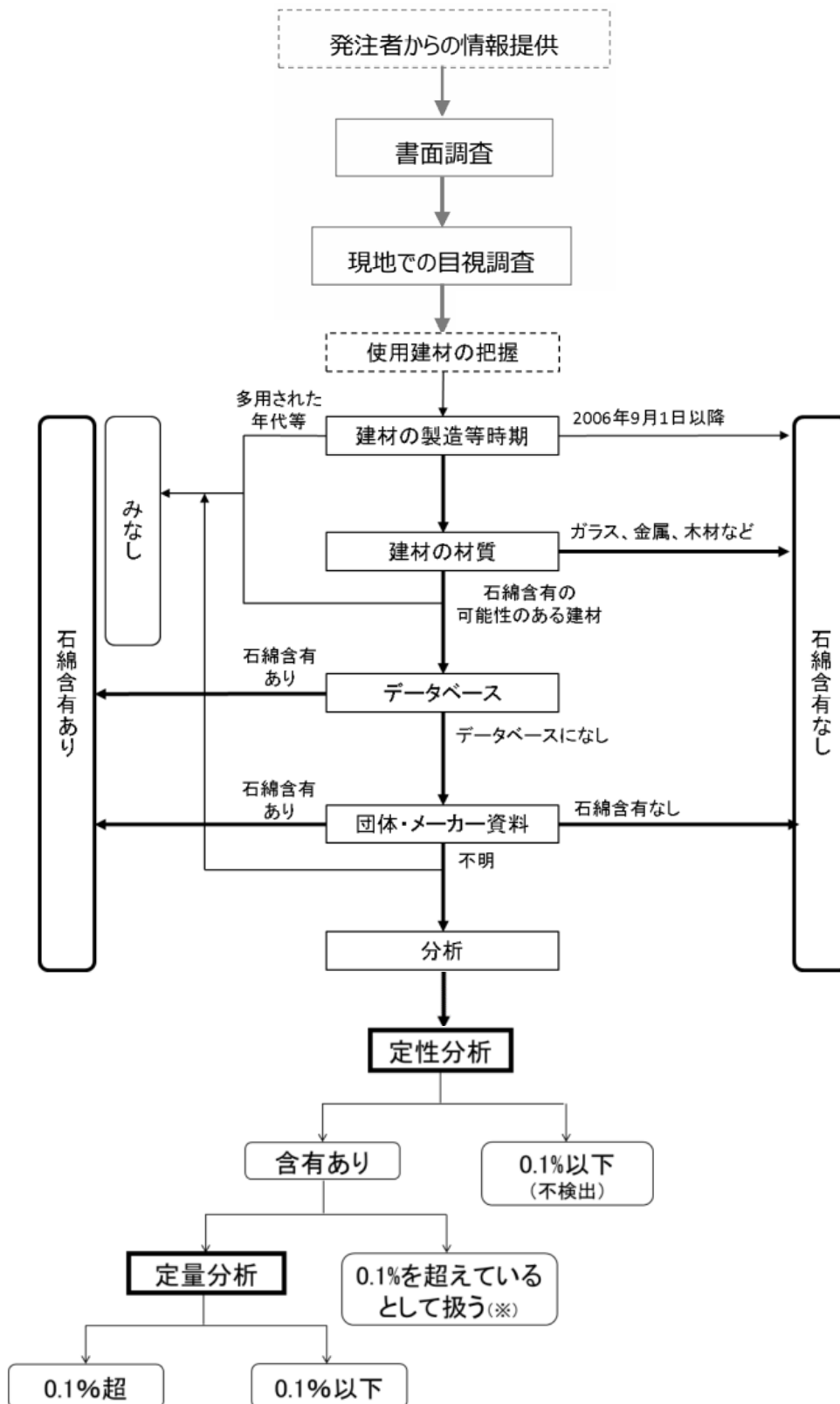
・関係者から得られたヒヤリング情報詳細

ヒヤリング等から得られた情報での留意事項：

—

⑩事前調査の流れ

(引用：建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル)



※定量分析実施の有無はオプション

⑪報告書類の構成と内容（チェック箇所は本報告書に含まれるもの）

※調査結果により、内訳に含まない情報があります。

- ☑ アスベスト事前調査結果報告書（建物単位）
 - ・アスベスト調査の総括としてまとめた報告書
 - ・石綿含有建材の一覧
 - ・建材分析で石綿含有の有無を判定した建材等一覧
 - ・見なし判定（メーカー情報含む）により石綿含有と判定した建材等一覧
 - ・石綿含有建材に対する所見
 - ・石綿含有箇所一覧
- ☑ アスベスト事前調査詳細表（建物単位）
 - ・書面調査の記録
 - ・現地調査の記録、気づき、確認、判定事項
 - ・建材採取箇所の印
 - ・調査結果の記録
 - ・石綿含有の有無判断根拠と添付資料番号
- ☑ 石綿含有建材の使用状況図（建物単位）
 - ・建物内部として平面図に部屋ごとにナンバリングしたもの
（部屋番号：1，2，3・・・ 上下階共通の箇所：他1，他2，他3，・・・）
 - ・建物外部として立面図（無いものは写真代用）に箇所ごとに分類わけしたもの
（箇所分類：A，B，C・・・）
 - ・石綿含有建材ごとに図面へ所在を描写
 - ・調査で確認した建物内部の点検口の位置を描写
 - ・建材採取箇所を試料番号で描写
- ☑ 調査写真集（建物単位）
 - ・現況写真（調査対象の部屋、箇所単位）
 - ・建材採取写真（建材分析を行った場合）
 - ・石綿含有見本写真（該当建材が存在した場合）
 - ・無石綿建材（石綿疑義）見本写真（該当建材が存在した場合）
- ☑ 添付資料集
 - ・石綿含有の有無の判断根拠となる資料
（国交省データベースや工業会、メーカー等の情報）
 - ・解体、改修工事において参考となる法的な資料（該当した場合に添付）
 - ・解体、改修工事において参考となる作業方法の資料（該当した場合に添付）
- ☑ 分析結果報告書
 - ・JIS A 1481により分析を行った分析結果報告書（建材分析を行った場合）
- ☑ 石綿疑義建材一覧表
 - ・全建物の石綿疑義建材に対する石綿含有の有無をまとめた一覧

⑫調査出来なかった部屋（箇所）

・調査出来なかった部屋（箇所）の該当の有無

☒ 未調査箇所（未調査と認識された）無し

☐ 未調査箇所（未調査と認識された）有り

有りとした場合の該当部屋（箇所）：

—

⑬調査目的が建物改修前事前調査の場合の留意事項（チェック箇所該当）

☒ 改修工事により石綿含有建材が撤去された箇所については、撤去建材の一覧表を作成し、本報告書と共に保管されるようにしてください。それにより改修工事後に残った石綿含有建材の所在を明確にするようにお願いします。

また、注意事項として、この場合、本報告書の保管期限は、解体工事終了後３年までは保管するようにしてください。

⑭その他調査条件と調査に伴う影響事項（チェック箇所該当）

- ・調査箇所の補修条件
 - ☐ 補修作業は行わない
 - ☒ 可能な限り簡易補修を実施する
 - ☐ 建材により専門家による補修を行う
- ・年代不明の建材に対して
 - ☒ 竣工（施工）年が判明している建物で年代不明な建材が発見された場合は竣工年以降の年代として判定を行う
 - ☐ 竣工（施工）年が不明な建物で年代不明な建材が発見された場合は全年代を対象として判定を行う
 - ☐ 成形板などで製造年の刻印のあるものは製造年で判定を行う
- ・高所に伴う作業に対して
 - ☒ 高所箇所に関しては、目視で確認できる範囲とする
また、触手（建材を削る等）による判定は脚立で登れる範囲（足場の高さ 2 m以内）が限界とする
 - ☐ 高所に関しては高所作業車等の安全設備を用いて調査する
- ・室内障害物による調査への影響
 - ☒ 室内に存在する物品により部屋全体を調査できない場合は、侵入できる範囲で目視確認された結果を記録する
 - ☐ 室内に存在する物品により部屋全体を調査できない場合は、調査依頼主の方で物品の移動を行う
- ・天井点検口からの天井裏調査
 - ☒ 天井裏内の調査は点検口から目視できる範囲とする

⑮その他注意事項（チェック箇所該当）

- ・工作物の配管類に関して
 - ☐ 現地調査で見られる配管類は「給水管」等使用用途が記載の場合は、調査部位の記録はその名称を使用するよう注意する。用途の分からないものは配管と記す。
 - ☐ 配管や保温等の目的で使用されているグラスウールおよびロックウールに関しては、一見して材質を判別できないため間違える可能性があるが、いずれも無石綿であるため調査の結果に影響ないものとする。
- ・躯体や建具に係る無石綿建材の取り扱いについて
 - ☐ 建物の躯体に係るコンクリート類、鉄筋・鉄骨などの金属類、木材類また建具などに使用されている合板、木材、金属類、ガラス類は詳細表に記載しないが材料に石綿を使用しないものとする。

⑩調査における免責事項（チェック箇所該当）

- ☑ 本調査は書面調査、現場（目視）調査により確認された建材に対して石綿の含有の有無を判断しております。また、石綿の含有の有無が判断できないものは更に建材分析により明確化しております。しかしながら調査結果に記載の無い建材が発見された場合は、別途追加調査が必要になります。
- ☑ 本調査の情報元として「石綿（アスベスト）含有建材データベース」（国土交通省・経済産業省）やメーカー情報等を参照しております。情報元の間違いや調査後の情報修正による調査結果の誤りに基づき損害が発生した場合は、一切責任を負うことができません。

- ☑ 塗材は実際の設計図書類の記録と現地施工状況で以下のような違いが発生することがあります。
 - ・ 東西南北の面により異なる種類の塗材が施工されている
 - ・ 部分的に異なる塗材で改修されている
 - ・ 改修した塗材の下に古い塗材が存在する
 - ・ 上記の現象が組み合わされている

設計図書類が存在しても詳しい施工記録は一般的に存在しないため、前述の現象が見られた場合、塗材の種類を外観観察等から推定の元、分けることになります。よって建材採取の分類は推定のため、種類分類に間違いが生じたとしても弊社の責任は負いかねます。

- ☑ 下地調整材の使用の有無は一般的に設計図書類に記載が無い場合が殆どです。また、施工されていても下地の凹凸を解消する目的の場合は施工部位全面に使用されていない場合があります。下地調整材の使用の有無は、表面の塗材を削り取り目視で存在確認することになります。以上から以下のような問題点が発生する場合があります。

- ・ 目視確認で下地調整材が見つからなくとも、確認していない場所から見つかる場合がある。
- ・ 目視確認で下地調整材が見つかった場合、同じ部位は全面使用していると判断するが、使用されていない部分が存在する可能性がある。（使用面積の誤認識）
- ・ 下地調整材は同系色（グレー）の場合があるため、種類分別が正しく判断できない場合がある。

以上を基に、下地調整材の種類分別は表面に施工された仕上塗材の種類も考慮し、推定の上、分類することになります。よって、推定による採取の為、種類分類に間違いが生じたとしても弊社の責任は負いかねます。

- ☑ 秋田環境測定センター株式会社の役割は調査結果を提供することに過ぎないことを理解の上、報告書の調査結果に起因して当該使用者または第三者に発生する損害もしくは損害賠償責任等その他一切の法的問題から秋田環境測定センター株式会社及び・関係会社・代理人・従業員は免責されることを確認します。

Ⅱ－１．

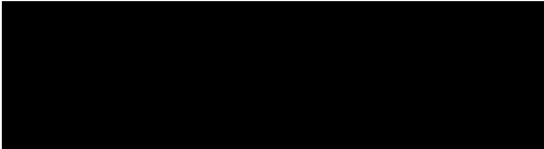
アスベスト事前調査結果報告書

対象建物： 道の駅おがち「小町の郷」

アスベスト事前調査結果報告書

湯沢市長 佐藤一夫 様

(会 社 名)
(代表者名)
(住 所)



アスベスト事前調査結果は、以下に記載した通りであることを報告いたします。

建物(施設)名称		道の駅おがち「小町の郷」		
調査結果 （確認された石綿含有建材）	レベル1 建材	該当なし		
	レベル2 建材	該当なし		
	レベル3 建材	アスファルトフェルト	ケイ酸カルシウム板	パルプセメント板㊦6.3
		ビニール巾木	ビニール床シート(フローリング調)	ビニール床シート(マーブル調)
		ビニール床シート（休憩室改修）	ビニール床タイル（更衣室改修）	ビニール床タイル㊦2 B
		ビニール床タイル㊦3 A	ビニール床タイル㊦3 D	リプラス
		ルーフィング	押出成形セメント板	下地調整材
		塗膜防水	湯沸器（97年製、パロマ）	
※調査結果の詳細は、特記事項及びアスベスト事前調査詳細表のとおりである				

3 年保存

調査結果の概要

1. 特記事項

① 調査において建材分析により石綿含有の有無を判定した建材

[illegible]

※1：石綿の種類は分析結果報告書による

3 年保存

② 調査において見なし（メーカー情報含む）判定により石綿含有と判定した建材

[illegible]

【複層塗材E／下地調整材に関して】

外壁、基礎の複層塗材E、及び下地調整材に関して、各々分析を行ったところ、下地調整材に石綿含有が認められました。使用場所詳細は「石綿含有建材の使用状況図」を参照してください。
 除去方法に関しては添付20として「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」が示されましたのでこれを参考に除去方法をご検討下さい。
 届け出に関しては添付21を参照してください。

【床材、巾木材に関して】

床材、巾木材として以下のものが使用されています。

- ・床材：ビニール床タイル㊦2（B、C）ビニール湯床タイル㊦3（A、D）（基材は無石綿）
 ビニール床シート（フローリング調、マープル調）（基材は無石綿）
 ビニール床タイル（更衣室改修）（基材、接着剤を含め石綿含有みなし品）
 ビニール床シート（休憩室改修）（基材、接着剤を含め石綿含有みなし品）
- ・巾木材：ビニール巾木（基材は無石綿）

該当箇所が多数ありますので、使用個所については石綿含有建材の使用状況図を参照して下さい。
 飛散性レベルは比較的低いですが、解体する場合は手ばらしで剥がすことが作業の原則となります。
 また、床材に関しては使用している接着材に石綿が含まれます。接着材を含めて分別するように取り外しに注意してください。また、巾木材は接着材に石綿が含まれますのでビニール巾木ごと石綿含有建材として取り扱ってください。

解体における法的手続き及び作業方法は添付21を参照してください。

【防水材に関して】

- ・防水材：塗膜防水（石綿含有みなし品）

塗膜防水は交流施設棟男子、女子便所の床下地に施工されています。本調査において、使用中の建物であるため破壊による現物確認は行っておりません。そのため、設計図書の情報より存在し、石綿含有とみなした結果となっております。今後のトイレの改修工事等で塗膜防水が出てきた際には石綿含有物として取り扱いの上、工事を実施または分析による石綿含有の有無の確認の上、工事を実施して下さい。
 解体における法的手続きは添付21を参照してください。

【成形板に関して】

成形板として以下のものが使用されています。

- ・ケイ酸カルシウム板
- ・押出成形セメント板
- ・パルプセメント板

該当箇所が多数ありますので使用個所については石綿含有建材の使用状況図を参照して下さい。
 飛散性レベルは比較的低いですが、解体及び改修する場合は手ばらしで剥がすことが作業の原則となります。尚、ケイ酸カルシウム板は法令改正により破壊的な撤去を行う場合に養生が必要になりました。作業内容によっては適切な対応をお願いします。

解体における法的手続き及び作業方法は添付22を参照してください。

【ルーフィングに関して】

ルーフィングは屋根及び庇の防水材としてカラー鉄板の下に存在します。シート状ですので、カラー鉄板等の仕上を外せば容易に取り外すことができます。カラー鉄板に接着して剥がし難い場合はカラー鉄板ごと石綿含有物として取り扱ってください。

解体における法的手続きは添付21を、解体時の作業方法は添付を参照してください。

【タイル用下地に関して】

タイル用下地として以下のものが使用されています。

- ・リブラス
- ・アスファルトフェルト

男子・女子便所の壁のタイル下地に使用しています。使用個所については石綿含有建材の使用状況図を参照して下さい。飛散性レベルは比較的低いですが、解体及び改修する場合は手ばらしで剥がすことが作業の原則となります。作業内容によっては適切な対応をお願いします。

解体における法的手続き及び作業方法は添付21を参照してください。

【湯沸器に関して】

- ・湯沸器（97年製、パロマ）

湯沸器は事務室に設置されています。製造メーカー情報より湯沸器本体の排気口やガス通路部のパッキンが石綿含有品となります。湯沸器本体を石綿含有品として廃棄をお願い致します。

2. レベル3 判断根拠の資料番号：アスベスト事前調査結果詳細表 資料番号1（又は結論1）

場所・No・部屋（箇所）名	床	巾木	壁	天井	部位名/材料名
1F No.2 生産物直売施設	ビニール床タイル㊦3A ビニール床シート(マーブル調) ビニール床シート(フローリング調)	ビニール巾木	-	-	-
1F No.3 風除室B	-	-	押出成形セメント板	ケイ酸カルシウム板	-
1F No.4 職員入口	ビニール床タイル㊦2B	ビニール巾木	-	-	-
1F No.5 事務室	ビニール床タイル㊦2B	ビニール巾木	-	-	湯沸器：湯沸器（97年製、パロマ）
1F No.6 更衣室	ビニール床タイル（更衣室改修）	ビニール巾木	-	-	-
1F No.7 休憩室	ビニール床タイル㊦2B	ビニール巾木	-	-	-
1F No.8 倉庫	-	ビニール巾木	-	-	-
1F No.9 前室	ビニール床タイル㊦3A	ビニール巾木	-	-	-
1F No.10 男子便所	塗膜防水	-	リブラス アスファルトフェルト	ケイ酸カルシウム板	-
1F No.11 女子便所	塗膜防水	-	リブラス アスファルトフェルト	ケイ酸カルシウム板	-
1F No.13 通路	-	-	押出成形セメント板	-	-
1F No.15 風除室2	-	-	押出成形セメント板	-	-
1F No.18 倉庫	-	ビニール巾木	-	-	-
1F No.19 サービスコーナー	-	ビニール巾木	-	-	-
1F No.20 備品庫	-	ビニール巾木	-	-	-
1F No.21 前室	-	-	リブラス アスファルトフェルト	-	-
1F No.22 男子洗面所	-	-	リブラス アスファルトフェルト	-	-
1F No.23 女子洗面所	-	-	リブラス アスファルトフェルト	-	-

3年保存

※石綿含有建材の詳しい使用箇所は「石綿含有建材の使用状況図」を参照ください。

場所・No・部屋（箇所）名	床	巾木	壁	天井	部位名/材料名
1F No. 24 男子便所	-	-	リブラス アスファルトフェルト ケイ酸カルシウム板	-	-
1F No. 25 女子便所	-	-	リブラス アスファルトフェルト ケイ酸カルシウム板	-	-
1F No. 26 男子車椅子便所	-	-	リブラス アスファルトフェルト	-	-
1F No. 27 女子車椅子便所	-	-	リブラス アスファルトフェルト	-	-
1F No. 28 物入	-	-	ケイ酸カルシウム板	ケイ酸カルシウム板	-
1F No. 29 脱衣室	ビニール床タイル㊦3A	ビニール巾木	ケイ酸カルシウム板	ケイ酸カルシウム板	-
2F No. 1 食材供給施設	ビニール床タイル㊦3D	-	-	-	-
2F No. 2 休憩コーナー	ビニール床タイル㊦3D	-	-	-	-
2F No. 3 配膳コーナー	ビニール床タイル㊦3D	-	-	-	-
2F No. 7 厨房	塗膜防水	-	リブラス アスファルトフェルト ケイ酸カルシウム板	ケイ酸カルシウム板	-
2F No. 8 通路	ビニール床タイル㊦3D	ビニール巾木	-	-	-
2F No. 9 食品庫	-	ビニール巾木	-	-	-
2F No. 10 休憩室	ビニール床シート（休憩室改修）	ビニール巾木	-	-	-
2F No. 11 前室	ビニール床タイル㊦3D	ビニール巾木	-	-	-
2F No. 12 男子便所	塗膜防水	-	リブラス アスファルトフェルト	ケイ酸カルシウム板	-
2F No. 13 女子便所	塗膜防水	-	リブラス アスファルトフェルト	ケイ酸カルシウム板	-
2F No. 14 車椅子便所 →次頁に続く	-	-	リブラス	ケイ酸カルシウム板	-

3年保存

※石綿含有建材の詳しい使用箇所は「石綿含有建材の使用状況図」を参照ください。

場所・No・部屋（箇所）名	床	巾木	壁	天井	部位名/材料名
2F No. 14 車椅子便所	－	－	アスファルトフェルト	－	－
2F No. 15 倉庫	－	ビニール巾木	－	－	－
他 他2 階段室	ビニール床タイル㊦3D	－	－	－	－
外部 A 屋根	－	－	－	－	下地 1：ルーフィング
外部 C 軒天井	－	－	－	－	下地 1：ケイ酸カルシウム板 下地 2：パルプセメント板㊦6.3
外部 D 外壁	－	－	－	－	下地 2：押出成形セメント板
外部 E 基礎	－	－	－	－	下地 2：下地調整材
外部 F ポーチ	－	－	－	－	下地 4：ルーフィング
外部 G 屋外スペース	－	－	－	－	下地 2：ケイ酸カルシウム板 下地 4：ルーフィング

Ⅱ－２．

アスベスト事前調査詳細表

書面調査／目視調査結果（結論）

対象建物： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 1

			一次調査（書面調査）							
No.	部屋/箇所名	部位	材料名	採用年	商品名	メーカー名	石綿含有の可能性	石綿種類	判断根拠	添付資料
1	風除室A	床1仕上	磁器ユニットタイル100角			不明	なし	－	工業会資料	添付4
1	風除室A	床1下地								
1	風除室A	天井1仕上	ロックウール吸音板㊦9			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
1	風除室A	天井1下地	PB㊦9.5			不明	なし	－	工業会資料	添付9
2	生産物直売施設	床1仕上	ビニール床タイル㊦3A			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付13
2	生産物直売施設	床1下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	－	石綿データベース	添付3
2	生産物直売施設	床2仕上								
2	生産物直売施設	床2下地								
2	生産物直売施設	床3仕上								
2	生産物直売施設	床3下地								
2	生産物直売施設	巾木1仕上	ビニール巾木H=75			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付15
2	生産物直売施設	壁1仕上	クロス A			不明	不明	クリソタイル等	協会資料	添付16
2	生産物直売施設	壁1下地	PB㊦12.5			不明	なし	－	工業会資料	添付9
2	生産物直売施設	壁2仕上	クロス B			不明	不明	クリソタイル等	協会資料	添付16
2	生産物直売施設	壁2下地	PB㊦12.5			不明	なし	－	工業会資料	添付9
2	生産物直売施設	天井1仕上	ロックウール吸音板㊦9			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
2	生産物直売施設	天井1下地	PB㊦9.5			不明	なし	－	工業会資料	添付9
2	生産物直売施設	天井2仕上	クロス K			不明	不明	不明	協会資料	添付16
2	生産物直売施設	天井2下地	PB㊦9.5			不明	なし	－	工業会資料	添付9
2	生産物直売施設	天井裏								
2	生産物直売施設	配管保温材								
3	風除室B	床1仕上	磁器タイル100角			不明	なし	－	工業会資料	添付4
3	風除室B	床1下地								
3	風除室B	壁1仕上	小口タイル			不明	なし	－	工業会資料	添付4
3	風除室B	壁1下地	押出成形セメント板㊦60			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付11
3	風除室B	天井1仕上	EP			不明	なし	－	一般的に含有せず	添付1
3	風除室B	天井1下地	ケイカル板㊦6			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付12
3	風除室B	天井1下地	PB㊦9.5			不明	なし	－	工業会資料	添付9

※注釈：

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。

石綿含有（含有の可能性あり）

不明

石綿無含有

アスベスト事前調査詳細表／書面調査

資料番号	ページ数
書面 1	2/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 1

			一次調査（書面調査）							
No.	部屋/箇所名	部位	材料名	採用年	商品名	メーカー名	石綿含有の可能性	石綿種類	判断根拠	添付資料
4	職員入口	床 1 仕上	ビニール床タイル㊦ 2 B			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付13
4	職員入口	床 1 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
4	職員入口	巾木 1 仕上	ビニール巾木H=75			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付15
4	職員入口	壁 1 仕上	クロス C			不明	不明	不明	協会資料	添付16
4	職員入口	壁 1 下地	PB㊦12.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
4	職員入口	壁 2 仕上								
4	職員入口	壁 2 下地								
4	職員入口	天井 1 仕上	化粧PB㊦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
5	事務室	床 1 仕上	ビニール床タイル㊦ 2 B			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付13
5	事務室	床 1 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
5	事務室	巾木 1 仕上	ビニール巾木H=75			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付15
5	事務室	壁 1 仕上	クロス C			不明	不明	不明	協会資料	添付16
5	事務室	壁 1 下地	PB㊦12.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
5	事務室	天井 1 仕上	ロックウール吸音板 ㊦9			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
5	事務室	天井 1 下地	PB㊦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
5	事務室	シンク裏								
5	事務室	湯沸器								
5	事務室	配管保温材								
6	更衣室	床 1 仕上	ビニール床タイル㊦ 2 B			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付13
6	更衣室	床 1 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
6	更衣室	巾木 1 仕上	ビニール巾木H=75			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付15
6	更衣室	壁 1 仕上	クロス C			不明	不明	不明	協会資料	添付16
6	更衣室	壁 1 下地	PB㊦12.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
6	更衣室	天井 1 仕上	化粧PB㊦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
7	休憩室	床 1 仕上	タイルカーペット㊦ 6.5			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
7	休憩室	床 1 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
7	休憩室	床 2 仕上	ビニール床タイル㊦ 2 B			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付13
7	休憩室	床 2 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
7	休憩室	巾木 1 仕上	ビニール巾木H=75			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付15
7	休憩室	壁 1 仕上	クロス D			不明	不明	不明	協会資料	添付16
7	休憩室	壁 1 下地	PB㊦12.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
7	休憩室	天井 1 仕上	ロックウール吸音板 ㊦9			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
7	休憩室	天井 1 下地	PB㊦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9

※注釈：

石綿含有（含有の可能性あり）

不明

石綿無含有

・ N o. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・とし、外部はアルファベットで示します。

アスベスト事前調査詳細表／書面調査

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 1

資料番号	ページ数
書面 1	3/16

			一次調査（書面調査）							
No.	部屋/箇所名	部位	材料名	採用年	商品名	メーカー名	石綿含有の可能性	石綿種類	判断根拠	添付資料
8	倉庫	床 1 仕上	ビニール床タイル㊦2 C			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付13
8	倉庫	床 1 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
8	倉庫	巾木 1 仕上	ビニール巾木H=75			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付15
8	倉庫	壁 1 仕上	クロス E			不明	不明	不明	協会資料	添付16
8	倉庫	壁 1 下地	PB㊦12. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
8	倉庫	天井 1 仕上	化粧PB㊦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
8	倉庫	天井裏								
8	倉庫	P S								
8	倉庫	P S								
9	前室	床 1 仕上	ビニール床タイル㊦3 A			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付13
9	前室	床 1 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
9	前室	巾木 1 仕上	ビニール巾木H=75			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付15
9	前室	壁 1 仕上	クロス F			不明	不明	不明	協会資料	添付16
9	前室	壁 1 下地	PB㊦12. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
9	前室	天井 1 仕上	ロックウール吸音板㊦9			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
9	前室	天井 1 下地	PB㊦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
10	男子便所	床 1 仕上	磁器タイル100角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
10	男子便所	床 1 下地	塗膜防水			不明	あり	クリソタイル等	協会資料	添付6
10	男子便所	壁 1 仕上	タイル 100角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
10	男子便所	壁 1 下地	リプラス			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付5
10	男子便所	壁 1 下地	アスファルトフェルト			不明	不明	クリソタイル等	協会資料	添付6
10	男子便所	天井 1 仕上	EP			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
10	男子便所	天井 1 下地	ケイカル板㊦6			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付12
10	男子便所	天井 1 下地	PB㊦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
11	女子便所	床 1 仕上	磁器タイル100角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
11	女子便所	床 1 下地	塗膜防水			不明	あり	クリソタイル等	協会資料	添付6
11	女子便所	壁 1 仕上	タイル 100角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
11	女子便所	壁 1 下地	リプラス			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付5
11	女子便所	壁 1 下地	アスファルトフェルト			不明	不明	クリソタイル等	協会資料	添付6
11	女子便所	天井 1 仕上	EP			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
11	女子便所	天井 1 下地	ケイカル板㊦6			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付12
11	女子便所	天井 1 下地	PB㊦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9

※注釈：

石綿含有（含有の可能性あり）

不明

石綿無含有

・ N o . は部屋の番号を示します。
上階共通箇所は他1, 2, 3・・・とし、外部はアルファベットで示します。

アスベスト事前調査詳細表／書面調査

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 1

資料番号	ページ数
書面 1	4/16

一次調査（書面調査）										
No.	部屋/箇所名	部位	材料名	採用年	商品名	メーカー名	石綿含有の可能性	石綿種類	判断根拠	添付資料
12	E V 機械室	床 1 仕上	防塵用塗床（硬質ウレタン）			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
12	E V 機械室	床 1 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
12	E V 機械室	巾木 1 仕上	防塵用塗床（硬質ウレタン）			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
12	E V 機械室	巾木 1 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
12	E V 機械室	壁 1 仕上	ガラスクロス吸音板 ㊦50			不明	なし	—	国交省資料	添付3
12	E V 機械室	壁 1 下地	PB ㊦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
12	E V 機械室	天井 1 仕上	ガラスクロス吸音板 ㊦50			不明	なし	—	国交省資料	添付3
12	E V 機械室	天井 1 下地	PB ㊦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
13	通路	床 1 仕上	磁器タイル300角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
13	通路	床 1 下地	モルタル			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付5
13	通路	床 2 仕上	ノンスリップタイル			不明	なし	—	工業会資料	添付4
13	通路	床 2 下地	モルタル			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付5
13	通路	巾木 1 仕上	小口タイル			不明	なし	—	工業会資料	添付4
13	通路	巾木 1 下地	コンクリート			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
13	通路	壁 1 仕上	小口タイル			不明	なし	—	工業会資料	添付4
13	通路	壁 1 下地	押出成形セメント板 ㊦60			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付11
13	通路	壁 2 仕上	テラゾータイル			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
13	通路	天井 1 仕上	防湿ロックウール吸音板 ㊦12			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
13	通路	天井 1 下地	耐水PB ㊦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
13	通路	柱型								
14	風除室 1	床 1 仕上	磁器ユニットタイル 100角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
14	風除室 1	天井 1 仕上	防湿ロックウール吸音板 ㊦12			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
14	風除室 1	天井 1 下地	耐水PB ㊦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
15	風除室 2	床 1 仕上	磁器ユニットタイル 100角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
15	風除室 2	巾木 1 仕上	小口タイル			不明	なし	—	工業会資料	添付4
15	風除室 2	巾木 1 下地	コンクリート			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
15	風除室 2	壁 1 仕上	小口タイル			不明	なし	—	工業会資料	添付4
15	風除室 2	壁 1 下地	押出成形セメント板 ㊦60			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付11
15	風除室 2	天井 1 仕上	防湿ロックウール吸音板 ㊦12			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
15	風除室 2	天井 1 下地	耐水PB ㊦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9

※注釈：

石綿含有（含有の可能性あり）

不明

石綿無含有

・ N o . は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・とし、外部はアルファベットで示します。

階・場所： 1

[illegible]

※注釈：

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。

 石綿含有（含有の可能性あり）

 不明

☐ 石綿無含有

アスベスト事前調査詳細表／書面調査

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 1

資料番号	ページ数
書面 1	6/16

			一次調査（書面調査）							
No.	部屋/箇所名	部位	材料名	採用年	商品名	メーカー名	石綿含有の可能性	石綿種類	判断根拠	添付資料
19	サービスコーナ	床 1 仕上	ビニール床タイル⑦3 a			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付13
19	サービスコーナ	床 1 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
19	サービスコーナ	巾木 1 仕上	ビニール巾木H=75			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付15
19	サービスコーナ	壁 1 仕上	クロス a			不明	不明	不明	協会資料	添付16
19	サービスコーナ	壁 1 下地	PB			不明	なし	—	工業会資料	添付9
19	サービスコーナ	天井 1 仕上	ロックウール吸音板⑦9			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
19	サービスコーナ	天井 1 下地	PB⑦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
19	サービスコーナ	天井 2 仕上	ロックウール吸音板⑦12			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
19	サービスコーナ	天井 2 下地	PB⑦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
19	サービスコーナ	天井 3 仕上	クロス C			不明	不明	不明	協会資料	添付16
19	サービスコーナ	天井 3 下地	PB⑦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
20	備品庫	床 1 仕上	ビニール床タイル⑦2 b			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付13
20	備品庫	床 1 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
20	備品庫	巾木 1 仕上	ビニール巾木H=75			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付15
20	備品庫	壁 1 仕上	クロス a			不明	不明	不明	協会資料	添付16
20	備品庫	壁 1 下地	PB			不明	なし	—	工業会資料	添付9
20	備品庫	天井 1 仕上	化粧PB⑦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
21	前室	床 1 仕上	磁器タイル300角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
21	前室	床 1 下地	モルタル			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付5
21	前室	壁 1 仕上	100角タイル			不明	なし	—	工業会資料	添付4
21	前室	壁 1 下地	リプラス			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付5
21	前室	壁 1 下地	アスファルトフェルト			不明	あり	クリソタイル等	協会資料	添付6
21	前室	天井 1 仕上	防湿ロックウール吸音板⑦12			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
21	前室	天井 1 下地	耐水PB⑦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
22	男子洗面所	床 1 仕上	磁器タイル300角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
22	男子洗面所	壁 1 仕上	100角タイル			不明	なし	—	工業会資料	添付4
22	男子洗面所	壁 1 下地	リプラス			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付5
22	男子洗面所	壁 1 下地	アスファルトフェルト			不明	あり	クリソタイル等	協会資料	添付6
22	男子洗面所	天井 1 仕上	防湿ロックウール吸音板⑦12			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
22	男子洗面所	天井 1 下地	耐水PB⑦9. 5			不明	なし	—	工業会資料	添付9

※注釈：

石綿含有（含有の可能性あり）

不明

石綿無含有

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・とし、外部はアルファベットで示します。

階・場所： 1

[illegible]

※注釈：

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。

石綿含有（含有の可能性あり）

 不明

☐ 石棉無含有

階・場所： 1

[illegible]

※注釈：

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。

石綿含有（含有の可能性あり）

 不明

☐ 石綿無含有

階・場所： 2

[illegible]

※注釈：

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。

石綿含有（含有の可能性あり）

不明

☐ 石綿無含有

アスベスト事前調査詳細表／書面調査

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 2

資料番号	ページ数
書面 1	10/16

一次調査（書面調査）										
No.	部屋/箇所名	部位	材料名	採用年	商品名	メーカー名	石綿含有の可能性	石綿種類	判断根拠	添付資料
4	和室A	床 1 仕上	タイルカーペット⑦6.5			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
4	和室A	床 1 下地	型枠用合板⑦12			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
4	和室A	床 1 下地	木枠床下地			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
4	和室A	巾木 1 仕上	OSL			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
4	和室A	巾木 1 下地	雑巾摺			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
4	和室A	壁 1 仕上	クロス I			不明	不明	不明	協会資料	添付16
4	和室A	壁 1 下地	PB⑦12.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
4	和室A	天井 1 仕上	ロックウール吸音板⑦15			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
4	和室A	天井 1 下地	PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
4	和室A	天井 2 仕上	クロス K			不明	不明	不明	協会資料	添付16
4	和室A	天井 2 下地	PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
5	和室B	床 1 仕上	タイルカーペット⑦6.5			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
5	和室B	床 1 下地	型枠用合板⑦12			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
5	和室B	床 1 下地	木枠床下地			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
5	和室B	巾木 1 仕上	OSL			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
5	和室B	巾木 1 下地	雑巾摺			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
5	和室B	壁 1 仕上	クロス I			不明	不明	不明	協会資料	添付16
5	和室B	壁 1 下地	PB⑦12.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
5	和室B	天井 1 仕上	クロス L1			不明	不明	不明	協会資料	添付16
5	和室B	天井 1 下地	PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
5	和室B	天井 2 仕上	クロス L2			不明	不明	不明	協会資料	添付16
5	和室B	天井 2 下地	PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
6	交流研修室	床 1 仕上	タイルカーペット⑦6.5			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
6	交流研修室	床 1 下地	型枠用合板⑦12			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
6	交流研修室	床 1 下地	木枠床下地			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
6	交流研修室	巾木 1 仕上	OSL			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
6	交流研修室	巾木 1 下地	雑巾摺			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
6	交流研修室	壁 1 仕上	クロス I			不明	不明	不明	協会資料	添付16
6	交流研修室	壁 1 下地	PB⑦12.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
6	交流研修室	天井 1 仕上	クロス L1			不明	不明	不明	協会資料	添付16
6	交流研修室	天井 1 下地	PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
6	交流研修室	天井 2 仕上	クロス L2			不明	不明	不明	協会資料	添付16
6	交流研修室	天井 2 下地	PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9

※注釈：

- 石綿含有（含有の可能性あり）
- 不明
- 石綿無含有

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・とし、外部はアルファベットで示します。

階・場所： 2

[illegible]

※注釈：

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。

石綿含有（含有の可能性あり）

 不明

☐ 石棉無含有

アスベスト事前調査詳細表／書面調査

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 2

資料番号	ページ数
書面 1	12/16

			一次調査（書面調査）							
No.	部屋/箇所名	部位	材料名	採用年	商品名	メーカー名	石綿含有の可能性	石綿種類	判断根拠	添付資料
10	休憩室	床 1 仕上	タイルカーペット⑦6.5			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
10	休憩室	床 2 下地	ビニール床タイル⑦2 C			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付13
10	休憩室	床 2 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
10	休憩室	巾木 1 仕上	ビニール巾木H=75			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付15
10	休憩室	壁 1 仕上	クロス D			不明	不明	不明	協会資料	添付16
10	休憩室	壁 1 下地	PB⑦12.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
10	休憩室	天井 1 仕上	ロックウール吸音板⑦9			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
10	休憩室	天井 1 下地	PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
11	前室	床 1 仕上	ビニール床タイル⑦3 D			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付13
11	前室	床 1 下地	コンクリート金ゴテ			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
11	前室	巾木 1 仕上	ビニール巾木H=75			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付15
11	前室	壁 1 仕上	クロス F			不明	不明	不明	協会資料	添付16
11	前室	壁 1 下地	PB⑦12.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
11	前室	天井 1 仕上	ロックウール吸音板⑦9			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
11	前室	天井 1 下地	PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
12	男子便所	床 1 仕上	磁器タイル150角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
12	男子便所	床 1 下地	塗膜防水			不明	あり	クリソタイル等	協会資料	添付6
12	男子便所	壁 1 仕上	タイル 150角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
12	男子便所	壁 1 下地	リプラス			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付5
12	男子便所	壁 1 下地	アスファルトフェルト			不明	不明	クリソタイル等	協会資料	添付6
12	男子便所	天井 1 仕上	EP			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
12	男子便所	天井 1 下地	ケイカル板⑦6			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付12
12	男子便所	天井 1 下地	耐水PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
13	女子便所	床 1 仕上	磁器タイル150角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
13	女子便所	床 1 下地	塗膜防水			不明	あり	クリソタイル等	協会資料	添付6
13	女子便所	壁 1 仕上	タイル 150角			不明	なし	—	工業会資料	添付4
13	女子便所	壁 1 下地	リプラス			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付5
13	女子便所	壁 1 下地	アスファルトフェルト			不明	不明	クリソタイル等	協会資料	添付6
13	女子便所	天井 1 仕上	EP			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
13	女子便所	天井 1 下地	ケイカル板⑦6			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付12
13	女子便所	天井 1 下地	耐水PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9

※注釈：

石綿含有（含有の可能性あり）

不明

石綿無含有

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・とし、外部はアルファベットで示します。

階・場所： 2

[illegible]

※注釈：

石綿含有（含有の可能性あり）

 不明

☐ 石綿無含有

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。

アスベスト事前調査詳細表／書面調査

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 他

資料番号	ページ数
書面 1	14/16

[illegible]

※注釈：

 石綿含有（含有の可能性あり）

 不明

☐ 石綿無含有

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。

アスベスト事前調査詳細表／書面調査

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 外部

資料番号	ページ数
書面 1	15/16

			一次調査（書面調査）							
No.	部屋/箇所名	部位	材料名	採用年	商品名	メーカー名	石綿含有の可能性	石綿種類	判断根拠	添付資料
A	屋根	仕上 1	カラー鉄板⑦0.4			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
A	屋根	下地 1	ルーフィング			不明	不明	クリソタイル等	協会資料	添付6
A	屋根	下地 1	耐火野地板（高圧木毛セメント板）			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
B	破風鼻カクシ	仕上 1	カラー鉄板⑦0.4			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
C	軒天井	仕上 1	EP			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
C	軒天井	下地 1	ケイカル板⑦6			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付12
C	軒天井	下地 1	耐水PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
C	軒天井	仕上 2	EP			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
C	軒天井	下地 2	バルブセメント板⑦6.3			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付10
C	軒天井	下地 2	耐水PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
C	軒天井	仕上 3	防湿ロックウール吸音板⑦12			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
C	軒天井	下地 3	耐水PB⑦9.5			不明	なし	—	工業会資料	添付9
D	外壁	仕上 1	小口タイル			不明	なし	—	工業会資料	添付4
D	外壁	下地 1								
D	外壁	下地 2	押出成形セメント板⑦60			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付11
D	外壁	仕上 2	複層塗材E			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付5
D	外壁	下地 1								
D	外壁	下地 2	押出成形セメント板⑦60			不明	あり	クリソタイル等	石綿データベース	添付11
E	基礎	仕上 1	小口タイル			不明	なし	—	工業会資料	添付4
E	基礎	下地 1								
E	基礎	下地 2	コンクリート			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
E	基礎	仕上 2	複層塗材E			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付5
E	基礎	下地 2								
E	基礎	下地 2	コンクリート			不明	なし	—	石綿データベース	添付3
F	ポーチ	仕上 1	磁器300角タイル			不明	なし	—	工業会資料	添付4
F	ポーチ	仕上 2	防湿ロックウール吸音板⑦15			不明	あり	クリソタイル等	工業会資料	添付8
F	ポーチ	下地 2	FG. PB⑦5			不明	なし	—	協会資料	添付7
F	ポーチ	仕上 3	ステンレス（SUS304）曲げ加工			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
F	ポーチ	仕上 4	カラーステンレスシート防水⑦0.4			不明	なし	—	一般的に含有せず	添付1
F	ポーチ	下地 4	ポリフォーム⑦4			不明	不明	不明	一般的に含有せず	添付1
F	ポーチ	下地 4	耐火野地板（高圧木毛セメント板）			不明	なし	—	石綿データベース	添付3

※注釈：

石綿含有（含有の可能性あり）

不明

石綿無含有

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・とし、外部はアルファベットで示します。

階・場所： 外部

[illegible]

※注釈：

・No. は部屋の番号を示します。
上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。

-  石綿含有（含有の可能性あり）
 不明
 石綿無含有

アスベスト事前調査詳細表／目視調査結果（結論）

資料番号	ページ数
結論 1	1/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 1

			書面調査との整合性	目視調査及び調査結果									
No.	部屋/箇所名	部位		既存材料名	気づき・確認・判定事項	試料番号	採取番号	判断根拠	添付資料	石綿含有有無	石綿種類	レベル	
1	風除室 A	床 1 仕上	○	磁器ユニットタイル100角				工業会資料	添付4	なし	－	－	
1	風除室 A	床 1 下地		コンクリート				石綿データベース	添付3	なし	－	－	
1	風除室 A	天井 1 仕上	○	ロックウール吸音板	平板、キューブのデザインが存在する。	3		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－	
1	風除室 A	天井 1 下地	○	PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－	
2	生産物直売施設	床 1 仕上	○	ビニール床タイル㊦3 A		13	①②	建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3	
2	生産物直売施設	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ	存在するとみなす。			石綿データベース	添付3	なし	－	－	
2	生産物直売施設	床 2 仕上		ビニール床シート(マーブル調)		17	①	建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3	
2	生産物直売施設	床 2 下地		コンクリート金ゴテ	存在するとみなす。			石綿データベース	添付3	なし	－	－	
2	生産物直売施設	床 3 仕上		ビニール床シート(フローリング調)		16	①	建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3	
2	生産物直売施設	床 3 下地		コンクリート金ゴテ	存在するとみなす。			石綿データベース	添付3	なし	－	－	
2	生産物直売施設	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木		8		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3	
2	生産物直売施設	壁 1 仕上	○	クロス A	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定する			協会資料	添付16	なし	－	－	
2	生産物直売施設	壁 1 下地	○	PB㊦12.5				工業会資料	添付9	なし	－	－	
2	生産物直売施設	壁 2 仕上	○	クロス B	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定する			協会資料	添付16	なし	－	－	
2	生産物直売施設	壁 2 下地	○	PB㊦12.5				工業会資料	添付9	なし	－	－	
2	生産物直売施設	天井 1 仕上	○	ロックウール吸音板	平板のデザインが存在する。	3		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－	
2	生産物直売施設	天井 1 下地	○	PB㊦9.5	準不燃2027号の刻印有り。無石綿製品。			工業会資料	添付9	なし	－	－	
2	生産物直売施設	天井 2 仕上	○	クロス K	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－	
2	生産物直売施設	天井 2 下地	○	PB㊦9.5	存在するものとみなす。			工業会資料	添付9	なし	－	－	
2	生産物直売施設	天井裏		ウレタン吹付				石綿データベース	添付3	なし	－	－	
2	生産物直売施設	配管保温材		グラスウール保温材				石綿データベース	添付3	なし	－	－	
3	風除室 B	床 1 仕上	○	磁器タイル100角				工業会資料	添付4	なし	－	－	
3	風除室 B	床 1 下地		モルタル		5		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－	
3	風除室 B	壁 1 仕上	○	小口タイル				工業会資料	添付4	なし	－	－	
3	風除室 B	壁 1 下地	○	押出成形セメント板				石綿データベース	添付11	あり	クリソタイル等	3	
3	風除室 B	天井 1 仕上	○	EP				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－	
3	風除室 B	天井 1 下地	○	ケイ酸カルシウム板				石綿データベース	添付12	あり	クリソタイル等	3	
3	風除室 B	天井 1 下地	○	PB㊦9.5	存在するものとみなす。			工業会資料	添付9	なし	－	－	

※注釈：

- 石綿含有（含有の可能性あり）
- 不明
- 石綿無含有

- ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1,2,3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「—」と表記します。

アスベスト事前調査詳細表／目視調査結果（結論）

資料番号	ページ数
結論 1	2/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 1

			書面調査との整合性	目視調査及び調査結果								
No.	部屋/箇所名	部位		既存材料名	気づき・確認・判定事項	試料番号	採取番号	判断根拠	添付資料	石綿含有有無	石綿種類	レベル
4	職員入口	床 1 仕上	○	ビニール床タイル㊦2 B		11	㉔	建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
4	職員入口	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ				石綿データベース	添付3	なし	ー	ー
4	職員入口	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木		8	㉑	建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
4	職員入口	壁 1 仕上	○	クロス C	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	ー	ー
4	職員入口	壁 1 下地	○	PB㊦12.5				工業会資料	添付9	なし	ー	ー
4	職員入口	壁 2 仕上		クロス（職員入口改修）	平成9年以降の改修で施工されたとみられる事から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	ー	ー
4	職員入口	壁 2 下地		PB㊦9.5	存在するとみなす。			工業会資料	添付9	なし	ー	ー
4	職員入口	天井 1 仕上	○	化粧PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	ー	ー
5	事務室	床 1 仕上	○	ビニール床タイル㊦2 B	床タイルは白系の部材。	11	㉓	建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
5	事務室	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ				石綿データベース	添付3	なし	ー	ー
5	事務室	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木		8		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
5	事務室	壁 1 仕上	○	クロス C	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	ー	ー
5	事務室	壁 1 下地	○	PB㊦12.5				工業会資料	添付9	なし	ー	ー
5	事務室	天井 1 仕上	○	ロックウール吸音板	平板のデザインが存在する。	3	㉑	建材分析結果	分析報告書	なし	ー	ー
5	事務室	天井 1 下地	○	PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	ー	ー
5	事務室	シンク裏		PEシート				石綿データベース	添付3	なし	ー	ー
5	事務室	湯沸器		湯沸器（97年製、パロマ）	メーカー情報より、石綿含有部品が使用されているため石綿含有とみなす。			メーカー資料	添付18	あり	クリソタイル等	3
5	事務室	配管保温材		グラスウール保温材				石綿データベース	添付3	なし	ー	ー
6	更衣室	床 1 仕上		ビニール床タイル（更衣室改修）	事務室のレイアウト変更に伴う改修品。情報が不足のため、石綿含有とみなす。			国交省資料	添付13	あり	クリソタイル等	3
6	更衣室	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ				石綿データベース	添付3	なし	ー	ー
6	更衣室	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木		8		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
6	更衣室	壁 1 仕上	○	クロス C	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	ー	ー
6	更衣室	壁 1 下地	○	PB㊦12.5				工業会資料	添付9	なし	ー	ー
6	更衣室	天井 1 仕上	○	化粧PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	ー	ー
7	休憩室	床 1 仕上	○	タイルカーペット㊦6.5				一般的に含有せず	添付1	なし	ー	ー
7	休憩室	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ				石綿データベース	添付3	なし	ー	ー
7	休憩室	床 2 仕上	○	ビニール床タイル㊦2 B	床タイルはピンク系の部材。	11	㉑	建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
7	休憩室	床 2 下地	○	コンクリート金ゴテ				石綿データベース	添付3	なし	ー	ー
7	休憩室	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木		8		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
7	休憩室	壁 1 仕上	○	クロス D	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	ー	ー
7	休憩室	壁 1 下地	○	PB㊦12.5				工業会資料	添付9	なし	ー	ー
7	休憩室	天井 1 仕上	○	ロックウール吸音板		3		建材分析結果	分析報告書	なし	ー	ー
7	休憩室	天井 1 下地	○	PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	ー	ー

※注釈：

- 石綿含有（含有の可能性あり）
- 不明
- 石綿無含有

- ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「—」と表記します。

アスベスト事前調査詳細表／目視調査結果（結論）

資料番号	ページ数
結論 1	3/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 1

			書面調査との整合性	目視調査及び調査結果								
No.	部屋/箇所名	部位		既存材料名	気づき・確認・判定事項	試料番号	採取番号	判断根拠	添付資料	石綿含有有無	石綿種類	レベル
8	倉庫	床 1 仕上	○	ビニール床タイル⑦ 2 C	床タイルは白系の部材。	12	①	建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
8	倉庫	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ				石綿データベース	添付3	なし	－	－
8	倉庫	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木		8		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
8	倉庫	壁 1 仕上	○	クロス E	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－
8	倉庫	壁 1 下地	○	PB⑦12.5	存在するとみなす。			工業会資料	添付9	なし	－	－
8	倉庫	天井 1 仕上	○	化粧PB⑦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－
8	倉庫	天井裏		耐火 2 層管	排水用建設大臣認定第571号。メーカー情報より無石綿と判定。			石綿データベース	添付2	なし	－	－
8	倉庫	P S		ウレタン吹付				石綿データベース	添付3	なし	－	－
8	倉庫	P S		グラスウール保温材				石綿データベース	添付3	なし	－	－
9	前室	床 1 仕上	○	ビニール床タイル⑦ 3 A		13		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
9	前室	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ	存在するとみなす。			石綿データベース	添付3	なし	－	－
9	前室	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木		8		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
9	前室	壁 1 仕上	○	クロス F	平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－
9	前室	壁 1 下地	○	PB⑦12.5	存在するとみなす。			工業会資料	添付9	なし	－	－
9	前室	天井 1 仕上	○	ロックウール吸音板	平板のデザインが存在する。	3		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
9	前室	天井 1 下地	○	PB⑦9.5	存在するとみなす。			工業会資料	添付9	なし	－	－
10	男子便所	床 1 仕上	○	磁器タイル100角				工業会資料	添付4	なし	－	－
10	男子便所	床 1 下地	○	塗膜防水	使用中の部屋のため、破壊による存在確認は行わず、石綿含有品として存在するとみなす。			協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
10	男子便所	壁 1 仕上	○	タイル 100角				工業会資料	添付4	なし	－	－
10	男子便所	壁 1 下地	○	リプラス	天井裏より確認、タイル下地として存在していた。	6	①	建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
10	男子便所	壁 1 下地	○	アスファルトフェルト	天井裏より確認、タイル下地として存在していた。			協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
10	男子便所	天井 1 仕上	○	EP				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
10	男子便所	天井 1 下地	○	ケイ酸カルシウム板	点検口より確認。「a マーク」を確認。石綿含有品とみなす。			石綿データベース	添付12	あり	クリソタイル等	3
10	男子便所	天井 1 下地	○	PB⑦9.5	準不燃2027号の刻印有り。無石綿製品。			工業会資料	添付9	なし	－	－
11	女子便所	床 1 仕上	○	磁器タイル100角				工業会資料	添付4	なし	－	－
11	女子便所	床 1 下地	○	塗膜防水	1F №10 男子便所と同等とみなす。			協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
11	女子便所	壁 1 仕上	○	タイル 100角				工業会資料	添付4	なし	－	－
11	女子便所	壁 1 下地	○	リプラス	1F №10 男子便所と同等とみなす。	6		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
11	女子便所	壁 1 下地	○	アスファルトフェルト	1F №10 男子便所と同等とみなす。			協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
11	女子便所	天井 1 仕上	○	EP				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
11	女子便所	天井 1 下地	○	ケイ酸カルシウム板	1F №10 男子便所と同等とみなす。			石綿データベース	添付12	あり	クリソタイル等	3
11	女子便所	天井 1 下地	○	PB⑦9.5	1F №10 男子便所と同等とみなす。			工業会資料	添付9	なし	－	－

※注釈：

- 石綿含有（含有の可能性あり）
- 不明
- 石綿無含有

- ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「—」と表記します。

アスベスト事前調査詳細表／目視調査結果（結論）

資料番号	ページ数
結論 1	4/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 1

			書面調査との整合性	目視調査及び調査結果									
No.	部屋/箇所名	部位		既存材料名	気づき・確認・判定事項		試料番号	採取番号	判断根拠	添付資料	石綿含有有無	石綿種類	レベル
12	E V 機械室	床 1 仕上		防塵塗料	仕上がりが緑色。				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
12	E V 機械室	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ					石綿データベース	添付3	なし	－	－
12	E V 機械室	巾木 1 仕上		防塵塗料	仕上がりが緑色。				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
12	E V 機械室	巾木 1 下地	○	コンクリート金ゴテ					石綿データベース	添付3	なし	－	－
12	E V 機械室	壁 1 仕上	○	ガラスクロス吸音板φ50					国交省資料	添付3	なし	－	－
12	E V 機械室	壁 1 下地	○	PBφ9.5					工業会資料	添付9	なし	－	－
12	E V 機械室	天井 1 仕上	○	ガラスクロス吸音板φ50					国交省資料	添付3	なし	－	－
12	E V 機械室	天井 1 下地	○	PBφ9.5	存在するとみなす。				工業会資料	添付9	なし	－	－
13	通路	床 1 仕上	○	磁器タイル300角					工業会資料	添付4	なし	－	－
13	通路	床 1 下地	○	モルタル			5		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
13	通路	床 2 仕上	○	ノンスリップタイル					工業会資料	添付4	なし	－	－
13	通路	床 2 下地	○	モルタル			5		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
13	通路	巾木 1 仕上	○	小口タイル					工業会資料	添付4	なし	－	－
13	通路	巾木 1 下地	○	コンクリート					石綿データベース	添付3	なし	－	－
13	通路	壁 1 仕上	○	小口タイル					工業会資料	添付4	なし	－	－
13	通路	壁 1 下地	○	押出成形セメント板					石綿データベース	添付11	あり	クリソタイル等	3
13	通路	壁 2 仕上	○	テラゾータイル					石綿データベース	添付3	なし	－	－
13	通路	天井 1 仕上	○	防湿ロックウール吸音板			4	①	建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
13	通路	天井 1 下地	○	耐水PBφ9.5					工業会資料	添付9	なし	－	－
13	通路	柱型		テラゾータイル					石綿データベース	添付3	なし	－	－
14	風除室 1	床 1 仕上	○	磁器ユニットタイル100角					工業会資料	添付4	なし	－	－
14	風除室 1	天井 1 仕上	○	防湿ロックウール吸音板			4		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
14	風除室 1	天井 1 下地	○	耐水PBφ9.5	存在するとみなす。				工業会資料	添付9	なし	－	－
15	風除室 2	床 1 仕上	○	磁器ユニットタイル100角					工業会資料	添付4	なし	－	－
15	風除室 2	巾木 1 仕上	○	小口タイル					工業会資料	添付4	なし	－	－
15	風除室 2	巾木 1 下地	○	コンクリート					石綿データベース	添付3	なし	－	－
15	風除室 2	壁 1 仕上	○	小口タイル					工業会資料	添付4	なし	－	－
15	風除室 2	壁 1 下地	○	押出成形セメント板					石綿データベース	添付11	あり	クリソタイル等	3
15	風除室 2	天井 1 仕上	○	防湿ロックウール吸音板			4		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
15	風除室 2	天井 1 下地	○	耐水PBφ9.5					工業会資料	添付9	なし	－	－

※注釈：

- 石綿含有（含有の可能性あり）
- 不明
- 石綿無含有

- ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「—」と表記します。

アスベスト事前調査詳細表／目視調査結果（結論）

資料番号	ページ数
結論 1	5/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 1

			書面調査との整合性	目視調査及び調査結果									
No.	部屋/箇所名	部位		既存材料名	気づき・確認・判定事項		試料番号	採取番号	判断根拠	添付資料	石綿含有有無	石綿種類	レベル
16	休憩所	床 1 仕上		フローリング					石綿データベース	添付3	なし	－	－
16	休憩所	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ					石綿データベース	添付3	なし	－	－
16	休憩所	床 2 仕上	○	カーペット					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
16	休憩所	床 2 下地	○	合板					石綿データベース	添付3	なし	－	－
16	休憩所	床 3 仕上	○	クッションフロア	授乳室の床。	15	①	建材分析結果	分析報告書	なし	－	－	－
16	休憩所	床 3 下地	○	コンクリート金ゴテ	授乳室の床下地。			石綿データベース	添付3	なし	－	－	－
16	休憩所	巾木 1 仕上	○	OSL					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
16	休憩所	巾木 1 下地	○	集成材H＝100					石綿データベース	添付3	なし	－	－
16	休憩所	壁 1 仕上	○	クロス a	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－	－
16	休憩所	壁 1 下地	○	PB	存在するとみなす。建築年度より無石綿と判定する。			工業会資料	添付9	なし	－	－	－
16	休憩所	壁 2 仕上		クロス（授乳室）	壁装材料QM-0803、平成26年8月の認定番号のため無石綿と判定。			協会、メーカー資料	添付16	なし	－	－	－
16	休憩所	壁 2 下地		PB	存在するとみなす。建築年度より無石綿と判定する。			工業会資料	添付9	なし	－	－	－
16	休憩所	天井 1 仕上	○	ロックウール吸音板		3	②	建材分析結果	分析報告書	なし	－	－	－
16	休憩所	天井 1 下地	○	PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－	－
16	休憩所	天井 2 仕上	○	ロックウール吸音板		3		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－	－
16	休憩所	天井 2 下地	○	PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－	－
16	休憩所	天井 3 仕上	○	クロス C	平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－	－
16	休憩所	天井 3 下地	○	PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－	－
17	シャワー室	床 1 仕上	○	磁器タイル50角				工業会資料	添付4	なし	－	－	－
17	シャワー室	壁 1 仕上	○	100角タイル				工業会資料	添付4	なし	－	－	－
17	シャワー室	天井 1 仕上	○	バスリブ W=100				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－	－
18	倉庫	床 1 仕上	○	ビニール床タイル㊦ _{2 b}	床タイルは白系の部材。	9	①	建材分析結果	分析報告書	なし	－	－	－
18	倉庫	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ				石綿データベース	添付3	なし	－	－	－
18	倉庫	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木		8	②	建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3	3
18	倉庫	壁 1 仕上	○	クロス b	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－	－
18	倉庫	壁 1 下地	○	PB				工業会資料	添付9	なし	－	－	－
18	倉庫	天井 1 仕上	○	化粧PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－	－

※注釈：

- 石綿含有（含有の可能性あり）
- 不明
- 石綿無含有

- ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「—」と表記します。

アスベスト事前調査詳細表／目視調査結果（結論）

資料番号	ページ数
結論 1	6/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 1

			書面調査との整合性	目視調査及び調査結果									
No.	部屋/箇所名	部位		既存材料名	気づき・確認・判定事項		試料番号	採取番号	判断根拠	添付資料	石綿含有有無	石綿種類	レベル
19	サービスコーナ―	床 1 仕上		フローリング					石綿データベース	添付3	なし	―	―
19	サービスコーナ―	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ					石綿データベース	添付3	なし	―	―
19	サービスコーナ―	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木			8		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
19	サービスコーナ―	壁 1 仕上	○	クロス a	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。				協会資料	添付16	なし	―	―
19	サービスコーナ―	壁 1 下地	○	PB					工業会資料	添付9	なし	―	―
19	サービスコーナ―	天井 1 仕上	○	ロックウール吸音板	平板、ストライプのデザインが存在する。		3		建材分析結果	分析報告書	なし	―	―
19	サービスコーナ―	天井 1 下地	○	PB㉔9.5					工業会資料	添付9	なし	―	―
19	サービスコーナ―	天井 2 仕上			存在しない。								
19	サービスコーナ―	天井 2 下地			存在しない。								
19	サービスコーナ―	天井 3 仕上			存在しない。								
19	サービスコーナ―	天井 3 下地			存在しない。								
20	備品庫	床 1 仕上	○	ビニール床タイル㉔2 b			9	㉔	建材分析結果	分析報告書	なし	―	―
20	備品庫	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ	存在するとみなす。				石綿データベース	添付3	なし	―	―
20	備品庫	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木			8		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
20	備品庫	壁 1 仕上	○	クロス a	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。				協会資料	添付16	なし	―	―
20	備品庫	壁 1 下地	○	PB					工業会資料	添付9	なし	―	―
20	備品庫	天井 1 仕上	○	化粧PB㉔9.5					工業会資料	添付9	なし	―	―
21	前室	床 1 仕上	○	磁器タイル300角					工業会資料	添付4	なし	―	―
21	前室	床 1 下地	○	モルタル			5		建材分析結果	分析報告書	なし	―	―
21	前室	壁 1 仕上	○	100角タイル					工業会資料	添付4	なし	―	―
21	前室	壁 1 下地	○	リプラス	1F No.24 男子便所と同等とみなす。		6		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
21	前室	壁 1 下地	○	アスファルトフェルト	1F No.24 男子便所と同等とみなす。				協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
21	前室	天井 1 仕上	○	防湿ロックウール吸音板			4		建材分析結果	分析報告書	なし	―	―
21	前室	天井 1 下地	○	耐水PB㉔9.5	存在するとみなす。				工業会資料	添付9	なし	―	―
22	男子洗面所	床 1 仕上	○	磁器タイル300角					工業会資料	添付4	なし	―	―
22	男子洗面所	壁 1 仕上	○	100角タイル					工業会資料	添付4	なし	―	―
22	男子洗面所	壁 1 下地	○	リプラス	1F No.24 男子便所と同等とみなす。		6		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
22	男子洗面所	壁 1 下地	○	アスファルトフェルト	1F No.24 男子便所と同等とみなす。				協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
22	男子洗面所	天井 1 仕上	○	防湿ロックウール吸音板			4		建材分析結果	分析報告書	なし	―	―
22	男子洗面所	天井 1 下地	○	耐水PB㉔9.5	存在するとみなす。				工業会資料	添付9	なし	―	―

※注釈：

- 石綿含有（含有の可能性あり）
- 不明
- 石綿無含有

- ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「—」と表記します。

階・場所： 1

[illegible]

※注釈：

-  石綿含有（含有の可能性あり）
 不明
 石綿無含有

- ・ N ○ は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他, 1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「－」と表記します。

アスベスト事前調査詳細表／目視調査結果（結論）

資料番号	ページ数
結論 1	8/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 1

			書面調査との整合性	目視調査及び調査結果								
No.	部屋/箇所名	部位		既存材料名	気づき・確認・判定事項	試料番号	採取番号	判断根拠	添付資料	石綿含有有無	石綿種類	レベル
27	女子車椅子便所	床 1 仕上	○	磁器タイル300角				工業会資料	添付4	なし	－	－
27	女子車椅子便所	壁 1 仕上	○	100角タイル				工業会資料	添付4	なし	－	－
27	女子車椅子便所	壁 1 下地	○	リプラス	1F No.24 男子便所と同様に存在するとみなす。	6		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
27	女子車椅子便所	壁 1 下地	○	アスファルトフェルト	1F No.24 男子便所と同様に存在するとみなす。			協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
27	女子車椅子便所	天井 1 仕上	○	防湿ロックウール吸音板		4		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
27	女子車椅子便所	天井 1 下地	○	耐水PB⑦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－
28	物入	床 1 仕上	○	磁器タイル50角				工業会資料	添付4	なし	－	－
28	物入	巾木 1 仕上	○	磁器タイル150角H=150				工業会資料	添付4	なし	－	－
28	物入	巾木 1 下地	○	コンクリート	存在するとみなす。			石綿データベース	添付3	なし	－	－
28	物入	壁 1 仕上	○	EP				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
28	物入	壁 1 下地	○	ケイ酸カルシウム板	1F No.10 男子便所と同様に石綿含有品と判定する。			石綿データベース	添付12	あり	クリソタイル等	3
28	物入	天井 1 仕上	○	EP				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
28	物入	天井 1 下地	○	ケイ酸カルシウム板	1F No.10 男子便所と同様に石綿含有品と判定する。			石綿データベース	添付12	あり	クリソタイル等	3
28	物入	天井 1 下地	○	耐水PB⑦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－
29	脱衣室	床 1 仕上	○	ビニール床タイル⑦3 A		13		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
29	脱衣室	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ				石綿データベース	添付3	なし	－	－
29	脱衣室	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木		8		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
29	脱衣室	壁 1 仕上	○	クロス	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－
29	脱衣室	壁 1 下地	○	ケイ酸カルシウム板	1F No.10 男子便所と同様に石綿含有品と判定する。			石綿データベース	添付12	あり	クリソタイル等	3
29	脱衣室	天井 1 仕上	○	EP				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
29	脱衣室	天井 1 下地	○	ケイ酸カルシウム板	1F No.10 男子便所と同様に石綿含有品と判定する。			石綿データベース	添付12	あり	クリソタイル等	3
29	脱衣室	天井 1 下地	○	耐水PB⑦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－

※注釈：

- 石綿含有（含有の可能性あり）
- 不明
- 石綿無含有

- ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「—」と表記します。

アスベスト事前調査詳細表／目視調査結果（結論）

資料番号	ページ数
結論 1	9/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 2

			書面調査との整合性	目視調査及び調査結果								
No.	部屋/箇所名	部位		既存材料名	気づき・確認・判定事項	試料番号	採取番号	判断根拠	添付資料	石綿含有有無	石綿種類	レベル
1	食材供給施設	床 1 仕上	○	ビニール床タイル㊦ 3 D		14	①	建材分析結果	分析報告書	あり	クリンタイル	3
1	食材供給施設	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ				石綿データベース	添付3	なし	－	－
1	食材供給施設	巾木 1 仕上	○	OSL				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
1	食材供給施設	巾木 1 下地	○	集成材H＝100				石綿データベース	添付3	なし	－	－
1	食材供給施設	壁 1 仕上	○	クロス H	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－
1	食材供給施設	壁 1 下地	○	PB㊦12.5	存在するとみなす。			工業会資料	添付9	なし	－	－
1	食材供給施設	天井 1 仕上	○	ロックウール吸音板		3		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
1	食材供給施設	天井 1 下地	○	PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－
1	食材供給施設	天井 2 仕上	○	クロス K	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－
1	食材供給施設	天井 2 下地	○	PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－
2	休憩コーナー	床 1 仕上	○	ビニール床タイル㊦ 3 D		14	②	建材分析結果	分析報告書	あり	クリンタイル	3
2	休憩コーナー	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ				石綿データベース	添付3	なし	－	－
2	休憩コーナー	巾木 1 仕上	○	OSL				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
2	休憩コーナー	巾木 1 下地	○	集成材H＝100				石綿データベース	添付3	なし	－	－
2	休憩コーナー	壁 1 仕上	○	クロス H	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－
2	休憩コーナー	壁 1 下地	○	PB㊦12.5	存在するとみなす。			工業会資料	添付9	なし	－	－
2	休憩コーナー	天井 1 仕上	○	ロックウール吸音板		3		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
2	休憩コーナー	天井 1 下地	○	PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－
2	休憩コーナー	天井 2 仕上	○	クロス K	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－
2	休憩コーナー	天井 2 下地	○	PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－
3	配膳コーナー	床 1 仕上	○	ビニール床タイル㊦ 3 D		14		建材分析結果	分析報告書	あり	クリンタイル	3
3	配膳コーナー	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ				石綿データベース	添付3	なし	－	－
3	配膳コーナー	巾木 1 仕上	○	OSL				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
3	配膳コーナー	巾木 1 下地	○	集成材H＝100				石綿データベース	添付3	なし	－	－
3	配膳コーナー	壁 1 仕上	○	クロス H	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－
3	配膳コーナー	壁 1 下地	○	PB㊦12.5	存在するとみなす。			工業会資料	添付9	なし	－	－
3	配膳コーナー	天井 1 仕上	○	ロックウール吸音板		3		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
3	配膳コーナー	天井 1 下地	○	PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－
3	配膳コーナー	天井 2 仕上	○	クロス K	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。			協会資料	添付16	なし	－	－
3	配膳コーナー	天井 2 下地	○	PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－

※注釈：

- 石綿含有（含有の可能性あり）
- 不明
- 石綿無含有

- ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「—」と表記します。

アスベスト事前調査詳細表／目視調査結果（結論）

資料番号	ページ数
結論 1	10/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 2

			書面調査との整合性	目視調査及び調査結果									
No.	部屋/箇所名	部位		既存材料名	気づき・確認・判定事項		試料番号	採取番号	判断根拠	添付資料	石綿含有有無	石綿種類	レベル
4	和室A	床1仕上	○	タイルカーペット㊦6.5					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
4	和室A	床1下地	○	型枠用合板㊦12					石綿データベース	添付3	なし	－	－
4	和室A	床1下地	○	木枠床下地					石綿データベース	添付3	なし	－	－
4	和室A	巾木1仕上	○	OSL					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
4	和室A	巾木1下地	○	雑巾摺					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
4	和室A	壁1仕上	○	クロス I	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。				協会資料	添付16	なし	－	－
4	和室A	壁1下地	○	PB㊦12.5					工業会資料	添付9	なし	－	－
4	和室A	天井1仕上	○	ロックウール吸音板			3		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
4	和室A	天井1下地	○	PB㊦9.5					工業会資料	添付9	なし	－	－
4	和室A	天井2仕上	○	クロス K	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。				協会資料	添付16	なし	－	－
4	和室A	天井2下地	○	PB㊦9.5					工業会資料	添付9	なし	－	－
5	和室B	床1仕上	○	タイルカーペット㊦6.5					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
5	和室B	床1下地	○	型枠用合板㊦12					石綿データベース	添付3	なし	－	－
5	和室B	床1下地	○	木枠床下地					石綿データベース	添付3	なし	－	－
5	和室B	巾木1仕上	○	OSL					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
5	和室B	巾木1下地	○	雑巾摺					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
5	和室B	壁1仕上	○	クロス I	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。				協会資料	添付16	なし	－	－
5	和室B	壁1下地	○	PB㊦12.5					工業会資料	添付9	なし	－	－
5	和室B	天井1仕上	○	クロス L1	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。				協会資料	添付16	なし	－	－
5	和室B	天井1下地	○	PB㊦9.5					工業会資料	添付9	なし	－	－
5	和室B	天井2仕上	○	クロス L2	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。				協会資料	添付16	なし	－	－
5	和室B	天井2下地	○	PB㊦9.5					工業会資料	添付9	なし	－	－
6	交流研修室	床1仕上	○	タイルカーペット㊦6.5					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
6	交流研修室	床1下地	○	型枠用合板㊦12					石綿データベース	添付3	なし	－	－
6	交流研修室	床1下地	○	木枠床下地					石綿データベース	添付3	なし	－	－
6	交流研修室	巾木1仕上	○	OSL					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
6	交流研修室	巾木1下地	○	雑巾摺					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
6	交流研修室	壁1仕上	○	クロス I	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。				協会資料	添付16	なし	－	－
6	交流研修室	壁1下地	○	PB㊦12.5					工業会資料	添付9	なし	－	－
6	交流研修室	天井1仕上	○	クロス L1	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。				協会資料	添付16	なし	－	－
6	交流研修室	天井1下地	○	PB㊦9.5					工業会資料	添付9	なし	－	－
6	交流研修室	天井2仕上	○	クロス L2	壁装材料第0005号、平成9年の建築から無石綿と判定。				協会資料	添付16	なし	－	－
6	交流研修室	天井2下地	○	PB㊦9.5					工業会資料	添付9	なし	－	－

※注釈：

	石綿含有（含有の可能性あり）
	不明
	石綿無含有

- ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「—」と表記します。

アスベスト事前調査詳細表／目視調査結果（結論）

資料番号	ページ数
結論 1	11/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 2

			書面調査との整合性	目視調査及び調査結果										
No.	部屋/箇所名	部位		既存材料名	気づき・確認・判定事項			試料番号	採取番号	判断根拠	添付資料	石綿含有有無	石綿種類	レベル
7	厨房	床 1 仕上	○	塗床（ノンスリップ）						一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
7	厨房	床 1 下地	○	モルタル				5		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
7	厨房	床 1 下地	○	塗膜防水						協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
7	厨房	壁 1 仕上	○	タイル 100角						工業会資料	添付4	なし	－	－
7	厨房	壁 1 下地	○	リプラス				6		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
7	厨房	壁 1 下地	○	アスファルトフェルト						協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
7	厨房	壁 2 仕上	○	ケイ酸カルシウム板	1F No.10 男子便所と同様に石綿含有品と判定する。					石綿データベース	添付12	あり	クリソタイル等	3
7	厨房	壁 2 下地	○	耐水PB㊦9.5	存在するとみなす。					工業会資料	添付9	なし	－	－
7	厨房	天井 1 仕上	○	EP						一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
7	厨房	天井 1 下地	○	ケイ酸カルシウム板	1F No.10 男子便所と同様に石綿含有品と判定する。					石綿データベース	添付12	あり	クリソタイル等	3
7	厨房	天井 1 下地	○	耐水PB㊦9.5	存在するとみなす。					工業会資料	添付9	なし	－	－
7	厨房	湯沸器		湯沸器（2014年製、ノーリツ製）	メーカー情報より石綿含有品に非該当であり、無石綿と判定する。					メーカー資料	添付19	なし	－	－
7	厨房	湯沸器		湯沸器（2021年製、ノーリツ製）	メーカー情報より石綿含有品に非該当であり、無石綿と判定する。					メーカー資料	添付19	なし	－	－
7	厨房	流し台		流し台（ステンレス製）						工業会資料	添付17	なし	－	－
8	通路	床 1 仕上	○	ビニール床タイル㊦3 D				14		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
8	通路	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ						石綿データベース	添付3	なし	－	－
8	通路	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木				8	③	建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
8	通路	壁 1 仕上	○	クロス J	平成9年の建築物のため、無石綿と判定する。					協会資料	添付16	なし	－	－
8	通路	壁 1 下地	○	PB㊦12.5	存在するとみなす。					工業会資料	添付9	なし	－	－
8	通路	天井 1 仕上	○	化粧PB㊦9.5						工業会資料	添付9	なし	－	－
8	通路	天井裏		グラスウールマット						石綿データベース	添付3	なし	－	－
9	食品庫	床 1 仕上	○	ビニール床タイル㊦2 C				12		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
9	食品庫	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ						石綿データベース	添付3	なし	－	－
9	食品庫	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木				8		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
9	食品庫	壁 1 仕上	○	クロス E	平成9年の建築物のため、無石綿と判定する。					協会資料	添付16	なし	－	－
9	食品庫	壁 1 下地	○	PB㊦12.5						工業会資料	添付9	なし	－	－
9	食品庫	天井 1 仕上	○	化粧PB㊦9.5						工業会資料	添付9	なし	－	－
													</	

※注釈：

	石綿含有（含有の可能性あり）
	不明
	石綿無含有

- ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「—」と表記します。

アスベスト事前調査詳細表／目視調査結果（結論）

資料番号	ページ数
結論 1	12/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 2

			書面調査との整合性	目視調査及び調査結果								
No.	部屋/箇所名	部位		既存材料名	気づき・確認・判定事項	試料番号	採取番号	判断根拠	添付資料	石綿含有有無	石綿種類	レベル
10	休憩室	床 1 仕上		ビニール床シート（休憩室改修）	休憩室改修品で、改修時期が不明のため石綿含有品とみなす。			国交省資料	添付14	あり	クリソタイル等	3
10	休憩室	床 2 下地	○	ビニール床タイル㊦2 C		12		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
10	休憩室	床 2 下地	○	コンクリート金ゴテ				石綿データベース	添付3	なし	－	－
10	休憩室	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木		8		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
10	休憩室	壁 1 仕上	○	クロス D	壁装材料第0005号、平成9年の建築物のため無石綿と判定する。			協会資料	添付16	なし	－	－
10	休憩室	壁 1 下地	○	PB㊦12.5				工業会資料	添付9	なし	－	－
10	休憩室	天井 1 仕上	○	ロックウール吸音板		3		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
10	休憩室	天井 1 下地	○	PB㊦9.5	存在するとみなす。			工業会資料	添付9	なし	－	－
11	前室	床 1 仕上	○	ビニール床タイル㊦3 D		14		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
11	前室	床 1 下地	○	コンクリート金ゴテ	存在するとみなす。			石綿データベース	添付3	なし	－	－
11	前室	巾木 1 仕上	○	ビニール巾木		8		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
11	前室	壁 1 仕上	○	クロス F	平成9年の建築物のため無石綿と判定する。			協会資料	添付16	なし	－	－
11	前室	壁 1 下地	○	PB㊦12.5	存在するとみなす。			工業会資料	添付9	なし	－	－
11	前室	天井 1 仕上	○	ロックウール吸音板		3	③	建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
11	前室	天井 1 下地	○	PB㊦9.5	存在するとみなす。			工業会資料	添付9	なし	－	－
12	男子便所	床 1 仕上	○	磁器タイル150角				工業会資料	添付4	なし	－	－
12	男子便所	床 1 下地	○	塗膜防水	使用中の部屋のため、破壊による存在確認は行わず、石綿含有品として存在するとみなす。			協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
12	男子便所	壁 1 仕上	○	タイル 150角				工業会資料	添付4	なし	－	－
12	男子便所	壁 1 下地	○	リプラス	1F No.10 男子便所と同等とみなす。	6		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
12	男子便所	壁 1 下地	○	アスファルトフェルト	1F No.10 男子便所と同等とみなす。			協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
12	男子便所	天井 1 仕上	○	EP				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
12	男子便所	天井 1 下地	○	ケイ酸カルシウム板	1F No.10 男子便所と同様に石綿含有品と判定する。			石綿データベース	添付12	あり	クリソタイル等	3
12	男子便所	天井 1 下地	○	耐水PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－
13	女子便所	床 1 仕上	○	磁器タイル150角				工業会資料	添付4	なし	－	－
13	女子便所	床 1 下地	○	塗膜防水	使用中の部屋のため、破壊による存在確認は行わず、石綿含有品として存在するとみなす。			協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
13	女子便所	壁 1 仕上	○	タイル 150角				工業会資料	添付4	なし	－	－
13	女子便所	壁 1 下地	○	リプラス	1F No.10 男子便所と同等とみなす。	6		建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
13	女子便所	壁 1 下地	○	アスファルトフェルト	1F No.10 男子便所と同等とみなす。			協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
13	女子便所	天井 1 仕上	○	EP				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
13	女子便所	天井 1 下地	○	ケイ酸カルシウム板	1F No.10 男子便所と同様に石綿含有品と判定する。			石綿データベース	添付12	あり	クリソタイル等	3
13	女子便所	天井 1 下地	○	耐水PB㊦9.5				工業会資料	添付9	なし	－	－

※注釈：

	石綿含有（含有の可能性あり）
	不明
	石綿無含有

- ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1,2,3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「—」と表記します。

階・場所： 2

[illegible]

※注釈：

-  石綿含有（含有の可能性あり）
 不明
 石綿無含有

- ・ N ○. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・とし、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「一」と表記します。

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」
階・場所： 他

石綿含有（含有の可能性あり）	※注釈： ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1,2,3・・・と示し、外部はアルファベットで示します。 ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。 ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。 ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「－」と表記します。
不明	
石綿無含有	

アスベスト事前調査詳細表／目視調査結果（結論）

資料番号	ページ数
結論 1	15/16

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

階・場所： 外部

			書面調査との整合性	目視調査及び調査結果									
No.	部屋/箇所名	部位		既存材料名	気づき・確認・判定事項		試料番号	採取番号	判断根拠	添付資料	石綿含有有無	石綿種類	レベル
A	屋根	仕上 1	○	カラー鉄板㊦0.4					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
A	屋根	下地 1	○	ルーフィング	屋根下地に存在するとみなす。				協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
A	屋根	下地 1	○	耐火野地板（高圧木毛セメント板）					石綿データベース	添付3	なし	－	－
B	破風鼻カクシ	仕上 1	○	カラー鉄板㊦0.4					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
C	軒天井	仕上 1	○	EP	交流施設棟の軒天井に存在する。				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
C	軒天井	下地 1	○	ケイ酸カルシウム板	1F No.10 男子便所と同様に石綿含有品とみなす。交流施設棟の軒天井に存在する。				石綿データベース	添付12	あり	クリソタイル等	3
C	軒天井	下地 1	○	耐水PB㊦9.5	交流施設棟の軒天井に存在するとみなす。				工業会資料	添付9	なし	－	－
C	軒天井	仕上 2	○	EP	休憩施設棟の軒天井に存在する。				一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
C	軒天井	下地 2	○	バルブセメント板㊦6.3	休憩施設棟の軒天井に存在する。		7	①②	建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
C	軒天井	下地 2	○	耐水PB㊦9.5	休憩施設棟の軒天井に存在する。				工業会資料	添付9	なし	－	－
C	軒天井	仕上 3	○	防湿ロックウール吸音板	キューブのデザインが存在する。休憩施設棟の軒天井に存在する。		4	②	建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
C	軒天井	下地 3	○	耐水PB㊦9.5	休憩施設棟の軒天井に存在するとみなす。				工業会資料	添付9	なし	－	－
D	外壁	仕上 1	○	小口タイル					工業会資料	添付4	なし	－	－
D	外壁	下地 1		モルタル			5		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
D	外壁	下地 2	○	押出成形セメント板					石綿データベース	添付11	あり	クリソタイル等	3
D	外壁	仕上 2	○	複層塗材E	交流施設棟と休憩施設棟の間にのみ存在する。		1		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
D	外壁	下地 1		モルタル			5		建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
D	外壁	下地 2	○	押出成形セメント板					石綿データベース	添付11	あり	クリソタイル等	3
E	基礎	仕上 1	○	小口タイル					工業会資料	添付4	なし	－	－
E	基礎	下地 1		モルタル			5	①②	建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
E	基礎	下地 2	○	コンクリート					石綿データベース	添付3	なし	－	－
E	基礎	仕上 2	○	複層塗材E	交流施設棟と休憩施設棟の間にのみ存在する。		1	①②③	建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
E	基礎	下地 2		下地調整材	交流施設棟と休憩施設棟の間にのみ存在する。		2	①②③	建材分析結果	分析報告書	あり	クリソタイル	3
E	基礎	下地 2	○	コンクリート					石綿データベース	添付3	なし	－	－
F	ポーチ	仕上 1	○	磁器300角タイル					工業会資料	添付4	なし	－	－
F	ポーチ	仕上 2	○	防湿ロックウール吸音板			4	③	建材分析結果	分析報告書	なし	－	－
F	ポーチ	下地 2	○	FG, PB㊦5					協会資料	添付7	なし	－	－
F	ポーチ	仕上 3	○	ステンレス（SUS304）曲げ加工					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
F	ポーチ	仕上 4	○	カラーステンレスシート防水㊦0.4					一般的に含有せず	添付1	なし	－	－
F	ポーチ	下地 4		ルーフィング					協会資料	添付6	あり	クリソタイル等	3
F	ポーチ	下地 4	○	耐火野地板（高圧木毛セメント板）					石綿データベース	添付3	なし	－	－

※注釈：

- 石綿含有（含有の可能性あり）
- 不明
- 石綿無含有

- ・ N o. は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1, 2, 3・・・とし、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「—」と表記します。

建物名： 道の駅おがち「小町の郷」

資料番号	ページ数
結論 1	16/16

[illegible]

- ・ N o . は部屋の番号を示します。上下階共通箇所は他1,2,3・・・とし、外部はアルファベットで示します。
- ・ 書面調査との整合性は書面調査の建材と同じ場合は「○」を付けます。それ以外は空白とします。
- ・ 採取番号は試料番号に対して1カ所目の採取を「①」の様に表記します。
- ・ 試料番号に対して採取しなかった場所の採取番号は「一」と表記します。

-  石綿含有（含有の可能性あり）
 不明
 石綿無含有

Ⅱ－３．

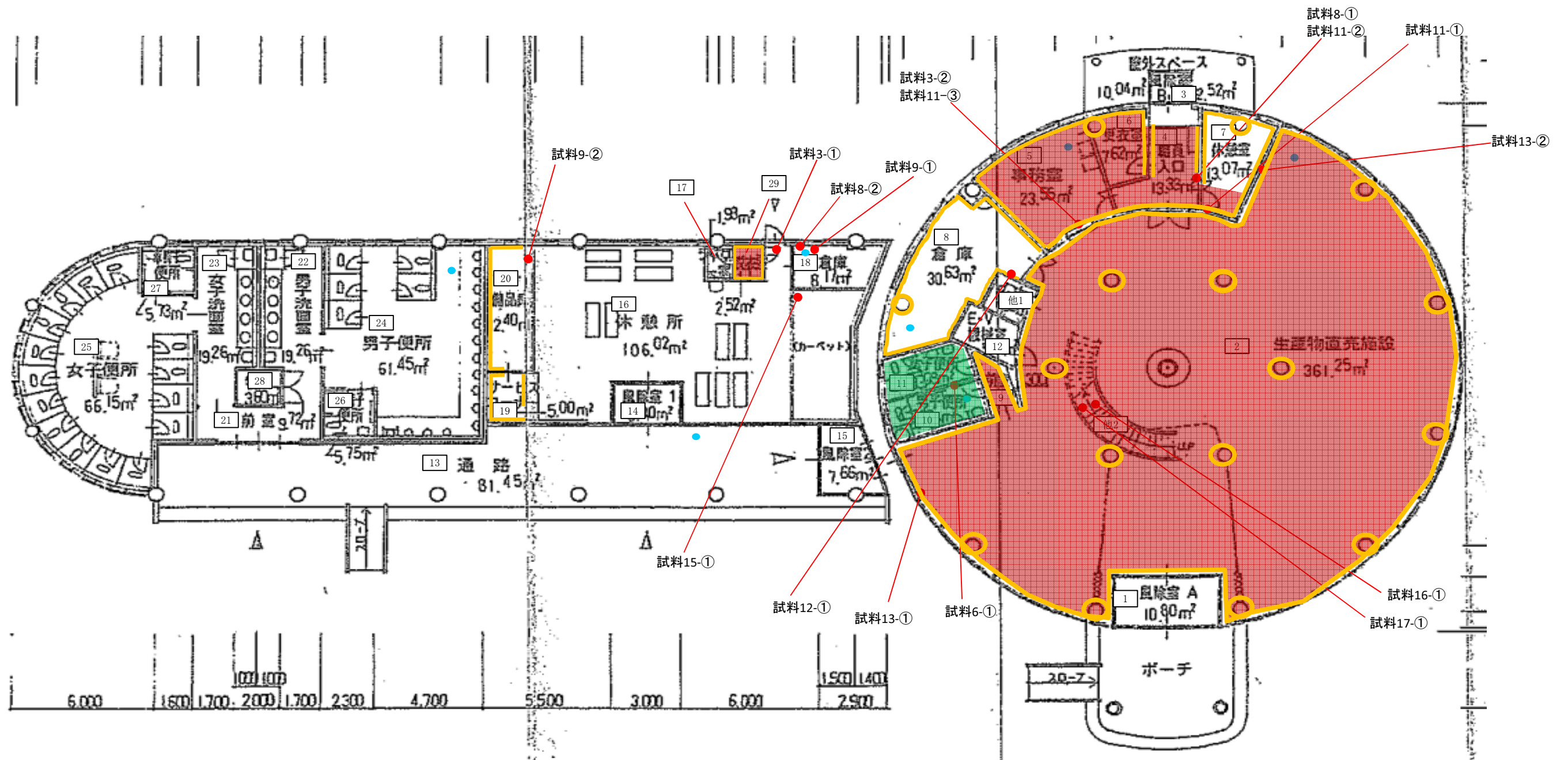
石綿含有建材の使用状況図

対象建物： 道の駅おがち「小町の郷」

石綿調査図面 (1階平面図)

凡例 1 : 調査箇所
 ● : 天井点検口の確認位置
 ● : 分析用試料の採取位置

パターン	建材名
	ビニール床タイル ビニール床シート
	塗膜防水
	ビニール巾木

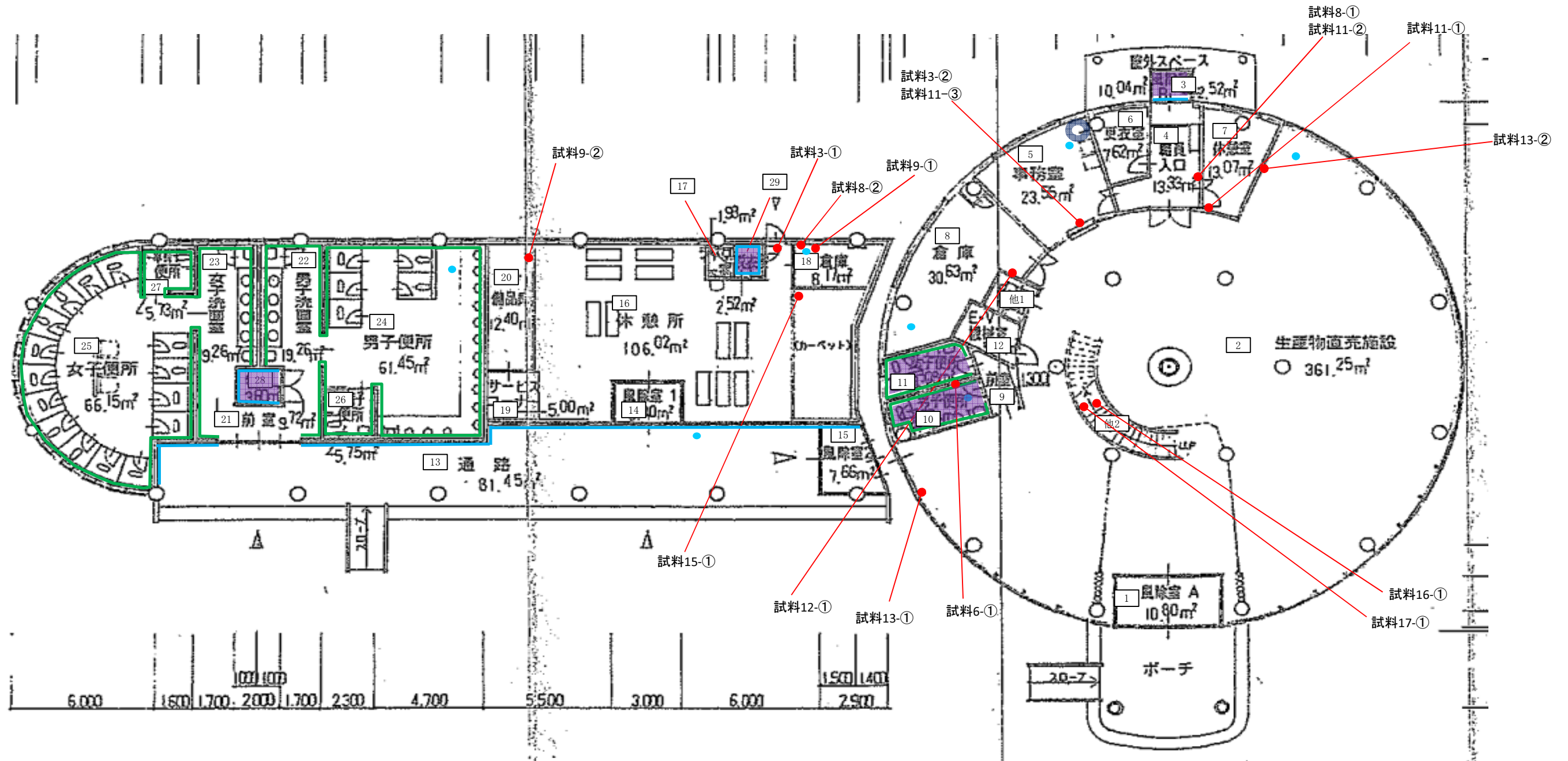


道の駅おがち「小町の郷」

石綿調査図面
(1階平面図)

- 凡例
- 1 : 調査箇所
 - : 天井点検口の確認位置
 - : 分析用試料の採取位置

石綿含有建材凡例	
パターン	建材名
	リブラス アスファルトフェルト
	ケイ酸カルシウム板 押出成形セメント板
	湯沸器

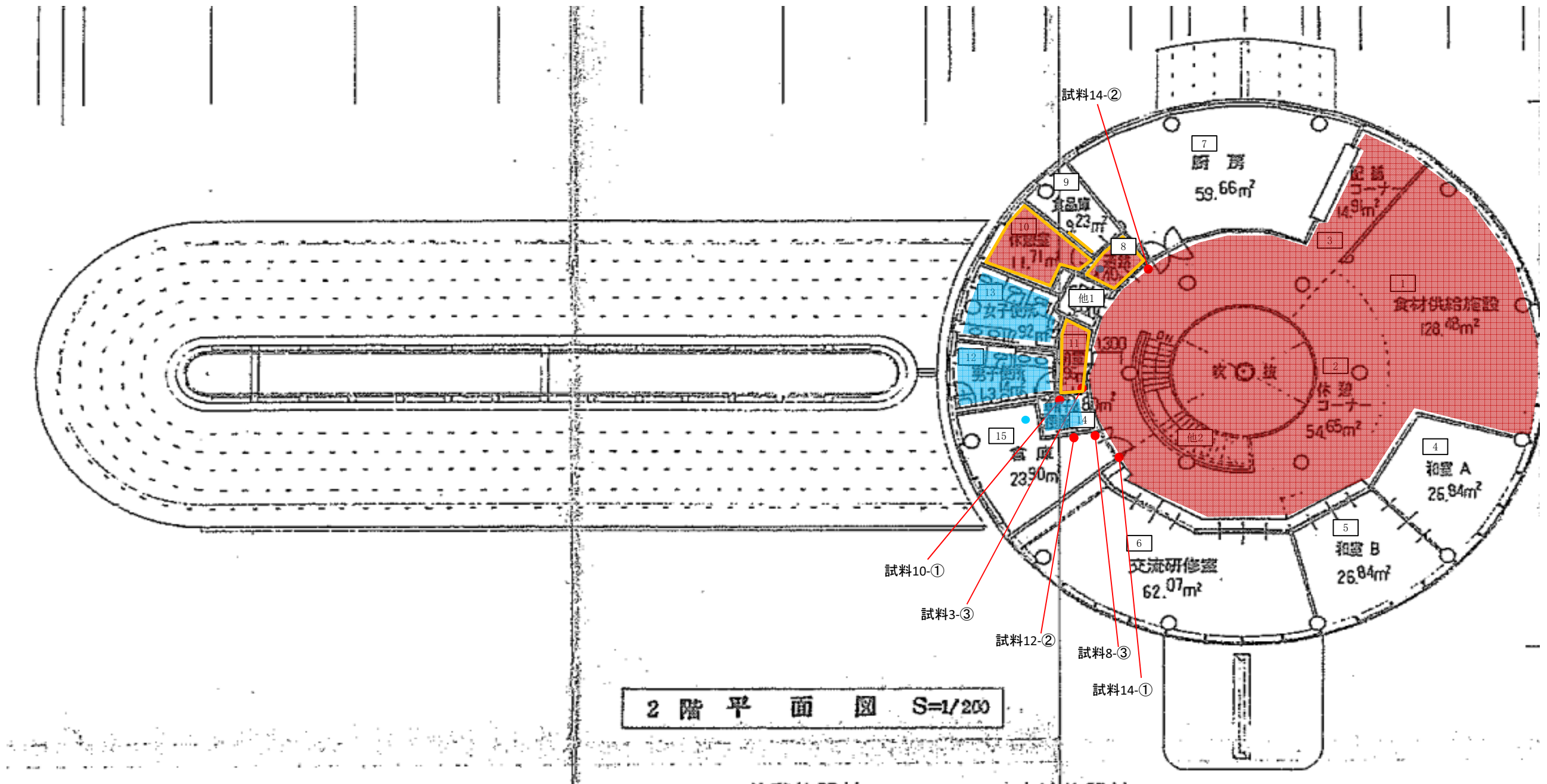


道の駅おがち「小町の郷」

石綿調査図面
(2階平面図)

- 凡例
- 1 : 調査箇所
 - : 天井点検口の確認位置
 - : 分析用試料の採取位置

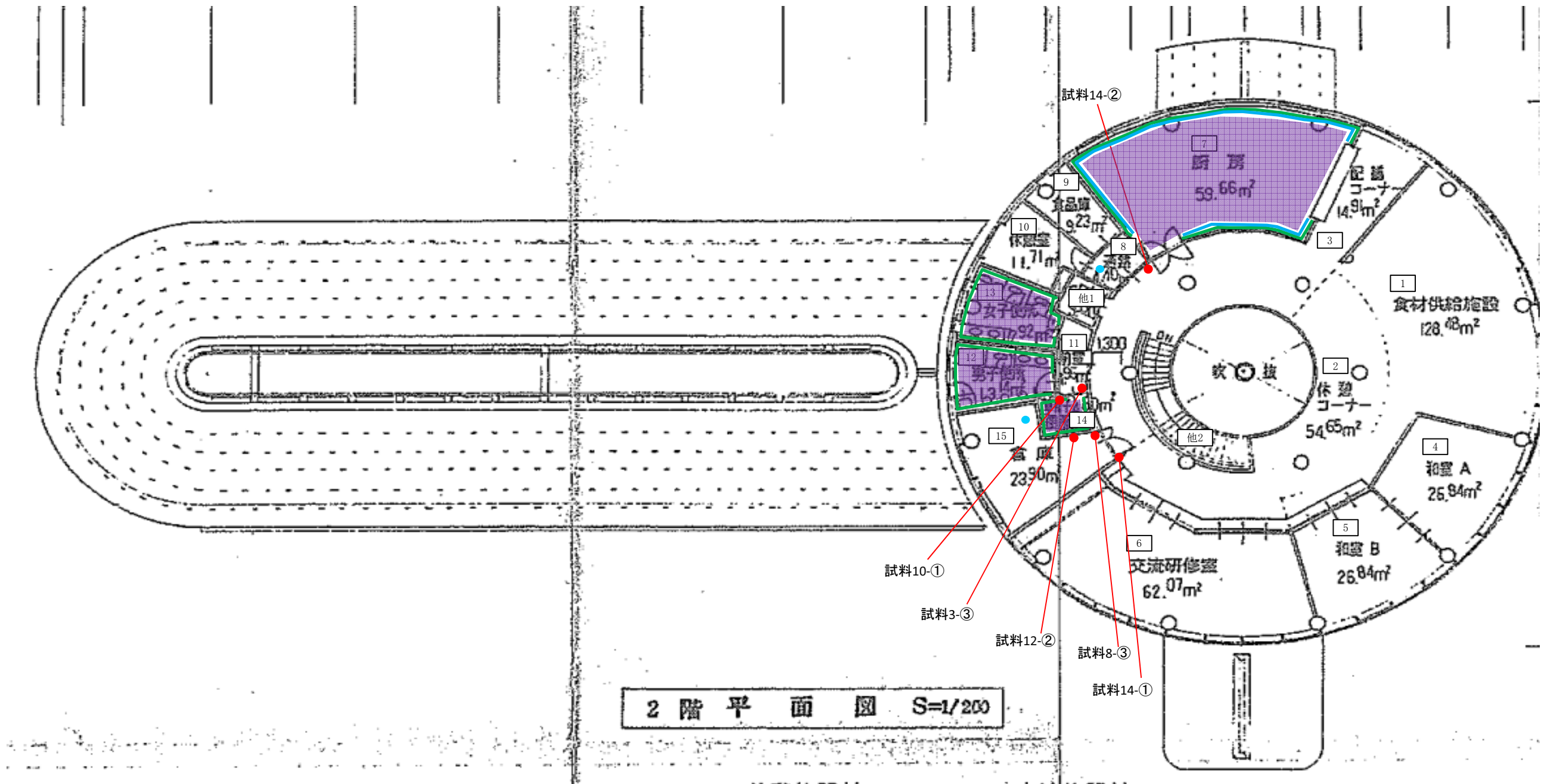
石綿含有建材凡例	
パターン	建材名
	ビニール床タイル ビニール床シート
	塗膜防水
	ビニール巾木



石綿調査図面
(2階平面図)

- 凡例
- 1 : 調査箇所
 - : 天井点検口の確認位置
 - : 分析用試料の採取位置

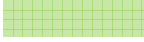
石綿含有建材凡例	
パターン	建材名
	リプラス アスファルトフェルト
	ケイ酸カルシウム板
	湯沸器

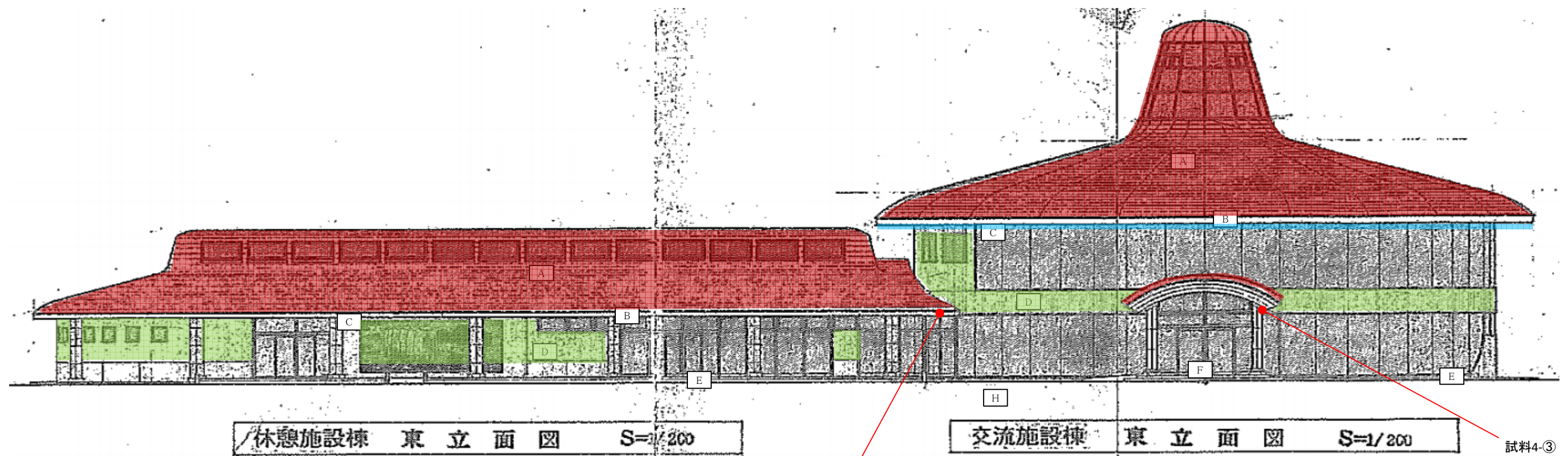


石綿調査図面
(東側立面図)

凡例 [A] : 調査箇所
● : 分析用試料の採取位置

石綿含有建材凡例

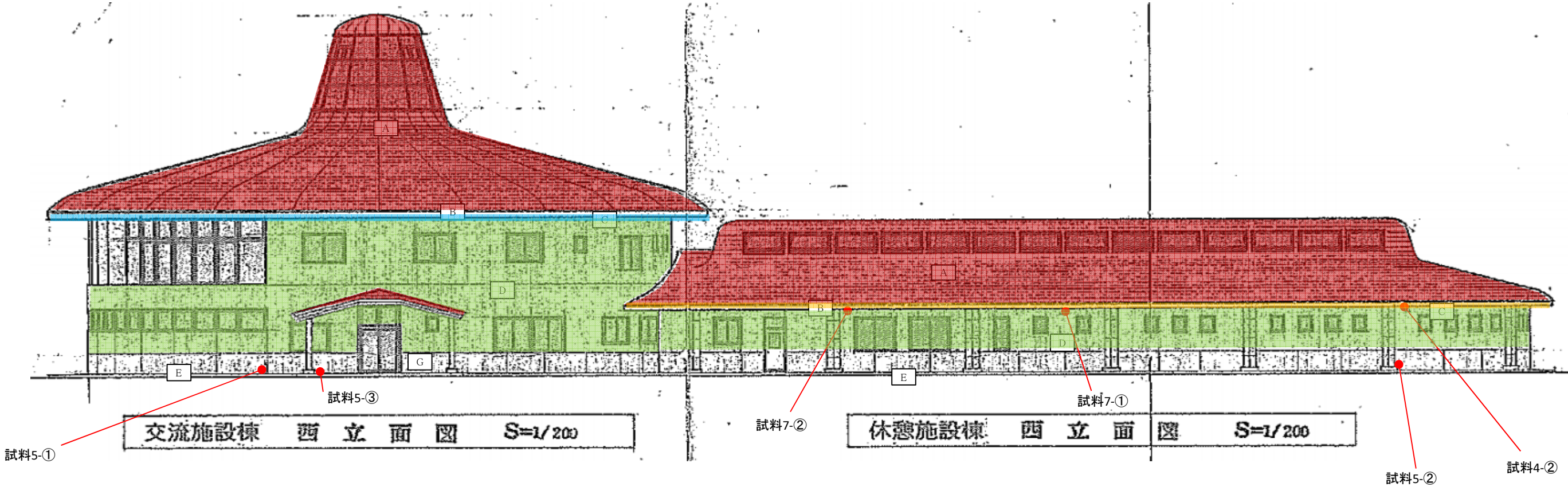
パターン	建材名
	ルーフィング
	ケイ酸カルシウム板
	押出成形セメント板



石綿調査図面
(西側立面図)

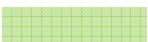
凡例 A : 調査箇所
● : 分析用試料の採取位置

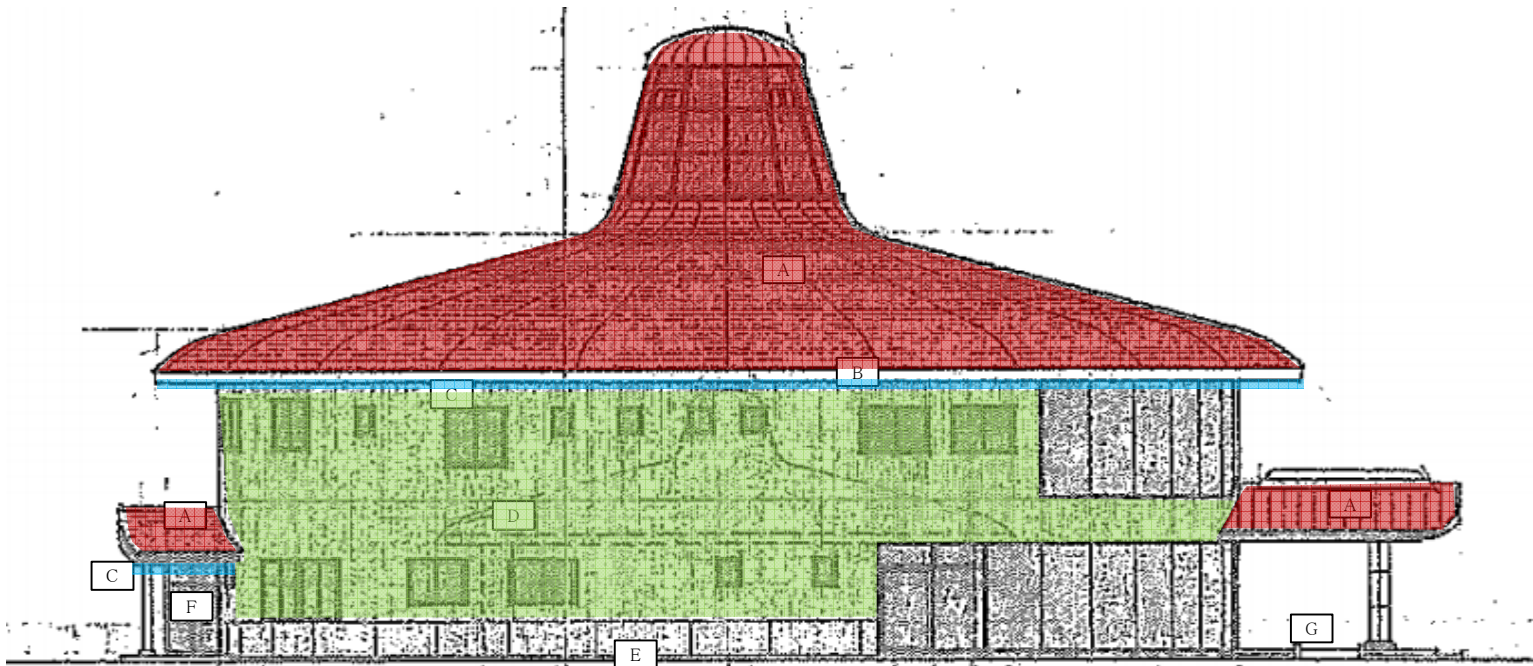
石綿含有建材凡例	
パターン	建材名
	ルーフィング
	ケイ酸カルシウム板
	パルプセメント板
	押出成形セメント板



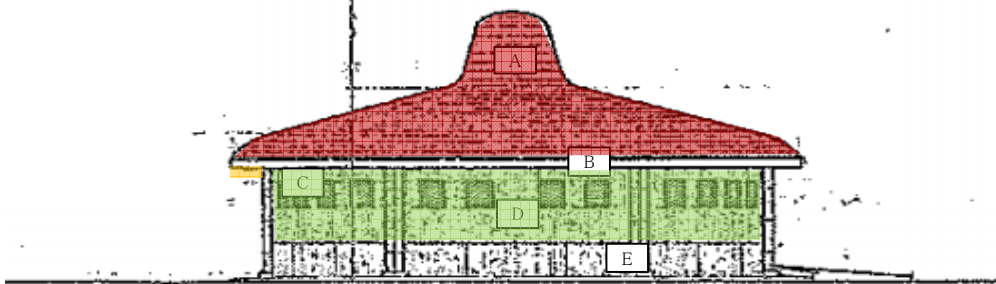
石綿調査図面
(南側立面図)

凡例 [A] : 調査箇所
● : 分析用試料の採取位置

石綿含有建材凡例	
パターン	建材名
	ルーフィング
	ケイ酸カルシウム板
	パルプセメント板
	押出成形セメント板



交流施設棟 南立面図 S=1/200

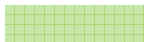


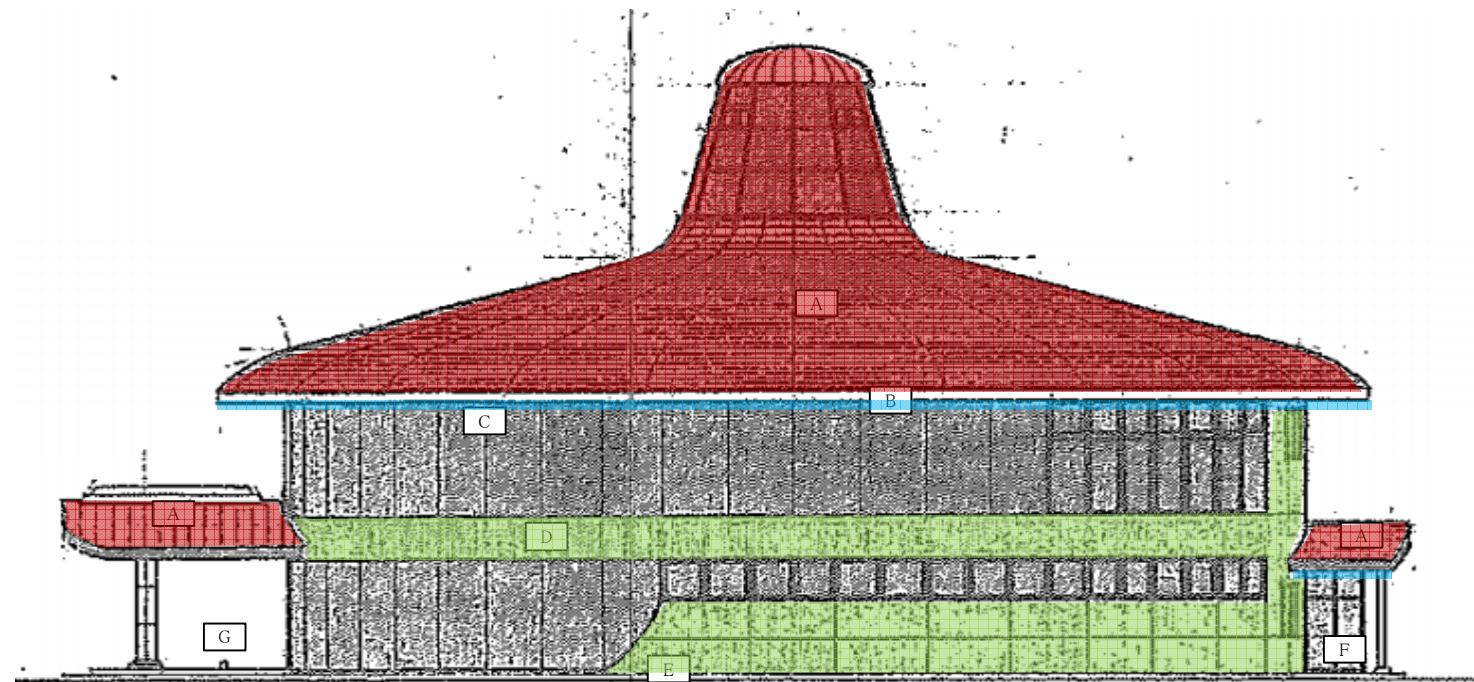
休憩施設棟 南立面図 S=1/200

石綿調査図面 (北側立面図)

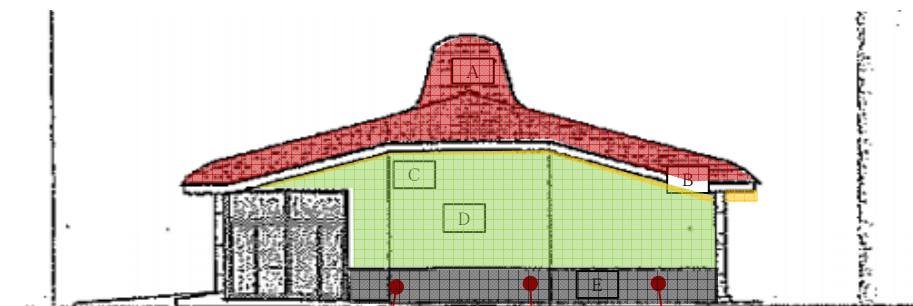
凡例 [A] : 調査箇所
● : 分析用試料の採取位置

石綿含有建材凡例

パターン	建材名
	ルーフィング
	ケイ酸カルシウム板
	パルプセメント板
	下地調整材
	押出成形セメント板



交流施設棟 北立面図 S=1/200



休憩施設棟 北立面図 S=1/200

試料1-① 試料1-② 試料1-③
試料2-① 試料2-② 試料2-③

Ⅱ－４．

調査写真集

対象建物： 道の駅おがち「小町の郷」

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 1

部屋名：風除室A

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 1

部屋名：風除室A

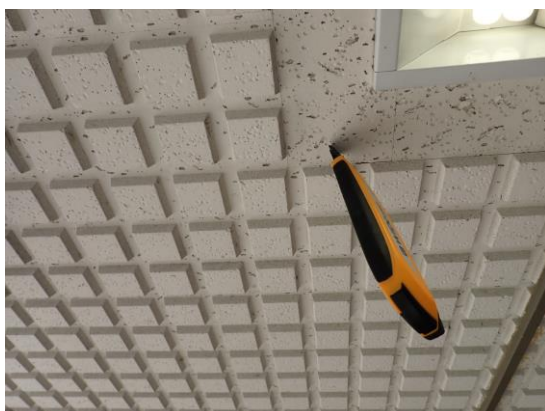
撮影状況：内観②



調査箇所：1F No. 1

部屋名：風除室A

撮影状況：内観③



調査箇所：1F No. 1

部屋名：風除室A

撮影状況：内観④

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所: 1F No. 2

部屋名: 生産物直売施設

撮影状況: 全景①



調査箇所: 1F No. 2

部屋名: 生産物直売施設

撮影状況: 全景②



調査箇所: 1F No. 2

部屋名: 生産物直売施設

撮影状況: 内観①

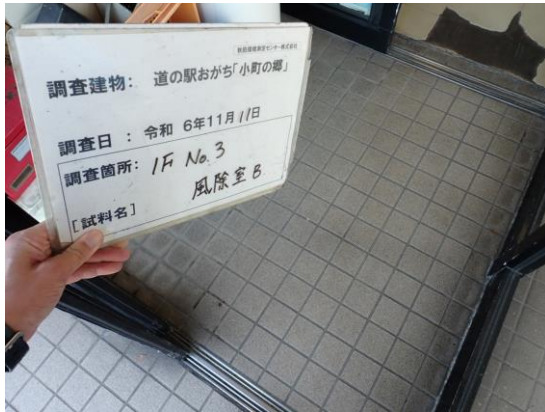


調査箇所: 1F No. 2

部屋名: 生産物直売施設

撮影状況: 内観②

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所: 1F No. 3

部屋名: 風除室B

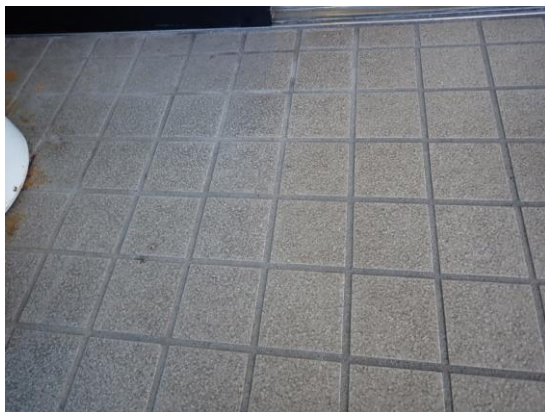
撮影状況: 全景①



調査箇所: 1F No. 3

部屋名: 風除室B

撮影状況: 全景②



調査箇所: 1F No. 3

部屋名: 風除室B

撮影状況: 内観①



調査箇所: 1F No. 3

部屋名: 風除室B

撮影状況: 内観②

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 4

部屋名：職員入口

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 4

部屋名：職員入口

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 4

部屋名：職員入口

撮影状況：内観②



調査箇所：1F No. 4

部屋名：職員入口

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 5

部屋名：事務室

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 5

部屋名：事務室

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 5

部屋名：事務室

撮影状況：内観②



調査箇所：1F No. 5

部屋名：事務室

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 6

部屋名：更衣室

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 6

部屋名：更衣室

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 6

部屋名：更衣室

撮影状況：内観②



調査箇所：1F No. 6

部屋名：更衣室

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所: 1F No. 7

部屋名: 休憩室

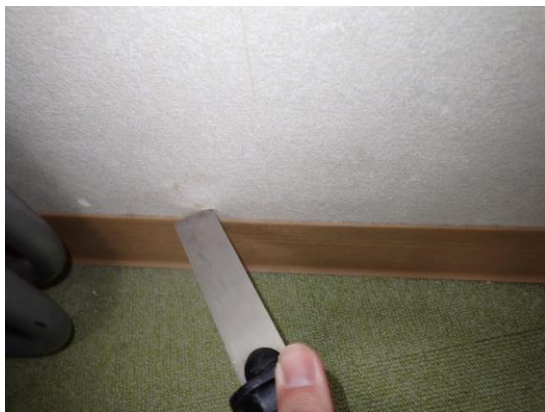
撮影状況: 全景



調査箇所: 1F No. 7

部屋名: 休憩室

撮影状況: 内観①



調査箇所: 1F No. 7

部屋名: 休憩室

撮影状況: 内観②



調査箇所: 1F No. 7

部屋名: 休憩室

撮影状況: 内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 8

部屋名：倉庫

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 8

部屋名：倉庫

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 8

部屋名：倉庫

撮影状況：内観②

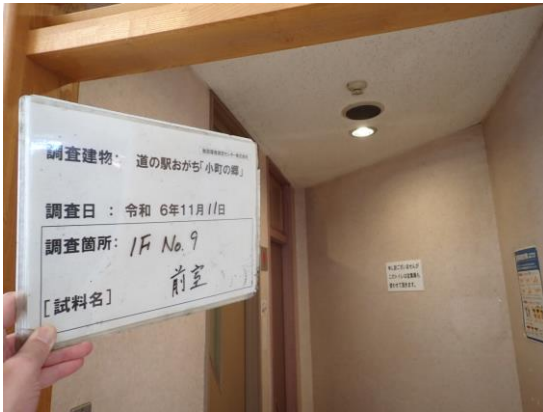


調査箇所：1F No. 8

部屋名：倉庫

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 9

部屋名：前室

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 9

部屋名：前室

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 9

部屋名：前室

撮影状況：内観②



調査箇所：1F No. 9

部屋名：前室

撮影状況：内観③

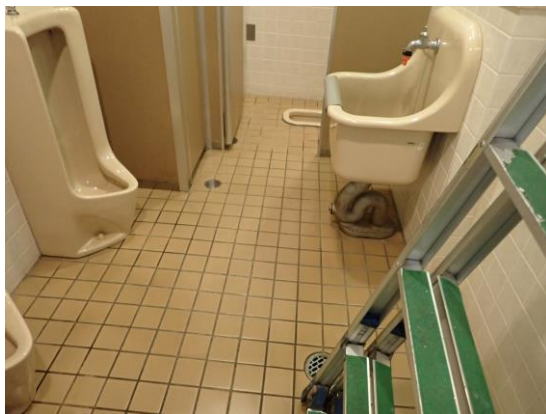
道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 10

部屋名：男子便所

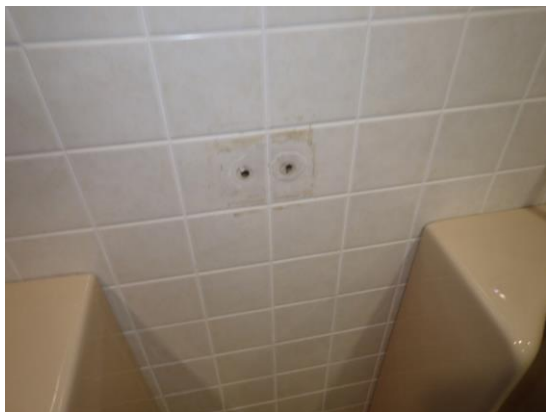
撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 10

部屋名：男子便所

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 10

部屋名：男子便所

撮影状況：内観②



調査箇所：1F No. 10

部屋名：男子便所

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 11

部屋名：女子便所

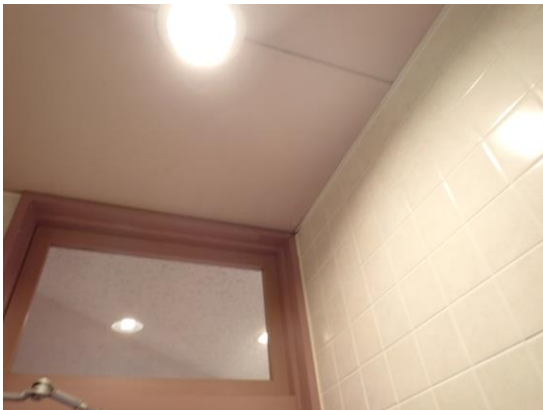
撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 11

部屋名：女子便所

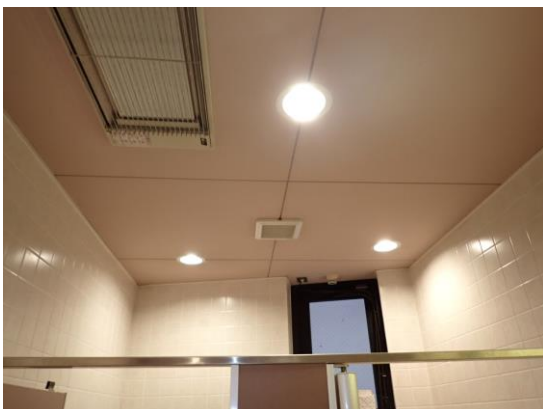
撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 11

部屋名：女子便所

撮影状況：内観②

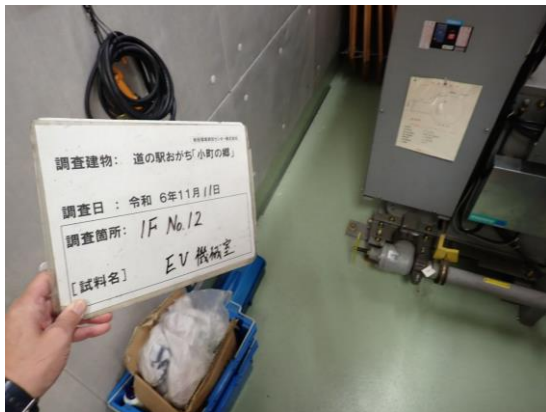


調査箇所：1F No. 11

部屋名：女子便所

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所: 1F No. 12

部屋名: EV機械室

撮影状況: 全景



調査箇所: 1F No. 12

部屋名: EV機械室

撮影状況: 内観①



調査箇所: 1F No. 12

部屋名: EV機械室

撮影状況: 内観②



調査箇所: 1F No. 12

部屋名: EV機械室

撮影状況: 内観③

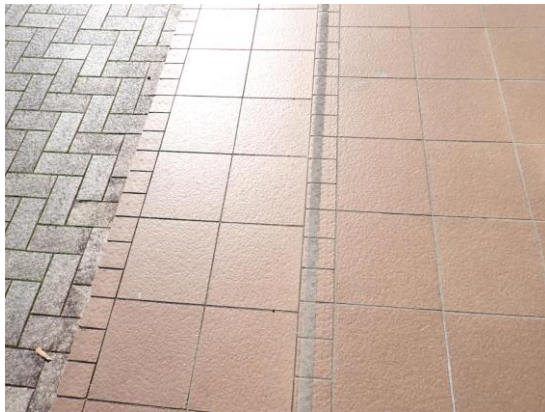
道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 13

部屋名：通路

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 13

部屋名：通路

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 13

部屋名：通路

撮影状況：内観②



調査箇所：1F No. 13

部屋名：通路

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所: 1F No. 14

部屋名: 風除室 1

撮影状況: 全景



調査箇所: 1F No. 14

部屋名: 風除室 1

撮影状況: 内観①



調査箇所: 1F No. 14

部屋名: 風除室 1

撮影状況: 内観②



調査箇所: 1F No. 14

部屋名: 風除室 1

撮影状況: 内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所: 1F No. 15

部屋名: 風除室 2

撮影状況: 全景



調査箇所: 1F No. 15

部屋名: 風除室 2

撮影状況: 内観①



調査箇所: 1F No. 15

部屋名: 風除室 2

撮影状況: 内観②



調査箇所: 1F No. 15

部屋名: 風除室 2

撮影状況: 内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 16

部屋名：休憩所

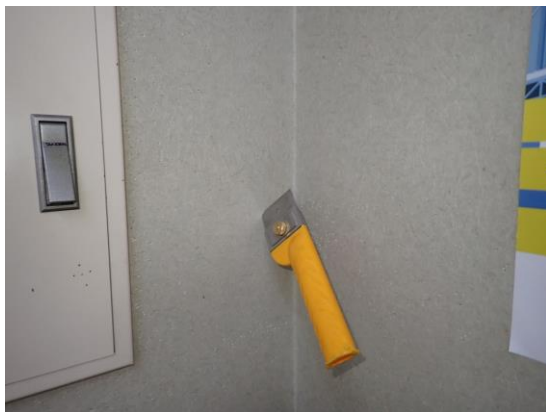
撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 16

部屋名：休憩所

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 16

部屋名：休憩所

撮影状況：内観②

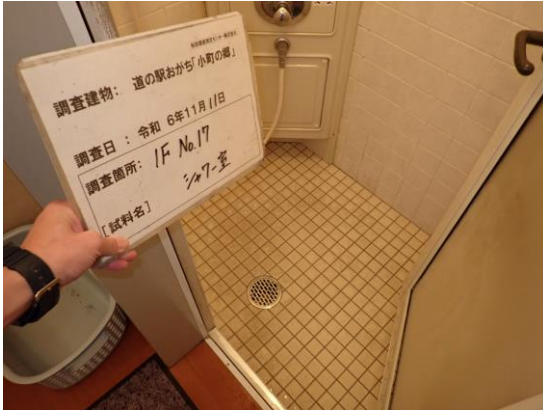


調査箇所：1F No. 16

部屋名：休憩所

撮影状況：内観③

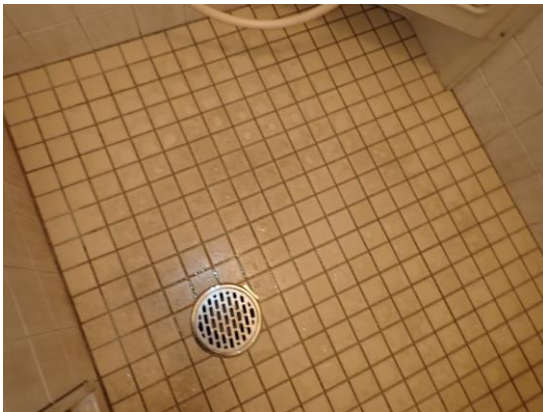
道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所: 1F No. 17

部屋名: シャワー室

撮影状況: 全景



調査箇所: 1F No. 17

部屋名: シャワー室

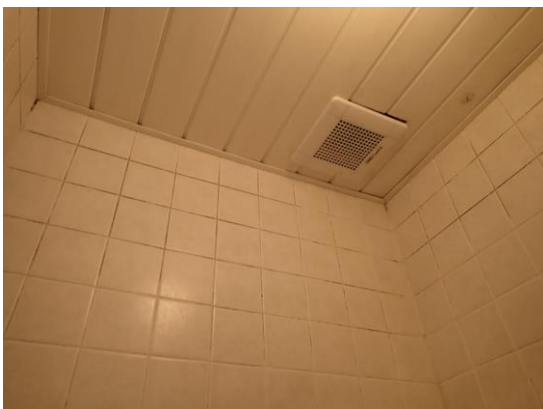
撮影状況: 内観①



調査箇所: 1F No. 17

部屋名: シャワー室

撮影状況: 内観②



調査箇所: 1F No. 17

部屋名: シャワー室

撮影状況: 内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所: 1F No. 18

部屋名: 倉庫

撮影状況: 全景



調査箇所: 1F No. 18

部屋名: 倉庫

撮影状況: 内観①



調査箇所: 1F No. 18

部屋名: 倉庫

撮影状況: 内観②

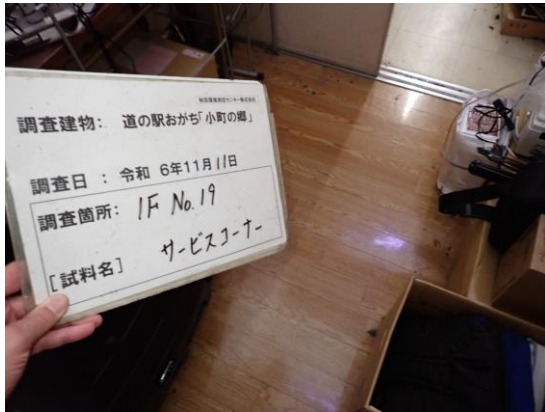


調査箇所: 1F No. 18

部屋名: 倉庫

撮影状況: 内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所: 1F No. 19

部屋名: サービスコーナー

撮影状況: 全景



調査箇所: 1F No. 19

部屋名: サービスコーナー

撮影状況: 内観①



調査箇所: 1F No. 19

部屋名: サービスコーナー

撮影状況: 内観②



調査箇所: 1F No. 19

部屋名: サービスコーナー

撮影状況: 内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 20

部屋名：備品庫

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 20

部屋名：備品庫

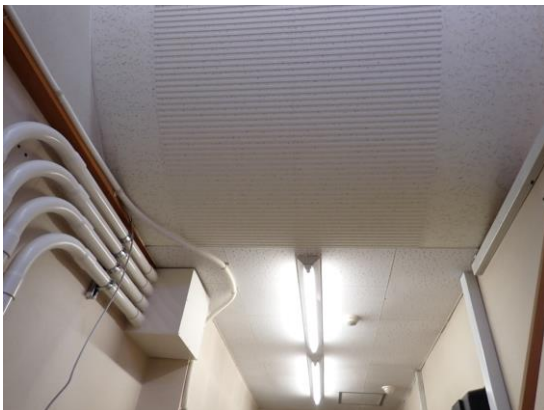
撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 20

部屋名：備品庫

撮影状況：内観②

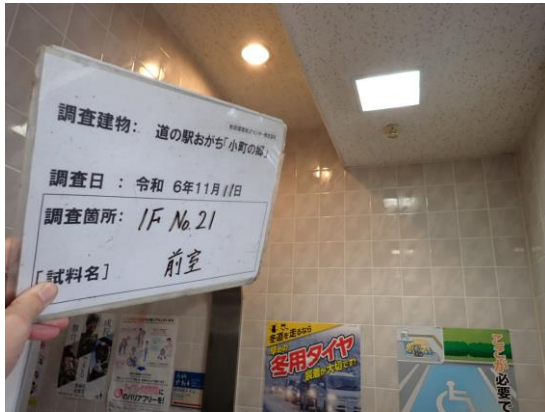


調査箇所：1F No. 20

部屋名：備品庫

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 21

部屋名：前室

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 21

部屋名：前室

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 21

部屋名：前室

撮影状況：内観②



調査箇所：1F No. 21

部屋名：前室

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 22

部屋名：男子洗面所

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 22

部屋名：男子洗面所

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 22

部屋名：男子洗面所

撮影状況：内観②



調査箇所：1F No. 22

部屋名：男子洗面所

撮影状況：内観③

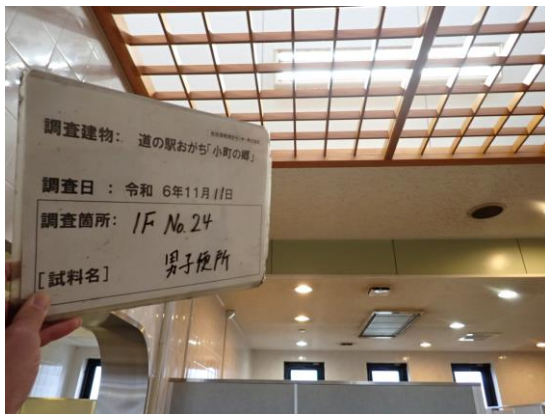
道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 23

部屋名：女子洗面所

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 24

部屋名：男子便所

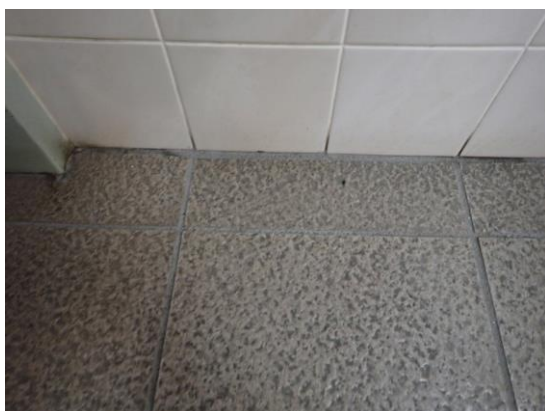
撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 24

部屋名：男子便所

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 24

部屋名：男子便所

撮影状況：内観②

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 24

部屋名：男子便所

撮影状況：内観③



調査箇所：1F No. 25

部屋名：女子便所

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 25

部屋名：女子便所

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 25

部屋名：女子便所

撮影状況：内観②

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 26

部屋名：男子車椅子便所

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 26

部屋名：男子車椅子便所

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 26

部屋名：男子車椅子便所

撮影状況：内観②



調査箇所：1F No. 26

部屋名：男子車椅子便所

撮影状況：内観③

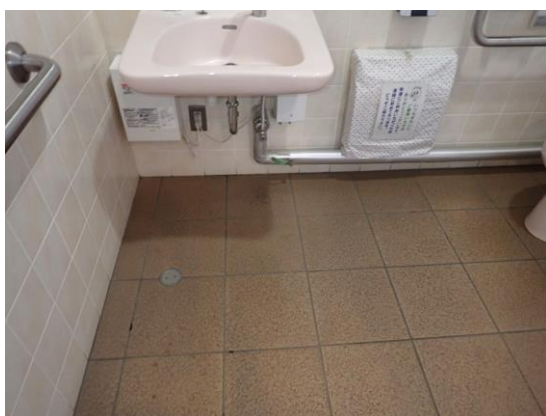
道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所: 1F No. 27

部屋名: 女子車椅子便所

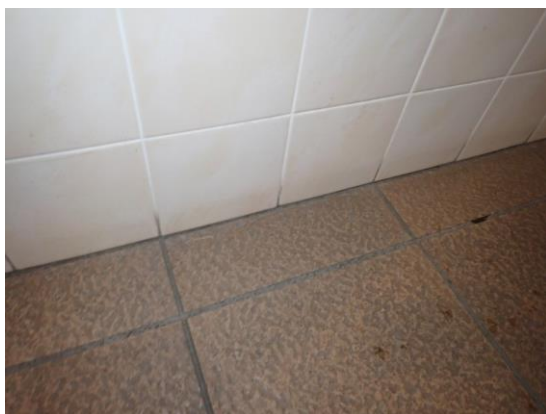
撮影状況: 全景



調査箇所: 1F No. 27

部屋名: 女子車椅子便所

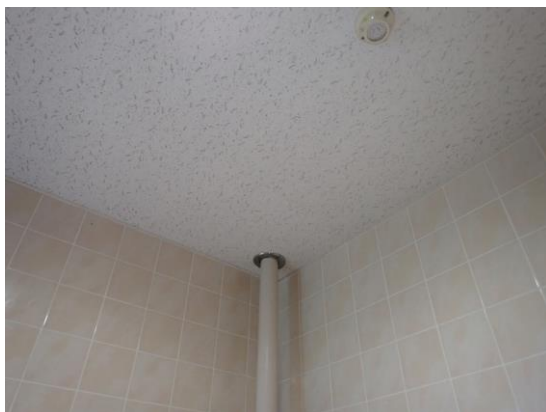
撮影状況: 内観①



調査箇所: 1F No. 27

部屋名: 女子車椅子便所

撮影状況: 内観②

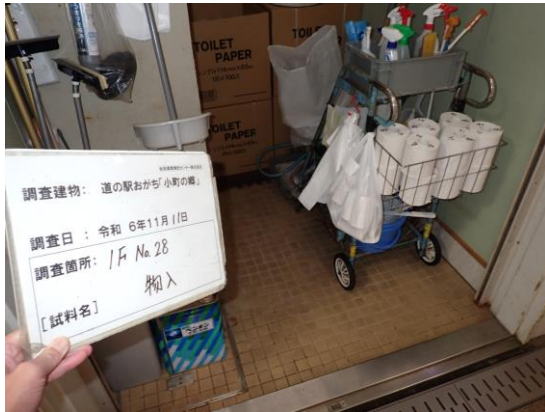


調査箇所: 1F No. 27

部屋名: 女子車椅子便所

撮影状況: 内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 28

部屋名：物入

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 28

部屋名：物入

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 28

部屋名：物入

撮影状況：内観②



調査箇所：1F No. 28

部屋名：物入

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：1F No. 29

部屋名：脱衣室

撮影状況：全景



調査箇所：1F No. 29

部屋名：脱衣室

撮影状況：内観①



調査箇所：1F No. 29

部屋名：脱衣室

撮影状況：内観②



調査箇所：1F No. 29

部屋名：脱衣室

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 1

部屋名：食材供給施設

撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 1

部屋名：食材供給施設

撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 1

部屋名：食材供給施設

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 1

部屋名：食材供給施設

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 2

部屋名：休憩コーナー

撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 2

部屋名：休憩コーナー

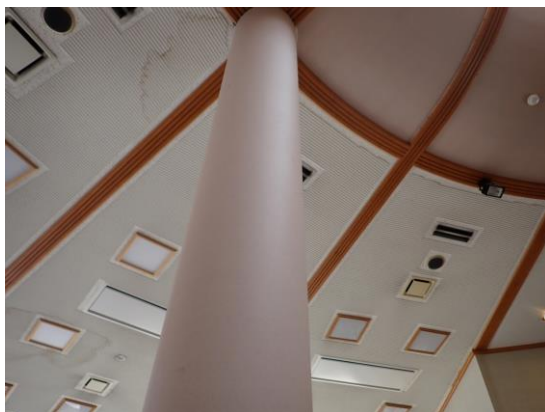
撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 2

部屋名：休憩コーナー

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 2

部屋名：休憩コーナー

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 3

部屋名：配膳コーナー

撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 3

部屋名：配膳コーナー

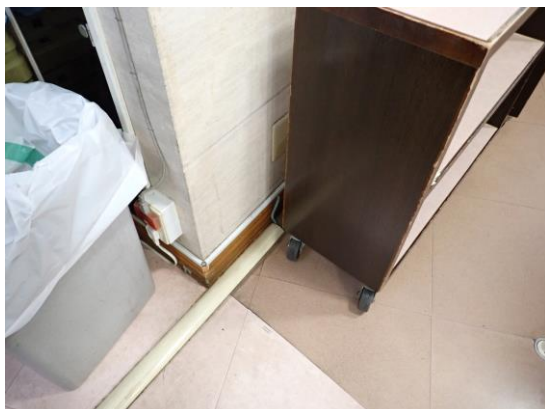
撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 3

部屋名：配膳コーナー

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 3

部屋名：配膳コーナー

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 4

部屋名：和室A

撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 4

部屋名：和室A

撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 4

部屋名：和室A

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 4

部屋名：和室A

撮影状況：内観③

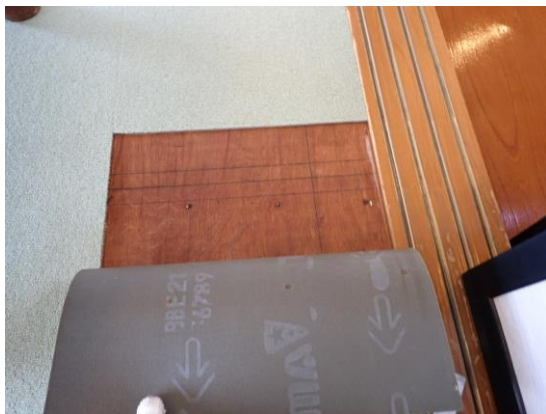
道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 5

部屋名：和室B

撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 5

部屋名：和室B

撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 5

部屋名：和室B

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 5

部屋名：和室B

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 6

部屋名：交流研修室

撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 6

部屋名：交流研修室

撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 6

部屋名：交流研修室

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 6

部屋名：交流研修室

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 7

部屋名：厨房

撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 7

部屋名：厨房

撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 7

部屋名：厨房

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 7

部屋名：厨房

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 8

部屋名：通路

撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 8

部屋名：通路

撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 8

部屋名：通路

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 8

部屋名：通路

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 9

部屋名：食品庫

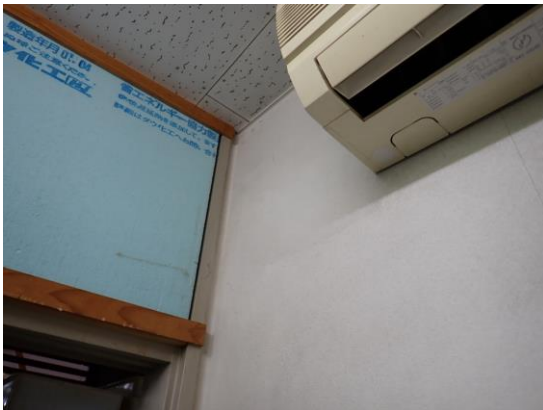
撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 9

部屋名：食品庫

撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 9

部屋名：食品庫

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 9

部屋名：食品庫

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 10

部屋名：休憩室

撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 10

部屋名：休憩室

撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 10

部屋名：休憩室

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 10

部屋名：休憩室

撮影状況：内観③

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 11

部屋名：前室

撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 11

部屋名：前室

撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 11

部屋名：前室

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 11

部屋名：前室

撮影状況：内観③

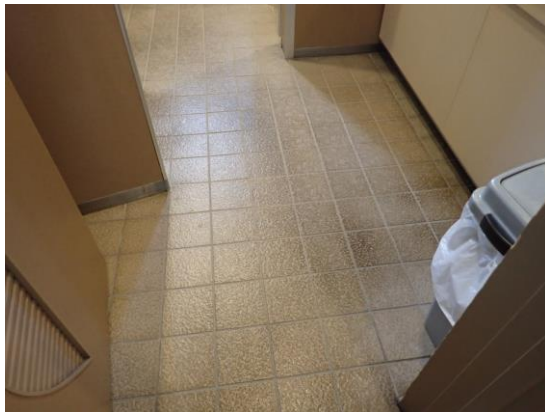
道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 12

部屋名：男子便所

撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 12

部屋名：男子便所

撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 12

部屋名：男子便所

撮影状況：内観②

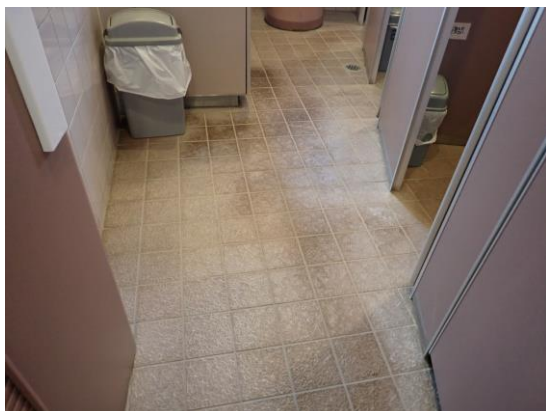


調査箇所：2F No. 13

部屋名：女子便所

撮影状況：全景

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 13

部屋名：女子便所

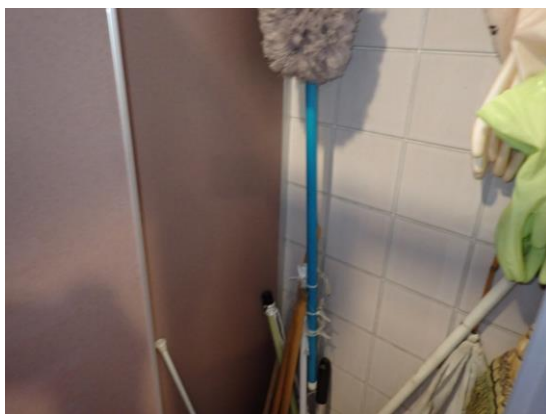
撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 13

部屋名：女子便所

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 13

部屋名：女子便所

撮影状況：内観③



調査箇所：2F No. 14

部屋名：車椅子便所

撮影状況：全景

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 14

部屋名：車椅子便所

撮影状況：内観①



調査箇所：2F No. 14

部屋名：車椅子便所

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 15

部屋名：倉庫

撮影状況：全景



調査箇所：2F No. 15

部屋名：倉庫

撮影状況：内観①

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：2F No. 15

部屋名：倉庫

撮影状況：内観②



調査箇所：2F No. 15

部屋名：倉庫

撮影状況：内観③



調査箇所：他 他1

箇所名：E V

撮影状況：全景



調査箇所：他 他1

箇所名：E V

撮影状況：内観①

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：他 他2

箇所名：階段室

撮影状況：全景



調査箇所：他 他2

箇所名：階段室

撮影状況：内観①



調査箇所：外部A

箇所名：屋根

撮影状況：外観



調査箇所：外部A

箇所名：屋根

撮影状況：近景

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：外部B

箇所名：破風鼻カクシ

撮影状況：外観



調査箇所：外部B

箇所名：破風鼻カクシ

撮影状況：近景



調査箇所：外部C

箇所名：軒天井

撮影状況：外観



調査箇所：外部C

箇所名：軒天井

撮影状況：近景①

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：外部C

箇所名：軒天井

撮影状況：近景②



調査箇所：外部D

箇所名：外壁

撮影状況：外観



調査箇所：外部D

箇所名：外壁

撮影状況：近景



調査箇所：外部E

箇所名：基礎

撮影状況：外観

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：外部E

箇所名：基礎

撮影状況：近景①



調査箇所：外部E

箇所名：基礎

撮影状況：近景②



調査箇所：外部F

箇所名：ポーチ

撮影状況：外観



調査箇所：外部F

箇所名：ポーチ

撮影状況：近景①

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：外部F

箇所名：ポーチ

撮影状況：近景②



調査箇所：外部G

箇所名：屋外スペース

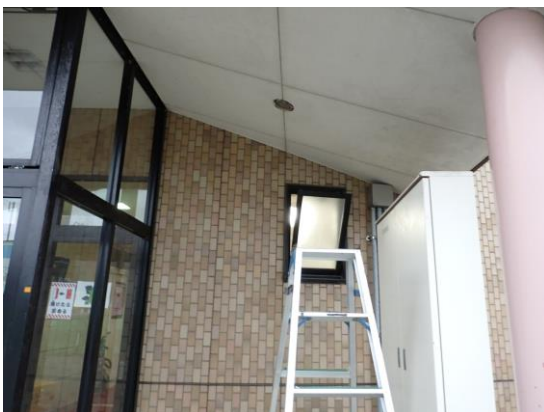
撮影状況：外観



調査箇所：外部G

箇所名：屋外スペース

撮影状況：近景①



調査箇所：外部G

箇所名：屋外スペース

撮影状況：近景②

道の駅おがち「小町の郷」 現況写真



調査箇所：外部H

箇所名：犬走り

撮影状況：外観



調査箇所：外部H

箇所名：犬走り

撮影状況：近景

道の駅おがち「小町の郷」 建材採取



試料番号: No. 1

採取場所: 外部E 基礎

採取建材名: 複層塗材E①

※採取場所訂正



試料番号: No. 1

採取場所: 外部E 基礎

採取建材名: 複層塗材E②

※採取場所訂正



試料番号: No. 1

採取場所: 外部E 基礎

採取建材名: 複層塗材E③

※採取場所訂正

道の駅おがち「小町の郷」 建材採取



試料番号：No. 2

採取場所：外部E 基礎

採取建材名：下地調整材①

※採取場所訂正



試料番号：No. 2

採取場所：外部E 基礎

採取建材名：下地調整材②

※採取場所訂正



試料番号：No. 2

採取場所：外部E 基礎

採取建材名：下地調整材③

※採取場所訂正

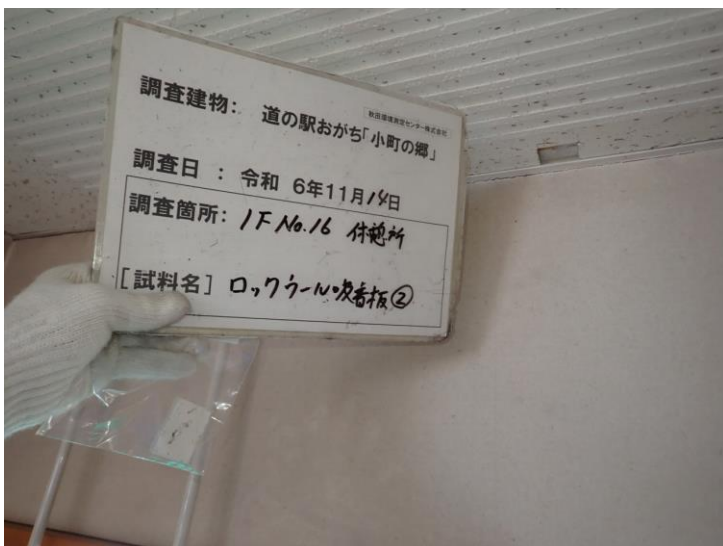
道の駅おがち「小町の郷」 建材採取



試料番号：No. 3

採取場所：1F No. 5 事務室

採取建材名：ロックウール吸音板①



試料番号：No. 3

採取場所：1F No. 16 休憩所

採取建材名：ロックウール吸音板②

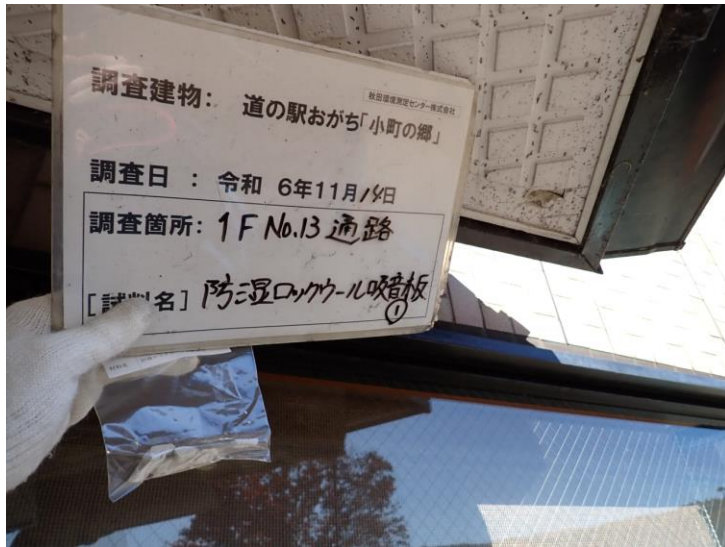


試料番号：No. 3

採取場所：2F No. 11 前室

採取建材名：ロックウール吸音板③

道の駅おがち「小町の郷」 建材採取



試料番号 : No. 4

採取場所 : 1F No.13 通路

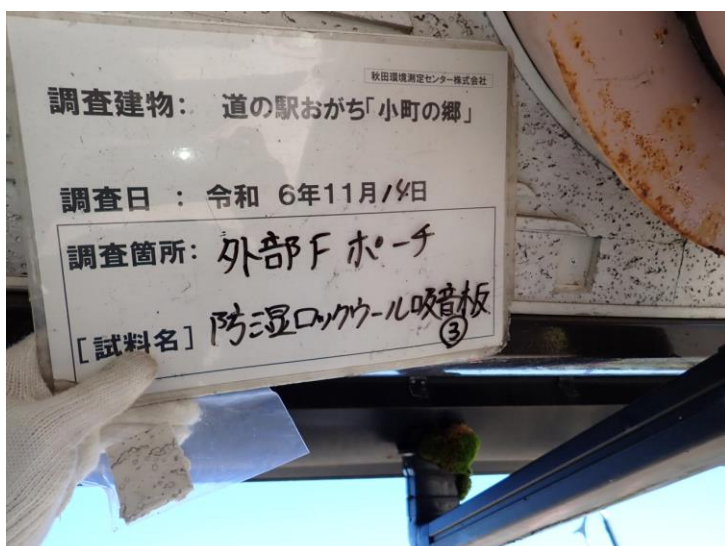
採取建材名 : 防湿ロックウール吸音板①



試料番号 : No. 4

採取場所 : 外部C 軒天井

採取建材名 : 防湿ロックウール吸音板②



試料番号 : No. 4

採取場所 : 外部F ポーチ

採取建材名 : 防湿ロックウール吸音板③

道の駅おがち「小町の郷」 建材採取



試料番号: No. 5

採取場所: 外部E 基礎

採取建材名: モルタル①



試料番号: No. 5

採取場所: 外部E 基礎

採取建材名: モルタル②



試料番号: No. 5

採取場所: 外部G 屋外スペース

採取建材名: モルタル③

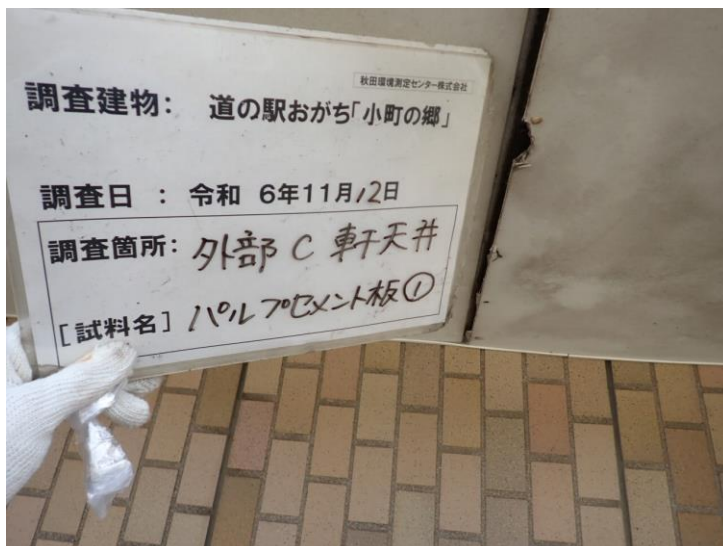
道の駅おがち「小町の郷」 建材採取



試料番号：No. 6

採取場所：1F No.10 男子便所

採取建材名：リブラス①



試料番号：No. 7

採取場所：外部C 軒天井

採取建材名：パルプセメント板①

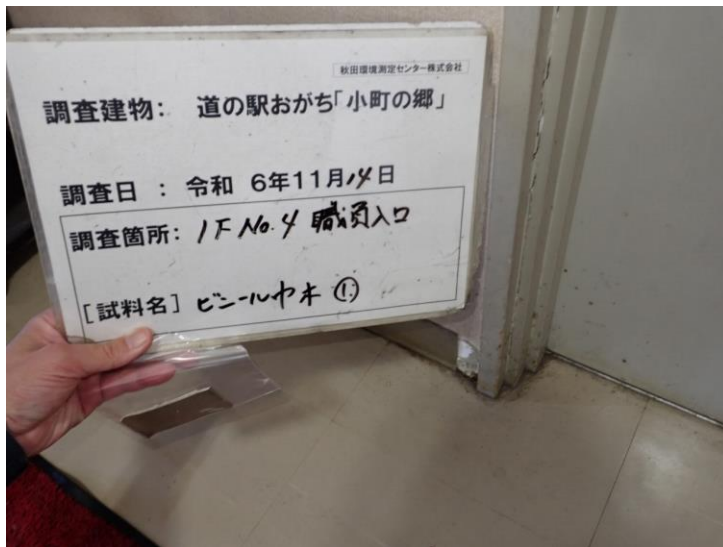


試料番号：No. 7

採取場所：外部C 軒天井

採取建材名：パルプセメント板②

道の駅おがち「小町の郷」 建材採取



試料番号: No. 8

採取場所: 1F No. 4 職員入口

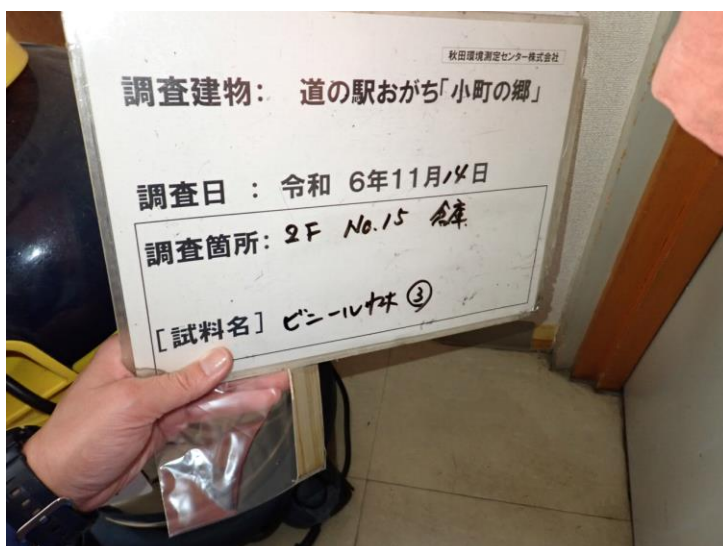
採取建材名: ビニール巾木①



試料番号: No. 8

採取場所: 1F No. 18 倉庫

採取建材名: ビニール巾木②

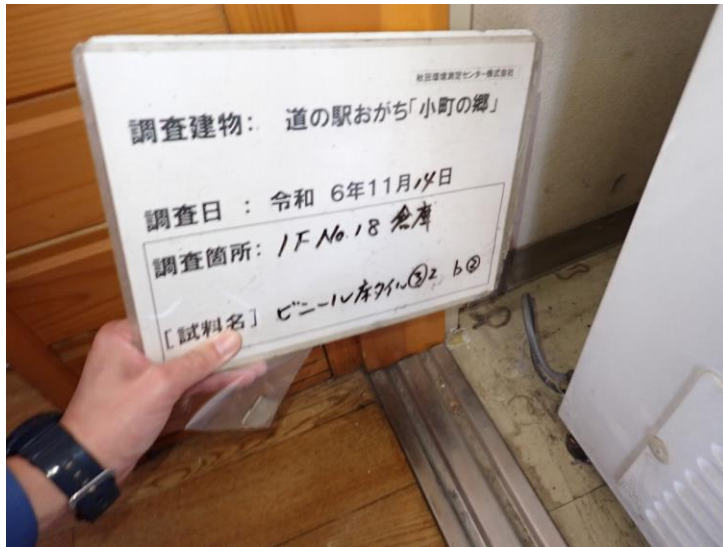


試料番号: No. 8

採取場所: 2F No. 15 倉庫

採取建材名: ビニール巾木③

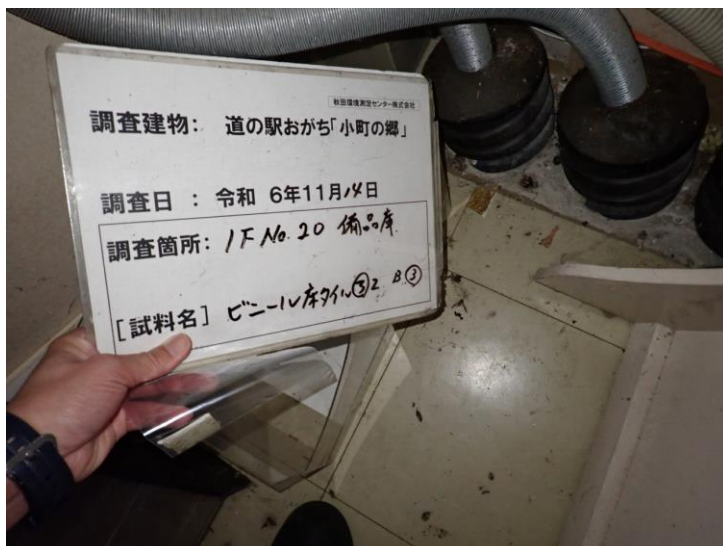
道の駅おがち「小町の郷」 建材採取



試料番号: No. 9

採取場所: 1F No. 18 倉庫

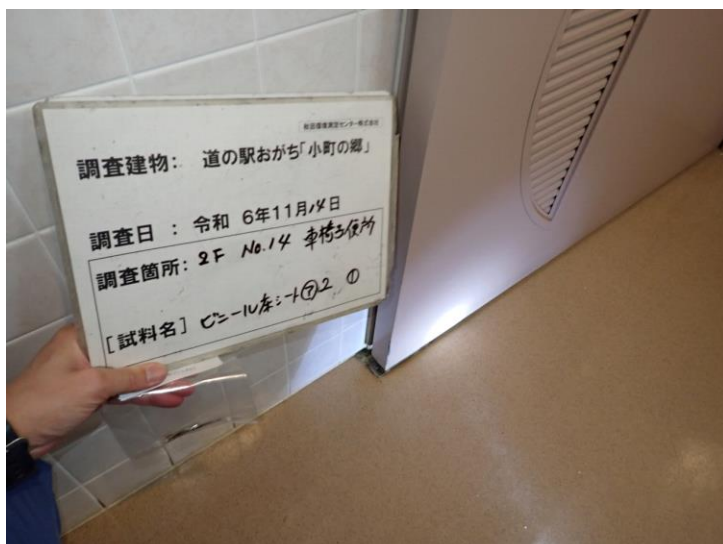
採取建材名: ビニール床タイル㊦2 b㊸



試料番号: No. 9

採取場所: 1F No. 20 備品庫

採取建材名: ビニール床タイル㊦2 b㊸

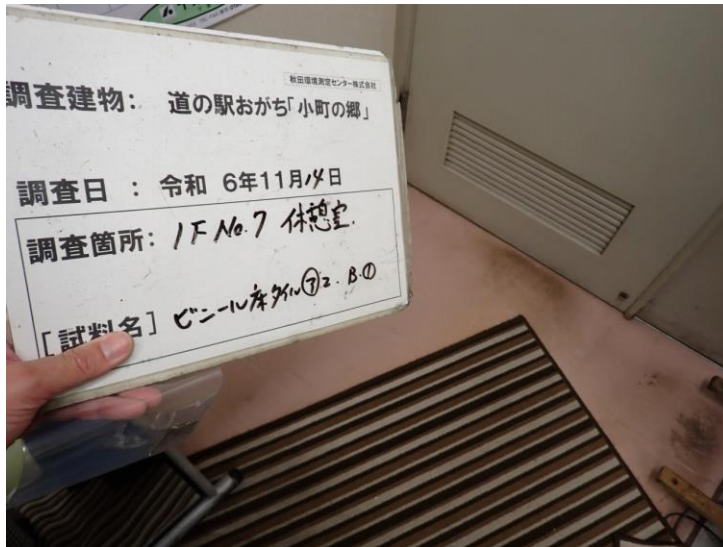


試料番号: No. 10

採取場所: 2F No. 14 車椅子便所

採取建材名: ビニール床シート㊦2 ㊸

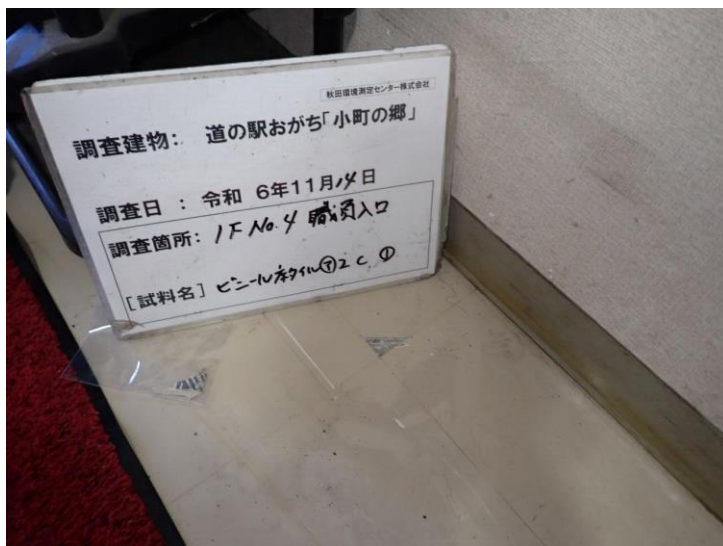
道の駅おがち「小町の郷」 建材採取



試料番号: No. 11

採取場所: 1F No. 7 休憩室

採取建材名: ビニール床タイル㊦2 B①

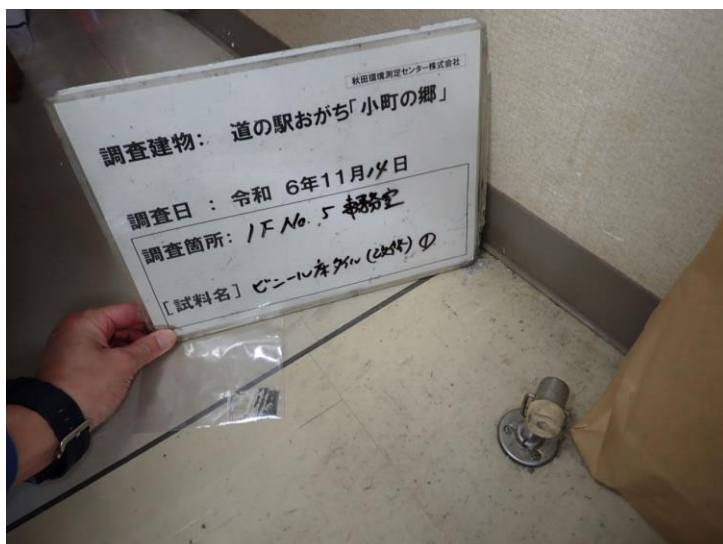


試料番号: No. 11

採取場所: 1F No. 4 職員入口

採取建材名: ビニール床タイル㊦2 B②

※検体名変更



試料番号: No. 11

採取場所: 1F No. 5 事務室

採取建材名: ビニール床タイル㊦2 B③

※検体名変更

道の駅おがち「小町の郷」 建材採取



試料番号: No. 12

採取場所: 1F No. 8 倉庫

採取建材名: ビニール床タイル㊦2 C①

※検体名変更



試料番号: No. 12

採取場所: 2F No. 15 倉庫

採取建材名: ビニール床タイル㊦2 C①

※検体名変更



試料番号: No. 13

採取場所: 1F No. 2 生産物直売施設

採取建材名: ビニール床タイル㊦3 A①

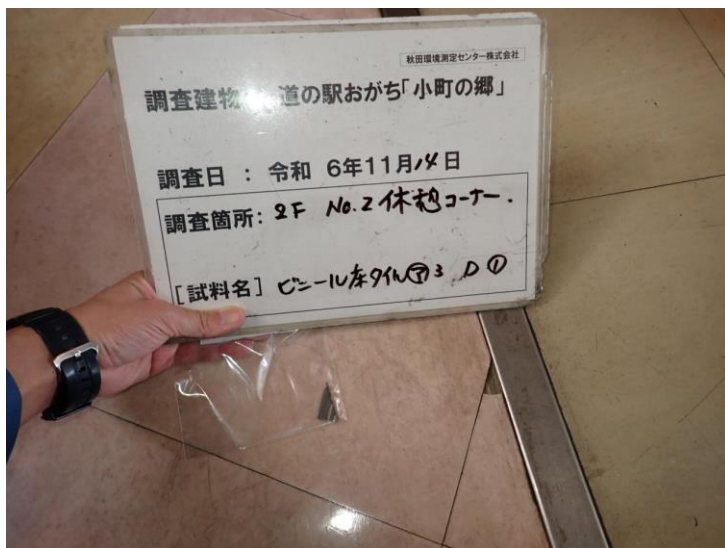
道の駅おがち「小町の郷」 建材採取



試料番号: No. 13

採取場所: 1F No. 2 生産物直売施設

採取建材名: ビニール床タイル㊦3 A②



試料番号: No. 14

採取場所: 2F No. 1 食材供給施設

採取建材名: ビニール床タイル㊦3 D①



試料番号: No. 14

採取場所: 2F No. 2 休憩コーナー

採取建材名: ビニール床タイル㊦3 D②

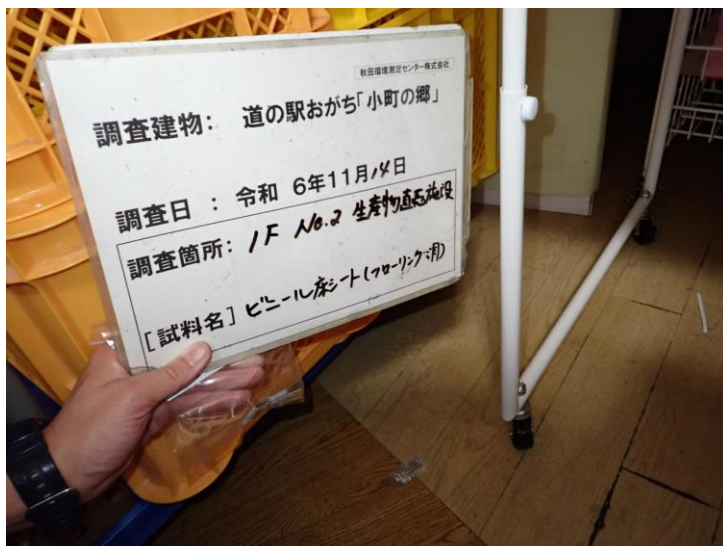
道の駅おがち「小町の郷」 建材採取



試料番号 : No. 15

採取場所 : 1F No.16 休憩所

採取建材名 : クッションフロア①



試料番号 : No. 16

採取場所 : 1F No.2 生産物直売施設

採取建材名 : ビニール床シート
(フローリング調)①



試料番号 : No. 17

採取場所 : 1F No.2 生産物直売施設

採取建材名 : ビニール床シート
(マarmor調)①

道の駅おがち「小町の郷」 石綿含有建材事例写真



建材名：アスファルトフェルト

1F No.10 男子便所

※点検口より確認



建材名：アスファルトフェルト

1F No.26 男子便所

※点検口より確認



建材名：ケイ酸カルシウム板

1F No.10 男子便所

※点検口より確認



建材名：ケイ酸カルシウム板

外部G 屋外スペース

道の駅おがち「小町の郷」 石綿含有建材事例写真



建材名：パルプセメント板

外部C 軒天井



建材名：ビニール巾木

1F No.5 事務室 等



建材名：ビニール床シート(フローリング調)

1F No.2 生産物直売施設



建材名：ビニール床シート(マール調)

1F No.2 生産物直売施設

道の駅おがち「小町の郷」 石綿含有建材事例写真



建材名：ビニール床シート（休憩室改修）

2F No.7 休憩室



建材名：ビニール床タイル（更衣室改修）

1F No.6 更衣室



建材名：ビニール床タイル㊦2 B

1F No.4 職員入口



建材名：ビニール床タイル㊦2 B

1F No.7 休憩室

道の駅おがち「小町の郷」 石綿含有建材事例写真



建材名：ビニール床タイル㊦3 A

1F No.2 生産物直売施設



建材名：ビニール床タイル㊦3 A

1F No.9 前室



建材名：ビニール床タイル㊦3 D

2F No.1 食材供給施設



建材名：ビニール床タイル㊦3 D

他2 階段室

道の駅おがち「小町の郷」 石綿含有建材事例写真



建材名：リブラス

1F No.10 男子便所



建材名：ルーフィング

外部A 屋根

※屋根下地として設計図書に記載



建材名：ルーフィング

外部F ポーチ

※屋根下地として存在



建材名：押出成形セメント板

1F No.3 風除室B

※タイルの下地として存在

道の駅おがち「小町の郷」 石綿含有建材事例写真



建材名：押出成形セメント板

外部D 外壁

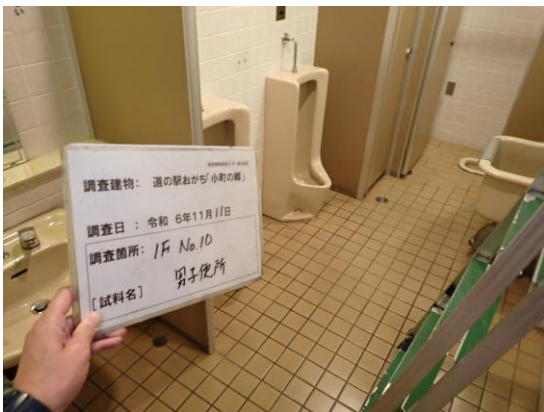
※外壁の下地として存在



建材名：下地調整材

外部E 基礎

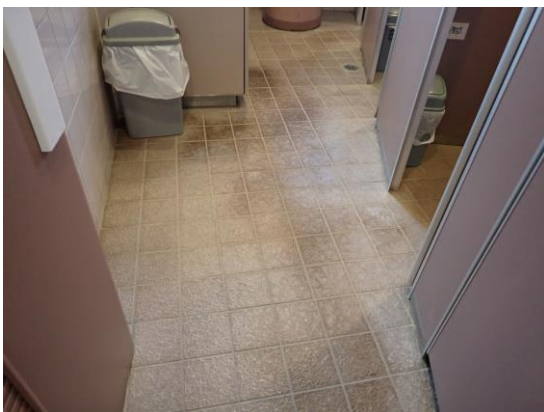
※外壁仕上塗材の下地として存在



建材名：塗膜防水

1F No.10 男子便所

※タイル下地として設計図書に記載



建材名：塗膜防水

2F No.13 女子便所

※タイル下地として設計図書に記載

道の駅おがち「小町の郷」 石綿含有建材事例写真



建材名：湯沸器（97年製、パロマ）

1F No.5 事務室



建材名：100角タイル

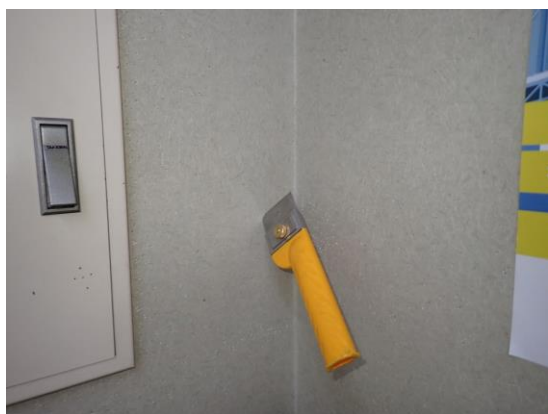
1F No.17 シャワー室



建材名：FG. PB㉔5

外部F ポーチ

※天井の防湿ロックウール吸音板の
下地として存在



建材名：PB

1F No.16 休憩所



建材名：PB（不燃）㉔12.5

2F No.15 倉庫



建材名：PB㊦12.5

1F No.2 生産物直売施設

※壁下地として存在



建材名：PB㊦9.5

1F No.2 生産物直売施設

※天井下地として存在



建材名：PEシート

1F No.5 事務室



建材名：ウレタン吹付

1F No.2 生産物直売施設

※天井裏で確認

道の駅おがち「小町の郷」

無石綿建材（石綿疑義）事例写真



建材名：カーペット

1F No.16 休憩所



建材名：カラーステンレスシート防水 ϕ 0.4

外部F ポーチ



建材名：カラー鉄板
(カラー鉄板 ϕ 0.4を含む)

外部A 屋根



建材名：カラー鉄板
(カラー鉄板 ϕ 0.4を含む)

外部B 破風鼻隠し



建材名：カラー舗装㊦3

外部H 犬走り



建材名：ガラスクロス吸音板㊦50

1F No.12 EV機械室



建材名：クッションフロア

1F No.16 休憩所



建材名：グラスウールマット

2F No.8 通路

※天井裏で確認



建材名：グラスウール保温材

1F No.2 生産物直売施設



建材名：クロス

1F No.29 脱衣室



建材名：クロス A

1F No.2 生産物直売施設



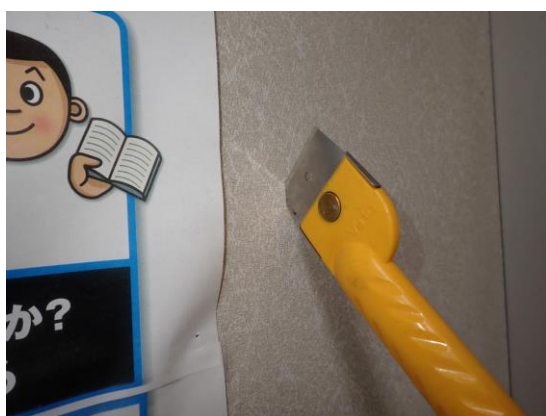
建材名：クロス B

1F No.2 生産物直売施設



建材名：クロス C

1F No.6 更衣室



建材名：クロス D

1F No.7 休憩室



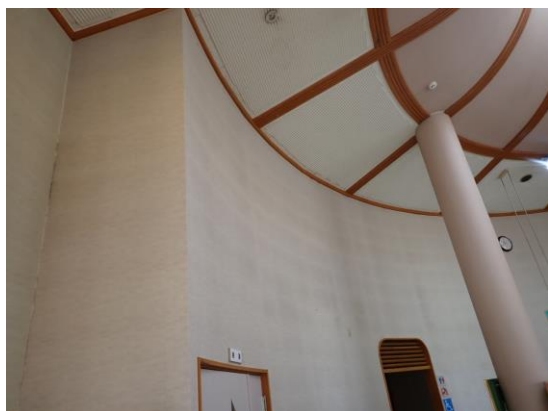
建材名：クロス E

1F No.8 倉庫



建材名：クロス F

2F No.11 前室



建材名：クロス H

2F No.1 食材供給施設



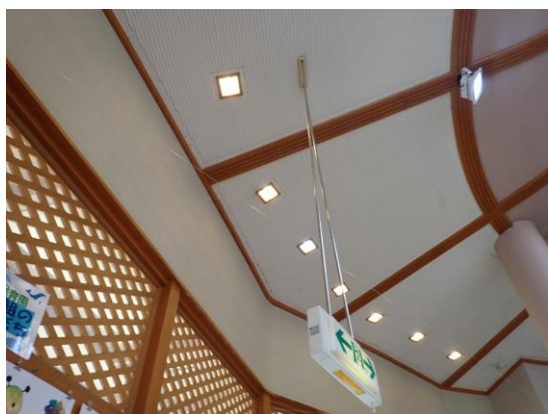
建材名：クロス I

2F No.6 交流研修室



建材名：クロス J

2F No.8 通路



建材名：クロス K

2F No.1 食材供給施設



建材名：クロス L1
クロス L2

2F No.5 和室B



建材名：クロス（授乳室）

1F No.16 休憩所



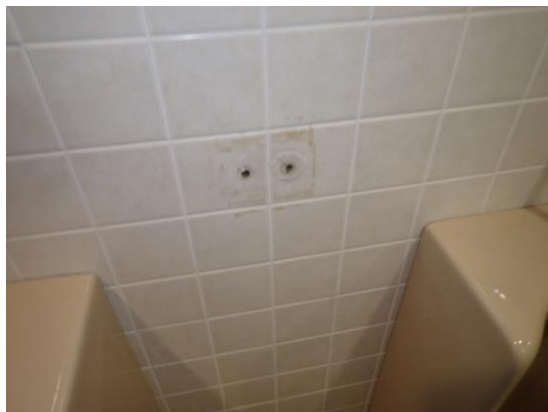
建材名：クロス（職員入口改修）

1F No.4 職員入口



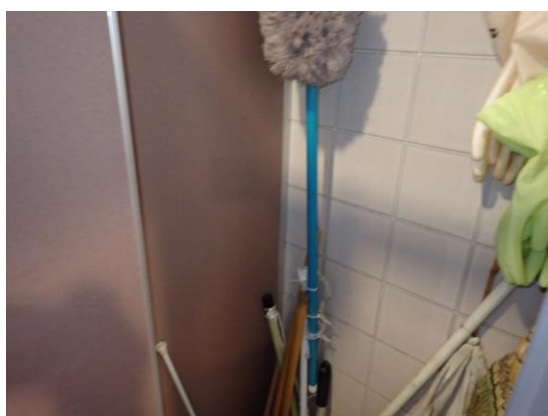
建材名：コンクリート
（コンクリート金ゴテを含む）

1F No.1 風除室A



建材名：タイル 100角

1F No.10 男子便所



建材名：タイル 150角

2F No.13 女子便所



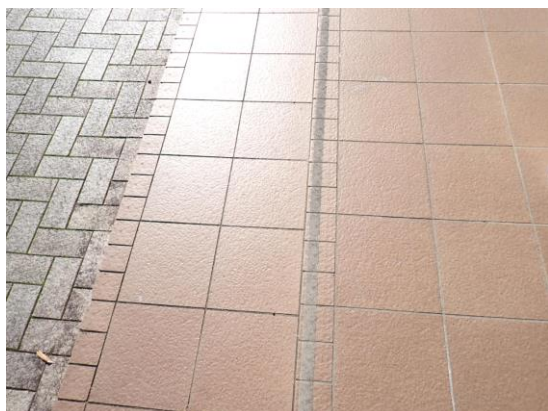
建材名：タイルカーペット㊦6.5

1F No.7 休憩室



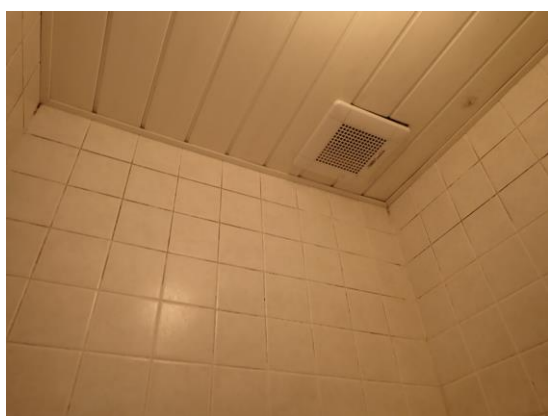
建材名：テラゾータイル

1F No.13 通路



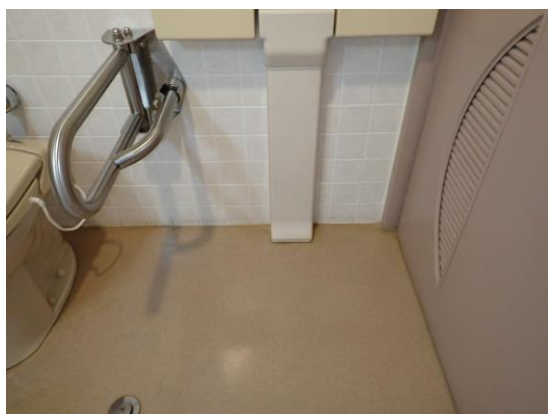
建材名：ノンスリップタイル

1F No.13 通路



建材名：バスリブ W=100

1F No.17 シャワー室



建材名：ビニール床シート㊦2

2F No.14 車椅子便所



建材名：ビニール床タイル㊦2 b

1F No.18 倉庫



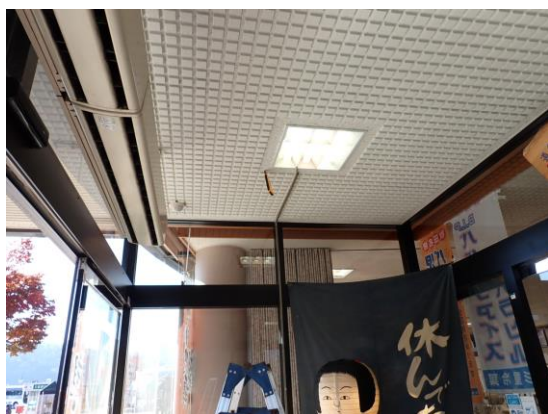
建材名：ビニール床タイル㊦2 C

1F No.8 倉庫



建材名：モルタル

外部G 屋外スペース



建材名：ロックウール吸音板

1F No.1 風除室A



建材名：化粧PB㊦9.5

1F No.4 職員入口



建材名：型枠用合板㊦12
(合板を含む)

2F No.5 和室B



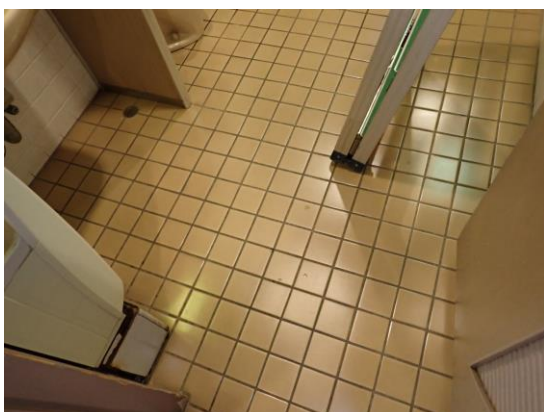
建材名：雑巾摺

2F No.5 和室B



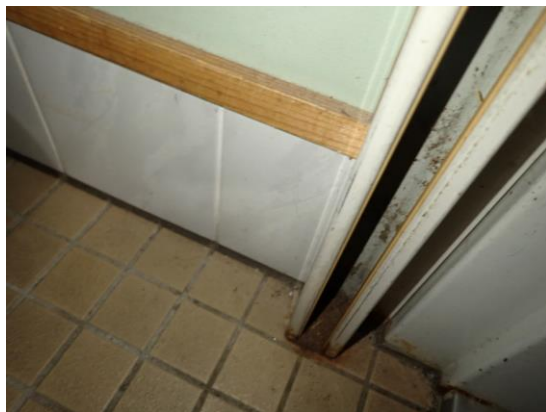
建材名：磁器300角タイル

外部F ポーチ



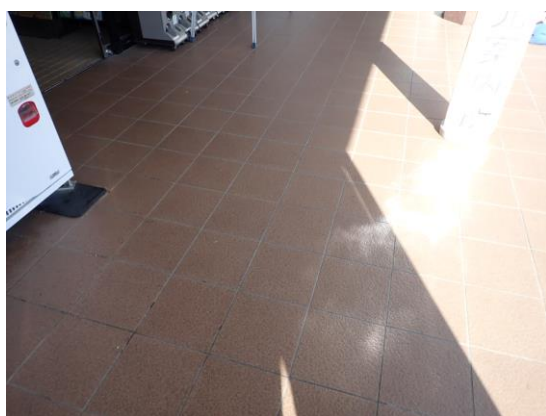
建材名：磁器タイル100角

1F No.10 男子便所



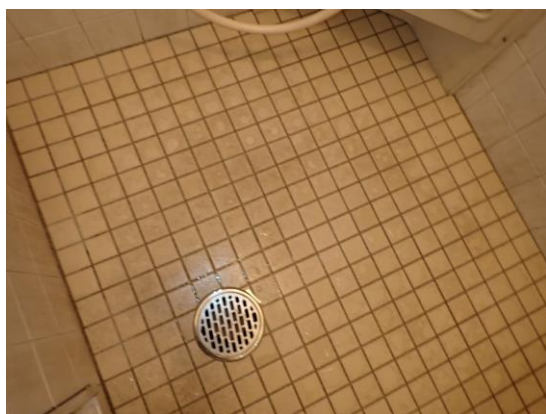
建材名：磁器タイル150角

1F No.28 物入



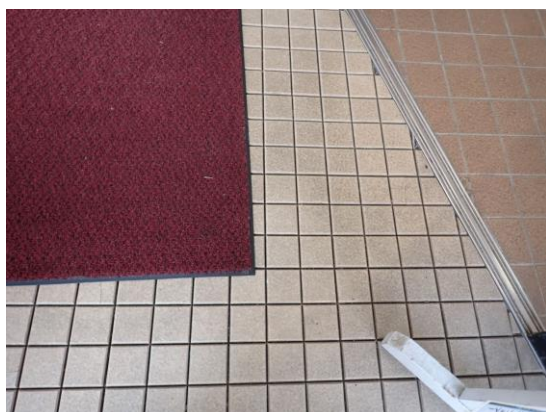
建材名：磁器タイル300角

1F No.13 通路



建材名：磁器タイル50角

1F No.17 シャワー室



建材名：磁器ユニットタイル100角

1F No.15 風除室2



建材名：集成材
(ボーダー、H=100含む)

1F No.16 休憩所



建材名：小口タイル

外部D 外壁



建材名：耐火2層管

1F No.8 倉庫



建材名：耐火野地板（高圧木毛セメント板）

外部A 屋根

※設計図書に屋根下地の記載あり

道の駅おがち「小町の郷」

無石綿建材（石綿疑義）事例写真



建材名：耐水PB⑦9.5

1F No.13 通路

※天井下地として存在



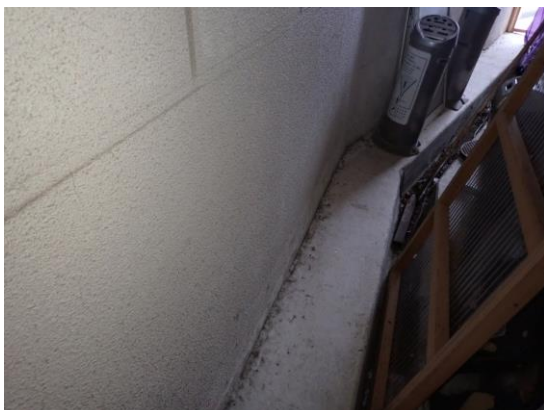
建材名：塗床（ノンスリップ）

2F No.7 厨房



建材名：湯沸器（2014年製、ノーリツ製）
湯沸器（2021年製、ノーリツ製）

2F No.7 厨房



建材名：複層塗材E

外部D 外壁

道の駅おがち「小町の郷」

無石綿建材（石綿疑義）事例写真



建材名：防湿ロックウール吸音板

1F No.13 通路



建材名：防塵塗料

1F No.12 EV機械室



建材名：木毛セメント板㊦25

他 他1 EV

※設計図書にEVシャフト建材として記載



建材名：木枠床下地

2F No.5 和室B

※設計図書に床下地として記載

道の駅おがち「小町の郷」 無石綿建材（石綿疑義）事例写真



建材名：流し台（ステンレス製）

2F No.7 厨房

Ⅲ. 添付資料及び建材毎の診断詳細

添付1

発行・登録日

題名	公開されている材料名などの情報から現時点では一般的に石綿含有せず			
資料出典	ー			
出典元URL				
該当建材	書面調査で該当する材料			
	EP	O S L	カーペット	
	ガラスステンレスシート防水㊦0.4	カラー鉄板	カラー鉄板㊦0.4	
	カラー舗装㊦3	ステンレス（SUS304）曲げ加工	タイルカーペット㊦6.5	
	バスリブ W=100	ポリフォーム㊦4	雑巾摺	
	塗床（ノンスリップ）	防塵用塗床（硬質ウレタン）		
	調査内容 ・結果	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
		EP	O S L	カーペット
		ガラスステンレスシート㊦0.4	カラー鉄板	カラー鉄板㊦0.4
		カラー舗装㊦3	ステンレス（SUS304）曲げ加工	タイルカーペット㊦6.5
バスリブ W=100		ポリフォーム㊦4	雑巾摺	
塗床（ノンスリップ）		防塵塗料		

金属類やガラスなど、高温での製造過程で石綿含有していれば変質し、石綿の形態を維持することが考えられず、また不純物となるため、含有することは考えられない。また、木材（合板を含まない）や石などは天然物であるため、一般的には石綿が取り込まれることは考えられない。また、塗料などは膜厚が薄く、石綿含有の場合外観が損ねるため、特殊塗料を除いて一般塗料では含有させる理由は考えにくい。よって、これらのものは無石綿と判定する。

添付2

発行・登録日

R5/8/11

題名	石綿ビニル二層管		
資料出典	国土交通省・経済産業省 石綿（アスベスト）含有建材データベース		
出典元URL	https://asbestos-database.jp/search/?home=1&searchClick=0&offset=0&searchTxt=&action=search&searchRange%5B%5D=kenzaimei&searchRange%5B%5D=productName&searchRange%5B%5D=meKaSeizoMeisho&searchRange%5B%5D=meKaMeisho&searchRange%5B%5D=kataban&kenzaimei=%E7%9F%B3%E7%B6%BF%E3%83%93%E3%83%8B%E3%8		
該当建材	書面調査で該当する材料		
	該当なし		
	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです	耐火2層管	
調査内容・結果	目視調査の結果、建物に使用された耐火2層管は建設大臣認定番号第571号であり、石綿データベースを基に石綿非含有と判定した。		

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。
※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。
詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

検索条件

フリーワード：
フリーワードの対象：建材名（一般名）、商品名、製造時メーカー名、現在メーカー名、型番・品番
施工年・改修年：指定なし
建材名（一般名）：石綿ビニル二層管
施工部分・使われ方（外装材）：
施工部分・使われ方（内装材）：
施工部分・使われ方（耐火被覆材）：
施工部分・使われ方（設備）：
施工部分・使われ方（その他）：
施工部分・使われ方（使われ方）：
不燃材料等認識番号：No.
削除済みデータ：含めずに検索する

検索結果

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
浅野換気用耐火パイプ	石綿ビニル二層管		浅野スレート（株）	1981 ～ 1988	2～15	白石綿	建設省玉住指 発 No. 36	
浅野耐火パイプ	石綿ビニル二層管		浅野スレート（株）	1981 ～ 1988	2～15	白石綿	建設省玉住指 発 No. 42	
トミジパイプA	石綿ビニル二層管		東亜石綿工業（株）	1974 ～ 1977	14	白石綿	建設省東住指 発 No. 2291	
トミジパイプA	石綿ビニル二層管		東亜石綿工業（株）	1977 ～ 1980	14	白石綿	建設省東住指 発 No. 1041	
トミジパイプ	石綿ビニル二層管		トーアトミジ（株）	1980 ～ 1984	14	白石綿	建設省東住指 発 No. 249	
トミジパイプB	石綿ビニル二層管		トーアトミジ（株）	1984 ～ 1987	5	白石綿	建設省東住指 発 No. 37	
トミジ換気用耐火二層管	石綿ビニル二層管		トーアトミジ（株）	1984 ～ 1987	5	白石綿	建設省東住指 発 No. 285	

注）右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

添付3

発行・登録日 R5/8/3

題名	アスベスト非含有建材		
資料出典	国土交通省・経済産業省 石綿（アスベスト）含有建材データベース		
出典元URL	https://asbestos-database.jp/kenzai/non-containing		
該当建材	書面調査で該当する材料		
	ガラスクロス吸音板㊦50	コンクリート	コンクリート金ゴテ
	コンクリート金ゴテ B	テラゾータイル	型枠用合板㊦12
	合板	集成材（ボーダー）	集成材H=100
	耐火野地板（高圧木毛セメント板）	木毛セメント板㊦25	木枠床下地
	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
	PEシート	ウレタン吹付	ガラスクロス吸音板㊦50
	グラスウールマット	グラスウール保温材	コンクリート
	コンクリート金ゴテ	コンクリート金ゴテ B	テラゾータイル
	フローリング	型枠用合板㊦12	合板
	集成材（ボーダー）	集成材H=100	耐火野地板（高圧木毛セメント板）
	木毛セメント板㊦25	木枠床下地	
調査内容・結果	これらの建材は「原材料に石綿を必要としない建材」である。該当したものは全て無石綿と判定した。		



ホーム ▶ [建材名（一般名）とは](#) ▶ [アスベスト非含有建材](#)

アスベスト非含有建材

建材名(一般名)とは

以下の建材は原材料に石綿（アスベスト）を必要としません

- | | | |
|--|------------------------------------|--|
| ▶ 合成高分子系ルーフィングシート
(JIS A 6008該当品) | ▶ 建築用塗膜防水材（ウレタン防水） | ▶ 粘土がわら |
| ▶ ポリカーボネート板（波板、中空板、折板） | ▶ 硬質塩化ビニル板 | ▶ FRP（ガラス繊維強化プラスチック） |
| ▶ 硬質塩化ビニル雨どい | ▶ 透湿防水シート | ▶ 樹脂サイディング |
| ▶ 木質系セメント板 | ▶ テラゾタイル | ▶ 軽量気泡コンクリートパネル（ALCパネル） |
| ▶ 火山性ガラス質複層板（V S ボード） | ▶ 繊維板（ハードボード、
インシュレーションボード、MDF） | ▶ パーティクルボード |
| ▶ プリント合板 | ▶ メラミン樹脂化粧板 | ▶ 塩化ビニル化粧板 |
| ▶ ポリエステル化粧合板 | ▶ カラー塗装合板 | ▶ オレフィン化粧合板 |
| ▶ グラスウール（人造鉱物繊維保温材） | ▶ 硬質ウレタンフォーム保温材 | ▶ セルローズファイバー
(吹込み用繊維質断熱材) |
| ▶ グラスウール（吹込み用繊維質断熱材） | ▶ ロックウール（吹込み用繊維質断熱材）
JIS A 9523 | ▶ ビーズ法ポリスチレンフォーム |
| ▶ 押出法ポリスチレンフォーム | ▶ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 | ▶ フェノールフォーム保温板 |
| ▶ 高性能フェノールフォーム保温板 | ▶ 高発泡ポリエチレン系断熱材 | ▶ ロックウール（人造鉱物繊維保温材）
JIS A9504 ウール 保温板、保温帯、
フェルト、ブランケット、保温筒 |
| ▶ 住宅用ロックウール断熱材〔マット〕
(住宅用人造鉱物繊維断熱材) JIS A 9521 | ▶ 浮き床用ロックウール緩衝材
(ロックウールボード) | ▶ 屋上緑化植物栽培用ロックウール
(ロックウールベッドポット等) |
| ▶ 稲わら畳床及び稲わらサンドウィッチ畳床 | ▶ ポリスチレンフォームサンドウィッチ畳床 | ▶ インシュレーションファイバーボード
サンドウィッチ畳床 |
| ▶ 建材畳床 | ▶ コルクタイル
(天然コルクタイルコルクフローリング) | ▶ モザイクパーケット |
| ▶ 複合フローリング | ▶ 防音直張りフローリング | ▶ (複合フローリング) |
| ▶ 床暖房用フローリング | ▶ 防腐土台 | ▶ 防腐木材 |
| ▶ 防腐集成材 | ▶ 合板 | ▶ 集成材 |
| ▶ 木製建具 | ▶ ガラス | ▶ 建築用ガスケット
(サッシ用グレイジングガスケット、
気密ガスケット、目地ガスケット) |
| ▶ 構造用軽量コンクリート骨材
(人工軽量骨材) (軽量コンクリート材料) | ▶ セメント | ▶ 地盤改良材 |
| ▶ ガラス繊維補強セメント（GRC） | ▶ 建築用コンクリートブロック | ▶ 平板 |
| ▶ 視覚障害者用誘導ブロック | ▶ 車止めブロック | ▶ 境界ブロック |
| ▶ U型蓋 | ▶ 皿形側溝 | ▶ 階段ブロック |
| ▶ L形ブロック | ▶ 樹蓋 | ▶ 笠石、プランター |
| ▶ ベンチ・スツール | | |

添付4

発行・登録日 R5/8/11

題名	全国タイル業協会Q & A		
資料出典	全国タイル業協会HPより		
出典元URL	https://www.tile-net.com/faq/		
該当建材	書面調査で該当する材料		
	100角タイル	タイル 100角	タイル 150角
	ノンスリップタイル	磁器300角タイル	磁器タイル100角
	磁器タイル100角 A	磁器タイル150角	磁器タイル150角H=150
	磁器タイル300角	磁器タイル50角	磁器ユニットタイル100角
	小口タイル		
	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
	100角タイル	タイル 100角	タイル 150角
	ノンスリップタイル	磁器300角タイル	磁器タイル100角
	磁器タイル100角 A	磁器タイル150角	磁器タイル150角H=150
	磁器タイル300角	磁器タイル50角	磁器ユニットタイル100角
	小口タイル		
調査内容・結果	該当するタイルが現場に存在するか目視で確認する。協会の見解により磁器タイルには石綿含有しないため、該当するものは無石綿と判定した。		

建築設計に携わる方、住宅やビル・マンション等の建築をご計画中の皆さまに、タイルに関する情報をご提供いたします。



[Home](#) > よくある質問[タイル基礎編]

よくある質問 タイル基礎編

建材としてのタイルの特徴を簡単に教えてください。

陶磁器質タイルは、建築仕上り材として優れた性能を持っています。

- ①耐久性に優れ、自然環境に対して劣化・変色・変質がほぼない
- ②化学的安定性があり、酸やアルカリなど薬品に対してとても変質しにくい
- ③物理的安定性があり、耐熱性・耐火性・防水性に優れている
- ④耐摩耗性・清掃性に優れており、メンテナンスが容易である
- ⑤様々な風合いや色彩、形、材質感が表現できる豊かな意匠性を持っている
- ⑥世界中で愛されている素材。統計だけでも、毎年数十億平米が生産されています。
※ちなみに、日本では1人あたり年間0.5平米の利用に大して、アメリカでは1.05平米となっております。
- ⑦環境ホルモンはまったく発生しません。
このほかにも、お部屋の湿度を調節するタイルやセルフクリーニングタイルなど、機能性を兼ね備えたタイルも開発されています。

タイルって主にどんな大きさがありますか？

マンションでよく使われるサイズ、内装用、床タイルなどさまざまです。

マンションなどでよく使用されているのが50二丁(45二丁とも呼ばれる)タイルと呼ばれるもので、50角タイル2枚分の45mm×95mm(目地を含めた寸法で50mm×100mmを指す)サイズです。ほかにも45三丁(45mm×145mm)、45四丁(45mm×195mm)のサイズがあります。また、外壁によく使用される二丁掛、小口平タイルは、レンガのサイズを元に生まれたもので、二丁掛は、小口平タイル(60mm×108mm)2枚分の大きさに目地幅を加えた寸法とひとしくなります。60mm×227mmの寸法のタイルのことです。煉瓦の小口二つを合わせたものということが語源です。三丁掛は90mm×227mm、四丁掛は120mm×227mmとなります。
内装用のタイルでは、主要なもので100mm角や150mm角などがあります。小さいものでは10mm角や20mm角、丸形や六角形などさまざまなサイズや形状があり、個性的な空間を演出できます。
床タイルでは100角程度のものから600mm角を超える大形のものまであります。

基本的なモザイクタイルのユニットサイズを教えてください。

モザイクタイルのユニットについては、300mm×300mm(900cm²)が基本となります。

もともとタイルを外壁などに施工する場合、割り付け作業が必要となりますが、日本家屋の建築の場合、尺貫法で寸法が採られており、柱から柱までをタイル施工するとすれば、柱間は一間(6尺=6×303mm)ですので、6枚のユニットを割り付けるのがベストとなります。(床1坪の場合は36枚)
しかし最近では、家屋もメートル法で設計されることが多く、ユニットサイズもこれに合わせ300mm×300mmとなっています。

磁器、陶器、せつ(炆)器の違いを教えてください。

タイルは素地の粗密や気孔の多少などにより性質が分類されます。

それぞれの特徴は次のとおりです。

- (磁器) 素地は透明性があり、緻密で硬く、打てば金属製の清音を発する。破砕面は貝殻状を呈する。
(せつ(炆)器) 磁器のような透明性はないが、焼き締まっていて吸水性が小さい。
土物タイルはこの区分に入る。
(陶器) 素地は多孔質で吸水性が大きく、叩くと濁音を発する。

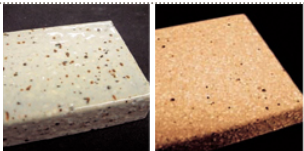
基本的には、吸水率が低いほど磁器の性質を現すことから、かつては、吸水率だけで分類されていましたが、最近の新製品では、技術発達もあり、吸水が高くても磁器の性質をもつものや、低くても陶器のような性質をもつものがあり、かならずしも吸水率だけで、磁器、陶器、せつ(炆)器と判断することは難しくなり、そもそも、吸水率で数居値を設けて、単純に磁器、陶

器、せつ(炻)器と区別するのは違うという判断もあり、それらに一線を設けた形となっています。磁器質、せつ(炻)器質は内・外装、床全てに使われますが、陶器質は内装に使われます。ただし、用途は使用部位、形状、重量などの要因によっても、向き不向きがありますので、メーカーに確認する必要があります。なお、2008年のJIS改正により測定方法が自然吸水から強制吸水へ変更されたため、磁器質、せつ器質などの呼び名からⅠ類～Ⅲ類という呼び名に変わりました。

JIS A 5209(2008)による 区分	吸水率 (%)	JIS A 5209(1994)による 区分	吸水率 (%)
Ⅰ類	3.0以下	磁器質	1.0以下
Ⅱ類	10.0以下	せつ器質	5.0以下
Ⅲ類	50.0以下	陶器質	22.0以下

施釉タイル・無釉タイルってなんですか？

タイルの表面に釉薬(うわぐすり)が施されているものを「施釉タイル」、釉薬の施されていないものを「無釉タイル」といいます。

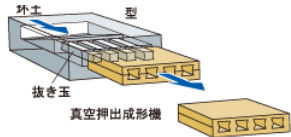


施釉タイル 無釉タイル

施釉タイルは、釉薬に含まれる顔料により表面の色をつくります。無釉タイルは粘土自体に含まれる鉄分などの呈色によるもの(土もの)と、白地の素地に顔料を添加配合して着色するもの(練り込み)があります。近年は技術の進歩により、両者の中間のようなものもあります。

湿式成形と乾式成形ってなんですか？

タイルの成型方法には主に2種類があります。



湿式成形



乾式成形

湿式成形とは、含水率の高い素地原料を押出成形機によって板状に押し出し、所定の形状・寸法に切断して成形する方法です。

乾式成形とは、微粉碎された含水率の低い素地原料を、高圧プレス成形機で所定の形状・寸法に成形する方法です。

タイルへのアスベストの混入はありますか？

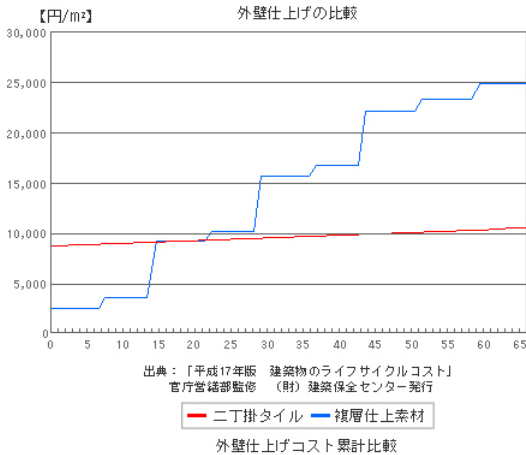
タイルへのアスベストの混入についてはありません。

タイルは茶碗や食器と同様、高温焼成の陶磁器質で、その原料にアスベストなど一切使われていません。

住宅外壁で、タイルか吹きつけ材、どちらの仕上げ方法がお得ですか？

タイルです。

タイルは、吹付け材に比べてイニシャルコストは高くなりますが、塗り替えが必要なく、補修・改修費用も少なくて済むため、新築から建物の寿命までのライフサイクルコストは安くなります。



添付5

発行・登録日

R2/5

題名	日本建築仕上材工業会の現会員会社が過去に製造したアスベスト含有塗材に関するアンケート調査結果			
資料出典	全国労働安全衛生センター連絡会議HPより 日本建築仕上材工業会資料			
出典元URL	https://joshrc.net/wp-content/uploads/2020/05/questionnaire.pdf			
該当建材	書面調査で該当する材料			
	モルタル	モルタル金ゴテ	モルタル防水	
	リプラス	複層塗材E		
	調査内容・結果	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
		該当なし		
現場施工されているモルタル類は目視調査で石綿含有の有無を判定できない。また、モルタルに石綿含有の場合は添付資料のようにモルタル混和剤由来や調合モルタルが使用の場合のため、建材分析で判定することとした。				

日本建築仕上材工業会の現会員会社が過去に製造したアスベスト含有塗材に関するアンケート調査結果

会社名	石綿含有製品	一般名		商品名	石綿の種類	販売開始年	販売終了年	石綿含有量(%)
アイカ工業(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
旭化成ケミカルズ(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
ボンタイル株式会社 旭硝子コートアンドレジン(株)1998年～ AGCコーテック(株)2007年～	有	仕上塗材	複層塗材E	ボンタイルF ※石綿の種類-1984年迄の種類不明、1985年以降は代替品LFC-3(化学名セ'オライト/トモライト3%含有)に切替え	左欄※に記載	1973	1999	約1.5
		仕上塗材	複層塗材E	ボンタイルP(デラックス)	同上	1973	1995	0.5～1.0未満
		仕上塗材	複層塗材RE	エポキシボンタイルスーパーホーロー	同上	1983	1988	0.5未満
		仕上塗材	複層塗材RE	エポキシボンタイル・プレミックス	同上	1980	1999	0.5未満
		仕上塗材	複層塗材CE	ボンタイル・スーパーC	同上	1980	1999	0.5未満
		仕上塗材	複層塗材CE	ボンタイルL	同上	1973	1977	0.5未満
		仕上塗材	複層塗材Si	ダイスボン	同上	1980	1999	0.5～1.0未満
		仕上塗材	防水形複層塗材E	ボンタイル弾性80(クレーター)	同上	1982	1988	0.5未満
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	ボンフィラー	同上	1980	1999	0.5未満
		仕上塗材	複層仕上塗材RS	エポキシボンタイルRS	白石綿	1976	1988	0.10～0.99%
亜細亜工業(株)	有	下地調整材	セメント系下地調整塗材	ポリバモルタルセメントパウダー	白石綿	1985	2005.1	6.23
		仕上塗材	複層塗材RS	アルトンエボA	白石綿	1976	1988.1	0.1～0.99
		仕上塗材	複層塗材RE	アルトンエボRE	白石綿	1978	1990.2	0.51～1.42
イサム塗料(株)	有	仕上塗材	複層塗材E	イサムマスチックタイル	白石綿	1970	1983	5
		仕上塗材	複層塗材E	アロンマスチックタイル	白石綿	1972	1975	3
		仕上塗材	複層塗材E	アロンマスチックタイルEC	白石綿	1976	1978	0.2～0.8
(株)石蔵商店	なし	—	—	—	—	—	—	—
イビケン(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
(株)梅彦2009年廃業	有	仕上塗材	内装薄塗材W	みやこ寿らく	白石綿	1970	1975	0.4～0.9
		仕上塗材	内装薄塗材W	メンテジュラク	白石綿	1984	1987	0.44～0.74
		仕上塗材	外装厚塗材C	Cモルホホワイト	白石綿	1982	1988	0.12
		仕上塗材	外装薄塗材C	Cロック	白石綿	1981	1988	0.4
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	UMボンドフィラーG/W	白石綿	1983	1991	0.88
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	UMボンドフィラーPG/PW	白石綿	1989	1994	0.48
宇部興産(株)	有	下地調整材	セメント系下地調整塗材	Uミックス#10	白石綿	2001	2004	1.8(推定)
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	Uミックス#20	白石綿	2001	2004	1.8(推定)
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	Uモル1	白石綿	2001	2004	1.8(推定)
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	Uミックス#11	白石綿	2001	2004	1.8(推定)
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	Uミックス#21	白石綿	2001	2004	1.8(推定)
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	Uミックス#10E	白石綿	2002	2004	1.4(推定)
(株)エービーシー商会	有	仕上塗材	軽量塗材	ミクライト	茶石綿	1965	1966	24.4
		仕上塗材	軽量塗材	ミクライト	茶石綿	1966	1971	17.5
		仕上塗材	軽量塗材	ミクライト	茶石綿	1971	1977	12.8
		仕上塗材	軽量塗材	ミクライト	茶石綿	1977	1988	4.6
		耐火被覆材	折板屋根用耐火被覆材	ウォールコートM折板用	茶石綿	1971	1989	39
		仕上塗材	防水形複層塗材E	ウォールコート-G主材	不明	1974	1988	2
		仕上塗材	複層塗材E	ウォールコート・クレーター主材	不明	1973	1985	2
		仕上塗材	複層塗材E	ウォールコート・アクリル主材	不明	1973	1999	2
		仕上塗材	複層塗材RE	ウォールコート・エポキシ主材	不明	1973	1999	2

石綿含有仕上塗材アンケート調査結果

会社名	石綿含有製品	一般名		商品名	石綿の種類	販売開始年	販売終了年	石綿含有量(%)
エスケー化研(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
大阪ガスケミカル(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
大橋化学工業(株)	有	耐火被覆材	折板屋根用耐火被覆材	ダンコートF	白石綿	1971	1989	5.6
川口薬品(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
関西ペイント(株)	有	仕上塗材	複層塗材RE	マルチタイルラフREベース	白石綿	1981	1985	1.17
		仕上塗材	複層塗材RS	マルチタイルラフRSベース	白石綿	1976	1988	3.2(推定)
菊水化学工業(株)	有	仕上塗材	薄塗材E	ケツロナイン	白石綿	1981	1987	0.6
		仕上塗材	複層塗材E	キクスイタイル・エマ	白石綿	1978	1982	1.6
		仕上塗材	複層塗材E	アルコート	白石綿	1985	1987	0.2
		仕上塗材	複層塗材Si	シリカロール	白石綿	1980	1980	0.4
		仕上塗材	複層塗材Si	シリカタイルゆず肌	白石綿	1978	1987	0.4
		仕上塗材	複層塗材Si	シリカタイル	白石綿	1975	1979	0.75
		仕上塗材	防水形複層塗材E	キクスイ弾性タイル	白石綿	1974	1987	4.6
		仕上塗材	防水形複層塗材E	キクスイ弾性タイル・ルナ	白石綿	1983	1987	0.4
		仕上塗材	防水形複層塗材E	ラバーウォール	白石綿	1982	1987	0.9
		仕上塗材	防水形複層塗材E	弾性ウォール	白石綿	1975	1977	4.6
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	キクスイファイラー	白石綿	1975	1987	0.8
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	キクスイセメントファイラー	白石綿	1981	1982	0.2
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	キクスイカチオンファイラー	白石綿	1983	1983	0.8
		下地調整材	エマルション系下地調整塗材	キクスイファンデ	白石綿	1982	1987	0.5
(株)キング鈴井商会	なし	—	—	—	—	—	—	—
近庄化学(株)	有	下地調整材	セメント系下地調整塗材	壁太郎パテ	白石綿	1970	1987	2.9
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	SHOFLEXセメントファイラー	白石綿	1970	1987	2.9
恒和化学工業(株)	有	下地調整材	セメント系下地調整塗材	ダイヤセメントファイラー	白石綿	1978	1993	0.45
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	ダイヤファイラー	白石綿	1978	1993	0.84
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	ダイヤカチオンファイラー	白石綿	1983	1993	0.84
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	ダイヤファイラー・ダンセイ	白石綿	1985	1993	1.12
		仕上塗材	厚塗材C	ダイヤロック	白石綿	1975	1976	3.2
		仕上塗材	厚塗材C	ダイヤロック	白石綿	1983	1993	0.1
		仕上塗材	軽量塗材	アロック	白石綿	1967	1986	0.9
(株)コンステック	なし	—	—	—	—	—	—	—
(株)サメジマコーポレーション	なし	—	—	—	—	—	—	—
(株)サンクス	有	仕上塗材	厚塗材C	ローマタイル	白石綿	1984	1999	2
		下地調整材	プラスター	塗りかえプラスター	白石綿	1987	1999	2
(株)ジェーシーエム	なし	—	—	—	—	—	—	—
四国化成(株)	有	仕上塗材	内装薄塗材W	ジュラックスB	不明	1971	1979	0.7(推定)
昭和電工建材(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
(株)シンコー	なし	—	—	—	—	—	—	—
神東塗料(株)	有	仕上塗材	複層塗材CE	セメロン#100	白石綿	1983	1988	0.4
新日鐵高炉セメント(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
スズカファイン(株)	有	仕上塗材	複層塗材E	ラフトンジャンボ 外部用カットT	白石綿	1973	1988	0.3
		仕上塗材	複層塗材E	ラフトンジャンボ	白石綿	1976	1985	0.2
		仕上塗材	複層塗材E	ラフトン外部用	白石綿	1973	1987	0.3
		仕上塗材	複層塗材E	ラフトンミニジャンボ	白石綿	1973	1987	0.5



会社名	石綿含有製品	一般名		商品名	石綿の種類	販売開始年	販売終了年	石綿含有量(%)
		仕上塗材	複層塗材E	ラフトンコテラー	白石綿	1983	1988	0.1
		仕上塗材	複層塗材E	ラフトンニュークレーター	白石綿	1974	1988	2.7
		仕上塗材	複層塗材E	ラフトンクレーター	白石綿	1973	1987	3.2
		仕上塗材	複層塗材Si	ラフトンシリカジャンボ	白石綿	1979	1985	0.3
		仕上塗材	防水形外装薄塗材E	ラバリコートローラー	白石綿	1979	1985	0.2
		仕上塗材	防水形外装薄塗材E	ラバリコートジャンボ	白石綿	1981	1988	0.1
		仕上塗材	防水形複層塗材E	ラフトン弾性ジャンボ	白石綿	1980	1986	0.2
		仕上塗材	防水形複層塗材E	ラフトン弾性ローラー	白石綿	1980	1987	0.2
		仕上塗材	防水形複層塗材E	ラフトン弾性クレーター	白石綿	1978	1987	0.2
		防水材	建築用塗膜防水材	ラフトンボーススタイル(凸模様)	白石綿	1985	1987	0.2
		仕上塗材	厚塗材E	ラフトンスタッコ	白石綿	1975	1988	0.4
		仕上塗材	複層塗材E	ラフトンローラー外装用	白石綿	1975	1987	0.3
		仕上塗材	複層塗材E	ラフトンローラーフクソウ	白石綿	1975	1987	0.6
		仕上塗材	石材調仕上塗材	ラフトンキャストG	白石綿	1985	1987	0.9
		仕上塗材	薄塗材S	スズカリシン溶剤型	白石綿	1976	1988	0.9
		仕上塗材	内装薄塗材E	ラフトンさざなみ	白石綿	1972	1987	0.9
		仕上塗材	内装薄塗材E	ラフトンジュラク	白石綿	1973	1987	0.2
		仕上塗材	内装薄塗材E	ラフトン匠内装用	白石綿	1984	1988	0.4
		仕上塗材	内装薄塗材E	ラフトンローラー内装用	白石綿	1975	1987	0.3
		仕上塗材	内装薄塗材Si	ラフトンシリカゆず肌	白石綿	1978	1987	0.1
		仕上塗材	内装薄塗材E	スズレンスチップル	白石綿	1979	1987	0.7
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	ラフトンSCファイラー粉体	白石綿	1980	1988	0.4
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	ラフトンファイラー粉体	白石綿	1985	1988	0.4
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	ラフトンファイラー粉体	白石綿	1989	2005	1
		仕上塗材	軽量塗材	ラフトンノイズレス	白石綿	1978	1982	0.4
ステライト工業(株)	有	仕上塗材	軽量塗材	アロック	不明	1967	1986	0.9
積水化成工業(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
(株)セブンケミカル	不明	仕上塗材	防水形複層塗材E	セブンウォール	不明	1976 (推定)	1980 (推定)	1未満
大日本塗料(株)	有	仕上塗材	複層塗材RE	DNTタイルベース	白石綿	1970	1987	1～3
		コーキング材	油性コーキング材	DNTコーク	白石綿	1970	1986	5
太平洋マテリアル(株)	有	下地調整材	セメント系下地調整塗材	セメントファイラー	白石綿	1977	1983	0.5未満
		モルタル	既調合モルタル	ユニモルしごき	白石綿	1977	1983	0.5未満
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	ユニモル薄塗り	白石綿	1977	1983	0.5未満
		仕上塗材	複層塗材CE	ECコートパウダー	白石綿	1975	1979	0.5未満
		仕上塗材	複層塗材CE	ECコートパウダーC3	白石綿	1979	1982	0.5未満
		仕上塗材	厚塗材C	掻き落しリシン	白石綿	1979	1982	0.5未満
		混和材	モルタル混和材	アサノKSMニューコテエース	白石綿	1992	2000	71
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	アサノKSM#20	白石綿	1992	1999	7.0～9.0
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	アサノKSM#21	白石綿	1996	1999	2.8
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	アサノKSM#30	白石綿	1992	1999	6.6～15.8
		混和材	左官用軽量骨材	アサノマイルドサンド1・2・3・T	白石綿	1987	1991	2未満
		モルタル	既調合モルタル	ベースモルタル	白石綿	1997	2004	2.8
		モルタル	既調合モルタル	ネットモルタル	白石綿	1997	2004	2.8
		モルタル	既調合モルタル	RF厚付パウダーSPII	白石綿	2000	2004	1未満
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	RF防錆セメント	白石綿	1981	1983	0.5未満

石綿含有仕上塗材アンケート調査結果

会社名	石綿含有製品	一般名		商品名	石綿の種類	販売開始年	販売終了年	石綿含有量(%)
		屋根用塗料	屋根用塗料	アルマネーション	白石綿	1965	1986	10
高松油脂(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
秩父コンクリート工業(株) ※石綿を使用した製品の製造実績有	左欄※に記載	下地調整材	セメント系下地調整塗材	Vセメント	白石綿	1971	1981	1.4
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	セメントフィラー	白石綿	1979	1981	1.2
(株)トウベ	有	仕上塗材	防水形複層塗材E	トアエラストベース	白石綿	1981	1988	0.4
		仕上塗材	防水形複層塗材E	ダンセイフツ中塗り	白石綿	1984	1990	0.4
		仕上塗材	複層塗材E	トアクレイタイルベース	白石綿	1976	1985	2
		仕上塗材	防水形複層塗材E	トアラバトンベース	白石綿	1987	1988	0.8
東邦レオ(株)	有	モルタル	既調合モルタル	トーボウォール(上塗材)	白石綿	1980	1999	0.5
(株)トクヤマエムテック	有	下地調整材	セメント系下地調整塗材	ラッキーモル#10	白石綿	1999	1999	0.68(推定)
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	ラッキーモル#10	白石綿	2000	2001	0.53(推定)
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	ラッキーモル#20	白石綿	2000	2001	0.88(推定)
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	ラッキーモル#30	白石綿	2000	2001	2.6(推定)
		モルタル	既調合モルタル	エースモルタルII	白石綿	2001	2003	2.6(推定)
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	モルキープ#110	白石綿	2000	2004	3.5(推定)
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	モルキープ#20	白石綿	2000	2004	3.5(推定)
(株)トミタ	なし	—	—	—	—	—	—	—
ニチアス(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
ニチエー吉田(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
日藻工材(株)	回答なし	—	—	—	—	—	—	—
日本化成(株)	有	下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSエフスリー(関西)	白石綿	2000	2004	1
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSジャストフィラー(関西)	白石綿	2000	2004	2
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSゼロヨン#10(関東、関西、九州)	白石綿	2000	2004	3
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSゼロヨン#20(関西、九州)	白石綿	2000	2004	2
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSゼロヨン#30(関西、九州)	白石綿	2000	2004	2
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSゼロヨン#40(関西)	白石綿	2000	2004	2
		モルタル	既調合モルタル	NSタウンモルタル(九州)	白石綿	2002	2004	1
		混和材	モルタル混和材	NSハイパウダーII(関西)	白石綿	2001	2004	34
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSベースモルタル(関西)	白石綿	2001	2004	2
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSボンドHスーパー(九州)	白石綿	1992	2002	6
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSボンドM#150(関東)	白石綿	2001	2004	2
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSボンドM一般用(関西)	白石綿	1993	1999	4
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSボンドM外部用(関西)	白石綿	1999	2004	1
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSボンドM補修用(関西)	白石綿	1999	2004	4
		モルタル	既調合モルタル	NSメンテモルタル(関西)	白石綿	1993	2004	2
		混和材	モルタル混和材	NS防水セメント(九州)	白石綿	1992	1999	39
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	NSボンドP(九州)	白石綿	1999	2004	7
日本スタッコ(株)	有	混和材	モルタル混和材	ハイワーク	白石綿	1997	2004	24
		混和材	モルタル混和材	ハードスタッコ	白石綿	1998	2004	24
日本特殊塗料(株)	有	仕上塗材	可とう形外装薄塗材E	NT弾性リシン	白石綿	1973	1993	1.5
		仕上塗材	防水形複層塗材E	ハイブルーフ中塗S	白石綿	1985	1996	0.9
日本プラスター(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
日本ペイント(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—

会社名	石綿含有製品	一般名		商品名	石綿の種類	販売開始年	販売終了年	石綿含有量(%)
(株)ハマキャスト	なし	—	—	—	—	—	—	—
(株)林セメント	有	混和材	左官用軽量骨材	マイルドサンドⅡ	白石綿	1983	2000	3～1未満
		混和材	左官用軽量骨材	マイルドサンドⅡB	白石綿	1988	2000	1.5～1未満
		混和材	左官用軽量骨材	マイルドサンドⅢ	白石綿	1985	2000	1.5～1未満
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	マイルドグリーン#10	白石綿	1999	2004	1
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	マイルドグリーン#20	白石綿	1998	2004	4
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	マイルドグリーン#30	白石綿	1998	2004	1
		モルタル	既調合モルタル	デザインワーク(レギュラー)	白石綿	1999	2003	1
富士川建材工業(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
富士川日本繊維化(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
藤倉化成(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
フジワラ化学(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
二瀬窯業(株)	有	混和材	モルタル混和材	ウォールS	白石綿	1995	2004	35
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	Uモル	白石綿	1985	2004	2.8
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	Pモル	白石綿	1990	2004	3.4
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	Aモル#20	白石綿	1997	2004	4.6
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	Aモル#30	白石綿	1998	2004	3.5
		モルタル	既調合モルタル	ヒットモルタル	白石綿	1992	2004	3.4
(株)フッコー	有	仕上塗材	薄塗材E	マゼックコート	不明	1979	1985	0.9
(株)豊運	有	モルタル	モルタル混和材	ビルエース	白石綿	2002	2004	33(推定)
丸専化学(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
村壑石灰工業(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
明研化学工業(株)	有	仕上塗材	複層塗材E	エマルアクリルタイル	白石綿	1974	1987	2.5
		仕上塗材	防水形複層塗材E	エマル弾性タイル	白石綿	1980	1987	1～2
		仕上塗材	防水形複層塗材E	ハイ弾性タイル	白石綿	1979	1987	0.9
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	エマルファイラーS	白石綿	1977	1979	0.9
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	エマルファイラーP	白石綿	1977	1987	0.9
メーコー(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
ヤブ原産業(株)	有	仕上塗材	複層塗材C	モザイクコートC	白石綿	1970	1985	0.2
		仕上塗材	複層塗材E	モザイクコートR	白石綿	1973	1985	2.5
		仕上塗材	軽量塗材	トーカライトY	白石綿	1976	1992	4
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	スーパーファイラー	白石綿	1975	2000	0.8
		下地調整材	セメント系下地調整塗材	スーパーパテ材	白石綿	1975	2002	0.9
山本窯業化工(株)	有	仕上塗材	複層塗材E	セラタイルU	不明	1981	1983	0.5以下
		仕上塗材	複層塗材E	セラタイルUローラー	不明	1980	1983	0.5以下
		仕上塗材	複層塗材E	セラニットRタイル	不明	1984	1984	0.5以下
		仕上塗材	外装薄塗材E	セラロテコ	不明	1980	1983	0.5以下
		仕上塗材	外装薄塗材E	セラスキンローラー	不明	1980	1987	0.5以下
		仕上塗材	外装薄塗材E	セラリシンローラー	不明	1980	1980	0.5以下
陽光物産(株)	有	モルタル	既調合モルタル	ドカモル	白石綿	2002	2005	1.05
吉野石膏(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—
(株)リボール	なし	—	—	—	—	—	—	—
ロックペイント(株)	なし	—	—	—	—	—	—	—

(注) 蛇紋岩系の粉碎物は、その35%が白石綿であると仮定して算出してあります。

添付6

発行・登録日

題名	アスファルト防水材料・副資材とアスベストについて			
資料出典	日本防水材料協会HP			
出典元URL	https://aspdiv.jwma.or.jp/tec/tec_2_1.html			
該当建材	書面調査で該当する材料			
	アスファルトフェルト	ルーフィング	塗膜防水	
	調査内容・結果	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
		アスファルトフェルト	ルーフィング	塗膜防水
目視調査で確認されたアスファルトフェルト、ルーフィングについては、シート状の建材であることから分別は比較的容易であるため、この資料を元に石綿含有品とみなした。また、塗膜防水についてはタイル下地として埋設されているが、使用中の建物のため破壊しての現物確認は行わず、設計図書の情報より存在し、石綿含有品とみなした。				

お知らせ

アスファルトルーフィング工業会とトーチ工法ルーフィング工業会は、一般財団法人日本防水材料協会（JWMA）の改称・改組に伴い平成30年6月15日をもってその事業活動の場を、JWMAアスファルト防水部会に移すことになりました。

お探しの情報をご入力してください。

検索

アスファルト防水に関するキーワード：建築防水、住宅屋根防水、土木防水

[トップページ](#) > [技術資料](#) > 環境対応（アスベストについて）

技術資料

環境対応（アスベストについて）

印刷用ダウンロード（PDF書類）

アスファルト防水材料・副資材とアスベストについて －過去の使用状況とその対応について－

アスベストによる健康障害が社会的問題となり、アスベストを原材料として使用した建材に関しても、過去のアスベスト使用状況、改修、解体時の取扱い等への関心が高まってきております。

アスベストが0.1%を超えて含まれるアスファルト防水材料および関連副資材は、石綿障害予防規則に従った取扱いが必要になります。

このため、アスベストが0.1%を超えて含まれるアスファルト防水材料および関連副資材の改修、解体時の取扱い等について、当工業会の見解および具体的取扱い方法等についてまとめました。

- 目次
1.

[アスファルト防水材料および関連副資材のアスベスト含有調査](#)
2.

[アスベスト含有アスファルト防水材料の過去の使用状況](#)
3.

[アスファルト防水材料および関連副資材中のアスベストの人体への影響](#)
4.

[アスベストを使用しているかどうかの見分け方](#)
5.

[各社アスベスト関連対応連絡先リスト](#)
6.

[アスベスト含有アスファルト防水材料および関連副資材の改修方法](#)
7.

[アスベスト含有アスファルト防水材料および関連副資材の廃棄処理方法](#)

1. アスファルト防水材料および関連副資材のアスベスト含有調査

当工業会では、現会員会社の過去に製造したアスベスト含有製品の調査を行いました。なお、調査は現在の会員会社を対象に行ったものであり、現会員以外の製品は今回の調査対象には含まれておりません。

過去にアスベストを含有した製品は、「特殊アスファルトフェルト類」、「特殊アスファルトルーフィング類」、「アスファルト系ルーフコーティング類」、「ポリウレタン系断熱材の面材」および「アスファルト系接着剤」です。これらのアスファルト防水材料および関連副資材へのアスベストの配合開始時期と終了時期（はメーカーにより異なりますが、各々の最終終了時期を[表1]に示します。

[表1] アスベスト含有アスファルト防水材料および副資材の最終終了時期（平成17年8月30日現在）

アスベスト含有アスファルト防水材料・関連副資材	最終終了時期
特殊アスファルトフェルト類	昭和61年（1986年）
特殊アスファルトルーフィング類	昭和62年（1987年）
ポリウレタン系断熱材の面材 *1	平成03年（1991年） *2
アスファルト系ルーフコーティング類 *1	平成14年（2002年） *3
アスファルト系接着剤類 *1	平成15年（2003年） *4

*1：アスベスト含有率が0.1%以上5%未満のものを含む

*2：アスベスト含有率が5%以上のものの最終終了時期は昭和54年（1979年）

*3：

- 殆どのものの最終終了時期は平成 3 年（1991年）。
- 一部アスベスト含有率が5%未満のものの最終終了時期が平成14年（2002年）
- *4：殆どのものの最終終了時期は平成 3 年（1991年）。
- 一部アスベスト含有率が5%未満のものの最終終了時期は平成15年（2003年）

2. アスベスト含有アスファルト防水材料の過去の使用状況

「建築工事共通仕様書」では、アスベストが0.1%を超えて含まれる特殊アスファルトルーフィング類については昭和48年版以前、同ルーフコーティング類については平成元年版以前の仕様書において使用が規定されていました。しかしながら、上記 1 の調査結果から、各々の施工時期までの防水材料については、アスベストが0.1%以上含まれている可能性があるものと思われます。但し、改修工事等で既に撤去されたものも相当量あるものと想定されます。

3. アスファルト防水材料および関連副資材中のアスベストの人体への影響

アスベストは、特殊アスファルトフェルト類、特殊アスファルトルーフィング類やポリウレタン系断熱材の面材においては基材の補強や耐腐朽性の向上等を目的として、基材に漉き込まれ、アスファルトを浸透・被覆したシート状のものとして使用されました。施工後は更に防水工事用アスファルト等で被覆され、経年劣化後もその状態を維持しながら徐々に硬くなります。これらは、施工時、施工後、経年劣化後のいずれにおいてもアスベストはアスファルト中に固定された状態で飛散しませんので、通常の使用状態では特に健康に影響はないと考えられます。

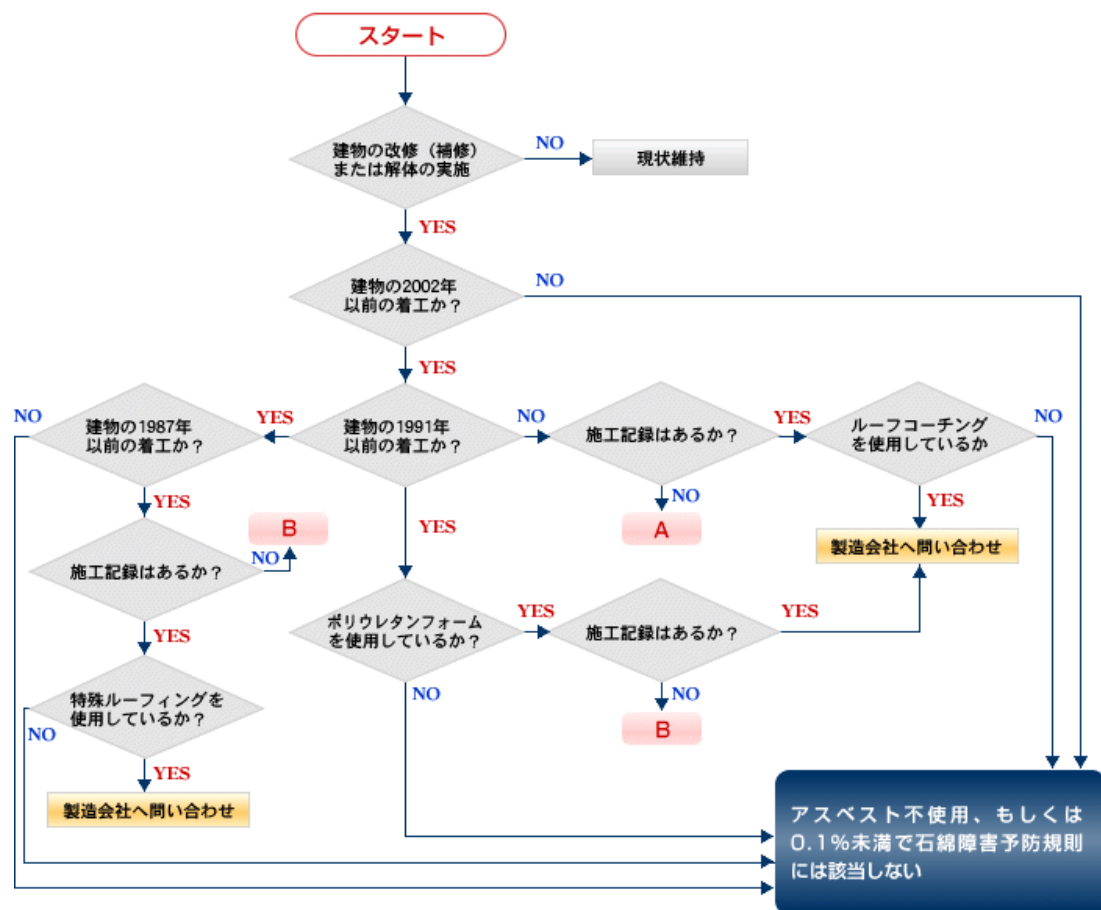
また、アスファルト系接着剤やルーフコーティングにおいては補強やだれ止め等を目的として配合され、アスファルトやゴムアスファルトに練り込まれたペーストの状態で使用されました。施工後は溶剤が揮発して硬い皮膜になります。経年劣化後もその状態を維持しながら徐々に硬くなります。これらは、施工時、施工後、経年劣化後のいずれにおいてもアスベストはアスファルトやゴムアスファルトに固定された状態で飛散しませんので、通常の使用状態では特に健康に影響はないと考えられます。

4. アスベストを使用しているかどうかの見分け方

防水層単独については昭和62年（1987年）以降、ポリウレタン系断熱材を併用した断熱防水層については平成 3 年（1991年）以降、ルーフコーティング類やアスファルト系接着剤については平成15年（2003年）以降に施工された建物であれば、アスベストは含まれていないか、0.1重量%未満であり石綿障害予防規則には該当しません。

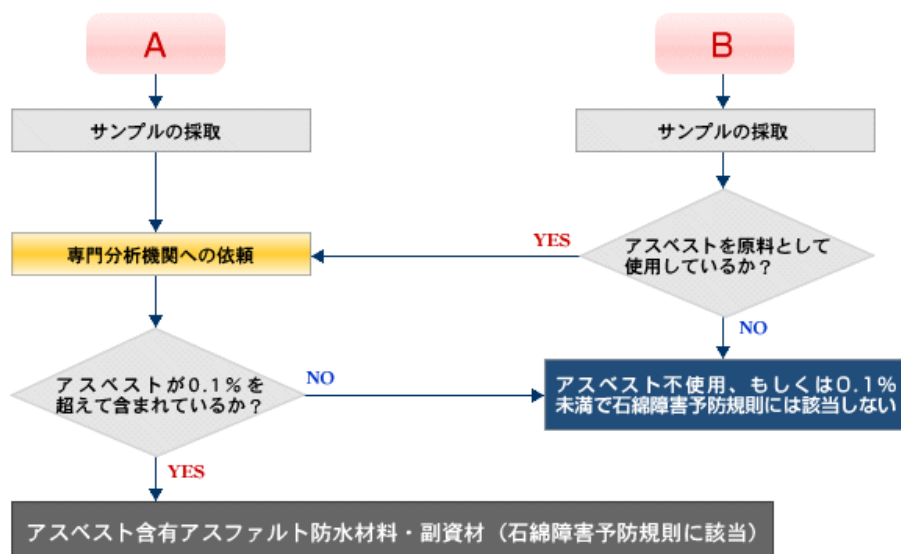
設計図書や施工記録により、[表 1]の材料の使用が確認され、それらが前記の時期以前に施工されていた場合には、製造会社にアスベスト使用の有無を確認する必要があります。

▼アスベスト含有アスファルト防水材料の判定フロー（1）



▼アスベスト含有アスファルト防水材料の判定フロー（2）

（過去の記録等を調べても材種、製造業社名がわからなかった場合には、材種を確認する必要があります。）



5. 各社アスベスト関連対応連絡先リスト

	担当部課名	郵便番号	住 所	T E L & F A X
静岡瀝青株式会社	営業部	420-0852	静岡県静岡市葵区紺屋町4-8	054-273-2781 054-273-3140
昭石化工株式会社	建材事業部	135-8074	東京都港区台場2-3-2	03-5531-7063 03-5531-6811
田島ルーフィング株式会社	営業部 テクノサービス	101-8579	東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX南ウィング21F	03-6837-8880 03-6837-8890
東和工業株式会社	総務部	174-0043	東京都板橋区坂下3-29-11	03-3968-2301 03-3966-1801
七王工業株式会社	技術部	765-0031	香川県善通寺市金蔵寺町180	

				0877-62-0951 0877-62-4927
日新工業株式会社	技術部	344-0057	埼玉県春日部市南栄町 1 6 - 1	048-755-6188 048-755-6177

6. アスベスト含有アスファルト防水材料および関連副資材の改修方法

アスベスト含有建材の建築改修工事における取扱い方法は、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成16年版」及び「建築改修工事監理指針(平成16年版)」に詳細が規定されています。

同指針にはアスベスト含有アスファルト防水材料および関連副資材の処理方法の規定はありませんが、アスファルト防水材料および関連副資材中のアスベストは容易には飛散しないため「同指針9.1.4アスベスト成形板の処理工事」に準じた工事が必要と考えています。

改修工事における工事の詳細は、「建築改修工事監理指針 平成16年版(下巻) 9.1.4 アスベスト成形板処理工事p.663」を参照して下さい。

同指針でアスベスト成形板処理工事は、建設業労働災害防止協会「建築物の解体等工事における石綿粉じんへの暴露防止マニュアル」では発じん性の比較的低いレベル(作業レベル3)に分類される工事としています。アスベスト含有アスファルト防水材料および関連副資材の改修工事等もアスベスト成形板処理工事同様、発じん性の比較的低いレベル(作業レベル3)に分類される工事と考えています。

7. アスベスト含有アスファルト防水材料および関連副資材の廃棄処理方法

アスベスト廃棄物は、飛散性アスベスト廃棄物と非飛散性アスベスト廃棄物に分けられます。飛散性アスベスト廃棄物は、石綿保温材、けいそう土保温材、パーライト保温材、比重0.5以下の石綿含有保温材などの、人の接触、気流及び振動により石綿が大気に飛散するおそれがある石綿含有廃棄物です。これらは特別管理型産業廃棄物の「廃石綿等」に分類され、収集、運搬、処分等の基準が定められています。

非飛散性アスベスト廃棄物は、アスベストがセメント、けい酸カルシウム等と一体に成形されたアスベスト成形板(スレート板等)等で、これらは廃棄物処理及び清掃に関する法律では「非飛散性アスベスト廃棄物」に分類されます。

アスベスト含有アスファルト防水材料および関連副資材は、アスベストが有機系樹脂で固定されていることから非飛散性アスベスト廃棄物であり、廃棄物処理及び清掃に関する法律では従来通り「廃プラスチック類」に分類されます。

参考. アスベスト含有分析機関

アスベスト分析機関は、[石綿含有建材中の石綿含有率等分析機関一覧](#)(PDFファイル)
〔環境省ホームページ(https://www.env.go.jp/air/asbestos/index_link.html) 関係団体)より〕を参照して下さい。

添付7

発行・登録日

R5/8/11

題名	繊維強化セメント板の石綿含有商品名一覧表			
資料出典	せんいセメント板協会HP			
出典元URL	http://www.skc-kyoukai.org/environment/pdf/productlist_asbestos.pdf			
該当建材	書面調査で該当する材料			
	FG. PB㊦5			
	調査内容・結果	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
		FG. PB㊦5		
目視調査で見つかったFG. PB㊦5は施工年代から、この資料をもとに無石綿と判定した。				

繊維強化セメント板の石綿含有商品名一覧表

製品区分		商品名	使用石綿	製造期間		備考	製造会社名
一般名称	製品名			開始年	終了年		
スレート波板	大波板	ウベ大波板	白	1950	2004		ウベボード株式会社
		浅野大波スレート	白・(茶)・(青)	1936	2000	白 :1936～1969	浅野スレート株式会社(*)
						青併用 :1970～1974	
						青・茶併用 :1975～1982	
						茶併用 :1983～1986	
						白 :1987～2000	
		朝日大波スレート	白	1953	1987		朝日石綿工業株式会社(*)
		アスク大波スレート	白	1987	2000		株式会社アスク(*)
		A & A大波板	白	2000	2004		株式会社エーアンドエーマテリアル(*)
		大嶽大波スレート	白	1971	2003		株式会社大嶽名古屋
		四国浅野大波板	白・(青)	1971	2004	白 :1971～1973	四国浅野スレート株式会社
						青併用 :1974～1982	
						白 :1982～2004	
		第一大波板	白	1940	1981		第一スレート工業株式会社
		東京大波板	白	1955	2004		東京スレート株式会社
		東洋大波スレート	白		1982		東洋スレート株式会社
		ノザワ大波	白	1931	2004		株式会社ノザワ
		三菱大波板	白	1957	2003		三菱マテリアル建材株式会社
		三重大波スレート	白	1962	2004		株式会社ミエスレート
		大和大波スレート	白	1969	2004		大和スレート株式会社
		横浜大波板	白	1970	1998		横浜スレート工業株式会社
	中波板	ノザワ中波	白	1962	1999		株式会社ノザワ
	小波板	ウベ小波スレート	白	1950	2004		ウベボード株式会社
		浅野小波スレート	白・(茶)・(青)	1917	2000	白 :1917～1969	浅野スレート株式会社
						青併用 :1970～1974	
						青・茶併用 :1975～1982	
						茶併用 :1983～1986	
						白 :1987～2000	
		朝日小波スレート	白	1935	1950		朝日スレート株式会社(*)
				1950	1987		朝日石綿工業株式会社
		アスク小波スレート	白	1987	2000		株式会社アスク
		A & A小波板	白	2000	2004		株式会社エーアンドエーマテリアル
		大嶽小波スレート	白	1971	2003		株式会社大嶽名古屋
		四国浅野小波板	白・(青)	1971	2004	白 :1971～1973	四国浅野スレート株式会社
						青併用 :1974～1982	
						白 :1982～2004	
		第一小波板	白	1940	1981		第一スレート工業株式会社
		東京小波板	白	1955	2004		東京スレート株式会社
		東洋小波スレート	白		1982		東洋スレート株式会社
		ノザワ小波	白	1931	2004		株式会社ノザワ
		三菱小波板	白	1957	2003		三菱マテリアル建材株式会社
		三重大波スレート	白	1962	2004		株式会社ミエスレート
		大和小波スレート	白	1969	2004		大和スレート株式会社
		横浜小波板	白	1970	1998		横浜スレート工業株式会社

繊維強化セメント板の石綿含有商品名一覧表

製品区分		商品名	使用石綿	製造期間		備考	製造会社名
一般名称	製品名			開始年	終了年		
スレート波板	リブ波板	ノザワサイディング	白	1978	2002		株式会社ノザワ
		三菱リブ壁板	白	1957	2003		三菱マテリアル建材株式会社
	超大波板	ルーフワイド	白・(茶)・(青)	1976	2000	青・茶併用 :1975～1982	浅野スレート株式会社
						茶併用 :1983～1986	
						白 :1987～2000	
		朝日エスルーフ	白	1982	1987		株式会社エーアンドエーマテリアル
							朝日石綿工業株式会社
							株式会社アスク
							株式会社ノザワ
	その他の波板	スタック大波板	白	1954	2000		浅野スレート株式会社
		朝日パワースレート	白	1950	1987		朝日石綿工業株式会社
		アスクパワースレート	白	1987	2000		株式会社アスク
		パワースレート	白	2000	2004		株式会社エーアンドエーマテリアル
		サイディングワイド	白・(茶)・(青)	1974	2000	青併用 :1974～1975	浅野スレート株式会社
						青・茶併用 :1975～1982	
						茶併用 :1983～1986	
						白 :1987～2000	
		朝日リブウォール	白	1980	1987		株式会社エーアンドエーマテリアル
							朝日石綿工業株式会社
							株式会社アスク
		アスクリブウォール	白	1987	2000		株式会社アスク
		舟形スレート	白・(茶)・(青)	1964	1977	白 :1964～1969	浅野スレート株式会社
						青併用 :1970～1974	
						青・茶併用 :1975～1977	
		朝日フレキシブルスレート	白	1957	1987		朝日石綿工業株式会社
		アスクフレキシブルスレート	白	1987	2000		株式会社アスク
		A & Aフレキシブル波板	白	2000	2004		株式会社エーアンドエーマテリアル
		ウベサイディング	白	1979	2004		ウベボード株式会社
		大嶽波形サイディング	白	1981	2002		株式会社大嶽名古屋
		ウベフレキシブルボード	白	1961	1997		ウベボード株式会社
スレートボード	フレキシブル板	浅野フレキシブルボード	白・(茶)	1958	2000	白 :1958～1977	浅野スレート株式会社
						茶併用 :1978～1985	
						白 :1986～2000	
		朝日フレキシブルボード	白	1957	1987		朝日石綿工業株式会社
		アスクフレキシブルボード	白	1987	2000		株式会社アスク
		A & Aフレキシブルボード	白	2000	2004		株式会社エーアンドエーマテリアル
		大嶽フレキシブル板	白	1971	1987		株式会社大嶽名古屋
		山王フレキ	白	1989	2004		山王セラミックス株式会社
		四国浅野フレキシブル板	白・(茶)	1975	2000	白 :1975～1980	四国浅野スレート株式会社
						茶併用 :1981～1983	
						白 :1984～2000	
		中越フレキシブルボード	白	1972	2003	1991年より無石綿製品有り	中越テック株式会社
		フレキラF	白	1966	2001		日光化成株式会社
		FAボード	白	1982	2000		日光化成株式会社
		FKボード	白	1986	2002		日光化成株式会社
		ノザワフレキシブルシート	白	1953	2004		株式会社ノザワ
		三菱フレキシブルボード	白	1958	2001		三菱マテリアル建材株式会社

繊維強化セメント板の石綿含有商品名一覧表

製品区分		商品名	使用石綿	製造期間		備考	製造会社名
一般名称	製品名			開始年	終了年		
スレートボード	平板	ウベ平板	白	1961	1997		ウベボード株式会社
		浅野パネルボード	白・(茶)	1958	2000	白 :1935～1977	浅野スレート株式会社
						茶併用 :1978～1985	
						白 :1986～2000	
		朝日平板	白	1935	1950		朝日スレート株式会社
				1950	1987		朝日石綿工業株式会社
		アスク平板	白	1987	2000		株式会社アスク
		A & Aパネルボード	白	2000	2002		株式会社エーアンドエーマテリアル
		大嶽大平板	白	1971	1987		株式会社大嶽名古屋
		山王大平板	白	1989	2004		山王セラミックス株式会社
		四国浅野平板	白・(茶)	1971	2000	白 :1971～1980	四国浅野スレート株式会社
						茶併用 :1981～1983	
						白 :1984～2000	
		中越大平板	白	1972	2003	1993年より無石綿製品有り	中越テック株式会社
		フレキラS	白	1966	2000		日光化成株式会社
	ノザワ平板	白	1931	1985		株式会社ノザワ	
	三菱平板	白	1958	1993		三菱マテリアル建材株式会社	
	ウベ軟質板	白	1961	1997		ウベボード株式会社	
	軟質板	浅野ライトボード	白・(茶)	1951	2000	白 :1951～1977	浅野スレート株式会社
						茶併用 :1978～1985	
						白 :1986～2000	
		ASボード	白	1958	1987		朝日石綿工業株式会社
				1987	2000		株式会社アスク
		大嶽軟質板	白	1971	1987		株式会社大嶽名古屋
		四国浅野軟質板	白	1971	2000	白 :1971～1980	四国浅野スレート株式会社
						茶併用 :1981～1983	
						白 :1984～2000	
		フレキラN	白	1966	1980		日光化成株式会社
		アスベニア	白	1955	1980		株式会社ノザワ
		三菱アスベストベニア	白	1958	1992		三菱マテリアル建材株式会社
		軟質フレキシブル板	ハイバーム	白	1973	2004	
パーライト板		浅野パーライトボード	白・(茶)	1958	2000	白 :1951～1977	浅野スレート株式会社
						茶併用 :1978～1981	
	白 :1986～1999						

繊維強化セメント板の石綿含有商品名一覧表

製品区分		商品名	使用石綿	製造期間		備考	製造会社名
一般名称	製品名			開始年	終了年		
けい酸カルシウム板第一種		浅野ハイラック	白・(茶)	1971	1992	白 :1971～1979 茶併用 :1980～1987 白 :1988～1992	浅野スレート株式会社
		浅野ハイラック (特注品)	白	1992	2000	特注品	浅野スレート株式会社
		ハイラック (特注品)	白	2000	2002	特注品	株式会社エーアンドエーマテリアル
		アスベストン	白・(茶)	1969	1987	白 :1969～1977 茶併用 :1978～1987	朝日石綿工業株式会社
			白・茶	1987	1992		株式会社アスク
		アスベストンF	白・(茶)	1975	1987	白 :1975～1979 茶併用 :1980～1987	朝日石綿工業株式会社
			白・茶	1987	1992		株式会社アスク
		ブライシリカ	白		1992		神島化学工業株式会社
		ハイベスト	白	1989	2000	特注品	山王セラミックス株式会社
		中越ケイカル板 (ボード)	白・茶	1989	1998	1993年より無石綿製品有り 茶石綿は1993年使用終了	中越テック株式会社
		中越ラックス	白・茶	1989	1998		
けい酸カルシウム板第一種		アスベストラックス (ニチアスラックス)	白・茶	1960	1992		ニチアス株式会社
		NPラックス	白・茶	1974	1992		ニチアス株式会社
		ラックスD	白・茶	1978	1990		ニチアス株式会社
		のき天ボード	白・茶	1982	1992		ニチアス株式会社
		アスラック	白・茶	1977	1991		ニチアス株式会社
		ホームタイル	白・茶	1983	1991		ニチアス株式会社
		ホームラックス	白・茶	1972	1992		ニチアス株式会社
		アスファイアー	白	1974	1976		日光化成株式会社
		ケイカレックス	白	1985	1992		株式会社ノザワ
		ヒシラック#70	白・茶	1972	1992		三菱マテリアル建材株式会社
		ヒシラック#70	白	1972	1992		三菱マテリアル建材株式会社
		ヒシラック#100	白	1972	1997		三菱マテリアル建材株式会社
		ヒシライト	白・茶	1977	1993		三菱マテリアル建材株式会社
		ヒシライト	白	1977	1997		三菱マテリアル建材株式会社
		ファステン	白	1986	1997		三菱マテリアル建材株式会社
けい酸カルシウム板第二種		ダイアスライトE	白	1969	1980		浅野スレート株式会社
		ケイカライト	茶	1968	1986		朝日石綿工業株式会社
		カルシライト	茶	1973	1987		小野田化学工業株式会社
		ソニックライト	茶	1969	1987		神島化学工業株式会社
		サーモボード	白・茶	1963	1973		ナイガイ株式会社
		サーモボードL	白・茶	1983	1987		ナイガイ株式会社
		キャスライト	茶	1965	1990		ニチアス株式会社
		タイカライト	白・茶	1968	1986		日本インシュレーション株式会社
		タイカライトコラム	茶	1978	1984		日本インシュレーション株式会社

繊維強化セメント板の石綿含有商品名一覧表

製品区分		商品名	使用石綿	製造期間		備考	製造会社名
一般名称	製品名			開始年	終了年		
その他のボード1		浅野スタックボード	白	1953	1958		浅野スレート株式会社
		浅野アスベストスラブ	白・(茶)	1958	2000	白 :1958～1977 茶併用 :1978～1985 白 :1986～2000	浅野スレート株式会社
		ハークルボード	白	1968	1987		朝日石綿工業株式会社
			白	1987	2000		株式会社アスク
		朝日セットボード#101	白	1972	1987		朝日石綿工業株式会社
		アスクセットボード#101	白	1987	2000		株式会社アスク
		朝日ガードパネル	白	1973	1987		朝日石綿工業株式会社
		アスクガードパネル	白	1987	2000		株式会社アスク
		A & Aガードパネル	白	2000	2004		株式会社エーアンドエーマテリアル
		浅野エフジーボード	白	1977	1992		浅野スレート株式会社
		ネोजーボード	白	1985	1987		朝日石綿工業株式会社
			白	1987	1994		株式会社アスク
		朝日耐火野地板	白	1986	1987		朝日石綿工業株式会社
		アスク耐火野地板	白	1987	2000		株式会社アスク
		A & A耐火野地板	白	2000	2004		株式会社エーアンドエーマテリアル
		NKトップボード	白	1975	1982		日光化成株式会社
		カラーフレキラ	白	1971	2002		日光化成株式会社
		ピニスレート	白	1976	1988		日光化成株式会社
		アートタイル	白	1987	2002		日光化成株式会社
		タフベスト	白	1981	2004		株式会社ノザワ
		AC-FS	白	1986	2004		株式会社ノザワ
		ハイバート	白	1998	2001		株式会社ノザワ
		バームライト	白	1971	2001		株式会社ノザワ
		バイタレックス	白	1985	2001		株式会社ノザワ

繊維強化セメント板の石綿含有商品名一覧表

製品区分		商品名	使用石綿	製造期間		備考	製造会社名
一般名称	製品名			開始年	終了年		
その他のボード2 (パネル類)	浅野インシュレーションパネル	白	1956	1990			浅野スレート株式会社
	浅野エレクションボード	白	1956	1963			浅野スレート株式会社
	浅野エレクションパネル	白	1963	1968			浅野スレート株式会社
	浅野アモパネル	白(茶)	1968	2000	白	:1968～1977	浅野スレート株式会社
					茶併用	:1978～1985	
					白	:1986～2000	
	耐火アモパネル	白	2000	2004			株式会社エーアンドエーマテリアル
	浅野サーモニーパネル	白	1967	1979			浅野スレー株式会社
	浅野制振パネル	白・茶	1982	2000	茶併用	:1982～1985	浅野スレート株式会社
					白	:1986～2000	
	A & Aセインパネル	白	2000	2004			株式会社エーアンドエーマテリアル
	浅野スタッドレスパネル	白	1987	1990			浅野スレート株式会社
	朝日コルゲートインパネル	白	1966	1980			朝日石綿工業株式会社
	朝日サーモニーパネル	白	1966	1979			朝日石綿工業株式会社
	朝日耐火パネルM	白	1967	1987			朝日石綿工業株式会社
	朝日耐火パネルW	白	1967	1987			朝日石綿工業株式会社
	アスク耐火パネルM	白	1987	2000			株式会社アスク
	アスク耐火パネルW	白	1987	2000			株式会社アスク
	耐火MRパネル	白	2000	2004			株式会社エーアンドエーマテリアル
	朝日フェザーパネル	白	1967	1987			株式会社アスク
	アスクフェザーパネル	白	1987	2000			株式会社アスク
	朝日エバライトパネル	白	1977	1987			朝日石綿工業株式会社
	アスクエバライトパネル	白	1987	2000			朝日石綿工業株式会社
	朝日ダムパネル	白	1977	1987			朝日石綿工業株式会社
	アスクダムパネル	白	1987	2000			株式会社アスク
	A & Aセインパネル	白	2000	2004			株式会社エーアンドエーマテリアル
住宅用かわら	ハイルーフ (平瓦)	白	1973	2004			大和スレート株式会社
	大和瓦 (波瓦)	白	1986	2003			大和スレート株式会社
	ベルリーナベレ	白	1994	2000			大和スレート株式会社
石綿セメント円筒	浅野円筒	白	1960	2004			浅野スレート株式会社
	浅野耐火パイプ	白	1981	1988			浅野スレート株式会社
	浅野換気用耐火パイプ	白	1981	1988			浅野スレート株式会社

注1 浅野スレート(株)、朝日スレート(株)、朝日石綿工業(株)、(株)アスクは現 株式会社エーアンドエーマテリアルです。

添付8

発行・登録日

H21/7

題名	石綿(アスベスト)含有製品の製造時期等の調査結果について		
資料出典	ロックウール工業会HP		
出典元URL	https://www.rwa.gr.jp/download/data/AS_SEIZOUJIKI.pdf		
該当建材	書面調査で該当する材料		
	ロックウール吸音板㊦12	ロックウール吸音板㊦15	ロックウール吸音板㊦9
	防湿ロックウール吸音板㊦12	防湿ロックウール吸音板㊦15	
	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
	該当なし		
	調査内容・結果	目視調査で見つかったロックウール天井吸音板は商品名等は不明のため、建材分析によって判定する。	

石綿(アスベスト)含有製品の製造時期等の調査結果について

ロックウール工業会では、現会員会社の、過去に製造した石綿(アスベスト)含有製品について調査をおこない、その結果をご紹介します。

次表を参照する場合、以下の点にご留意ください。

- ① 本資料は、現在ロックウール工業会に加盟している会員会社を対象として、過去に製造した石綿含有製品の商品名、製造期間等であり、会員以外の製品については関知しておりません。
- ② 過去に石綿を含有した製品は、「吹付けロックウール(耐火被覆材・断熱材)」と「ロックウール化粧吸音板」です。
- ③ 住宅用の断熱材、ロックウール(粒状綿・繊維)、産業用の保温・断熱材(保温板、フェルト、保温帯、ブランケット)、保温筒及び農業用のマット等の製品は、販売当初から、石綿は原料として一切使用しておりません。
- ④ ロックウールとアスベストの違いにつきまして、当工業会ホームページの「Q&A」及び「アスベスト(石綿)関連情報」に掲載しております。

石綿含有吹付けロックウール（耐火・断熱）について

【現会員】

会員会社名	石綿含有建築、設備等材料		主な使用箇所		石綿の種類	石綿含有製造期間	無石綿製品への変更時期と商品名(※4 参照)	
	一般名	商品名	建築物等種類	使用部位			商品名	無石綿製品製造変更年
日東紡	耐火被覆材乾式工法	スプレーテックス	オフィスビル・学校・ショッピングセンター・ホテル・倉庫・遊技場・駐車場 等	S、SRC造：梁・柱・外壁・屋根 他	クリンタイル	1961～1975 年	スプレーテックス	1976 年
	断熱・内装材乾式工法	スプレーテックス(※2 参照)		RC造：壁・天井・屋根 他	クリンタイル	1961～1979 年	スプレーテックス	1980 年
	耐火被覆材湿式工法	スプレーウエット		S造：梁・柱・壁 他	クリンタイル	1974～1987 年	スプレーウエット	1988 年
ニチアス(株)	耐火・断熱・内装材乾式工法	トムレックス(吹付け石綿)	オフィスビル・学校・ショッピングセンター・ホテル・倉庫・遊技場・駐車場 等	S、SRC造：梁・柱・外壁・屋根 他	クリンタイル アモサイト クロシドライト	1956～1974 年	——	——
	耐火被覆材乾式工法	スプレイクラフトH		S、SRC造：梁・柱・外壁・屋根 他	アモサイト	1970～1974 年	スプレイクラフト	1975 年
	断熱・内装材乾式工法	スプレイクラフトS		RC造：壁・天井・屋根 他	クリンタイル アモサイト	1970～1974 年		
	耐火被覆材湿式工法	トムウエット		S造：梁・柱・壁 他	クリンタイル	1970～1987 年	トムウエット	1988 年
ナイガイ(株)	耐火・断熱・内装材乾式工法	サーモテックス A(吹付け石綿)	オフィスビル・学校・ショッピングセンター・ホテル・倉庫・遊技場・駐車場 等	S、SRC造：梁・柱・外壁・屋根 他	クリンタイル アモサイト	1969～1975 年	——	——
	耐火被覆材乾式工法	サーモテックス		S造：梁・柱・壁 他	クリンタイル アモサイト	1965～1978 年	サーモテックス	1979 年
	断熱・内装材乾式工法	サーモテックス		RC造：梁・柱・壁等	クリンタイル アモサイト	1961～1978 年		
(株)イーアンドエー マテリアル	耐火被覆材乾式工法	プロベスト(吹付け石綿)	オフィスビル・学校・ショッピングセンター・ホテル・倉庫・遊技場・駐車場 等	S、SRC造：梁・柱・外壁・屋根 他	アモサイト クロシドライト	1962～1971 年	——	——
	耐火被覆材乾式工法	プロベストR(タイプA)		S、SRC造：梁・柱・外壁・屋根 他	アモサイト	1971～1975 年	プロベストR	1976 年
	断熱・内装材乾式工法	プロベストR(タイプA)		RC造：壁・天井・屋根 他	アモサイト	1971～1975 年		
	耐火被覆材湿式工法	プロベストウエット		S造：梁・柱・壁 他	クリンタイル	1972～1987 年	プロベストウエット	1988 年
(株)ノザワ	耐火・断熱・内装材乾式工法	ノザワコーベックス(吹付け石綿)	オフィスビル・学校・ショッピングセンター・ホテル 等	S、SRC造：梁・柱・外壁・屋根 他	クリンタイル	1962～1975 年	——	——
	耐火被覆材乾式工法	ノザワコーベックスR		RC造：壁・天井・屋根 他	クリンタイル	1970～1980 年	ノザワコーベックスR-NS	1981 年
	断熱・内装材乾式工法	ノザワコーベックスR		RC造：壁・天井・屋根 他	クリンタイル	1970～1980 年		
太平洋 マテリアル(株)	耐火被覆材乾式工法	アサノスプレーコート	オフィスビル・学校・ショッピングセンター・ホテル・倉庫・遊技場・駐車場 等	S、SRC造：梁・柱・外壁・屋根 他	クリンタイル クロシドライト	1971～1978 年	太平洋スプレーコート	1979 年
	断熱・内装材乾式工法	アサノスプレーコート		RC造：壁・天井・屋根 他	クリンタイル クロシドライト	1971～1978 年		
	耐火被覆材湿式工法	アサノスプレーコートウエット		S造：梁・柱・壁 他	クリンタイル	1973～1989 年	太平洋スプレーコートウエット	1990 年
(株)和久産業	耐火被覆材乾式工法	ベリーコート	オフィスビル・学校・ショッピングセンター・ホテル 等	S、SRC造：梁・柱・外壁・屋根 他	クリンタイル	1971～1974 年	ベリーコート・RC II	1975 年
	断熱・内装材乾式工法	ベリーコート		RC造：壁・天井・屋根 他	クリンタイル	1971～1974 年		
耐火被覆工業 協同組合	耐火被覆材乾式工法	タイカレックス	オフィスビル・学校・ショッピングセンター・ホテル 等	S、SRC造：梁・柱・外壁・屋根 他	クリンタイル	1978～1979 年	タイカレックス	1980 年
	断熱・内装材乾式工法	タイカレックス		RC造：壁・天井・屋根 他	クリンタイル	1978～1979 年		
日本ロックウール(株)	——	——	——	——	石綿含有製品は製造していません	——	——	——
JFE ロックファイバー(株)	——	——	——	——	石綿含有製品は製造していません	——	——	——

※1 湿式工法の石綿含有期間に関しましては、各社の在庫期間もあり、過渡期の詳細に付きましては各会員会社にご確認ください。

※2 日東紡の断熱・内装材用スプレーテックス特注色(カラー品)については、1979 年から 1987 年までの間、石綿(クリンタイル)が含まれていた可能性があります。この製品については、日東紡へお問い合わせください。

※3 吹付けロックウールの乾式工法は 10 社連名の個別認定であり、湿式工法は各会社が単独で取得した個別指定です。

※4 無石綿製品には、石綿を使用していません。

■ 石綿含有吹付けロックウール（耐火・断熱）について

【元会員】

会員会社名	石綿含有建築、設備等材料		主な使用箇所		石綿の種類	石綿含有製造期間	無石綿製品への変更時期と商品名(※4 参照)	
	一般名	商品名	建築物等種類	使用部位			商品名	無石綿製品製造変更年
日本インシュレーション(株) 会員期間 1975～2009年	耐火被覆材乾式工法	オパベスト R	オフィスビル・学校・ショッピングセンター・ホテル等	S、SRC造：梁・柱・外壁・屋根 他	クリソタイル	1975～1978年	オパベスト RX	1979年
	断熱・内装材乾式工法	オパベスト R		RC造：壁・天井・屋根 他	クリソタイル	1975～1978年		
新日鐵化学(株) 会員期間 1951～2000年	耐火被覆材乾式工法	スプレーエース	オフィスビル・学校・ショッピングセンター・ホテル等	S、SRC造：梁・柱・外壁・屋根 他	クリソタイル	1968～1977年	スプレーエース SW	1978年
	断熱・内装材乾式工法	スプレーエース		RC造：壁・天井・屋根 他	クリソタイル	1968～1978年		
	耐火被覆材湿式工法	スプレーエースウエット		S造：梁・柱・壁 他	石綿は使用していません		スプレーエースウエット N・II	1976年
東洋岩綿工業(株) 会員期間 1968～1987年	不明		――		――		――	
東京ニックウール(株) 会員期間 1969～1987年	不明		――		――		――	
明星工業(株) 会員期間 1974～1982年	不明		――		――		――	
日本バルカー工業(株) 会員期間 1971～1997年	不明		――		――		――	
平和アスベスト(株) 会員期間 1974～1995年	不明		――		――		――	
日本人造石綿(株) 会員期間 1957～1971年	不明		――		――		――	
坂東工業(株) 会員期間 1971～1978年	不明		――		――		――	
住友金属工業(株) 会員期間 1989～2000年	――		――		石綿含有製品は製造していません		――	

※1 湿式工法の石綿含有期間に関しましては、各社の在庫期間もあり、過渡期の詳細に付きましては各会員会社にご確認ください。

※2 日東紡の断熱・内装材用スプレーテックス特注色（カラー品）については、1979年から1987年までの間、石綿（クリソタイル）が含まれていた可能性があります。この製品については、日東紡へお問い合わせください。

※3 吹付けロックウールの乾式工法は10社連名の個別認定であり、湿式工法は各会社が単独で取得した個別指定です。

※4 無石綿製品には、石綿を使用していません。

■ ロックウール化粧吸音板について

会員会社名	石綿含有建築、設備等材料		主な使用箇所		石綿の種類	石綿含有製造期間	石綿含有量	備考	
	商品名	不燃・準不燃	建築物等	使用部位					
日東紡	ソーラトン	不燃	ビル・店舗	天井	クリソタイル	1971～1981 年	4%	以降石綿は使用していません。	
	ソーラトン軒天	準不燃	ビル・店舗	軒天井		1975～1982 年	1%～5%		
	ソーラトン本実	準不燃	一般住宅	天井		1976～1981 年 一部製品 1982～1987 年	3%～4%		
	ミネラートン	不燃	ビル・店舗	天井	クリソタイル	一部製品 1968～1969 年	2%	左記期間以外は生産当初から石綿は使用していません。	
大建工業(株)	ダイロートン	不燃	ビル・店舗	天井	クリソタイル	1964～1987 年	1%～4%	以降石綿は使用していません。	
	ダイロートン	準不燃	一般住宅	天井	クリソタイル	1977～1986 年			
松下電工(株) (現：パナソニック電工(株))	ロッキー	不燃	ビル・店舗	天井	クリソタイル	1973～1985 年	約3%		
	ロッキー彫り天等	準不燃	一般住宅	天井	クリソタイル	1973～1985 年			

※ (株)KCC のマイトン、(株)エービーシー商会のセラマガードは、販売当初から石綿は使用していません。

添付9

発行・登録日

R4/7/26

題名	石膏ボード製品におけるアスベストの含有について		
資料出典	石膏ボード工業会HP		
出典元URL	https://www.gypsumboard-a.or.jp/pdf/asbestos.pdf		
該当建材	書面調査で該当する材料		
	PB	PB（不燃）㊦12.5	PB㊦12.5
	PB㊦9.5	化粧PB㊦9.5	耐水PB㊦9.5
	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
	PB	PB（不燃）㊦12.5	PB㊦12.5
PB㊦9.5	化粧PB㊦9.5	耐水PB㊦9.5	
調査内容・結果	目視調査で見つかった石膏ボードは不燃番号「準不燃2027号」等である。建築年代（平成9年）から、本資料をもとに石綿非含有と判定した。		

2022 年 7 月 26 日

石膏ボード製品におけるアスベストの含有について

一般社団法人 石膏ボード工業会

一般社団法人 石膏ボード工業会では、2007年(平成19年)にアスベスト含有製品に関して当時の会員各社からの報告などを取り纏め、その結果を下記(1.～3.)の通り公表致しております。また、会員各社の製品のその他判別方法につきましては下記(4.)に掲載致しております。

1. 現在、製造している石膏ボード製品には、アスベストは使用されておられません。

2. アスベストを含有していた製品の種類、時期、量

1) 過去の一部の特殊製品（不燃積層石膏板等）にアスベストが使用されていたものがありました。対象製品は1970年(昭和45年)から1986年(昭和61年)までに製造されたものであり、この期間に製造された石膏ボード製品の1%弱と推定しております。尚、上記対象製品は一般住宅ではほとんど使われておりません。

2) 下記製品に使用されたアスベストは白石綿で、その含有量は以下の通りです。

- ・ ①～②の製品に約1 重量%
- ・ ③～⑦の製品に約1.5 重量%
- ・ ※1の製品に約4.5 重量%
- ・ ※2の製品に約1.5 重量%

No.	製 品	防火材料認定番号
①	9 mm厚 準不燃石膏吸音ボード	第 2006 号、第 2019 号
②	9 mm厚 化粧石膏吸音ボード	第 2014 号、第 2010 号
③	7 mm厚 アスベスト石膏積層板	第 1012 号
④	9 mm厚 アスベスト石膏積層板	第 1013 号
⑤	9 mm厚 グラスウール石膏積層板	第 1014 号
⑥	9 mm厚 不燃石膏積層板	第 1004 号
⑦	7 mm厚 準不燃アスベスト石膏積層板	第 2008 号
※1	15 mm厚 ガラス繊維網入り石膏ボード	—
※2	12 mm厚 化粧石膏板（個別認定）	（個）第 1425 号

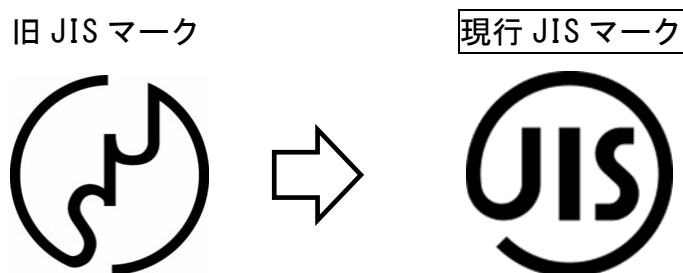
第 2014 号、第 2019 号及び第 1004 号につきましてはアスベスト使用停止後も同じ防火材料認定番号だった期間がありますので製造時期の特定が必要です。

3. 判別方法

- ・ No.1～7 の石膏ボード製品は、厚さと、設計図書や石膏ボード製品の裏面に表示されている防火材料認定番号から判別出来る場合があります。
- ・ ※1: 吉野石膏(株)の 1977 年(昭和 52 年)から 1986 年(昭和 61 年)までの吉野耐火ウォール A 又は B (耐火間仕切壁) に使用されておりました厚さが 15mm でコア中に網の入った製品が該当します。
但し、当該製品はボード裏面に JIS マーク及び防火材料認定番号が表示されていないものが該当します。
- ・ ※2: チョダウーテ(株)の 1977 年(昭和 52 年)から 1981 年(昭和 56 年)までのエースボード R(エースウォール) (厚さ 12mm) の製品が該当します。
当該製品は、表面には化粧柄印刷され、裏面には社名が千代田建材工業株式会社、防火材料認定番号が四角形で表示されています。

4. その他判別方法

- ・ 防火材料認定番号の頭文字が「NM-」、「QM-」ではじまる石膏ボードは 2002 年(平成 14 年) 5 月 17 日以降に製造しておりますのでアスベストは使用しておりません。
- ・ 以下の現行 JIS マークが表示されている石膏ボードは 2008 年(平成 20 年)4 月 1 日以降に製造しておりますのでアスベストは使用しておりません。



5. 上記アスベスト含有製品の取り扱いについて

解体・改修工事を発注される建築物所有者の方や、それを請け負われた元請業者や施工業者等の方は、以下法令などを順守して適切な処理をお願い致します。

- ・ 労働安全衛生法 ・ 石綿障害予防規則 ・ 大気汚染防止法
- ・ 廃棄物の処理および清掃に関する法律 ・ 各自治体の条例

以上

添付10

発行・登録日

R5/8/11

題名	石綿含有パルプセメント板			
資料出典	国土交通省・経済産業省 石綿（アスベスト）含有建材データベース			
出典元URL	https://asbestos-database.jp/search/?home=1&searchClick=0&offset=0&searchTxt=&action=search&searchRange%5B%5D=kenzaimei&searchRange%5B%5D=productName&searchRange%5B%5D=meKaSeizoMeisho&searchRange%5B%5D=meKaMeisho&searchRange%5B%5D=kataban&kenzaimei=%E7%9F%B3%E7%B6%BF%E5%90%AB%E6%9C%89%E3%8			
該当建材	書面調査で該当する材料			
	パルプセメント板㊦6.3			
	調査内容・結果	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
		該当なし		

目視調査の結果、軒天井に使用されているパルプセメント板は建材分析により、石綿含有を判定する。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

検索条件

フリーワード：

フリーワードの対象：建材名（一般名）、商品名、製造時メーカー名、現在メーカー名、型番・品番

施工年・改修年：指定なし

建材名（一般名）：石綿含有パルプセメント板

施工部分・使われ方（外装材）：

施工部分・使われ方（内装材）：

施工部分・使われ方（耐火被覆材）：

施工部分・使われ方（設備）：

施工部分・使われ方（その他）：

施工部分・使われ方（使われ方）：

不燃材料等認識番号：No.

削除済みデータ：含めずに検索する

検索結果

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
浅野ライトスタックE (3)	石綿含有パルプセメント板		浅野スレート（株）	～ 2000	20	白石綿	準不燃（個） No. 2378	
浅野ライトスタックE (4)	石綿含有パルプセメント板		浅野スレート（株）	～ 2000	20	白石綿	準不燃（個） No. 2379	
アサヒ防火板	石綿含有パルプセメント板		（株）朝日セラテック	1970 ～		白石綿	準不燃 No. 2041	*
アサヒ吸音板	石綿含有パルプセメント板		（株）朝日セラテック	1970 ～		白石綿	準不燃 No. 2041	*
アサヒサンボード	石綿含有パルプセメント板		（株）朝日セラテック	1970 ～		白石綿	準不燃 No. 2041	*
アサヒ・ファンシー準不燃1-2	石綿含有パルプセメント板	A J - * * * *	朝日特殊合板（株）	1972 ～ 1981	単体5% 基材5% 表面化粧0%	白石綿	準不燃（個） No. 2560	
アサヒ・ファンシー準不燃1-2	石綿含有パルプセメント板		朝日特殊合板（株）	1981 ～			準不燃（個） No. 2560	*
サンエース準不燃やわらぎ	石綿含有パルプセメント板		アサヒ塗装工業（株）	1980 ～ 1987	基材27	情報なし	準不燃（個） No. 2254	
アサヒトップ不燃	石綿含有パルプセメント板		旭ボード工業（株）	1977 ～			不燃（個） No. 1387	*
アサヒ・不燃エコ-A	石綿含有パルプセメント板		旭ボード工業（株）	1980 ～			不燃（個） No. 1568	*
イビエース準不燃F	石綿含有パルプセメント板		揖斐川電気工業（株）	1971 ～ 1978	基材27	情報なし	準不燃（個） No. 2087	
イビキッチンウォール	石綿含有パルプセメント板		揖斐川電気工業（株）	1980 ～ 1990	情報なし	情報なし		
ハイプレストン	石綿含有パルプセメント板		永大産業（株）	1974 ～ 1976	単体20±3	白石綿	不燃（個） No. 1245	
エイロックタフ	石綿含有パルプセメント板	RTー	永大産業（株）	1971 ～ 1976	基材6. 9	白石綿	準不燃 No. 2042	
エイロックドリーム	石綿含有パルプセメント板	RDー	永大産業（株）	1972 ～ 1974	基材6. 9	白石綿	準不燃 No. 2042	
エイロックプリント	石綿含有パルプセメント板	RPー	永大産業（株）	1971 ～ 1976	基材6. 9	白石綿	準不燃 No. 2042	
プレストンプリント	石綿含有パルプセメント板	PSPー	永大産業（株）	1974 ～ 1976	基材6. 9	白石綿	準不燃（個） No. 2301	
エイロックタフデラックス	石綿含有パルプセメント板	RTDー	永大産業（株）	1976 ～ 1980	基材6. 9	白石綿	準不燃 No. 2042	
DS不燃化粧パネル	石綿含有パルプセメント板		岡田銘木（株）	1969 ～			不燃 No. 1002	*

注）右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
防火エース	石綿含有パルプセメント板		(株) カミヤマ	1970 ～			準不燃 No. 2041	*
ギフ準不燃GK-1	石綿含有パルプセメント板		(株) 岐阜加工ベニヤ製作所	1993 ～ 1993	基材27 表面化粧0		準不燃（個） No. 2416	
キョーライトE	石綿含有パルプセメント板		(株) キョーテック	～ 1995	単体：27 基材：27	白石綿	準不燃（個） No. 2271	
キョーライトリビンE	石綿含有パルプセメント板		(株) キョーテック	～ 1995	単体：27 基材：27	白石綿	準不燃（個） No. 2272	
不燃SBサンボード	石綿含有パルプセメント板		三協新建材工業（株）	1980 ～			不燃（個） No. 1571	*
ネオベスト	石綿含有パルプセメント板		山王セラミックス（株）	1975 ～ 1992	基材11	クリソタイル	不燃（個） No. 1353	
サンワボード サンワ吸音板	石綿含有パルプセメント板		(株) 三和不燃ボード工業	1961 ～ 2000	単体：5以上 基材：5～7	白石綿	準不燃 No. 2041	
サンワボード サンワ吸音板	石綿含有パルプセメント板		(株) 三和不燃ボード工業	2000 ～ 2000	単体：5以上 基材：5～7	白石綿	QM No. 9703	
サンワハードボード	石綿含有パルプセメント板		(株) 三和不燃ボード工業	1961 ～ 2000	6	白石綿	準不燃 No. 2041	
サンワハードボード	石綿含有パルプセメント板		(株) 三和不燃ボード工業	2001 ～ 2001	6	白石綿	QM No. 9703	
サンワボード	石綿含有パルプセメント板		(株) 三和不燃ボード工業	1961 ～ 2001	6	白石綿	準不燃 No. 2041	
サンワボード	石綿含有パルプセメント板		(株) 三和不燃ボード工業	2001 ～ 2001	6	白石綿	QM No. 9703	
シポラバーム	石綿含有パルプセメント板		芝浦プラスチック工業（株）	1975 ～			不燃（個） No. 1313	*
新生硬質板	石綿含有パルプセメント板		新生不燃ボード（株）	1970 ～ 2000	単体5以上	白石綿	準不燃 No. 2041	
新生硬質板	石綿含有パルプセメント板		新生不燃ボード（株）	2000 ～ 2003	単体5以上	白石綿	QM No. 9704	
新生ボード	石綿含有パルプセメント板		新生不燃ボード（株）	1970 ～ 2000	単体5以上	白石綿	準不燃 No. 2041	
新生ボード	石綿含有パルプセメント板		新生不燃ボード（株）	2000 ～ 2003	単体5以上	白石綿	QM No. 9704	
新生硬質板	石綿含有パルプセメント板		新生不燃ボード（株）	1970 ～ 2003	4	白石綿	QM No. 9704	
新生ボード	石綿含有パルプセメント板		新生不燃ボード（株）	1970 ～ 2000	4	白石綿	準不燃 No. 2042	
新生ボード	石綿含有パルプセメント板		新生不燃ボード（株）	2001 ～ 2003	4	白石綿	QM No. 9704	
明治フネンタイル	石綿含有パルプセメント板		新明興産業（株）	1984 ～			不燃（個） No. 1797	*
スミセボード	石綿含有パルプセメント板		スミセスレート建材（株）	1975 ～			不燃（個） No. 1312	*
カラスミセA-3	石綿含有パルプセメント板		スミセスレート建材（株）	1976 ～			不燃（個） No. 1372	*
ダンライトスタック	石綿含有パルプセメント板		段谷プリント板工業（株）	1977 ～			不燃（個） No. 1409	*
チューエツボード	石綿含有パルプセメント板		中越テック（株）建材事業部	1972 ～ 1998	単体5以上	白石綿	準不燃 No. 2041	
中越防火板	石綿含有パルプセメント板		中越テック（株）建材事業部	1972 ～ 1998	単体5以上	白石綿	準不燃 No. 2041	

注）右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
中越吸音板	石綿含有パルプセメント板		中越テック（株）建材事業部	1972 ～ 1998	単体5以上	白石綿	準不燃 No. 2041	
中越硬質板	石綿含有パルプセメント板		中越テック（株）建材事業部	1972 ～ 1998	単体5以上	白石綿	準不燃 No. 2041	
トーヨーロックカラー	石綿含有パルプセメント板		東洋プライウッド（株）	1972 ～ 1973	情報なし	白石綿		
フネンテンKタイプ	石綿含有パルプセメント板		南海プライウッド（株）	1977 ～			不燃（個） No. 1390	*
NKボード	石綿含有パルプセメント板		日光化成（株）	1975 ～ 1977	単体20±2 . 5	白石綿	不燃（個） No. 1294	
アートフネン	石綿含有パルプセメント板		日光化成（株）	1978 ～ 1993	基材20±2 . 5	白石綿	不燃（個） No. 1440	
防火ライト	石綿含有パルプセメント板		日進防火板工業（株）	1965 ～ 1969	3	白石綿	準不燃 No. 2042	
防火ライト	石綿含有パルプセメント板		日進防火板工業（株）	1970 ～ 1995	3	白石綿	準不燃 No. 2042	
メラニット・ポリ・フネン	石綿含有パルプセメント板		日東紡績（株）	1978 ～			不燃（個） No. 1439	*
メラニット・ポリ・準フネン	石綿含有パルプセメント板		日東紡績（株）	1978 ～			準不燃（個） No. 2460	*
メラニット・ポリFB	石綿含有パルプセメント板		日東紡績（株）	1979 ～			準不燃（個） No. 2518	*
ポリミラー不燃板	石綿含有パルプセメント板		日本ポリミラー（株）	1976 ～			不燃（個） No. 1374	*
FAボードA	石綿含有パルプセメント板		富士不燃建材工業（株）	1984 ～ 2003	基材12	白石綿	不燃（個） No. 1774	
フジハイ	石綿含有パルプセメント板		富士不燃建材工業（株）	1975 ～ 1992	基材5	白石綿	準不燃（通） No. 2042	
FAボードB	石綿含有パルプセメント板	S	富士不燃建材工業（株）	1975 ～ 1989	基材4	白石綿	準不燃（個） No. 2632	
富士ハイハード	石綿含有パルプセメント板		富士不燃建材工業（株）	1976 ～ 1977	基材15	白石綿	不燃（個） No. 1350	
NFボード	石綿含有パルプセメント板		富士不燃建材工業（株）	1983 ～ 1990	基材4	白石綿	準不燃（個） No. 2617	
ニューFAボード	石綿含有パルプセメント板		富士不燃建材工業（株）	1989 ～ 1990	基材4. 5	白石綿	不燃（個） No. 11144	
フジボード不燃ポリ	石綿含有パルプセメント板		富士ボード工業（株）	1981 ～			不燃（個） No. 1592	*
ユアサパステルサイジング<不燃>	石綿含有パルプセメント板		ユアサ産業（株）	1977 ～			不燃（個） No. 1395	*

注）右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1. 1 1) ②に該当する建材になります。

添付11

発行・登録日

R5/8/11

題名	石綿含有押出成形セメント板			
資料出典	国土交通省・経済産業省 石綿（アスベスト）含有建材データベース			
出典元URL	https://asbestos-database.jp/search/?action=search&sort=&order=&offset=0&limit=20&searchTxt=&searchTxtSame=&searchRange%5B0%5D=kenzaimei&searchRange%5B1%5D=productName&searchRange%5B2%5D=meKaSeizoMeiSho&searchRange%5B3%5D=meKaMeiSho&searchRange%5B4%5D=kataban&kenzaimei=%E7%9F%B3%E7%B6%BF%E			
該当建材	書面調査で該当する材料			
	押出成形セメント板φ60			
	調査内容・結果	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
		押出成形セメント板		
目視調査の結果、押出成形セメント板は建物の外壁下地に使用されている。石綿データベースを基に石綿含有と判定した。				

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。
 ※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。
 詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

検索条件

フリーワード：
 フリーワードの対象：建材名（一般名）、商品名、製造時メーカー名、現在メーカー名、型番・品番
 施工年・改修年：指定なし
 建材名（一般名）：石綿含有押出成形セメント板
 施工部分・使われ方（外装材）：
 施工部分・使われ方（内装材）：
 施工部分・使われ方（耐火被覆材）：
 施工部分・使われ方（設備）：
 施工部分・使われ方（その他）：
 施工部分・使われ方（使われ方）：
 不燃材料等認識番号：No.
 削除済みデータ：含めずに検索する

検索結果

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
サイネックスコーナ パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFL-5030	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿		
サイネックスコーナ パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFL-6030	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿		
サイネックススタイル ベースコーナパネル	石綿含有押出成形セメ ント板	ABL-6029	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿		
サイネックススタイル ベースコーナパネル	石綿含有押出成形セメ ント板	ABL-6033	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿		
サイネックススタイル ベースパネル	石綿含有押出成形セメ ント板	ABH-6060	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿		
サイネックススタイル ベースパネル	石綿含有押出成形セメ ント板	ABH-6058	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿		
サイネックススタイル ベースパネル	石綿含有押出成形セメ ント板	ABH-6056	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿		
サイネックススタイル ベースパネル	石綿含有押出成形セメ ント板	ABH-6050	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿		
サイネックスフラット パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFH-5060	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿	不燃（個） No. 12011	
サイネックスフラット パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFH-5060	アサノサイネックス（株）	2000 ～ 2000	8	白石綿	NM No. 8528	
サイネックスフラット パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFH-5050	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿	不燃（個） No. 12011	
サイネックスフラット パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFH-5050	アサノサイネックス（株）	2000 ～ 2000	8	白石綿	NM No. 8528	
サイネックスフラット パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFH-5045	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿	不燃（個） No. 12011	
サイネックスフラット パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFH-5045	アサノサイネックス（株）	2000 ～ 2000	8	白石綿	NM No. 8528	
サイネックスフラット パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFH-6060	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿	不燃（個） No. 12011	
サイネックスフラット パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFH-6060	アサノサイネックス（株）	2000 ～ 2000	8	白石綿	NM No. 8528	
サイネックスフラット パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFH-6050	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿	不燃（個） No. 12011	
サイネックスフラット パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFH-6050	アサノサイネックス（株）	2000 ～ 2000	8	白石綿	NM No. 8528	
サイネックスフラット パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFH-6045	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿	不燃（個） No. 12011	
サイネックスフラット パネル	石綿含有押出成形セメ ント板	AFH-6045	アサノサイネックス（株）	2000 ～ 2000	8	白石綿	NM No. 8528	

注）右端に＊印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
サイネックスフラットパネル	石綿含有押出成形セメント板	AFH-7560	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿	不燃（個） No. 12011	
サイネックスフラットパネル	石綿含有押出成形セメント板	AFH-7560	アサノサイネックス（株）	2000 ～ 2000	8	白石綿	NM No. 8528	
サイネックスラインパネル	石綿含有押出成形セメント板	ALA-6660	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿		
サイネックスラインパネル	石綿含有押出成形セメント板	ALB-7060	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿		
サイネックスラインパネル	石綿含有押出成形セメント板	ALC-7060	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿		
サイネックスラインパネル	石綿含有押出成形セメント板	ALD-7560	アサノサイネックス（株）	1997 ～ 2000	8	白石綿		
ファッションボーダー	石綿含有押出成形セメント板	FX-12	クリオン（株）	1986 ～ 2004	5	白石綿		
ファッションボーダー	石綿含有押出成形セメント板	FX-18	クリオン（株）	1986 ～ 2004	5	白石綿		
ファッションボーダー	石綿含有押出成形セメント板	FZ-12	クリオン（株）	1986 ～ 2004	5	白石綿		
ファッションボーダー	石綿含有押出成形セメント板	FZ-18	クリオン（株）	1986 ～ 2004	5	白石綿		
ファッションボーダー	石綿含有押出成形セメント板	F X - 1 2	クリオン（株）	2004 ～ 2006		天然鉱物繊維(セピオライト)		
ファッションボーダー	石綿含有押出成形セメント板	F X - 1 8	クリオン（株）	2004 ～ 2006		天然鉱物繊維(セピオライト)		
ファッションボーダー	石綿含有押出成形セメント板	F Z - 1 2	クリオン（株）	2004 ～ 2006		天然鉱物繊維(セピオライト)		
ファッションボーダー	石綿含有押出成形セメント板	F Z - 1 8	クリオン（株）	2004 ～ 2006		天然鉱物繊維(セピオライト)		
化粧ベンリーボード	石綿含有押出成形セメント板		山王セラミックス（株）	1975 ～ 1992	基材22	クリソタイル	準不燃（個） No. 2357	
デラボード	石綿含有押出成形セメント板		山王セラミックス（株）	1975 ～ 1992	基材22	クリソタイル	準不燃（個） No. 2358	
ベンリーボードA	石綿含有押出成形セメント板		山王セラミックス（株）	1962 ～ 1962	基材22	クリソタイル	不燃（個） No. 1203	
フレックス	石綿含有押出成形セメント板		（株）ジェイ・エフ・ビー	1987 ～			不燃（個） No. 1961	*
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA5560R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA5550	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA5545	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA5560	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA5550R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA5545R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA6560	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		

注）右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA6550	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA6545	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA6560R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA6550R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA6545R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA55Y70	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA55Y70R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA65N70	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA65N70R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LAT6560	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LAT6558	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LAT6556	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LAT6560R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LAT6558R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LAT6556R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA5559	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA5559R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA6559	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	LA6559R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	DSTM5529	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	DSTM5529R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	DSTM6529	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	DSTMT6529	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	DSTM5581	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	DSTM5581R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	DSTM6581	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		
ラムダⅡG品（厚物50～65mm）	石綿含有押出成形セメント板	DSTM6581R	昭和電工建材（株）	1997 ～ 2000	18	白石綿		

注）右端に＊印が付いた建材は、「ご利用上の注意」1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
部材（セラモール・デコモール）	石綿含有押出成形セメント板		セレックス工業（株）	1987 ～ 1998	基材3	白石綿	不燃（個） No. 1894	
アセックス	石綿含有押出成形セメント板		日本コンクリート工業（株）	1981 ～ 1981	情報なし	白石綿	不燃（個） No. 1673	
アスロック（タイプⅠ）	石綿含有押出成形セメント板		（株）ノザワ	1970 ～ 2002	10	白石綿	不燃（個） No. 1061	
アスロック（タイプⅠ）	石綿含有押出成形セメント板		（株）ノザワ	2002 ～ 2004	10	白石綿	NM No. 9975	
アスロックL	石綿含有押出成形セメント板		（株）ノザワ	1988 ～ 1995	4	白石綿	不燃（個） No. 11049	
フジクリーンはふいた	石綿含有押出成形セメント板		富士不燃建材工業（株）	1992 ～ 2000	基材5	白石綿	不燃（個） No. 1933	
メース（タイプⅠ）	石綿含有押出成形セメント板		三菱セメント建材（株）	1974 ～ 2002	10～20	白石綿	不燃（個） No. 1347	
メース（タイプⅠ）	石綿含有押出成形セメント板		三菱セメント建材（株）	2002 ～ 2004	10～20	白石綿	NM No. 9197	
メースFA	石綿含有押出成形セメント板		三菱セメント建材（株）	1989 ～ 1995	5未満	白石綿	不燃（個） No. 11050	
エトリートE	石綿含有押出成形セメント板		三菱マテリアル建材（株）	1980 ～ 1982	単体25±10	白石綿	不燃（個） No. 1453	
メースライト	石綿含有押出成形セメント板		三菱マテリアル建材（株）	1987 ～ 1991	単体20	白石綿	不燃（個） No. 11035	

注）右端に＊印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

添付12

発行・登録日 R5/8/11

題名	石綿含有けい酸カルシウム板第1種			
資料出典	国土交通省・経済産業省 石綿（アスベスト）含有建材データベース			
出典元URL	https://asbestos-database.jp/search/?home=1&searchClick=0&offset=0&searchTxt=&action=search&searchRange%5B%5D=kenzaimei&searchRange%5B%5D=productName&searchRange%5B%5D=meKaSeizoMeisho&searchRange%5B%5D=meKaMeisho&searchRange%5B%5D=kataban&kenzaimei=%E7%9F%B3%E7%B6%BF%E5%90%AB%E6%9C%89%E3%8			
該当建材	書面調査で該当する材料			
	ケイカル板㊦6	ケイ酸カルシウム板		
	調査内容・結果	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
		ケイ酸カルシウム板		
目視調査の結果、ケイ酸カルシウム板は建物の内部（便所等）、外部（軒天井）に使用されている。ボード裏面の刻印で a マークの存在を確認。石綿データベースを基に石綿含有と判定した。				

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

検索条件

フリーワード：
フリーワードの対象：建材名（一般名）、商品名、製造時メーカー名、現在メーカー名、型番・品番
施工年・改修年：指定なし
建材名（一般名）：石綿含有けい酸カルシウム板第1種
施工部分・使われ方（外装材）：
施工部分・使われ方（内装材）：
施工部分・使われ方（耐火被覆材）：
施工部分・使われ方（設備）：
施工部分・使われ方（その他）：
施工部分・使われ方（使われ方）：
不燃材料等認識番号：No.
削除済みデータ：含めずに検索する

検索結果

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
フネファンシーたかくら	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	FDX3	(株) トウガク	1992 ～ 1997	基材11	白石綿	不燃 (個) No. 1098	
アイカ・セーフネンF-3	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		アイカ工業 (株)	1974 ～ 1992	基材20±2.5	白石綿	不燃 (個) No. 1251	
アイカ・フネンSL-6	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		アイカ工業 (株)	1974 ～ 1992	基材15	白石綿	不燃 (個) No. 1202	
アイカ準不燃P-2	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		アイカ工業 (株)	1973 ～ 1992	基材15	白石綿	準不燃 (個) No. 2204	
アイカジュンフネンF-10	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	NWR-	アイカ工業 (株)	1985 ～ 1992	3～20	白石綿	準不燃 (個) No. 2240	
アイカジュンフネンF-6	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	NW-	アイカ工業 (株)	1985 ～ 1992	3～20	白石綿	準不燃 (個) No. 2238	
アイカセーフネン16	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	PG-	アイカ工業 (株)	1985 ～ 1992	3～20	白石綿	準不燃 (個) No. 2240	
アイカセーフネンN-10	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	SGG- SGC-	アイカ工業 (株)	1985 ～ 1992	3～20	白石綿	不燃 (個) No. 11189	
アイカセーフネンN-6	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	SGC- SGG-	アイカ工業 (株)	1985 ～ 1992	3～20	白石綿	不燃 (個) No. 11344	
浅野セラリック	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート (株)	1987 ～ 1992	3	白石綿	不燃 (個) No. 1957	
浅野セラリックE-CR	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート (株)	1987 ～ 1992	3	白石綿	不燃 (個) No. 1958	
浅野ネオラック5	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート (株)	1973 ～ 1992	2	白石綿	不燃 (個) No. 1186	
浅野ハイラック-FA	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート (株)	～ 1992	5	白石綿	不燃 (個) No. 1789	
浅野ハイラック-AF#100	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート (株)	～ 2000	3～8	白石綿	不燃 No. 1001	
浅野ハイラック-AF#80	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート (株)	～ 2000	3～8	白石綿	不燃 No. 1001	
浅野ハイラック吸音板	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート (株)	～ 1992	3～8	白石綿	不燃 No. 1001	
タイラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート (株)	1978 ～ 2000	15	白石綿	不燃 No. 1002	
タイラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート (株)	1978 ～ 2000	30	白石綿	不燃 (個) No. 1057	
浅野ハイラック	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート (株)	1971 ～ 1979	3～20	白石綿	不燃 No. 1001	
浅野ハイラック	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート (株)	1980 ～ 1987	3～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1001	

注) 右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。
 ※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。
 詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
浅野ハイラック	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート（株）	1988 ～ 1992	3～20	白石綿	不燃 No. 1001	
浅野ハイラック（特注品）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		浅野スレート（株）	1992 ～ 2000	3～8	白石綿	不燃 No. 1001	
アスベストン	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		朝日石綿工業（株）	1969 ～ 1977	3～20	白石綿	不燃 No. 1001	
アスベストン	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		朝日石綿工業（株）	1978 ～ 1987	3～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1001	
アスベストンF	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		朝日石綿工業（株）	1975 ～ 1979	3～20	白石綿	不燃 No. 1061	
アスベストンF	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		朝日石綿工業（株）	1980 ～ 1987	3～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
アサヒ・不燃エコーL	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		旭ボード工業（株）	1980 ～			不燃（個） No. 1569	*
アスクステンド#500	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）アスク	1981 ～ 1992	3～20	白石綿	不燃 No. 1002	
アスベストン化粧板3号	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）アスク	～ 1992	3～20	白石綿	不燃 No. 1002	
アスベストン	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）アスク	1987 ～ 1992	3～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1001	
アスベストンF	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）アスク	1987 ～ 1992	3～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
アダチ準フネンアスウッドF	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）アダチ技研	1977 ～ 1999	基材75	白石綿	準不燃（個） No. 2426	
アダチ準フネンアスウッドFV	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）アダチ技研	1977 ～ 1993	基材10	白石綿	準不燃（個） No. 2427	
不燃ビーエスファンシー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		石橋化粧合板工業（株）	1972 ～			不燃（個） No. 1108	*
中越ケイカル板（ボード）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	K	イワキ中越（株）	1989 ～ 1993	10～15	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
中越ケイカル板（ボード）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	K	イワキ中越（株）	1994 ～ 1998	5	白石綿	不燃 No. 1061	
中越ラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	K	イワキ中越（株）	1989 ～ 1993	5	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
中越ラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	K	イワキ中越（株）	1994 ～ 1998	5	白石綿	不燃 No. 1061	
ハイラック（特注品）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）イーアンドエーマテリアル	2000 ～ 2002	3～8	白石綿	不燃 No. 1001	
ハイラック（特注品）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）イーアンドエーマテリアル	2002 ～ 2004	3～8	白石綿	NM No. 8576	
ロックサイディング	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	FSK-	永大産業（株）	1973 ～ 1974	基材15	白石綿	不燃 No. 1002	
英雄不燃	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		永大産業（株）	1973 ～ 1973	基材5	白石綿	不燃 No. 1002	
英雄不燃-S	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		永大産業（株）	1973 ～ 1973	基材5	白石綿	不燃 No. 1002	
銘木不燃板	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		大阪単板工業（株）	1970 ～			不燃（個） No. 1032	*
大塚マーブル（一般壁）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	厚さ6. 1 8. 1 10. 1 12. 1mm	大塚化学（株）家具事業部	1987 ～ 1992	基材10～15	白石綿のみまたは白・茶混合	不燃 No. 1002	
大塚マーブル（キッチン壁）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	厚さ6. 1 8. 1 10. 1 12. 1mm	大塚化学（株）家具事業部	1987 ～ 1987	基材10～15	白石綿のみまたは白・茶混合	不燃 No. 1002	

注）右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
大塚マーブル（水廻り壁）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	厚さ6. 1 8. 1 10. 1 12. 1mm	大塚化学（株）家具事業部	1987 ～ 1990	基材10～15	白石綿のみまたは白・茶混合	不燃 No. 1002	
大塚マーブルII（Hタイプ）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	厚さ4. 1 6. 1 8. 1 10. 1 12. 1mm	大塚化学（株）家具事業部	1988 ～ 1994	基材10～15	白石綿	不燃 No. 1002	
大塚マーブルII（Lタイプ）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	厚さ6. 1 8. 1 10. 1 12. 1mm	大塚化学（株）家具事業部	1988 ～ 1988	基材10～15	白石綿のみまたは白・茶混合	不燃 No. 1002	
大塚マーブルII（キッチン壁・天井）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	厚さ6. 1 8. 1 10. 1 12. 1mm	大塚化学（株）家具事業部	1988 ～ 1988	基材10～15	白石綿のみまたは白・茶混合	不燃 No. 1002	
大塚マーブルII（水廻り壁・天井）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	厚さ6. 1 8. 1 10. 1 12. 1mm	大塚化学（株）家具事業部	1988 ～ 1994	基材10～15	白石綿のみまたは白・茶混合	不燃 No. 1002	
オカサン準不燃化粧パネル	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		岡田銘木（株）	1971 ～			準不燃（個） No. 2088	*
セーフウォールF-1	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）岡村製作所	1978 ～ 1992	基材11以上	白石綿、茶石綿		
セーフウォールF-2	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）岡村製作所	1978 ～ 1992	基材11以上	白石綿、茶石綿		
カジマボード	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		鹿島建設（株）	1975 ～ 1978	基材10	情報なし	不燃 No. 1101	
防火エース(TA)	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）カミヤマ	1980 ～			準不燃（個） No. 2535	*
リバーウォール	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		川鉄建材（株）	1970 ～ 1992	基材11以上	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1017	
キョーエースN	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）キョーテック	～ 1991	単体：10～20 基材：15	白石綿、茶石綿	不燃（個） No. 1733	
キョーライトD	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）キョーテック	～ 1995	単体：15 基材：15	白石綿、茶石綿	準不燃（個） No. 2100	
キョーライトF	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）キョーテック	～ 1995	単体：15 基材：15	白石綿、茶石綿	準不燃（個） No. 2032	
キョーライトリビン-N	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）キョーテック	～ 1995	単体：30 基材：30	白石綿、茶石綿	不燃（個） No. 1412	
キョーエースM	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）キョーテック	～ 1995	単体：13 基材：13	白石綿	不燃（個） No. 1001	
プライシリカ	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1974 ～ 1992	3～10	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
カバサイトF-不燃	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1978 ～ 1980	5～15	白石綿、茶石綿	不燃（個） No. 1388	
カバサイトF-不燃	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1981 ～ 1991	5以下	白石綿、茶石綿	不燃（個） No. 1388	
カバサイトF-不燃	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1981 ～ 1991	5以下	白石綿、茶石綿	不燃（個） No. 1496	
カバサイトL	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1976 ～ 1980	5～15	白石綿、茶石綿	準不燃（個） No. 2131	
カバサイトL	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1981 ～ 1982	5以下	白石綿、茶石綿	準不燃（個） No. 2131	
カバサイトM	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1986 ～ 1991	5以下	白石綿、茶石綿	準不燃（個） No. 2352	
防火軒天井ボード	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1978 ～ 1991	5以下	白石綿、茶石綿	不燃（個） No. 1430	
防火軒天井ボード	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1992 ～ 1995	5以下	白石綿	不燃（個） No. 1430	

注）右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
防火軒天井ボード	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1996 ～ 2002	1以下	白石綿	不燃（個） No. 11053	
防火破風板・不燃造作材	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1985 ～ 1995	5以下	白石綿	不燃（個） No. 1810	
ラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1972 ～ 1980	5～15	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
ラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		神島化学工業（株）	1981 ～ 1991	5以下	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
サンパネ	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	特注品番不特定	サンウェーブ工業（株）	1983 ～ 1988	基材11以上	情報なし	不燃 No. 1017	
ハイベスト	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		山王セラミックス（株）	1962 ～ 1992	基材22	クリソタイル	不燃（個） No. 1234	
山王石綿ベニヤ	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		山王セラミックス（株）	1967 ～ 2000	15	クリソタイル	不燃 No. 1001	
ハイベスト	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		山王セラミックス（株）	1967 ～ 1992	15	クリソタイル	不燃 No. 1001	
山王石綿ベニヤ吸音板	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		山王セラミックス（株）	1967 ～ 1992	15	クリソタイル	不燃 No. 1001	
山王バスボード吸音板	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		山王セラミックス（株）	1967 ～ 1992	15	クリソタイル	不燃 No. 1001	
ベンリーボードA	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		山王セラミックス（株）	1967 ～ 1992	15	クリソタイル	不燃 No. 1001	
山王パスポート	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		山王セラミックス（株）	1967 ～ 1980	基材15	クリソタイル	不燃 No. 1002	
ベンリーボードC	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		山王セラミックス（株）	1967 ～ 1992	15	クリソタイル	不燃 No. 1001	
シミズ高級化粧準不燃板	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		清水建設（株）東京木工場	～ 2004	情報なし	白石綿	準不燃 No. 2071	
シミズ高級化粧不燃板	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		清水建設（株）東京木工場	～ 2004	情報なし	白石綿	不燃 No. 1101	
シミズ高級化粧不燃板T	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		清水建設（株）東京木工場	～ 2004	情報なし	白石綿	不燃（個） No. 1225	
エスボードK-1号	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		新日鐵化学（株）	1969 ～			不燃 No. 1061	*
セキスイアスベール #100	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	SA-100	積水化学工業（株）	1970 ～ 1994	基材10	白石綿	不燃 No. 1002	
セキスイアスベール #1000	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	SA-1000	積水化学工業（株）	1970 ～ 1994	基材10	白石綿	不燃 No. 1002	
セキスイアスベール #100H	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	SAH-100	積水化学工業（株）	1976 ～ 1994	基材10	白石綿	準不燃（個） No. 2404	
セキスイアスベール #200	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	SA-200	積水化学工業（株）	1970 ～ 1994	基材10	白石綿	不燃 No. 1002	
セキスイアスベール #500	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	SA-500	積水化学工業（株）	1981 ～ 1994	基材10	白石綿	準不燃（個） No. 2449	
セラスター	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		大建工業（株）	1990 ～ 1992	基材20	白石綿	不燃（個） No. 11221	
ダイフネンパネル	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		ダイソー（株）	1981 ～ 1988	基材15	白石綿	不燃 No. 1002	
ディックフネン	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		大日本インキ化学工業（株）	1973 ～ 1993	9～13	白石綿	不燃（個） No. 1193	
ディックフネンS	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		大日本インキ化学工業（株）	1986 ～ 1994	9～13	白石綿	不燃 No. 1002	
ダイワフネン銘木石綿	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		大和ツキ板産業（株）	1978 ～ 2004	基材15	白石綿	不燃（個） No. 1443	

注）右端に＊印が付いた建材は、「ご利用上の注意」1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
ローズ不燃化粧板RA	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		(株) 高島屋工作所	1970 ～ 1976	基材15	使用する基材による	不燃 (個) No. 1016	
ローズ不燃化粧板RA	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		(株) 高島屋工作所	2000 ～ 2004	基材15	使用する基材による	NM No. 8581	
ローズ不燃化粧板RA	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		(株) 高島屋工作所	1976 ～ 2000	基材15	使用する基材による	不燃 No. 1101	
クリーンパネル	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	中越不燃カラーDX	(株) チューエツ、ワシ中越ボード (株)	1982 ～ 1992	基材15	白石綿	不燃 No. 1002	
中越カラーケイカルUKT	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		中越テック (株) 建材事業部	1996 ～ 1997	基材11以上	白石綿	不燃 No. 1039	
中越カラーケイカルEKT	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		中越テック (株) 建材事業部	1996 ～ 1997	基材11以上	白石綿	不燃 No. 1039	
中越カラーケイカルAKT	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		中越テック (株) 建材事業部	1996 ～ 1997	基材11以上	白石綿	不燃 No. 1039	
スーパーフネン	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		天龍木材 (株)	1980 ～ 1987	基材5	白石綿	不燃 No. 1002	
フネンファンシーたかくら	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	FDX2	(株) トウガク	1992 ～ 1997	基材11	白石綿	不燃 (個) No. 1098	
東伸不燃パネル	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	東伸不燃パネル	東伸合板 (株)	1965 ～ 1992	基材11	白石綿	不燃 (個) No. 1159	
不燃トーヨーカラー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	F01	東洋プライウッド (株)	1983 ～ 1989	情報なし	白石綿	不燃 (個) No. 1079	
不燃トーヨーカラー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	F02	東洋プライウッド (株)	1983 ～ 1989	情報なし	白石綿	不燃 (個) No. 1079	
不燃トーヨーカラー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	F03	東洋プライウッド (株)	1983 ～ 1989	情報なし	白石綿	不燃 (個) No. 1079	
不燃トーヨーカラー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	F04	東洋プライウッド (株)	1983 ～ 1989	情報なし	白石綿	不燃 (個) No. 1079	
不燃トーヨーカラー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	F05	東洋プライウッド (株)	1983 ～ 1989	情報なし	白石綿	不燃 (個) No. 1079	
不燃ファンシー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	FDX4	東洋プライウッド (株)	1992 ～ 1997	情報なし	白石綿	不燃 (個) No. 1098	
不燃ファンシー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	FDX5	東洋プライウッド (株)	1992 ～ 1997	情報なし	白石綿	不燃 (個) No. 1098	
不燃ファンシー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	FDX6	東洋プライウッド (株)	1992 ～ 1997	情報なし	白石綿	不燃 (個) No. 1098	
不燃ファンシー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	FDX7	東洋プライウッド (株)	1992 ～ 1997	情報なし	白石綿	不燃 (個) No. 1098	
不燃ファンシー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	FDX8	東洋プライウッド (株)	1992 ～ 1997	情報なし	白石綿	不燃 (個) No. 1098	
不燃ファンシーたかくら	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	FDX1 961 962 963	東洋プライウッド (株)	1987 ～ 1991	情報なし	白石綿	不燃 (個) No. 1098	
不燃ファンシーデラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	FDX1 961 962 963	東洋プライウッド (株)	1987 ～ 1991	情報なし	白石綿	不燃 (個) No. 1098	
グラサル	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		東レグラサル (株)	1975 ～ 1997	11～13	白石綿	不燃 (個) No. 1274	
グラサルFX	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		東レグラサル (株)	1975 ～ 1997	11～13	白石綿	不燃 (個) No. 1273	
ファサル	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		東レグラサル (株)	1975 ～ 1997	10	白石綿	不燃 (個) No. 1272	
ファサル (15mm)	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		東レグラサル (株)	1974 ～ 1997	10	白石綿	不燃 (個) No. 1254	
グラサル	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		東レグラサル (株)	1973 ～ 1997	11～13	白石綿	不燃 (個) No. 1035	

注) 右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。
 ※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。
 詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
グラサル耐衝撃パネル	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		東レグラサル（株）	1994 ～ 1997	11～13	白石綿	不燃（個） No. 11600	
ナブコ不燃秋葉	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		中村合板（株）	1971 ～			不燃（個） No. 1070	*
防火のき天	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6430-F	ニチアス（株）	1987 ～ 1990	5～15	白石綿、茶石綿		
ホームタイル	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6455	ニチアス（株）	1983 ～ 1991	10～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1732	
アスカラー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		日光化成（株）	1974 ～ 1985	基材15	白石綿	不燃 No. 1002	
アスファイヤー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		日光化成（株）	1974 ～ 1976	単体15	白石綿	不燃 No. 1001	
アスファイヤー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		日光化成（株）	1974 ～ 1976	約13	白石綿	不燃 No. 1001	
日章フネン	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		日章産業（株）	1982 ～			不燃（個） No. 1654	*
ダンウッドF2	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		日東紡績（株）	1985 ～ 1997	基材9～13	情報なし	不燃（個） No. 1945	
NPラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6450-Np	日本アスベスト（株）、ニチアス（株）	1974 ～ 1992	10～20	白石綿、茶石綿	不燃（個） No. 1185	
アストップ	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6463	日本アスベスト（株）	1970 ～ 1975	60～70	白石綿	不燃 No. 1007	
アスベストラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6450	日本アスベスト（株）	1960 ～ 1977	10～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
アスベストラックス（貫通板）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6461	日本アスベスト（株）	1960 ～ 1977	10～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
アスベストラックス（孔あき吸音板）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6460	日本アスベスト（株）	1960 ～ 1977	10～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
アスラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6440	日本アスベスト（株）、ニチアス（株）	1977 ～ 1991	10～20	白石綿、茶石綿	不燃（個） No. 1418	
アスラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6440	日本アスベスト（株）、ニチアス（株）	1977 ～ 1991	10～20	白石綿、茶石綿	不燃（個） No. 1382	
アスラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6440	日本アスベスト（株）、ニチアス（株）	1977 ～ 1991	10～20	白石綿、茶石綿	不燃（個） No. 1531	
ニチアスパネルL	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6420-L	日本アスベスト（株）、ニチアス（株）	1960 ～ 1992	10～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
ニチアスパネルS	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6420-S	日本アスベスト（株）、ニチアス（株）	1960 ～ 1992	10～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
ニチアスラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6450	日本アスベスト（株）、ニチアス（株）	1977 ～ 1992	10～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
のき天ボード	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6430	日本アスベスト（株）、ニチアス（株）	1981 ～ 1992	10～20	白石綿、茶石綿	不燃（個） No. 1572	
ホームラックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6465	日本アスベスト（株）、ニチアス（株）	1972 ～ 1992	10～20	白石綿、茶石綿		
ラックスD	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/# 6450D	日本アスベスト（株）、ニチアス（株）	1978 ～ 1990	5～15	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
ニチアスラックス（貫通板）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/#6461	日本アスベスト（株）、ニチアス（株）	1977 ～ 1992	10～20	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
ニチアスラックス（孔あき吸音板）	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	T/#6460	日本アスベスト（株）、ニチアス（株）	1977 ～ 1992	10～20	白石綿、茶石綿		
ヤマハ銘木不燃パネル	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		日本楽器製造（株）	1984 ～ 1987	単体10～15 基材10～15	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1002	

注）右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
バスフネン	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		日本ポリミラー（株）	1977 ～			不燃（個） No. 1413	*
ケイカレックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）ノザワ	1985 ～ 1992	10	白石綿	不燃 No. 1001	
ノザワバイタレックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）ノザワ	1985 ～ 2001	15	白石綿	不燃 No. 1002	
ノザワバイタレックス	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）ノザワ	2000 ～ 2001	15	白石綿	NM No. 8577	
ベスラック	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		フネンカ工業（株）	1973 ～			不燃（個） No. 1155	*
ベスラック3	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		フネンカ工業（株）	1974 ～			不燃（個） No. 1217	*
ナショナルクーリンウォール	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		北九州松下電工（株）	1982 ～ 1990	10～15	白石綿	不燃 No. 1017	
数寄屋杉	石綿含有けい酸カルシウム板第1種	KW*****	松下電工（株）	1987 ～ 1999	5	白石綿	不燃（個） No. 1937	
丸玉不燃カラー	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		丸玉産業（株）	1971 ～			不燃（個） No. 1072	*
丸玉不燃プリント	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		丸玉産業（株）	1971 ～			不燃（個） No. 1073	*
丸玉不燃プリントM	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		丸玉産業（株）	1971 ～			不燃（個） No. 1074	*
三越準不燃ボード	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）三越製作所	～ 1991	情報なし	白石綿	準不燃 No. 2071	
三越不燃ボード	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）三越製作所	～ 1991	情報なし	白石綿	不燃 No. 1101	
ヒシライト	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		三菱セメント建材（株）	1977 ～ 1993	5～10	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
ヒシライト	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		三菱セメント建材（株）	1977 ～ 1997	5～10	白石綿	不燃 No. 1061	
ヒシラック#100	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		三菱セメント建材（株）	1972 ～ 1997	10～15	白石綿	不燃 No. 1061	
ヒシラック#70	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		三菱セメント建材（株）	1972 ～ 1992	10～15	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1061	
ヒシラック#70	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		三菱セメント建材（株）	1972 ～ 1992	10～15	白石綿	不燃 No. 1061	
ファステン	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		三菱セメント建材（株）	1986 ～ 1997	15～25	白石綿	不燃 No. 1061	
ヒシラックFA	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		三菱セメント建材（株）	1972 ～ 1991	単体4	白石綿	不燃（個） No. 1626	
ヒシラック化粧板A	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		三菱マテリアル建材（株）	1972 ～ 1997	基材15	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1002	
ヒシラック化粧板B	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		三菱マテリアル建材（株）	1972 ～ 1997	基材15	白石綿、茶石綿	不燃 No. 1002	
ミヤボードK	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		宮崎木材工業（株）	1975 ～ 1993	基材11以上	白石綿、茶石綿	不燃（個） No. 1276	
KY準不燃化粧板黒潮	石綿含有けい酸カルシウム板第1種		（株）ヨコタ商会	1977 ～ 1999	基材75	白石綿	準不燃（個） No. 2453	

注）右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」1.1 1) ②に該当する建材になります。

添付13

発行・登録日 R5/8/11

題名	石綿含有ビニル床タイル			
資料出典	国土交通省・経済産業省 石綿（アスベスト）含有建材データベース			
出典元URL	https://asbestos-database.jp/search/?home=1&searchClick=0&offset=0&searchTxt=&action=search&searchRange%5B%5D=kenzaimei&searchRange%5B%5D=productName&searchRange%5B%5D=meKaSeizoMeisho&searchRange%5B%5D=meKaMeisho&searchRange%5B%5D=kataban&kenzaimei=%E7%9F%B3%E7%B6%BF%E5%90%AB%E6%9C%89%E3%8			
該当建材	書面調査で該当する材料			
	ビニール床タイル⑦2 B	ビニール床タイル⑦2 C	ビニール床タイル⑦3 A	
	ビニール床タイル⑦3 D			
	調査内容・結果	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
		ビニール床タイル（更衣室改修）		
目視調査の結果、ビニール床タイル（更衣室改修）は更衣室部分の改修時に施工された建材と考えられる。建材に対しての施工時の情報がないので石綿データベースを基に石綿含有と判定した。				

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。
 ※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。
 詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

検索条件

フリーワード：
フリーワードの対象：建材名（一般名）、商品名、製造時メーカー名、現在メーカー名、型番・品番
施工年・改修年：指定なし
建材名（一般名）：石綿含有ビニル床タイル
施工部分・使われ方（外装材）：
施工部分・使われ方（内装材）：
施工部分・使われ方（耐火被覆材）：
施工部分・使われ方（設備）：
施工部分・使われ方（その他）：
施工部分・使われ方（使われ方）：
不燃材料等認識番号：No.
削除済みデータ：含めずに検索する

検索結果

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
アームストロングタイル	石綿含有ビニル床タイル	なし	(株) エービーシー商会	1952 ～ 1982	情報なし	白石綿		
塩ビタイル	石綿含有ビニル床タイル	ロンタイルH	川口ゴム工業（株）	1962 ～ 1965	13	白石綿		
塩ビタイル	石綿含有ビニル床タイル	ロンタイルα	川口ゴム工業（株）	1965 ～ 1972	13	白石綿		
塩ビタイル	石綿含有ビニル床タイル	導電性タイル8	川口ゴム工業（株）	1967 ～ 1972	13	白石綿		
SRハイソフト	石綿含有ビニル床タイル	SR	信越ポリマー（株）	1961 ～ 1986	4～11	白石綿		
スプラッター	石綿含有ビニル床タイル	SL	信越ポリマー（株）	1961 ～ 1986	4～11	白石綿		
耐酸タイル	石綿含有ビニル床タイル	AR	信越ポリマー（株）	1968 ～ 1984	4～11	白石綿		
帯電防止タイル	石綿含有ビニル床タイル	PM-T	信越ポリマー（株）	1971 ～ 1986	4～11	白石綿		
耐油タイル	石綿含有ビニル床タイル	OR	信越ポリマー（株）	1979 ～ 1986	4～11	白石綿		
ポリマーブル	石綿含有ビニル床タイル	PM	信越ポリマー（株）	1961 ～ 1986	4～11	白石綿		
Pタイル	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1955 ～ 1986	3～30	白石綿		
アスファルトタイル（明色、暗色）	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1952 ～ 1970	45～50	白石綿		
コンダクティブタイル（コンタイル）	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1970 ～ 1986	6～15	白石綿		
コンマルチタイル	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1978 ～ 1986	3～5	白石綿		
ソフトン	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1960 ～ 1979	10～20	白石綿		
耐酸タイル	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1959 ～ 1986	5～50	白石綿		
耐熱タイル	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1970 ～ 1980	5～50	白石綿		
耐油タイル	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1970 ～ 1986	5～50	白石綿		
トラバーチン	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1975 ～ 1986	8	白石綿		
パステラル	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1983 ～ 1986	8	白石綿		

注）右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
ピサロン	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1969 ～ 1986	7	白石綿		
ピサロンカジュアル	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1980 ～ 1984	7	白石綿		
ブラスタイル（M）	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1967 ～ 1976	15～40	白石綿		
ブラスタイル（P）	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1955 ～ 1985	15～40	白石綿		
ブラスタイル（Q）	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1966 ～ 1969	15～40	白石綿		
ブラスタイル（テラゾ）	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1959 ～ 1960	15～40	白石綿		
フリントタイル（RE／REC）	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1976 ～ 1986	8	白石綿		
フリントタイル（SR）	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1979 ～ 1984	8	白石綿		
フリントタイル（クラフトⅠ／Ⅱ）	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1972 ～ 1986	8	白石綿		
フリントタイル（クラフトⅢ）	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1983 ～ 1985	8	白石綿		
面取タイル	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1983 ～ 1986	8	白石綿		
フリントタイル（輸入品）	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1972 ～ 1975	15	白石綿		
マチスタイル	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1954 ～ 1970	40	白石綿		
モンドリアン	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1976 ～ 1980	7	白石綿		
のり付きPタイル	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1962 ～ 1979	3～30	白石綿		
Mタイルソフト	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1967 ～ 1986	3～30	白石綿		
ファインスレート	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1981 ～ 1986	8	白石綿		
ピサロンツイード	石綿含有ビニル床タイル		田島応用化工（株）	1979 ～ 1986	7	白石綿		
GAFタイル	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1973 ～ 1976	17	白石綿		
ソプラ	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1975 ～ 1985	5～12	白石綿		
耐酸タイル	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1963 ～ 1972	8	白石綿		
帯電防止タイル	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1969 ～ 1985	8	白石綿		
トラバーチン	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1975 ～ 1985	5～12	白石綿		
ビニラートタイル	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1957 ～ 1967	23	白石綿		
マチコスルーチップ系統	石綿含有ビニル床タイル	スルーチップ	東洋リノリウム（株）	1965 ～ 1985	5～12	白石綿		
マチコスルーチップ系統	石綿含有ビニル床タイル	ミニ	東洋リノリウム（株）	1965 ～ 1985	5～12	白石綿		
マチコスルーチップ系統	石綿含有ビニル床タイル	パステル	東洋リノリウム（株）	1965 ～ 1985	5～12	白石綿		

注）右端に＊印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。

※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。

詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
マチコ スルーチップ系統	石綿含有ビニル床タイル	ロイヤル	東洋リノリウム（株）	1965 ～ 1985	5～12	白石綿		
マチコJソフト	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1965 ～ 1985	5～12	白石綿		
マチコV	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1963 ～ 1985	4. 7～12	白石綿		
マチコサントイル	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1963 ～ 1972	8	白石綿		
マチコソフト	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1965 ～ 1985	5	白石綿		
マチコツイード	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1965 ～ 1968	12	白石綿		
マチコフリータイル	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1969 ～ 1985	8	白石綿		
アスファルトタイル（ マチコA）	石綿含有ビニル床タイル		東洋リノリウム（株）	1963 ～ 1973	20	白石綿		
ニットータイル	石綿含有ビニル床タイル	SS	日東紡績（株）	1960 ～ 1986	5～10	白石綿		
ニットータイル	石綿含有ビニル床タイル	スルーチップ（DX）	日東紡績（株）	1976 ～ 1987	12	白石綿		
ニットータイル	石綿含有ビニル床タイル	耐酸タイル（SSA）	日東紡績（株）	1968 ～ 1986	10～15	白石綿		
パンタイル ビルカ	石綿含有ビニル床タイル	VB***	松下電工（株）	1966 ～ 1981	3	白石綿		

注）右端に＊印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

添付14

発行・登録日 R5/8/11

題名	石綿含有ビニル床シート	
資料出典	国土交通省・経済産業省 石綿（アスベスト）含有建材データベース	
出典元URL	https://asbestos-database.jp/search/?home=1&searchClick=0&offset=0&searchTxt=&action=search&searchRange%5B%5D=kenzaimei&searchRange%5B%5D=productName&searchRange%5B%5D=meKaSeizoMeisho&searchRange%5B%5D=meKaMeisho&searchRange%5B%5D=kataban&kenzaimei=%E7%9F%B3%E7%B6%BF%E5%90%AB%E6%9C%89%E3%8	
該当建材	書面調査で該当する材料	
	ビニール床シート⑦2	
	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです	
	ビニール床シート（休憩室改修）	
調査内容・結果	目視調査の結果、ビニール床タイル（休憩室改修）は2階休憩室の改修時に施工された建材と考えられる。建材に対しての施工時の情報がないので石綿データベースを基に石綿含有と判定した。	

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。
 ※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。
 詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

検索条件

フリーワード： フリーワードの対象：建材名（一般名）、商品名、製造時メーカー名、現在メーカー名、型番・品番 施工年・改修年：指定なし 建材名（一般名）：石綿含有ビニル床シート 施工部分・使われ方（外装材）： 施工部分・使われ方（内装材）： 施工部分・使われ方（耐火被覆材）： 施工部分・使われ方（設備）： 施工部分・使われ方（その他）： 施工部分・使われ方（使われ方）： 不燃材料等認識番号：No. 削除済みデータ：含めずに検索する

検索結果

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
A S フロアー	石綿含有ビニル床シート	全品番	アキレス（株）	1975 ～ 1983	15	白石綿		
H C フロアー	石綿含有ビニル床シート	全品番	アキレス（株）	1982 ～ 1984	23	白石綿		
アートグランデ	石綿含有ビニル床シート	全品番	アキレス（株）	1977 ～ 1984	23	白石綿		
アトリウム	石綿含有ビニル床シート	全品番	アキレス（株）	1973 ～ 1976	23	白石綿		
耐熱フロアー	石綿含有ビニル床シート	全品番	アキレス（株）	1976 ～ 1986	30	白石綿		
アームストロング長尺シート	石綿含有ビニル床シート	なし	（株）エービーシー商会	1951 ～ 1984	情報なし	白石綿		
サンゲツフロア	石綿含有ビニル床シート		（株）サンゲツ	1979 ～ 1990	15～34	白石綿		
シャトラン	石綿含有ビニル床シート		ダイニック（株）	1970 ～ 1980	情報なし	白石綿		
ACフロア	石綿含有ビニル床シート		田島応用化工（株）	1977 ～ 1986	3～5	白石綿		
CH・C（輸入品）	石綿含有ビニル床シート		田島応用化工（株）	1973 ～ 1978	情報なし	白石綿		
コン・マルチ	石綿含有ビニル床シート		田島応用化工（株）	1978 ～ 1986	3～5	白石綿		
アコスチフロア（輸入品）	石綿含有ビニル床シート		田島応用化工（株）	1974 ～ 1976	3～5	白石綿		
ジムフロア（輸入品）	石綿含有ビニル床シート		田島応用化工（株）	1974 ～ 1979	3～5	白石綿		
CFシートH	石綿含有ビニル床シート		東洋リノリウム（株）	1972 ～ 1983	36	白石綿		
CFシートP	石綿含有ビニル床シート		東洋リノリウム（株）	1972 ～ 1983	36	白石綿		
GAFシート	石綿含有ビニル床シート		東洋リノリウム（株）	1971 ～ 1981	43	白石綿		
SFフロア	石綿含有ビニル床シート	マーブル	東洋リノリウム（株）	1980 ～ 1985	5	白石綿		
サーカンスフロア	石綿含有ビニル床シート	マーブル	東洋リノリウム（株）	1984 ～ 1988	5	白石綿		
サーカンスフロア	石綿含有ビニル床シート	プレーン	東洋リノリウム（株）	1984 ～ 1988	5	白石綿		
フクビリウム	石綿含有ビニル床シート	FH	フクビミカタ工業（株）	1974 ～ 1987	19～28	白石綿		

注）右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」1.1 1) ②に該当する建材になります。

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。
 ※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。
 詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
フクビリューム	石綿含有ビニル床シート	FU	フクビミカタ工業（株）	1974 ～ 1987	19～28	白石綿		
フクビリューム重歩行	石綿含有ビニル床シート	EC	フクビミカタ工業（株）	1978 ～ 1989	15	白石綿		
フクビリューム重歩行	石綿含有ビニル床シート	EN	フクビミカタ工業（株）	1978 ～ 1989	15	白石綿		
フクビリューム重歩行	石綿含有ビニル床シート	EB	フクビミカタ工業（株）	1978 ～ 1989	15	白石綿		
ボンリューム Eタイプ	石綿含有ビニル床シート		富双合成（株）	1975 ～ 1985	基材34	白石綿		
ボンリューム Sタイプ	石綿含有ビニル床シート		富双合成（株）	1972 ～ 1985	基材32	白石綿		
クッションフロア	石綿含有ビニル床シート	マニントン	ロンシール工業（株）	1972 ～ 1980	情報なし	白石綿		

注）右端に＊印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

添付15

発行・登録日 R5/8/11

題名	石綿含有ソフト巾木			
資料出典	国土交通省・経済産業省 石綿（アスベスト）含有建材データベース			
出典元URL	https://asbestos-database.jp/search/?home=1&searchClick=0&offset=0&searchTxt=&action=search&searchRange%5B%5D=kenzaimei&searchRange%5B%5D=productName&searchRange%5B%5D=meKaSeizoMeisho&searchRange%5B%5D=meKaMeisho&searchRange%5B%5D=kataban&kenzaimei=%E7%9F%B3%E7%B6%BF%E5%90%AB%E6%9C%89%E3%8			
該当建材	書面調査で該当する材料			
	ビニール巾木H=75			
	調査内容・結果	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
		該当なし		
目視調査の結果、ビニール巾木は室内各所に施工されている。商品名等の詳細情報がないため、建材分析で判定することとした。				

石綿(アスベスト)含有建材データベース 検索結果

貴方が入力した内容に基づき当データベースで検索した結果は下記のとおりです。
※このデータベースは、登録されている建材情報の収集方法等について、十分にご理解いただいた上でご利用下さい。
詳しくは、データベースの最初のページ(メニュー画面)の「ご利用にあたって」をご覧ください。

検索条件

フリーワード：
フリーワードの対象：建材名（一般名）、商品名、製造時メーカー名、現在メーカー名、型番・品番
施工年・改修年：指定なし
建材名（一般名）：石綿含有ソフト巾木
施工部分・使われ方（外装材）：
施工部分・使われ方（内装材）：
施工部分・使われ方（耐火被覆材）：
施工部分・使われ方（設備）：
施工部分・使われ方（その他）：
施工部分・使われ方（使われ方）：
不燃材料等認識番号：No.
削除済みデータ：含めずに検索する

検索結果

商品名	建材名（一般名）	型番・品番	製造時のメーカー	製造期間	含有率	種類	不燃材料認定	*
ビニラート巾木	石綿含有ソフト巾木		東洋リノリウム（株）	1960 ～ 1966	23	白石綿		

注）右端に*印が付いた建材は、「ご利用上の注意」 1.1 1) ②に該当する建材になります。

添付16

発行・登録日

2024/8/23

題名	壁紙および壁紙施工副資材におけるアスベストの含有について（日本壁装協会、2024年7月）		
資料出典	日本壁装協会HPより		
出典元URL	https://www.wacoa.jp/common/pdf/asbestos_20240701.pdf		
該当建材	書面調査で該当する材料		
	クロス	クロス A	クロス B
	クロス C	クロス D	クロス E
	クロス F	クロス H	クロス I
	クロス J	クロス K	クロス L1
	クロス L2		
	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
	クロス	クロス A	クロス B
	クロス C	クロス D	クロス E
	クロス F	クロス H	クロス I
	クロス J	クロス K	クロス L1
	クロス L2	クロス（授乳室）	クロス（職員入口改修）
調査内容・結果	書面調査において壁紙が13種類存在する。目視調査にて壁装材料番号第0005号、QM-0803が記載されたラベルの存在を確認した。また、平成9年竣工以降のクロスとなるので一般社団法人壁装協会の資料より無石綿と判定した。		

壁紙および壁紙施工副資材におけるアスベストの含有について

本資料は一般社団法人日本壁装協会（旧：壁装材料協会）が当時の会員会社※¹からの情報に基づいて、作成した参考資料です。また、会員会社の個別製品情報については会員会社の責任において「石綿（アスベスト）含有建材データベース（国土交通省・経済産業省）」に登録を行っております。※¹ 既に退会された会員含む。

現在、当協会会員会社が製造している壁紙や壁紙施工副資材にアスベストは使用されていません。

2023 年 10 月 1 日以降に着工する建築物の解体・改修工事から、有資格者によるアスベスト事前調査が義務化されました。当協会では壁紙および壁紙施工副資材にアスベストが含有しているか否かの判断や証明書発行等の業務は行っておりません。あらかじめ、ご承知おきください。

参考リンク：「石綿（アスベスト）含有建材データベース（国土交通省・経済産業省）」

<https://asbestos-database.jp>

1. アスベストが混入されている可能性のある壁紙の製造期間

昭和 45（1970）年～平成 3（1991）年迄

2. アスベスト含有について

通常、判別には商品名や商品番号の特定が必要になります。しかし、壁紙の場合、施工後の見た目では判別できません。現場の状況に応じた、ご対応をお願いいたします。以下項目は参考例です。

- ①壁紙の成分分析によるアスベスト含有の判別（分析方法は JIS A 1481-1（層別分析）を推奨）
- ②当該現場のみなし工事での作業実施
- ③壁紙製造会社あるいは壁紙販売会社のホームページ等を参照

3. 壁紙施工副資材および下地基材

当協会会員会社が製造する壁紙施工副資材類（「壁紙施工用でん粉系接着剤」、「合成樹脂系接着剤」、「壁紙施工用シーラー」、「壁紙施工用パテ」）等は、現在に至るまでアスベストが含まれていないことを、会員会社からの情報提供により確認をしています。

また、壁紙の下地基材として、石綿スレート板、石綿フレキシブルボード、石綿ケイ酸カルシウム板、その他繊維混入セメント板類、石膏ボードなど、アスベスト含有建材が使用されている場合があります。

4. アスベスト含有の可能性がある壁紙の防火認定番号（当時）

認定番号	認定日
化粧（不燃）第 1005 号	昭和 45(1970)年 7 月 29 日
化粧（不燃）第 1011 号	昭和 48(1973)年 9 月 12 日
化粧（不燃）第 1103 号	昭和 53(1978)年 3 月 1 日
化粧（不燃）第 2026 号	昭和 48(1973)年 9 月 12 日
化粧（準不燃）第 2005 号	昭和 45(1970)年 7 月 29 日
化粧（準不燃）第 2025 号	昭和 48(1973)年 9 月 12 日
化粧（準不燃）第 2027 号	昭和 48(1973)年 9 月 12 日
化粧（準不燃）第 2107 号	昭和 53(1978)年 3 月 1 日
壁装材料第 0001 号 ^{※2}	昭和 56(1981)年 4 月 1 日
壁装材料第 0003 号 ^{※2}	昭和 56(1981)年 4 月 1 日
壁装材料第 0005 号	昭和 56(1981)年 4 月 1 日

※2 一部商品のみ該当。「石綿（アスベスト）含有建材データベース（国土交通省・経済産業省）」参照

5. 注意点

①裏打紙がグレー色^{※3}の場合はアスベスト紙の可能性あります。

※3 グレー色以外が、非含有ということではありません。

②防火施工管理ラベルは防火性能を証明するもので、アスベスト含有と直接の関係はありません。

③商品名、商品番号、製造会社、販売会社等が明確な場合は、そちらへ直接お問い合わせください。

6. 法令

厚生労働省の石綿総合情報ポータルサイト <https://www.ishiwata.mhlw.go.jp> で最新の情報をご確認ください。また、各自治体の条例等については各自治体のホームページをご参照ください。なお、改修工事を発注される建築物所有者の方や、それを請け負われた元請業者や施工業者等の方は法令等を順守して、適切な処理をお願いいたします。

7. 免責事項

当協会では正確な情報収集とその提供に努めておりますが、当協会会員のみからの情報提供に基づくものであり、本紙の記載内容を保証するものではありません。よって、本紙の記載内容から何らかの被害が生じたと主張された場合でも、当協会では一切責任を負いませんのでご注意ください。また、本資料の無許可転載・転用を禁止いたします。

以 上

添付17

発行・登録日

H17/9/12

[illegible]

【大切なお知らせ】

平成17年9月12日
キッチン・バス工業会

アスベスト(石綿)に関する会員の状況

1. はじめに

アスベストによる健康障害が極めて大きな社会的問題として関心を集めており、キッチン・バス工業会にもキッチンや浴室へのアスベストの使用状況やその安全性についての問い合わせが急増しております。また、キッチン・バス工業会の会員各社(以下会員)にも同様な問い合わせが急増している状況にあります。このことから、お客様に適切な情報を的確にお知らせする必要から、会員がアスベスト含有建材等を使用していたと思われる製品及び部位等をお知らせ致します。尚、詳細につきましては、当該製品メーカーの窓口にお問い合わせ戴きたく御案内申し上げます。

2. アスベスト含有建材の使用状況について

現在、キッチン・バス工業会会員が販売するキッチンや浴室製品にアスベスト含有建材を使用した製品はありません。

3. 過去のアスベスト含有建材の使用状況について

過去に、キッチン・バス工業会会員が販売したキッチンの吊り戸棚や浴室ユニットの壁パネル等にアスベスト含有建材を使用した経緯があります。

以下に使用したと思われる製品及び部位を例示します。尚、使用した製品や部位はメーカーによって異なりますので、詳細については当該製品メーカーの窓口にお問い合わせ下さい。

場所	製品名	部位
台所	ミニキッチン	キャビネットの背板、天井板、側板
	システムキッチン セクショナルキッチン	不燃吊戸棚の側板および見上板
		シンク裏の防露材
		家電機器・加熱機器収納キャビネットの内面
	換気扇	レンジフードの化粧幕板裏側
	台所壁パネル	キッチン壁パネル下地材
浴室	システムバス	防熱板
		壁材
		タイル壁の下地材
		鋼板壁の下地材
		配水管耐火被覆材
		防水パン・浴槽・下部本体裏面
水栓		排水管・給水管等の接続パッキン
調理機器		各種接続パッキン

4. アスベストによる健康障害の発生について

キッチン・バス工業会会員各社への調査結果では、アスベスト関連健康障害の発生が確認されたとの報告はありません。

5. アスベストに関するQ&A

Q 1. アスベスト（石綿）とは

自然界に存在する鉱物（繊維状けい酸塩鉱物）の一種で、「せきめん」「いしわた」とも呼ばれており、その構造は極めて細い繊維のようになっているという特徴があります。1本の繊維の太さは髪の毛の約5000分の1、鉱物の一種であるため火にくべても燃えず、また熱や薬品に強く磨耗にも耐える特徴があります。

Q 2. アスベスト（石綿）の種類は

主に、茶石綿（アモサイト）、青石綿（クロシドライト）、白石綿（クリソタイル）の三種類ですが、キッチンや浴室ユニットに使用されたアスベストは殆どが白石綿（クリソタイル）です。

Q 3. なぜアスベストが使用されたのですか

鉱物であるため、耐火性や耐摩耗性に優れるという性質を持っており、しかも安価であるという事から様々な分野で広く使用されて来ました。特に、建築工事や設備機器等の分野では、耐火性や断熱性を求められることから、当時の建築基準法や消防法、J I S規格、B L認定基準などでも指定材料とされ採用されて来ました。

Q 4. 日常の使用について注意することは何ですか

建築物の内装やキッチン・浴室ユニットに使用されている建材は、セメントや樹脂などにより固形化されており、アスベストが空気中に飛散する可能性は極めて少なく、日常の使用における問題はないと考えております。

Q 5. アスベストを使用していない製品に交換して欲しい。または「アスベスト」を取り除いて欲しいのですが。

アスベスト含有建材を使用していない製品にお取り替えすることは可能ですが、製品費及び工事費等は有償（お客負担）となります。お取り替えをご希望の場合は当該製品メーカーの窓口にお問い合わせ下さい。

Q 6. アスベスト含有建材を使用した製品を継続使用しても人体への影響はありませんか。

- ①アスベストは呼吸等の吸入により肺に到達すると有害とされていますが、キッチンや浴室ユニット等に使用されている建材は、セメントや樹脂などにより固形化されており、アスベストが空気中に飛散する可能性は極めて低いと考えます。
- ②上記の事から、通常のご使用においては「アスベスト」が空気中に飛散する可能性は極めて低く、切断などの加工を行わない限り人体に影響を及ぼすことはないと考えております。
- ③パッキン類に含有されるアスベストは、白石綿を使用しゴム等の結合材で固められているため、人体へ影響を及ぼすことはないと考えております。
また、防熱板に使用されているアスベストについても、セメントや樹脂などにより固形化されており、アスベストが空気中に飛散する可能性は極めて低く、人体へ影響を及ぼすことは無いと考えております。
- ④一部のメーカーでシンク裏に結露防止の為アスベスト含有塗料（防滴材）を塗

布していたとの報告を受けております。この防滴材は、固形化されておりアスベストが空気中に飛散する可能性は極めて低く、日常の使用における問題はないものと考えております。またキャビネット内に収納物を出し入れする際に接触すると剥離する場合がありますが、破片自体も固形化しているため上記同様に問題はないと考えております。

- ⑤ シンク裏に貼られているグレーのシートは、結露防止や防音の為の「発泡スチロールシート」で、アスベストを含有した素材ではありません。尚、詳細につきましては、当該製品メーカーの窓口にお問い合わせ下さい。
- ⑥ ガス機器、排気筒、温水配管継手、内管継手、接続具の一部にアスベスト含有パッキン類が使用されておりましたが、既にノンアスベストパッキンに仕様変更されております。
- ⑦ ガス機器や給湯機器等を設置する際には、周囲の可燃材と必要な離隔距離が取れない場合「各都道府県火災予防条例」に基づき防熱板の設置が義務付けられておりますが、1998年頃迄アスベストを含有した材料を使用していた可能性があります。尚、詳細につきましては、当該製品メーカーの窓口にお問い合わせ下さい。

Q 7. 解体等の作業における石綿対策を教えてください

建築物の内装材やキッチン・浴室ユニット等に使用されているアスベスト含有建材は、“非飛散性石綿含有建材”（非飛散性アスベスト廃棄物の取扱に関する技術指針）と呼ばれ、セメントで固化されております。従って、切断等の加工又は粉碎等を行わない限り、自然に飛散することはないとされております。

解体や廃棄を実施される場合は、石綿ばく露防止対策の徹底を図る為、労働安全衛生法に基づく特定化学物質等予防規則から関係する法令（「石綿障害予防規則」平成 17 年 7 月 1 日施行）や「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）」で適正処理する事が求められますので、建築会社やリフォーム会社にご相談下さい。

Q 8. アスベストや健康障害等について詳しく知りたいのですが

行政や関係団体にて情報公開を実施しておりますので、詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

- ① 経済産業省アスベストによる健康被害の実態調査の結果について(PDF形式 : 508KB) ▶ [詳細 http://www.meti.go.jp/press/20050715005/asubesuto-set.pdf](http://www.meti.go.jp/press/20050715005/asubesuto-set.pdf)
- ② 東京都「建築物の解体等に係るアスベスト飛散防止対策マニュアル」（東京都環境局）
<http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/kaizen/kisei/taiki/asbest/index.htm>

[第 1 章](#) アスベストに関する基礎知識

[第 2 章](#) 環境確保条例における石綿飛散防止対策の解説

[第 3 章](#) 石綿含有材料を使用する建築物その他の施設の建設、解体
又は改修の工事における作業上の遵守事項の解説

[第 4 章](#) 関連法令等関係資料

- 「非飛散性アスベスト廃棄物の取扱に関する技術指針」
- 石綿による健康被害への対応について（05年7月8日掲載）
- 石綿(アスベスト)についてQ & A（05年7月29日掲載）
- アスベスト問題への当面の対応（05年7月29日掲載）
- 石綿が使用されている建築物等の解体等を行う作業現場に対する監督指導等の重点的な実施について（05年7月29日掲載）
- 「石綿障害予防規則」

⑤総務省HPより

-  アスベスト問題への当面の対応等について
- アスベスト問題への当面の対応(概要)(PDF)
- アスベスト問題への当面の対応(本文)(PDF)
- アスベストについてQ & A(PDF)
- 参考資料(PDF)

添付18

発行・登録日

題名	パロマ製品におけるアスベスト(石綿)の使用状況について		
資料出典	パロマHP		
出典元URL	https://www.paloma.co.jp/important/safety/asbestos/		
該当建材	書面調査で該当する材料		
	該当なし		
	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
	湯沸器（97年製、パロマ）		
調査内容・結果	目視調査の結果、1階事務室に設置されている湯沸器はメーカー情報よりパッキンで石綿含有品を使用しているため、石綿含有と判定した。		

大切なお知らせ

- ▶ 大切なお知らせ
- ▶ 製品を安全に正しくお使いいただくために
- ▶ ガスこんろ／ガスグリル付こんろ
- ▶ ガス炊飯器
- ▶ ガス小型湯沸器
- ▶ ガス給湯器
- ▶ ガスふろ給湯器
- ▶ ガス暖房機器
- ▶ ガス業務用機器
- ▶ ガス器具全般
- ▶ 取り付け設置業者の皆様へ
- ▶ 製品安全自主行動計画
- ▶ 長期使用製品安全点検制度のお知らせ
- ▶ あんしん点検のお知らせ
- ▶ 重大製品事故情報
- ▶ 製品事故情報

○ パロマ製品におけるアスベスト(石綿)の使用状況について

1. 現在のアスベスト(石綿)の使用状況について

現在すべての製品についてノンアスベスト化しています。

2. 過去のアスベスト(石綿)の使用状況について

過去に製造された商品の一部に使用されていましたが、すべて低発じん性で日本石綿協会が示す自主基準値の1/20以下の飛散の可能性が極めて少ない商品です。

下記の使用期間以降はノンアスベスト化されております。

使用された商品と部位	含有率	使用時期
小型湯沸器の一部の防熱板	10～20%	1969年～1988年
給湯器の一部の防熱板	60～100%	1971年～1988年
給湯器の一部の排気口パッキン	70～90%	1985年～2000年
テーブルコンロのオプションの防熱板	60～100%	1976年～1987年
ジャー付炊飯器の断熱材	70～90%	1981年～1989年
給湯器等のガス通路部の一部のパッキン	67%	1969年～2002年

パッキンや防熱板はゴム、接着剤などで固められています。その上金属などで挟まれている状態で使用しているためお客様がアスベストを吸い込む可能性は極めて少ないと考えます。

3. アスベスト(石綿)による健康被害について

弊社では確認されていません。

4. 廃棄について

製品を廃棄される際は、その地域のルールに従って廃棄してください。

添付19

発行・登録日 H17/10/7

題名	ガス給湯器 過去の使用状況一覧			
資料出典	ノーリツのHPより			
出典元URL	https://www.noritz.co.jp/library/contact/important/05/g_kyutou.pdf			
該当建材	書面調査で該当する材料			
	該当なし			
	調査内容 ・結果	目視調査で該当する材料（最終的にこの資料で判断した材料） ※番号は分類分けの為に付与されたものです		
		湯沸器（2014年製、ノーリツ製）	湯沸器（2021年製、ノーリツ製）	
目視調査の結果、2階厨房に設置されている湯沸器はメーカー情報より無石棉品と判定する。				

ガス給湯器 過去の使用状況一覧

2005.10.07.

株式会社ノーリツ

製品名	使用部位・箇所	石綿種類	含有率	製造年月
GBSQ-600(-C)、601、602S、604S 【バランス形ふろ釜】	●熱交換器と排気集合筒のパッキン	白石綿	70～80%	～2000年10月
GBSQ-603(S)、812S、802DS(-K)、802S、812S-KR、7A、7B、8(B)、8D、613S(-1) 【バランス形ふろ釜】	●熱交換器と排気集合筒のパッキン	白石綿	70～80%	～2001年6月
GQH-1300W(K) 【ガス温水暖房付給湯器】	●熱交換器と遮熱板の閉空間確保用パッキン ●フロントカバーと排気トップのパッキン	白石綿	70～90%	～1991年12月
GQ-1000WM、WOM GQ-1600WM(S)(SG)(-1) GQ-700WM GQ-3200WM(Q) 【ガス給湯器】	●フロントカバーと排気トップのパッキン	白石綿	70～80%	～1991年2月
GQ-3200RM(Q) 【ガス給湯器】	●フロントカバーと排気集合筒のパッキン	白石綿	70～80%	～1991年3月
GT-1600WC(-1)、WT(-1)、WS-T(-C)(-L)、WAL-1 【ガスふろ給湯器】	●排気アダプタ(排気筒蓋)と排気集合筒本体のパッキン	白石綿	70～80%	～1993年7月
GQ-1300WC(A)(-1)、WT(A)(-1)、WAL-1 GQ-1600WC(A)(P)(X)(-1)、WT(A)(P)(X)(-1)、WPL、WAL-1、WXL、SSL GQ-2000WT、WL、WC、GQ-1000WM-B、-T、-PS、GQ-1601WS(G)-L、-C、-T 【ガス給湯器】	●排気アダプタ(排気筒蓋)と排気集合筒本体のパッキン	白石綿	70～80%	～1991年10月
GQH-130(FF)(K)(T) 【ガス温水暖房付給湯器】	●排気筒と排気ファンのパッキン	白石綿	70～90%	～1986年3月
GMY-130(C) GMY-160(C) GKY-140 【ガス給湯器】	●排気筒と排気ファンのパッキン	白石綿	70～90%	～1992年3月
GT-1600AW(T)(C)(AL)(BL) 【ガスふろ給湯器】	●熱交換器と排気集合筒のパッキン	白石綿	70～80%	～1988年1月

添付20

発行・登録日

H28/4/28

題名	建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針 抜粋（18～31ページ）
資料出典	日本建築仕上材工業会HP
出典元URL	https://www.nsk-web.org/as/as20160613.pdf
該当建材	下地調整材
調査内容・結果	仕上塗材等に係る除去方法参考資料です。

建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材 からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針

平成 28 年 4 月 28 日

国立研究開発法人建築研究所
日本建築仕上材工業会

2.2 事前調査後の措置

- (1) 事前調査の結果は、関係法令に基づいて掲示する。
- (2) 事前調査の結果、石綿含有仕上塗材が施工されている既存建築物を改修または解体する場合は、施工計画を立案する。

(1) 石綿則第3条第3項において、建築物や工作物に関しては、解体・破碎等の作業および第10条第1項の規定による封じ込めまたは囲い込みの作業を行う作業場に、事業者は次の事項を、作業に従事する労働者が見やすい箇所に掲示しなければならないとしている。

①調査を終了した年月日

②事前調査の方法および結果の概要

……………石綿障害予防規則（抜粋）……………
（事前調査）

第三条 事業者は、次に掲げる作業を行うときは、石綿等による労働者の健康障害を防止するため、あらかじめ、当該建築物、工作物又は船舶（鋼製の船舶に限る。以下同じ。）について、石綿等の使用の有無を目視、設計図書等により調査し、その結果を記録しておかなければならない。

一 建築物、工作物又は船舶の解体、破碎等の作業（石綿等の除去の作業を含む。以下「解体等の作業」という。）

二 第十条第一項の規定による石綿等の封じ込め又は囲い込みの作業

2 事業者は、前項の調査を行ったにもかかわらず、当該建築物、工作物又は船舶について石綿等の使用の有無が明らかとならなかったときは、石綿等の使用の有無を分析により調査し、その結果を記録しておかなければならない。ただし、当該建築物、工作物又は船舶について石綿等が吹き付けられていないことが明らかである場合において、事業者が、当該建築物、工作物又は船舶について石綿等が使用されているものとみなして労働安全衛生法（以下「法」という。）及びこれに基づく命令に規定する措置を講ずるときは、この限りでない。

3 事業者は、第一項各号に掲げる作業を行う作業場には、次の事項を、作業に従事する労働者が見やすい箇所に掲示しなければならない。

一 第一項の調査（前項の調査を行った場合にあっては、前二項の調査。次号において同じ。）を終了した年月日

二 第一項の調査の方法及び結果の概要

……………
また、大気汚染防止法（以下、大防法という）第18条の17第4項および同施行規則第16条の9および10においては、事前調査を行ったすべての建築物・工作物の解体工事・改造工事・補修工事を行う場合、工事の受注者または自主施工者は、次の①～④に示す事項を、工事の場所で公衆に見やすいように掲示板で掲示しなければならないとしている。

①調査を行った者の氏名または名称、住所、法人の場合は代表者の氏名

②調査を終了した年月日

③調査の方法

④特定建築材料の種類

……………大気汚染防止法（抜粋）……………
（解体等工事に係る調査及び説明等）

第18条の17 建築物等を解体し、改造し、又は補修する作業を伴う建設工事（当該建設工事が特定工事に該当しないことが明らかなものとして環境省令で定めるものを除く。以下「解体等工事」という。）の受注者（他の者から請け負った解体等工事の受注者を除く。次項及び第26条第1項において同じ。）は、当該解体等工事が特定工事に該当するか否かについて調査を行うとともに、環境省令で定めるところにより、当該解体等工事の発注者に対し、当該調査の結果について、環境省令で定める事項を記載した書面を交付して説明しなければならない。この場合において、当該解体等工事が特定工事に該当するときは、第18条の15第1項第4号から第7号までに掲げる事項その他環境省令で定める事項を書面に記載して、これらの事項について説明しなければならない。

2 前項前段の場合において、解体等工事の発注者は、当該解体等工事の受注者が行う同項の規定による調査に要する費用を適正に負担することその他当該調査に関し必要な措置を講ずることにより、当該調査に協力しなければならない。

3 解体等工事を請負契約によらないで自ら施工する者（第26条第1項において「自主施工者」という。）は、当該解体等工事が特定工事に該当するか否かについて調査を行わなければならない。

- 4 第1項及び前項の規定による調査を行つた者は、当該調査に係る解体等工事を施工するときは、環境省令で定めるところにより、当該調査の結果その他環境省令で定める事項を、当該解体等工事の場所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。

……………大気汚染防止法施行規則（抜粋）……………

（解体等工事に係る掲示の方法）

第16条の9 法第18条の17第4項の規定による掲示は、掲示板を設けることにより行うものとする。

（解体等工事に係る掲示の事項）

第16条の10 法第18条の17第4項の環境省令で定める事項は、次のとおりとする。

- 1 法第18条の17第1項又は第3項の規定による調査を行つた者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては、その代表者の氏名
- 2 調査を終了した年月日
- 3 調査の方法
- 4 解体等工事が特定工事に該当する場合は、特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分における特定建築材料の種類

(2) 改修工事・解体工事においては、工事受注者により施工計画書、工程表、施工図などの工事に必要な図書が作成される。施工計画書には概ね以下の①～⑩のような内容が盛り込まれる。

①適用範囲

②適用図書

③建物概要

④工事概要

⑤施工体制（施工業者、施工管理組織）

⑥作業用仮設

⑦施工要領

改修：施工計画確認事項、使用材料、施工フロー、発生材の処理、工事計画図、自主検査表等

解体：施工計画確認事項、作業フロー、解体計画図、産業廃棄物処理、搬出経路図、自主検査等

⑧注意事項

⑨安全・衛生管理

⑩その他（チェックシート、施工業者が行うべき許可申請・届出、有資格者一覧表など）

しかし、石綿含有仕上塗材の処理にあたっては、その他に「3.3 施工計画の作成」に記載している事項についても考慮しなければならない。

3. 仕上塗材の処理工法

3.1 処理工法の種類

本指針に用いる処理工法の種類は、次のとおりとする。

- (1) 水洗い工法
- (2) 手工具ケレン工法
- (3) 集じん装置併用手工具ケレン工法
- (4) 高圧水洗工法（15MPa 以下、30～50MPa 程度）
- (5) 集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa 以下、30～50MPa 程度）
- (6) 超高圧水洗工法（100MPa 以上）
- (7) 集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa 以上）
- (8) 超音波ケレン工法（HEPA フィルター付き掃除機併用含む）
- (9) 剥離剤併用手工具ケレン工法
- (10) 剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa 程度）
- (11) 剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa 以上）
- (12) 剥離剤併用超音波ケレン工法
- (13) ディスクグラインダーケレン工法
- (14) 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
- (15) その他（石綿則第 6 条第 1 項に基づく同等以上の効果を有する工法）

各処理工法の選定に当たって建築研究所と日本建築仕上材工業会の共同研究で確認された処理工法を基本として、「水洗い工法」、「手工具ケレン工法」、「集じん装置併用手工具ケレン工法」、「高圧水洗工法（30～50MPa 程度）」、「集じん装置付き高圧水洗工法（30～50MPa 程度）」、「剥離剤併用手工具ケレン工法」および「剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa 程度）」を追加している。

なお、実験で確認された処理工法以外に追加した工法は、実験で確認された工法に比べて、既存仕上塗材層に作用する力が小さく発じんが少ない工法とみなしたものである。

その概要を解説表 3.1 に示す。

解説表 3.1 実験で確認された工法および追加した工法の対比表

実験で確認された工法	追加した工法 (実験で確認された工法との対比で発じんが少ないと判断)
(4) 高圧水洗工法（15MPa 以下）	(1) 水洗い工法
(5) 集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa 以下）	—
(6) 超高圧水洗工法（100MPa 以上）	(4) 高圧水洗工法（30～50MPa 程度）
(7) 集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa 以上）	(5) 集じん装置付き高圧水洗工法（30～50MPa 程度）
(8) 超音波ケレン工法 HEPA フィルター掃除機併用超音波ケレン工法	(2) 手工具ケレン工法 (3) 集じん装置併用手工具ケレン工法
(11) 剥離剤併用高圧水洗工法（100MPa 以上）	(10) 剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa 程度）
(12) 剥離剤併用超音波ケレン工法	(9) 剥離剤併用手工具ケレン工法
(13) ディスクグラインダーケレン工法	—
(14) 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法	—

- (1)「水洗い工法」は、既存仕上塗材層を除去する必要がなく、表面の付着物や粉状物を清掃する場合に適用されるケレン工法であり、デッキブラシやウェス等で水洗する。
- (2)「手工具ケレン工法」は、皮すき、スクレーパ、ワイヤブラシ等で既存仕上塗材層の劣化部分を除去する工法である。後述する「ディスクグラインダーケレン工法」と比較すれば、相対的に発じんは少ない。しかし、ケレンの作業効率は「ディスクグラインダーケレン工法」と比較して低い。
- (3)「集じん装置併用手工具ケレン工法」は、「手工具ケレン工法」を行うと同時に、高性能真空掃除機の吸入口（粉じん飛散防止カバー付き）を利用して、ケレン部分の局所集じんを行う工法である。
- (4)「高圧水洗工法」は、専用の機器によって圧力をかけた水を既存仕上塗材層に噴射し、既存仕上塗材層表面の汚れの洗浄や仕上塗材層の除去に用いられる工法で、一般に高圧水洗工法または高圧洗浄工法などと称され、吐出圧力に応じて低圧、中圧、高圧、超高圧などと分類されることもある。しかし、これらの呼称と水圧の範囲については明確に定義されていない。また、既存仕上塗材層表面に作用する圧力は、機械の吐出圧力、水量、ノズルと既存仕上塗材層との距離（吐出距離）、高圧水と既存仕上塗材層との角度（吐出角度）によっても異なるため、本指針では吐出圧力を目安として「15MPa以下の高圧水洗工法」および「30～50MPa程度の高圧水洗工法」の2つに区分している。

15MPa以下の吐出圧力による「高圧水洗工法」は、一般的に既存仕上塗材層表面の粉状物や付着物を除去・清掃する工法であるが、既存仕上塗材層表面が経年劣化などにより脆弱な場合や、既存仕上塗材層と下地との付着力が著しく低下している場合などには、既存仕上塗材層が部分的に除去される。

一方、30～50MPa程度の吐出圧力による「高圧水洗工法」は、既存仕上塗材層を全面的に除去する場合または部分的に既存仕上塗材層を除去する場合などに用いられる工法である。

- (5)「集じん装置付き高圧水洗工法」は、飛沫防止カバーを取り付けて吸引する工法で、壁面等から跳ね返った水が周辺に飛散しないため、石綿含有仕上塗材の除去等にあたっては有効である。ただし、開口部回りや入隅など飛沫防止カバーによって高圧水が作用しない部分については、「剥離剤併用手工具ケレン工法」、「剥離剤併用超音波ケレン工法」、「集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法」など、他の除去工法を併用するとよい。
- (6)100MPa以上の吐出圧力による「超高圧水洗工法」は、30～50MPa程度の吐出圧力による「高圧水洗工法」とほぼ同様な目的で使用されるが、既存仕上塗材層に作用する力が大きいので堅固な厚塗材C（セメントスタッコ）など比較的除去が難しい場合の既存仕上塗材層の除去に適している。ただし、コンクリートに貫通ひび割れがあると漏水する場合があるので、事前にひび割れを補修しておくことが肝要である。また、開口部回りなど他の建材との取り付け部分では、他の建材を損傷する可能性があるため、部分的に他の除去工法との併用を検討したほうがよい。
- (7)「集じん装置付き超高圧水洗工法」は、飛沫防止カバーを取り付けて吸引する工法で、(5)の解説を参照されたい。
- (8)「超音波ケレン工法」は、機器の刃先に発生する高速な音波の微振動によって仕上塗材層を除去する工法で、すべての既存仕上塗材に適用できるが、仕上塗材層を機器の刃先で削る方法なので作業効率は低い。ただし、入隅や開口部回りなどの狭い部分にも適用できるので、適用部位や箇所に応じて用いるとよい。
- また、作業時に粉じんが発生するので、粉じんの飛散を防止する場合にはHEPAフィルター付き掃除機で粉じんを吸引しながら作業を行うと良いが、1人工でケレン作業と吸引作業を同時に行うことは困難であるため、2人1組で作業を行うなど検討を要する。
- (9)「剥離剤併用手工具ケレン工法」は、剥離剤を有機系の既存仕上塗材層表面に塗付けて軟化させ、柔

らかくなった仕上塗材層をスクレーパや皮すきなどの手工具でケレンする工法である。防水形あるいは可とう形の仕上塗材など比較的有機量の多い仕上塗材の除去に適している。また、開口部回りなど機器を使用する工法では除去できない部分などへも適用できる。ただし、セメントやけい酸塩を結合材とする無機系の仕上塗材には効果がないので適用できない。

なお、剥離剤は塩化メチレン（ジクロロメタン、 CH_2Cl_2 ）系と高沸点溶剤系の2種類に大別される。塩化メチレンは溶解力が強いので、有機系既存仕上塗材層の剥離等においては高沸点溶剤系の剥離剤よりも作業効率はよいが、揮発性の有機溶媒なので粘膜を刺激したり、皮膚に触れると火傷を負うことがあるので注意を要する。さらに、安衛法の第二類物質特別有機溶剤等に指定されているほか、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）、化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）、海洋汚染防止法などの規制を受ける。また、IARC（International Agency for Research Cancer：国際ガン研究機関）の発がん性評価リスクでも Group 2A（人に対する発がん性がおそらくある）に分類されている。

一方、高沸点溶剤系の剥離剤は、塩化メチレンほど有害ではないため、近年においては広く用いられており法令の規制も少ないが、消防法の指定可燃物に該当するものもあるので、材料の保管、作業時の換気・火気厳禁などには注意を要する。作業効率は、塩化メチレン系の剥離剤よりも劣るので、既存仕上塗材層に塗り付けてからの放置時間などは、製造業者に確認するとよい。

なお、いずれの剥離剤を用いるにあたっては、その工事計画や使用に際しては、製品の SDS（Safety Data Sheet：安全データシート）を製造業者から入手して確認することが肝要である。

- (10)「剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa 程度）」は、(9)「剥離剤併用手工具ケレン工法」の手工具のかわりに高圧水で既存仕上塗材層を除去する工法である。エポキシ系の反応硬化形仕上塗材など、下地への接着力が強い既存仕上塗材層の除去に適している。
- (11)「剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa 以上）」は、「剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa 程度）」と同様な工法であるが、施工会社の実績や経験なども参考にして、既存仕上塗材層の種類に応じた適用性や作業効率などを勘案し選定するとよい。
- (12)「剥離剤併用超音波ケレン工法」は、剥離剤で軟化させた既存仕上塗材層を超音波ケレン機でケレンする工法である。(9)「剥離剤併用手工具ケレン工法」では作業効率が悪い場合、高圧水洗が併用できない場合、開口部回り等での作業に有用である。
- (13)「ディスクグラインダーケレン工法」は、高速回転する電動器具にディスクを取り付けて研磨する工法で、多量の粉じんが発生するため石綿含有仕上塗材の除去にあたっては、作業場隔離による工事が必須となる。巻末の付 3. における表 1 の実験結果でも、多量の総繊維数濃度（f/L）となっている。
- (14)「集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法」は、集じん装置によって粉じんの飛散を防止する工法であり、巻末の付 3. における実験結果では集じん装置を取り付けることによって、集じん装置を取り付けない工法に比べ、1/10000 程度の総繊維数濃度に低減している。
- (15) 本文に示した(1)～(14)の工法の多くは、2014 年 6 月 17 日から 2016 年 3 月 31 日の間、建築研究所と日本建築仕上材工業会との間で共同研究として実施された「外壁改修・解体におけるアスベスト含有建築用仕上塗材の処理技術に関する研究」において実験的に確認されたものが主体である。しかし、実験で確認していない新しいケレン工法や将来的に開発されるケレン工法についても、石綿則第 6 条第 1 項ただし書きに基づく同等以上の効果を有する工法と見なしうる可能性がある。これらの工法は、実験等で効果が検証されることが前提であるが、ここに記された工法以外にも可能性があるという意味で「(15)その他の工法」を加えている。



大塚刷毛製造㈱提供



㈱インテックカネキ提供



多賀電気㈱提供



山一化学工業㈱提供

(a) ケレン用手工具の例

(b) 超音波ケレン機の例

(c) 剥離剤の例



スーパー工業㈱提供



㈱アシレ提供



㈱スギノマシーン提供

(d) 高圧水洗機の例

(e) 高圧水洗車の例

(f) 集じん装置付き超高圧水洗機の例



㈱スギノマシーン提供

(g) 集じん装置付き超高圧水洗機の例



㈱ナカヤ提供

(h) 集じんカバー付きディスクグラインダーの例



サンワ・リノテック㈱提供

(i) HEPA フィルター掃除機の例（先端のブラシを外して使用）

解説写真 3.1 処理工法に用いる機器・工具類の例

3.2 処理工法の選定

処理工法は、既存仕上塗材層の種類、既存仕上塗材層の劣化程度、既存仕上塗材層の処理の程度、既存仕上塗材層の除去効率、粉じんの発生程度、作業場の隔離養生の要否、廃水処理の要否、施工費用などの条件に応じて選定する。

石綿含有仕上塗材の処理工法の選定にあたっては、大気中への石綿粉じんの飛散性を優先する必要があるが、既存仕上塗材層の種類に応じた劣化程度や処理の程度、処理工法の特徴などを勘案して選定するとよい。

解説表 3.2～解説表 3.4 に処理工法の選定(例)を示すが、基本的には「既存仕上塗材層の状態」と「工法選定の考え方」から選定できる「処理工法」を対象とし、その中から「処理の効果」、「処理工法の特徴」および「工法区分」を総合的に判断して、処理工法を選定するとよい。

解説表 3.2 および解説表 3.3 は、基本的に既存仕上塗材層を残して改修（塗替え）する場合の例であるが、主材層に摩耗、浮き、膨れ、接着力低下が認められるときには、劣化部分を除去することとなるので、主材層からの粉じん飛散に留意しなければならない。

解説表 3.5 にも記載しているが、解説表 3.2～解説表 3.4 の工法区分Ⅰは石綿則第 6 条第 1 項に基づく工法の例を、工法区分Ⅱは石綿則第 6 条第 1 項ただし書きに基づく同等以上の効果を有する処理工法の例を示している。

工法区分Ⅲは 1.2 (2) の解説①～③の場合など、石綿を含有する既存仕上塗材の主材層に影響を及ぼさない工事は石綿粉じんが飛散しないため、本指針では石綿関連作業に該当せず、一般的な仕上塗材の改修工事に準拠することとしている。参考として、解説図 3.1～解説図 3.3 に仕上塗材の劣化進行の模式図を示す。

解説表 3.4 は、改修工事または解体工事で既存塗膜をすべて除去する場合の例であるが、すべての処理工法が本指針の対象となる。

なお、処理工法の適用にあたって、解説表 3.2～解説表 3.4 に示すように、集じん装置付きの工法においては、飛沫防止カバーや集じんカバーが角に当たって、開口部回りや入隅等が処理できない場合もあるので、これらの部分の改修にあたっては、別途適用可能な工法を併用するか、または部分的な隔離を行うことも一つの有力な方法と考えられる。

また、超高压水洗においても、高压水の作用によって開口部の建具などを傷つけることがあるので、その周辺においては他の工法との併用を検討するとよい。

解説表3.2 既存仕上塗材層を残して塗り替える場合の処理工法の選定例（その1：上塗材がない場合）

既存仕上塗材層の状態			工法選定の 考え方	処理工法	処理の効果		処理後の状態		処理工法の特徴					工法区分* * *	
薄塗材	（厚塗材なし）	劣化状態			表層の洗浄	脆弱部分（主材表面）の除去	脆弱部分（主材層）の除去	薄塗材	厚塗材	粉じんの発生	隔離養生の要否	施工費用*	廃水中の石綿処理		開口部等への適用
解説図3.2 状態①	解説図3.3 状態①	健全	主として主材表面の汚れを除去できる工法を選定する	水洗い工法 高圧水洗工法（15MPa以下）	可	—	—			無	否	A	不要	可	Ⅲ
解説図3.2 状態②	解説図3.3 状態②	主材表面の劣化 白亜化 エフロレッセンス 摩耗	改修塗材との付着阻害となる主材表面の脆弱部分を除去できる工法を選択する	高圧水洗工法（15MPa以下） 集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下）	可	—	可			有	要	A	要	可	Ⅰ
解説図3.2 状態③～⑥	解説図3.3 状態③～⑥	主材層の劣化 付着力低下 浮き 膨れ 剥がれ	脆弱な主材表面のみではなく、脆弱な主材も除去できる工法を選択する	手工具ケレン工法	不可	可	可			有	要	A	—	可	Ⅰ
				集じん装置併用手工具ケレン工法	不可	可	可			有	否	A	—	可	Ⅱ
				高圧水洗工法（15MPa以下）	可	可	可			有	要	A	要	可	Ⅰ
				集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下）	可	可	可			有	否	A	要	不可	Ⅱ
				高圧水洗工法（30～50MPa程度）	可	可	可			有	要	B	要	可	Ⅰ
				集じん装置付き高圧水洗工法（30～50MPa程度）	可	可	可			有	否	B	要	不可	Ⅱ
				超高圧水洗工法（100MPa以上）	可	可	可			有	要	C	要	不可	Ⅰ
				集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）	可	可	可			有	否	C	要	不可	Ⅱ
				超音波ケレン工法	不可	不可	可			有	要	C	—	可	Ⅰ
				超音波ケレン工法（HEPAフィルター付掃除機併用）	不可	不可	可			有	否	C	—	可	Ⅱ
				ディスクグラインダーケレン工法	不可	可	可	有	要	B	—	可	Ⅰ		
				集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法	不可	可	可	有	否	B	—	不可	Ⅱ		

一：対象とならない処理

* 施工費用：（安価←）A<B<C<D<E 施工価格のみで養生等の経費は含まない。A～Eは解説表3.2～3.4の相对比较。

** 工法区分：解説表3.5の備考（解説表3.2～3.4の工法区分）との関連

解説表3.3 既存仕上塗材層を残して塗り替える場合の処理工法の選定例（その2：上塗材がある場合）

既存仕上塗材層の状態			工法選定の考え方	処理工法	処理の効果		処理後の状態		処理工法の特徴				工法区分* *	
複層塗材	（厚塗材あり）	劣化状態			表層の洗浄	脆（主材表層）の除去	脆（主材層）の除去	復層塗材	（厚塗材あり）	粉じんの発生	隔離養生の要否	施工費用*		廃水中の石綿処理
解説図3.1 状態①	解説図3.3 状態⑦	健全 白亜化 エフロレッセンス	上塗材は活膜で、主材まで劣化が進んでいないため、上塗材の洗浄を目的とした工法を選定する	水洗い工法 高圧水洗工法（15MPa以下）	可 可	— —			無 無	否 否	A A	不要 不要	可 可	Ⅲ Ⅲ
解説図3.1 状態②③	解説図3.3 状態⑧⑨	上塗材の変化 剥がれ 膨れ 割れ	改修塗材との付着阻害となる上塗材の脆弱塗膜部分を完全に除去できる工法を選択する	高圧水洗工法（15MPa以下） 集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下）	可 可	— —			無 無	否 否	A A	不要 不要	可 不可	Ⅲ Ⅲ
解説図3.1 状態④⑥	解説図3.3 状態⑩⑪⑫	主材の変化 付着力低下 浮き 膨れ 剥がれ	脆弱な上塗材のほかに、割れを発生している主材周辺の一部の活膜除去も実施。主に脆弱な上塗材の剥離を目的とした工法を選定し、部分的に活膜を除去する工法を選択する	手工具ケレン工法	不可	可			有	要	A	—	可	Ⅰ
				集じん装置併用手工具ケレン工法	不可	可			有	否	A	—	可	Ⅱ
				高圧水洗工法（30～50MPa程度）	可	可			有	要	B	要	可	Ⅰ
				集じん装置付き高圧水洗工法（30～50MPa程度）	可	可			有	否	B	要	不可	Ⅱ
				超高圧水洗工法（100MPa以上）	可	可			有	要	B	要	不可	Ⅰ
				集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）	可	可			有	否	C	要	不可	Ⅱ
				超音波ケレン工法	不可	可			有	要	C	—	可	Ⅰ
				超音波ケレン工法（HEPAフィルター付掃除機併用）	不可	可			有	否	C	—	可	Ⅱ
ディスクグラインダーケレン工法	不可	可	有	要	C	—	可	Ⅰ						
集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法	不可	可	有	否	C	—	可	Ⅱ						

—：対象とならない処理

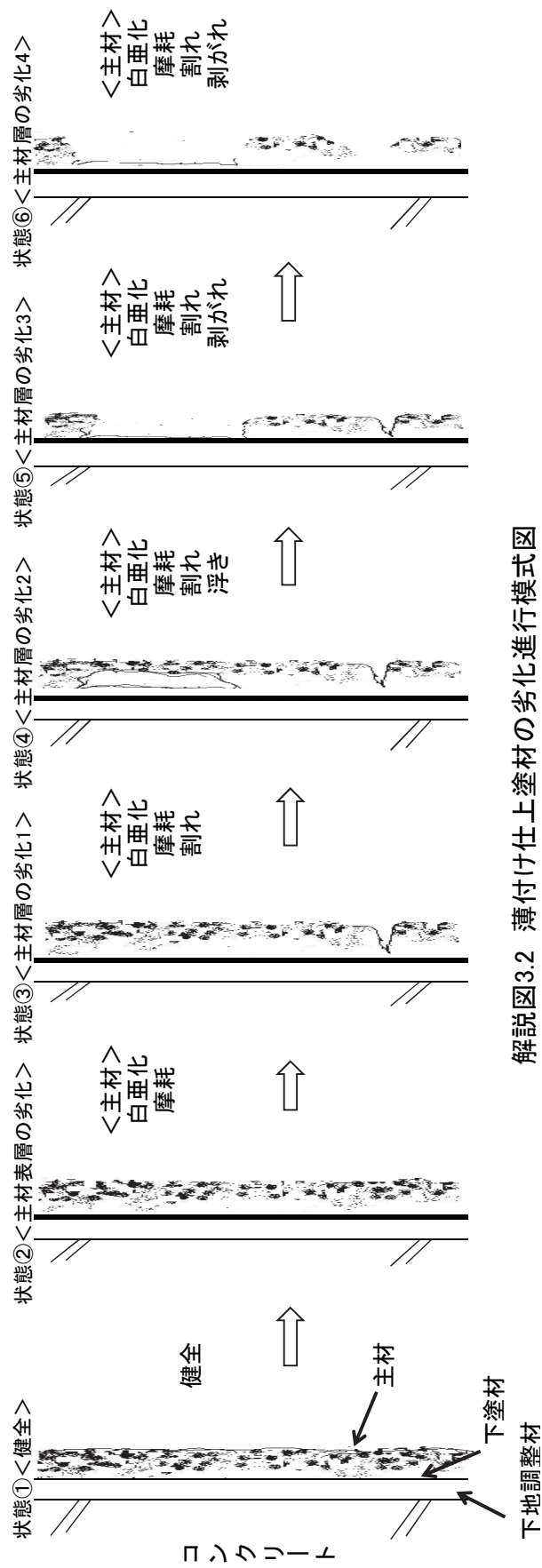
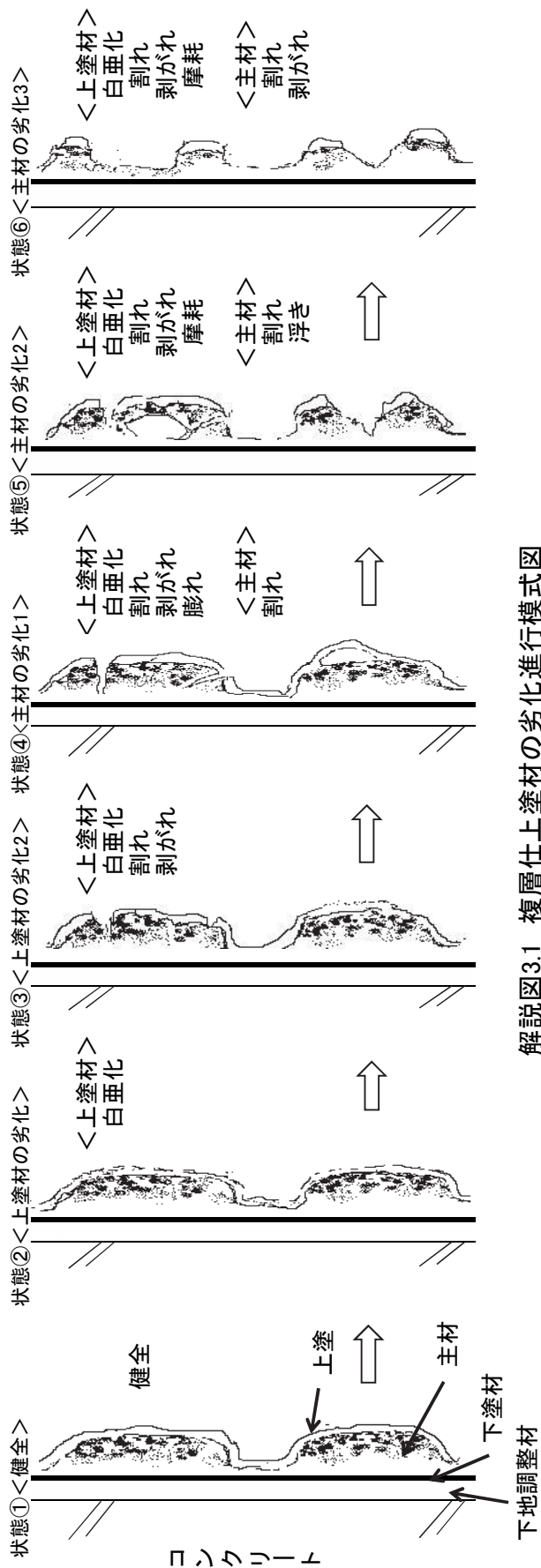
* 施工費用：（安価←）A<B<C<D<E 施工価格のみで養生等の経費は含まない。A～Eは解説表3.2～3.4の相对比较。

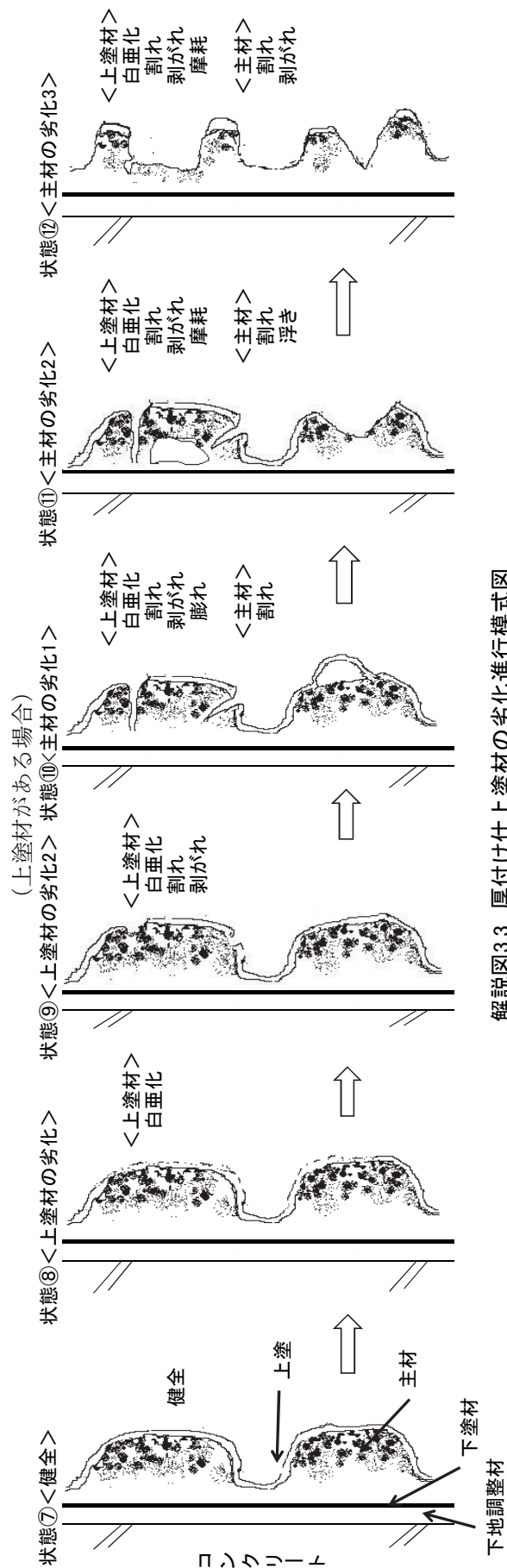
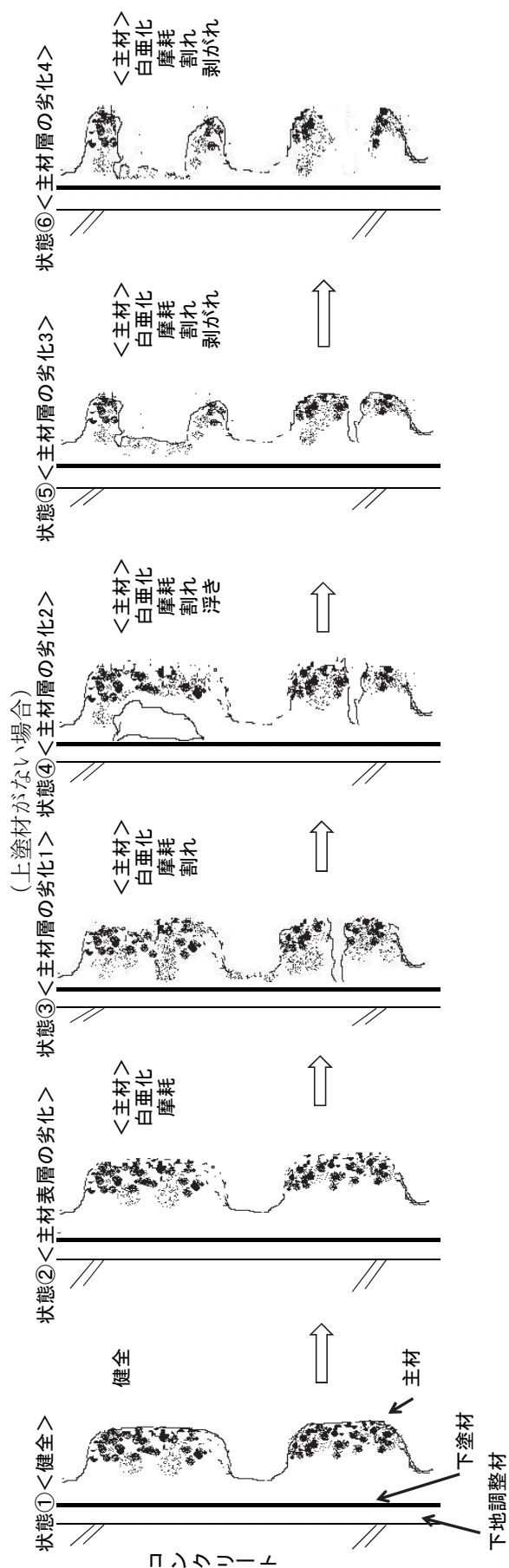
** 工法区分：解説表3.5の備考（解説表3.2～3.4の工法区分）との関連

解説表3.4 既存仕上塗材層をすべて除去する場合の処理工法の選定例

既存仕上塗材の種類	工法選定の考え方	処理工法	処理後の状態	処理工法の特徴						工法区分
				粉じんの発生	隔離養生の要否	施工費用*	廃水中の石綿処理	入隅部への適用	作業効率**	
有機系仕上塗材	下地と塗材の付着性に問題がある部分が多いため、もしくは意匠性の変更のため、活膜を含む全面を除去できる工法を選定する	超高压水洗工法 (100MPa以上)		有	要	D	要	不可	B	I
		集じん装置付き超高压水洗工法 (100MPa以上)		有	否	E	要	不可	C	II
		剥離剤併用超高压水洗工法 (100MPa以上)		有	否	D	要	不可	A	II
		高压水洗工法 (30～50MPa程度)		有	要	D	要	可	C	I
		剥離剤併用高压水洗工法 (30～50MPa程度)		有	否	C	要	可	A	II
		超音波ケレン工法		有	要	C	—	可	E	I
		超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付掃除機併用)		有	否	C	—	可	E	II
		剥離剤併用手工具ケレン工法		無	否	A	—	可	A	II
		剥離剤併用超音波ケレン工法		有	否	C	—	可	D	II
		デイスクグラインダーケレン工法		有	要	A	—	可	E	I
無機系仕上塗材	下地と塗材の付着性に問題がある部分が多いため、もしくは意匠性の変更のため、活膜を含む全面を除去できる工法を選定する。無機系塗膜の場合剥離剤の効果はほとんど期待できない	集じん装置付きデイスクグラインダーケレン工法		有	否	B	—	可	E	II
		超高压水洗工法 (100MPa以上)		有	要	A	要	不可	B	I
		集じん装置付き超高压水洗工法 (100MPa以上)		有	否	E	要	不可	C	II
		高压水洗工法 (30～50MPa程度)		有	要	D	要	可	D	I
		超音波ケレン工法		有	要	C	—	可	D	I
		超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付掃除機併用)		有	否	C	—	可	D	II
		デイスクグラインダーケレン工法		有	要	C	—	可	D	I
		集じん装置付きデイスクグラインダーケレン工法		有	否	D	—	可	E	II
		超高压水洗工法 (100MPa以上)		有	要	A	要	不可	B	I
		集じん装置付き超高压水洗工法 (100MPa以上)		有	否	E	要	不可	C	II

— : 対象とならない処理
 * 施工費用: (安価←)A<B<C<D<E 施工価格のみで養生等の経費は含まない。A～Eは解説表3.2～3.4の相対比較。
 ** 作業効率: (良←)A>B>C>D>E
 *** 工法区分: 解説表3.5の備考 (解説表3.2～3.4の工法区分)との関連





解説図3.3 厚付け仕上塗材の劣化進行模式図

3.3 施工計画の作成

施工計画の作成にあたっては、次の事項を含むものとする。

- (1) 処理工法（補助工法含む）
- (2) 粉じん飛散防止措置（隔離作業場設置の有無など）
- (3) 粉じんばく露防止措置（呼吸用保護具、保護衣などの選定）
- (4) 廃水処理（石綿を含む水を排水する工法のみ、集水措置を含む）
- (5) 廃棄物処理
- (6) その他

施工計画の作成にあたって、石綿含有仕上塗材の改修・解体工事における石綿則・大防法・廃掃法の規制内容を解説表 3.5 に示す。

(1) 処理工法の選定

処理工法の選定は前項に基づき行うが、施工計画を作成する際には、次の事項を考慮する。

① 剥離剤併用工法の場合、剥離剤の剥離効果を事前にテストして次のことを確認する。

- ・剥離剤の有効性（下地コンクリート面に達するまで完全に除去できるか）
- ・剥離剤の使用量、除去開始までのオープンタイム
- ・養生内での使用による有機溶剤中毒等のおそれ（換気、防毒マスク着用の検討）
- ・臭気の影響
- ・作業性など

② 集じん装置付きの工法では、入隅部等*の除去ができないため補助的に他の工法を併用しなければならない。この場合、補助的工法使用時の粉じん飛散防止措置に十分配慮することが重要である。全体を隔離作業場とする必要があるか、部分的な隔離で対応できるか、あるいは局所集じんに対応可能かを判断し、施工計画に盛り込むことが必要である。

巻末の付録の付 4. に補助的方法としての部分的な隔離の事例および HEPA フィルター付き掃除機による集じん方式の事例を示しているので、参照されたい。

※入隅部等とは、平面部でない部分をいい窓や柱型、軒先部分がある。

(2) 粉じん飛散防止措置

処理工法により粉じん飛散防止措置は異なってくる。その措置は隔離作業場の設置の有無で大別されるが、前述のように、補助的工法を併用する場合の粉じん飛散防止措置も勘案し決定する必要がある。また、隔離作業場の設置は「6. 隔離工法」により行う。外部に隔離作業場を設置する場合には、風の影響や水を使用する工法での集水方法などに配慮が必要となる。

(3) 粉じんばく露防止措置

具体的には、呼吸用保護具、保護衣などの選定である。粉じんの飛散状況に応じて必要な呼吸用保護具、保護衣などを使用しなければならない。処理工法およびそれに伴う隔離作業場の設置の有無などにより異なってくる。

(4) 廃水処理

石綿を含む水を排水する場合に重要となる。詳細は「8. 廃水処理」に定めるとおりであるが、特に、屋外での作業の場合では集水方法を明確に示すことが重要である。

(5) 廃棄物処理

「9. 廃棄物処理」に基づき、適切な処理方法を示す。適切な処理業者を選定し、事前に委託契約を

締結し、委託契約書および処理業者の許可証を添付することも必要である。

(6) その他

「5. 処理作業共通事項」に基づき、施工体制図（安全管理体制、石綿作業主任者の選任など）や作業員の教育、掲示などについても処理計画に含めることが必要である。

解説表 3.5 石綿含有仕上塗材の改修・解体工事における石綿則・大防法・廃掃法の規制

	石綿則 条項	大防法 条項	解体・改修 (既存塗膜除去)	解体・改修 (既存塗膜除去) 石綿則第6条但し書き	改修(塗膜洗浄) 石綿関連作業に 該当せず
事前調査	3条	18条の17	要	要	要
作業計画	4条	—	要	要	—
届 出	5条他	18条の15	要	要	—
事前調査結果 掲示	3条	18条の17	要	要	要
その他掲示	15条他	—	要	要	—
隔 離 (前室・集じん・排 気装置)	6条	18条の18 則16条の4	要	不要	—
立入禁止	15条	—	要	要	—
湿潤化	13条	—	要	要(工法による)	—
石綿作業主任者	19条	—	要	要	—
石綿特別教育	27条	—	要	要	—
保護具	14条	—	電動ファン付	防じんマスク または電動ファン付	—
保護衣等	14条	—	保護衣 (使い捨て)	専用の作業衣 または保護衣	—
作業記録	35条	—	40年保存	40年保存	—
廃棄物	廃掃法		全て特管産廃	除去物は特管産廃・ 養生材は産廃	除去物無・ 養生材は産廃
備 考(解説表 3.2～3.4 の工法区分)			I	II	III

……………石綿障害予防規則（抜粋）……………

(吹付けられた石綿等の除去等に係る措置)

第六条 事業者は、次のいずれかの作業に労働者を従事させるときは、次項に定める措置を講じなければならない。ただし、当該措置と同等以上の効果を有する措置を講じたときは、この限りではない。

一 ～三 略

2 事業者が講じる前項本文の措置は、次の各号に掲げるものとする。

一 前項各号に掲げる作業を行う作業場所（以下この項において「石綿等の除去等を行う作業場所」という。）を、それ以外の作業を行う作業場所から隔離すること。

二 石綿等の除去等を行う作業場所にろ過集じん方式の集じん・排気装置を使用すること。

三 石綿等の除去等を行う作業場所を負圧に保つこと。

四 石綿等の除去等を行う作業場所の出入口に前室、洗身室及び更衣室を設置すること。これらの室の設置に当たっては、石綿等の除去等を行う作業場所から労働者が退出するときに、前室、洗身室及び更衣室をこれらの順に通過するように互いに接続させること。を設置すること。

五～七 略

……………大気汚染防止法施行規則（抜粋）……………

別表第7（第十六条の四（作業基準）関係）

一 令第三条の四第一号に掲げる作業（次項又は三の項に掲げるものを除く。）

次に掲げる事項を遵守して作業の対象となる建築物等に使用されている特定建築材料を除去するか、又はこれと同等以上の効果を有する措置を講ずること。

イ 特定建築材料の除去を行う場所（以下「作業場」という。）を他の場所から隔離し、作業場の出入口に前室を設置すること。

ロ～チ 略

添付21

発行・登録日

H26/6

題名

石綿を含有する建築物の解体等に係る届出について

資料出典

厚生労働省・国土交通省・環境省HP

出典元URL

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11300000-Roudoukijunkyokuanzeneiseibu/0000142158.pdf>

該当建材

調査内容
・結果

アスベスト含有建材に対する解体、改修工事における届け出に関する資料です。該当する建材のレベルにより届け出内容が異なるため、注意してください。

石綿を含有する建築物の解体等に係る届出について

石綿を含有する建築物の解体等を行う際には次の届出を行う必要があります。

	レベル1 ・吹き付け石綿	レベル2 ・耐火被覆板 (ケイカル板2種) ・断熱材 (煙突、屋根折板) ・保温材	レベル3 ・スレート ・石綿含有岩綿吸音板 ・Pタイル ・ケイカル板1種 ・サイジング ・石綿セメント板
「工事計画届」 (14日前までに労働基準監督署長あて提出) ＜安衛法第88条第4項＞	○ (耐火/準耐火建築物の除去作業)	—	—
「特定粉じん排出等作業届書」 (14日前までに都道府県知事等あて提出) ＜大防法第18条の15＞	○ (除去/封じ込め/囲い込み作業)	○ (除去/封じ込め/囲い込み作業)	—
事前届出の実施 (工事着手7日前までに都道府県知事等あて提出) ＜建築リサイクル法第10条＞	○ (特定建設資材への付着した吹付け石綿等の有無や除去等の措置、その他計画届けについて届出書に記載)		
「建築物解体等作業届」 (作業前に労働基準監督署長あて提出) ＜石綿則第5条＞	○ (封じ込め/囲い込み及び耐火/準耐火建築物以外の除去作業)	○ (除去/封じ込め/囲い込み作業)	—

なお、届出漏れの予防や法の適正執行のため、届出いただいた内容について、建設リサイクル法・大気汚染防止法・労働安全衛生法等関係法令の定める事務又は業務の遂行に必要な限度で左記法令を所管する機関もしくは部局間で情報提供が行われる場合があります。

厚生労働省・国土交通省・環境省

(H26.6)

—解体等工事を始める前に—

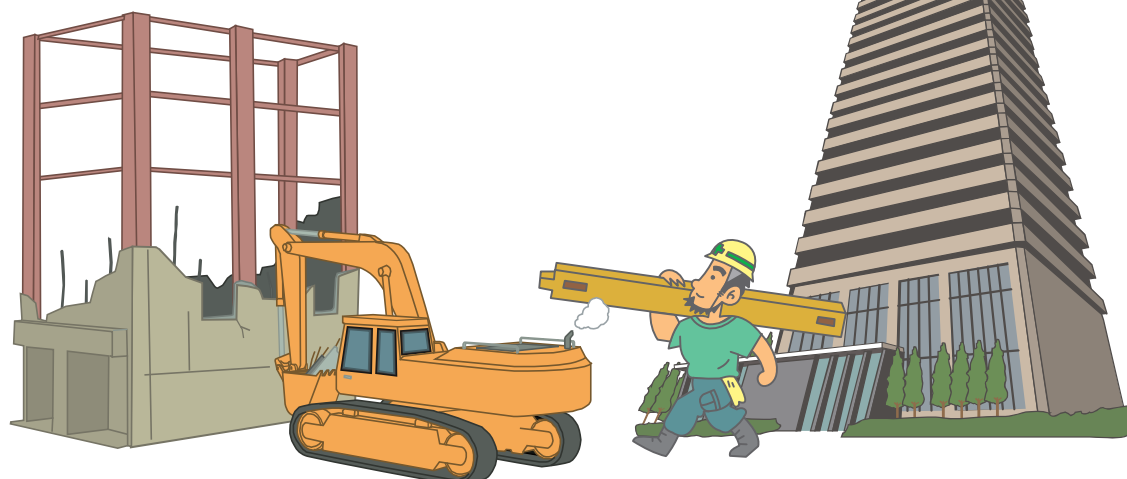
ご存知ですか？

届出義務者が工事の施工者から発注者へ変更になります。

改正大気汚染防止法に基づき、建築物・工作物の解体等工事におけるアスベスト飛散防止対策の内容が一部変更されました。

なぜ手続きが変更になったの？

「大気汚染防止法」では、石綿（アスベスト）の飛散を防止するため、特定建築材料※が使用されている建築物又は工作物の解体、改造、補修作業を行う場合に届出および作業基準の遵守が必要となります。平成25年6月に石綿の飛散を防止する対策のさらなる強化を図り、人の健康に係る被害を防止するため、改正大気汚染防止法が公布されました。（平成26年6月までに施行）



※特定建築材料とは……

特定建築材料とは、吹付け材、断熱材、保温材、耐火被覆材のうち、石綿を意図的に含有させたもの又は石綿が質量の0.1%を超えて含まれているものです。

【変更の主な理由】

- ・ 解体現場等から石綿が飛散する事例があり、また建築材料に石綿が使用されているかどうかの事前調査が不十分である事例が確認されています。現場で監視に当たる地方公共団体から事前調査の義務付け等の要望が出されました。
- ・ 平成23年に発生した東日本大震災の被災地でも石綿除去工事において、石綿の飛散事例が確認されました。
- ・ 昭和31年から平成18年までに施工された石綿使用の可能性がある建築物の解体等工事は、平成40年頃をピークに全国的に増加することが見込まれます。

石綿（アスベスト）は昭和30年頃から使われ始め、安価で耐火性、耐熱性、防音性など多様な機能を有していることから、建築材料として、様々な建築物等に広く使用されてきました。しかし、石綿の曝露後数十年を経て発症する中皮腫や肺がん等の重篤な疾病による健康影響が社会問題となり、石綿を使用する製品の製造が順次禁止されるとともに、石綿を使用した建築物の解体工事等に伴う暴露防止や一般大気環境中への飛散防止対策の強化が図られてきました。

何が変更になったの？

改正大気汚染防止法に基づき、主に以下の内容が変更になりました。

【届出義務者の変更】

特定粉じん排出等作業^(*)の実施の届出義務者が、工事の施工者から、工事の発注者又は自主施工者に変更されました。

* 吹付け石綿等が使用されている建築物等の解体、改造、補修作業



施工者



発注者

【解体等工事の事前調査及び説明の義務付け】

解体等工事の受注者は、石綿使用の有無について事前に調査をし、発注者へ調査結果を書面で説明するとともに、その結果等を解体等工事の場所へ掲示することが義務づけられました。



※届出が必要な場合には、届出事項の説明も必要となります。



【立入検査等の対象の拡大】

都道府県知事等による報告徴収の対象に、届出がない場合を含めた解体等工事の発注者、受注者又は自主施工者が加えられ、立入検査の対象に解体等工事に係る建築物等が加えられました。



手続きはどのように変わるの？

建築物や工作物の解体等によって生じる石綿の飛散を防ぐために、「改正大気汚染防止法」により、以下のように手続きが変更になります。

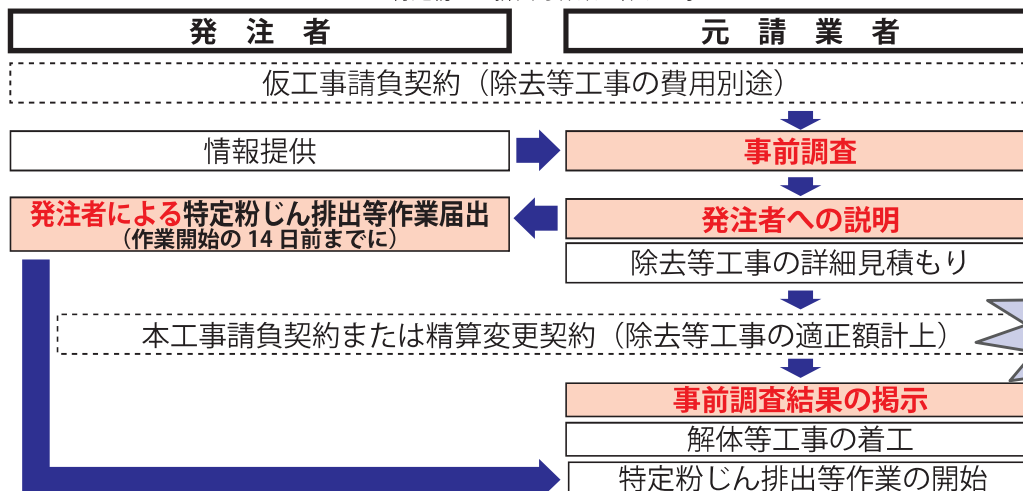
●作業の届出

石綿を使用している建築物や工場のプラントなどの工作物を解体、改造、補修する場合、**工事の発注者**又は自主施工者は、作業の場所、作業期間、作業の方法などについて作業を始める14日前までに都道府県などの窓口に届出をしなければなりません。

●新しい手続きの流れ

《特定工事^(※)の手順例》

※特定粉じん排出等作業を伴う工事



赤字が
変更部分



環境省

水・大気環境局 大気環境課

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎5号館

TEL 03-3581-3351 (代表) 内線6536 FAX 03-3580-7173

<http://www.env.go.jp/>

添付22

発行・登録日

題名	特定建築材料以外の石綿含有建材を除去する時の石綿飛散防止対策
資料出典	環境省資料
出典元URL	https://www.env.go.jp/air/asbestos/litter_ctrl/manual_td_1403/chpt3-09.pdf
該当建材	
調査内容 ・結果	床材、ボード類などレベル3建材の代表的な工事方法になります。該当する資料があれば参考にご覧ください。

3. 12 特定建築材料以外の石綿含有建材を除去する時の石綿飛散防止対策

大気汚染防止法の特定建築材料ではない石綿含有成形板等についても、程度は少ないと考えられるものの解体／改修時には周辺環境への石綿飛散防止するための、大気汚染防止法、石綿障害予防規則、廃棄物処理法等を遵守する必要がある。

また、再生砕石から石綿含有成形板の破片が見つかった。この理由として、

- ① 石綿含有製品であることの調査が不十分なために他の廃棄物と区別せずに処理された。
- ② 解体／改修時に十分な分別がされないために、他の廃棄物とまとめて処理されたことが考えられる。

解体／改修時には、石綿障害予防規則第3条に基づいて石綿有無の事前調査を行うことが重要であり、石綿を0.1重量%を超えて含有する場合は、石綿含有成形板として解体／改修を行い、廃棄物処理法に基づいて石綿含有産業廃棄物として処理する必要がある。

石綿含有成形板の解体／改修における石綿障害予防規則による作業の規制事項として、作業計画の作成及び作業員への周知、作業主任者の選任、保護具の使用、各種掲示・表示（一部は安衛則、通達）等があり、作業員は全員が石綿特別教育（石綿使用建築物等解体等業務特別教育）を受講している必要がある。

3. 12. 1 石綿含有成形板を除去する場合

特定建築材料ではないその他の石綿含有成形板は、耐熱性や耐久性が要求される場所で屋根・外壁・内壁・天井・床などの材料として使われている。石綿がセメントやけい酸カルシウム等により固化されているため、通常の使用状態においては、石綿粉じんが飛散することは少ないが、切断や破碎作業により石綿粉じんが飛散する（表 1. 7）（表 1. 8）。（図 3. 105～図 3. 107 参照）

散水のうえ、手ばらしで行えば、石綿粉じんの飛散は少なくなる。従って施工者は工事計画を作成するに当たっては周到な注意を払って、建物等の外部や内部の使用材料を事前調査し、その結果に基づき作業計画をたてることが肝要である。

石綿粉じんの防止対策としては、以下の場合について考慮する必要がある。

- ① 作業環境からみた石綿の発じん防止
- ② 大気環境への石綿飛散防止対策の基本事項
- ③ 石綿含有成形板は原則として常時散水する等湿潤化し、手作業にて丁寧に剥がし、破損した石綿含有成形板は丈夫なビニール袋やシートに囲い、小口や劣化部分からの石綿の飛散防止の措置を行う。
- ④ 石綿を飛散させるおそれのある場合は解体施工部分の外周部分を鋼製パネルや養生シート等で隙間なく囲む。



図 3. 105 石綿含有スレート波板

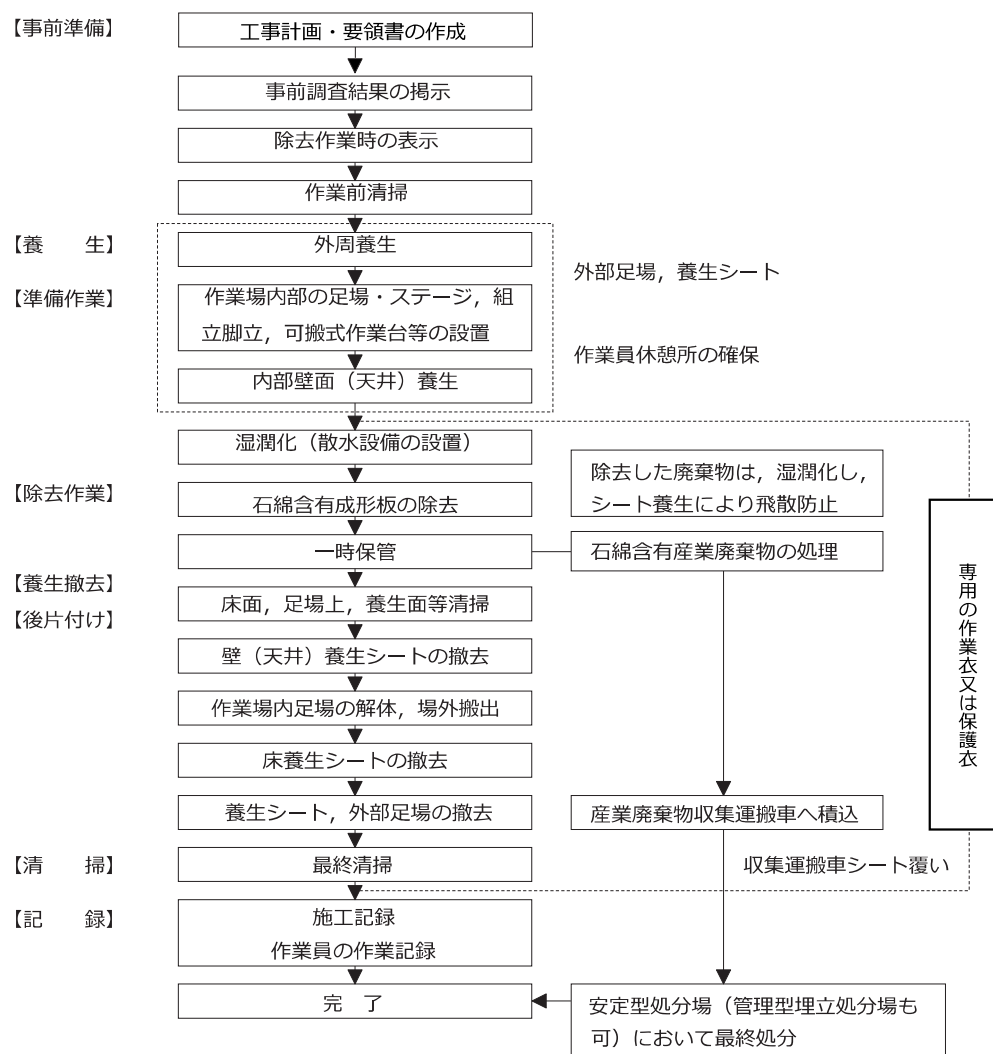


図 3. 106 石綿含有ロックウール吸音天井板



図 3. 107 石綿含有ビニール床タイル

(1) 除去作業手順



(2) 除去作業における留意事項

1) 事前準備

【作業計画】

石綿粉じんの発生の少ない工法を採用する。

石綿粉じんの発生する工法の場合には撤去作業に伴い石綿含有成形板等周辺の粉じんの飛散防止養生を設置し、散水装置を設置する。

建築物の解体にあたり、石綿含有成形板を事前に除去し他の廃棄物と混合しないよう計画する。

① 工事計画と作業手順書を作成する。

粉じんの発生や飛散抑制の湿潤化により極度に悪影響を受ける周辺機器や居室等が隣接しているか調査し、解体時の石綿粉じんの飛散防止対策を計画する。また、施工方法や構造が分かると、粉じんの発生を抑える作業手順を検討する際に参考になる。

天井裏や壁の内壁裏に隙間が無いことを確認する。壁貫通部等の開口部がある場合は隙間をあらかじめプラスチックシート等で養生し、密閉すること。

なお、天井裏や壁内の石綿含有吹付け材の堆積している場合は本編3.8.2(8)①「天井仕上材の裏に石綿が堆積している場合」を参照のこと。

② 除去した石綿を含む成形板は石綿含有産業廃棄物に該当する。石綿含有産業廃棄物の投げ降ろしや重機での掻き集めは、破損により飛散するおそれがあるため行わない。また、一時保管場所を決めて他の解体廃棄物と分別保管し、その場所には廃棄物の種類とともに石綿含有産業廃棄物であること、取扱い注意事項と廃棄物管理責任者を表示する。

③ 都道府県等の条例、要綱等により必要ある場合は工事計画書の届出や事前に説明会等を実施する。

④ 「事前調査の結果」および「解体工事等の作業に関するお知らせ」を掲示する。

⑤ 作業場所において破損した石綿含有成形板は丁寧にビニール袋に集める。細かいものは高性能真空掃除にて清掃する。

2) 解体作業場の養生

① 屋根又は外壁の解体／改修工事

工事現場近隣への粉じんの飛散を防ぐため解体建物の周囲に養生材（パネルやシート等）により囲いを行う。

② 内装の解体／改修工事

窓等の開口部をテープで目貼りをし、飛散のおそれのある部分をプラスチックシート等を使用して塞ぐ。石綿含有成形版を機械等による破砕、圧砕する場合は、粉じんの飛散が予想されるので外部に飛散させないような飛散防止措置（HEPA付き局所集じん装置の使用、薬剤等の使用）を行うこと。（図 3. 108 参照）

3) 湿 潤 化

石綿含有成形板の切断等の作業をするときは、石綿等を湿潤な状態のものとしなければならないと、石綿障害予防規則に定めている。粉じんを伴う作業を行う場合は石綿飛散の抑制方法として石綿含有成形板に直接散水・噴霧して湿潤化する。ただし、屋根材においては作業者の足元が滑りやすくなり転落する恐れがあるため留め付け部分だけを湿潤化し飛散防止を図ること。なお高圧水洗浄機にて高圧水を石綿含有建材の表面に直接当てると石綿含有建材がはく離して近隣建物等に石綿が飛散するおそれがあるので留意すること。（図 3. 109 参照）



図 3. 108 噴霧器の例



図 3. 109 湿潤化の例

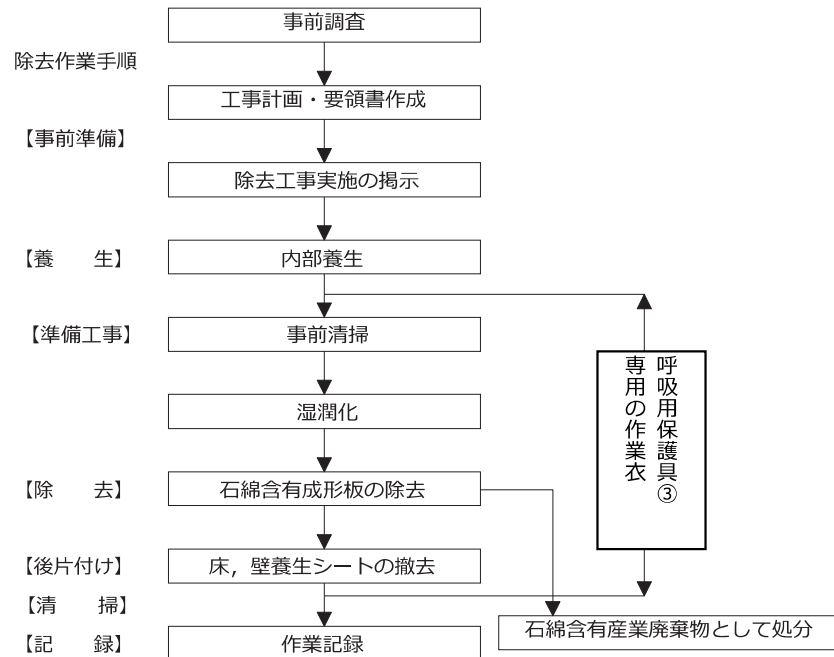
4) 除去作業

石綿が飛散しないように手作業によりできるだけ原形のまま取り外す。人が立ち入ることが危険である等手作業で取り外すことが著しく困難な場合は、やむを得ず油圧破碎機や電動丸鋸又はドリル等の機械工具を併用することとなるが、散水や HEPA フィルター付き局所集じん装置を使用する等石綿の飛散防止を図ること。また、呼吸用保護具の区分についても留意する。圧縮破碎作業は可能な限り少なくする。

① 石綿含有成形板（内装）石綿含有けい酸カルシウム板第一種

- ・周辺の養生としては、床養生のほか外部への石綿飛散に留意して開口部をプラスチックシート等により養生する。
- ・湿潤化は、薬液等を使用し、石綿飛散の程度に応じて適量散布する。
- ・除去する石綿含有成形板に付着している機器器具は成形板を損傷しないように丁寧に取り外す。

除去作業手順（内部）



壁天井石綿含有成形板の除去

イ) 下地釘留め工法の場合

釘抜き・バール等で釘を抜き、板を下地材から外す。

鋼製下地でビス留め工法の場合は、パテ材等をはつり、ビス頭を露出させ、電動工具等を用いビスを抜き、板を下地材から外す。

ロ) 鋼製下地で接着工法の場合は、板と下地材の間にバール等を差し込み、破損しないように上張り材を取り外す。下張り材は電動工具等を用いてビスを抜き、下地材から外す。

ハ) ステープル・接着工法の場合は、上張り材と下張り材の間にバール等を差し込んで破損しないように上張り材を取り外す。ステープルは工具を用い抜き取る。下張り材は、電動工具等を用いビスを抜き、下地材から外す。



図 3.110 天井石綿含有成形板の除去例

- ・石綿含有成形板をバールや鋸等により切断，破碎除去する場合は，湿潤化等石綿飛散防止の措置をすること。取り外した石綿含有成形板は丁寧にプラスチック袋又はシートにより梱包する。
- ・作業終了時には高性能真空掃除機により清掃する。養生の撤去にあたっては，シート等を十分に清掃する。石綿付着が考えられる仮設足場材等には，汚れをぬれ雑巾等により取り除き持ち出すこと。
- ・石綿障害予防規則に定められている呼吸用保護具及び専用の作業衣を使用し通勤着と着替える。

② 石綿含有成形板（外装）石綿含有スレート波板の取外し作業

石綿粉じんの飛散防止として外部足場にパネル，シート等により隙間なく塞ぐ等の措置を講じる。

- ・湿潤化は，粉じん飛散の程度に応じて適量散水散布する。
- ・接合部分及び固定部分の建材が工具等により破損，破壊されないようにフックボルト，釘等を解除又は切断し，損傷しないように丁寧に取り外すことにより，石綿含有スレート波板等を撤去する。屋根や外壁を手作業で取り外す除去作業は発じんは低い，やむを得ず発じんの恐れのある劣化損傷した石綿含有成形板を，機械工具により切断等を行う場合は，発生する粉じんを HEPA フィルター付き真空掃除機で吸引しながら行うことにより粉じん飛散防止を図る。（図 3. 111 参照）



図 3. 111 機械工具による切断例

- ・石綿含有成形板の廃棄物は，作業区域内の保管場所に集積する。一ヶ所に多く積み重ねないようにし，作業進捗にあわせて地上に降ろす。
- ・高所からの移動は，揚重機等を使用して，石綿含有スレート波板等を高所から投下しない。（図 3. 112 参照）作業終了時には石綿含有成形板と他の建材と混ざらないよう取り外した石綿含有成形板は丁寧にプラスチック袋又はシートにより梱包する。
- ・養生の撤去にあたっては，シート等を十分に清掃する。石綿付着が考えられる仮設足場材等には，汚れをぬれ雑巾等により取り除き持ち出すこと。
- ・作業前に，通勤着を専用の作業衣に着替え，石綿則に定められている呼吸用保護具を使用する。



屋根スレート止め金物切断



屋根スレート取外



壁金物取外し



壁石棉含有成形板取外し

図 3. 112 高所作業車を使用し屋根スレートを除去した例

除去作業手順（外部）

除去作業手順

【事前準備】

【養生】

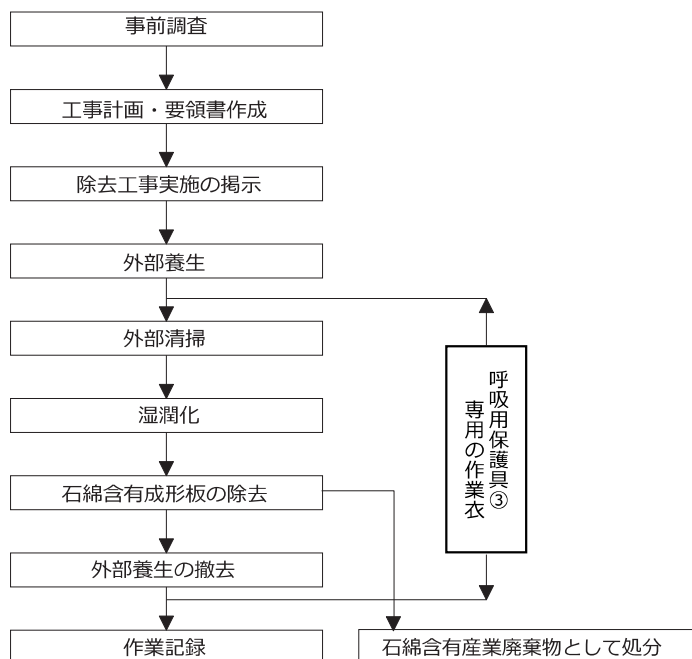
【準備工事】

【除去】

【後片付け】

【清掃】

【記録】



③ 石綿含有住宅屋根用化粧スレート等（外装）

外装材の除去に先立ち、後付された外部設備、笠木、桶、金属類、コーナー材等を除去する。施工時と逆の手順で行う。シーリング材等が施工されている場合は、先行して除去する。縦・横目地部のシーリング材をカッター等を用いて切断し、除去する。タイル張り仕上げされている箇所等で分別が困難な場合はできるだけ破損させないで除去するが、やむを得ず切断等を行う場合は、発生する粉じんを高性能真空掃除機で吸引しながら行う。（図 3. 113 参照）



手工具



湿潤化



接合固定部分の取外し



取外し



粉じん回収（HEPA フィルター付真空掃除機）



集積

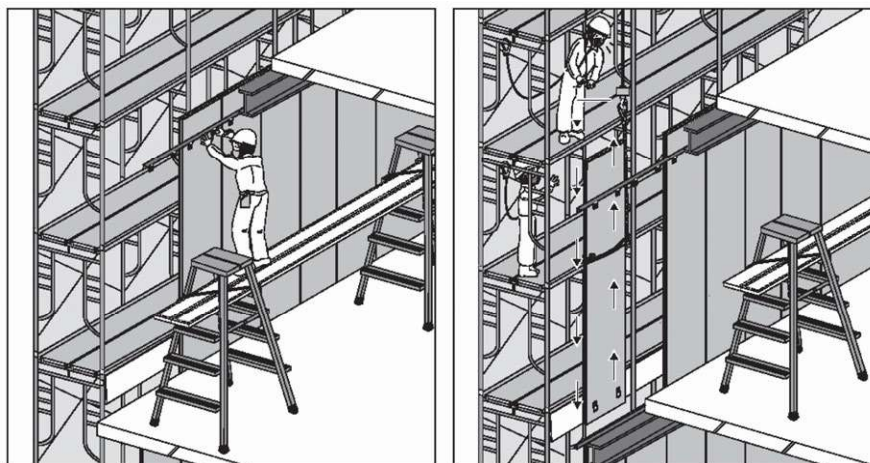
図 3. 113 石綿含有住宅屋根用化粧スレートの除去状況

④ 石綿含有押出成形セメント板（ECP）取外し作業の留意事項

石綿含有押出成形セメント板の取外しは、原則、他の建材の取外しに先がけて行う。原則として手ばらしとし、やむを得ず油圧式圧砕機により破壊しなければならない場合は、石綿の発じん防止と飛散養生を行う。

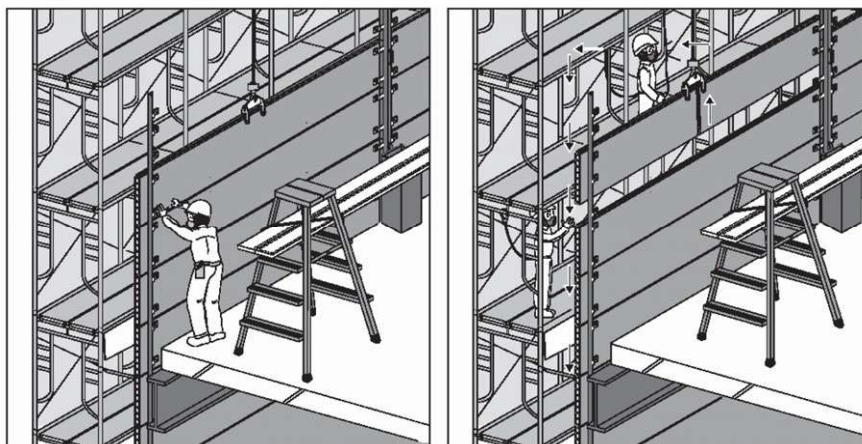
【縦張り工法】

縦張り工法の場合、上部 Z クリップのボルトを外して外部足場側に手で支えながら ECP を傾け、吊り上げ治具を付けてから下部 Z クリップのボルトをゆるめ、引き上げた後に静かに地上におろします。



【横張り工法】

横張り工法の場合、吊り上げ治具を先に付け、4ヶ所の Z クリップのボルトを外して ECP を引き上げた後に静かに地上におろします。



出典：押出成形セメント板協会 石綿含有押出成形セメント板の解体・改修工事における石綿対策

⑤ 石綿含有ビニル床タイル

剥がし作業は粉じんの出ないように、ボール、ケレン棒、電動ケレン（ペッカー）等で剥がす。

- ・原則として薬液等を石綿含有ビニル床タイル面に散布して浸透させる。
- ・剥がした石綿含有ビニル床タイルは湿潤化後、養生シートにて梱包し、保管する。
- ・コンクリート等下地の石綿含有ビニル床接着材の除去は、集じん装置付きの電動工具の使用、又は高性能真空掃除機で集じんしながら共同作業を原則とする。
- ・作業場内の清掃は高性能真空掃除機により清掃する。
- ・作業場内で使用した作業衣、工具等は、濡れ雑巾でふき取り、又は高性能真空掃除機で清掃後、場外へ持ち出す。



図 3. 114 石綿含有ビニルタイルの除去例

5) 後片付け

- ・ 取り外した材料は原則として湿潤化してできるだけ破損しないよう丁寧に扱う。

粉砕された石綿含有成形板は飛散させないように湿らせたおが屑等とともに集める。

- ・ 粉じんの飛散が多い場合は、エアレススプレーや噴霧器により水又は薬液を散布することが望ましく、その後、高性能真空掃除機にて清掃を行う。
- ・ 防音シートや防音パネルについた石綿を含む汚れを濡れ雑巾や高性能真空掃除機にて十分に取り除いたあと、場外へ搬出する。（図 3. 115 参照）
- ・ 仮設機材は濡れ雑巾や高性能真空掃除機等で十分に粉じんの汚れを取り除いたあと解体し、持ち出す。
- ・ 作業床（足場）を清掃し、解体して撤去する。



図 3. 115 清掃 高性能真空掃除機使用例

6) 石綿含有産業廃棄物の保管と処理

場外へ運搬するまで現場に保管する場合は一定の保管場所を定め、他の解体材と分別して保管し、シート等で覆う等飛散防止の措置を行う。また、保管場所には、石綿含有産業廃棄物保管所であることの表示を行うこと。

運搬車両は荷台全体をシート等で覆い、粉じんの飛散を防止する。運搬の際にプラスチック袋が破損した場合には湿潤化する等飛散防止策を講じながら、新しい袋で梱包する。（図 3. 116 参照）



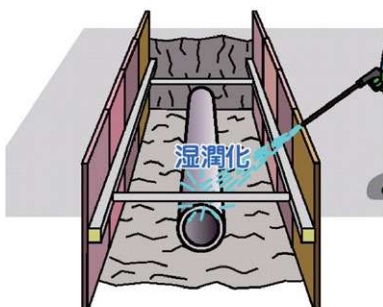
図 3. 116 石綿含有成形板廃棄物の保管例

3. 12. 2 その他工作物に使われている石綿含有建材（製品）を除去する方法

(1) 石綿セメント管の除去

水道、温泉や排水管として利用されている石綿セメント管の撤去工事は切断を避け継手部で取外すことを基本とする。やむを得ず、石綿セメント管を切断、破碎を行なう場合は散水湿潤化し外周に飛散防止のシート養生を行い作業する。

撤去した石綿セメント管は石綿含有産業廃棄物として保管し、粉じんの飛散の恐れがある場合には湿潤化し強度のあるシートにて梱包を行なう。



水道用石綿セメント管の撤去作業等における
石綿対策の手引き参照
<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyouku/kenkou/suido/topics/sekimen.html>

(2) ひも状 石綿布, 石綿含有ガスケット (ジョイントシート), 石綿紡織品 (グランドパッキン) の除去

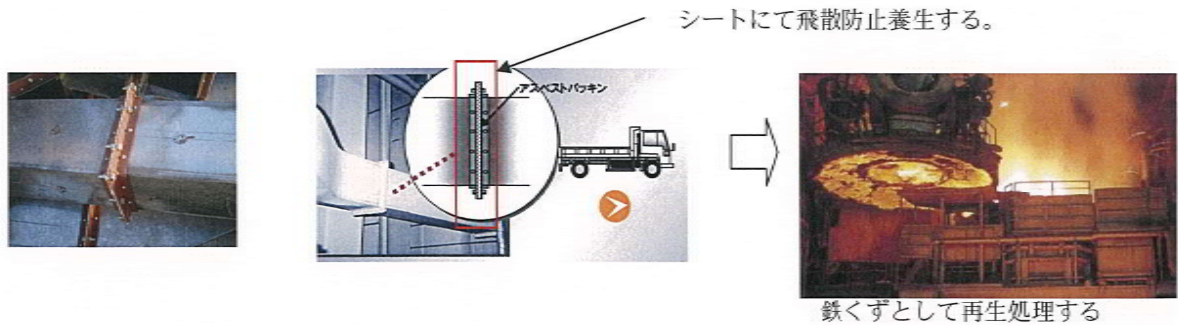
耐火, 耐薬品性能が要求される場所に使用されておりそのままの状態では飛散の恐れはないが切断や掻き落としにより石綿が飛散する。湿潤化し強度のあるシートにて飛散防止の養生を行い, 手工具にて石綿含有建材や石綿含有工業製品を除去する。(図 3. 117, 図 3. 118 参照)

また配管や金物にて挟み込まれている部分を残して切断する方法もあり, この場合は全体をプラスチックシートで梱包し, 石綿含有産業廃棄物として処理する。(図 3. 119 参照)

【参考】

施工例等

i) ダクト ジョイントアスベストパッキンをそのまま処分する例



ii) ダクトアスベストパッキンを掻き落とし処分する方法

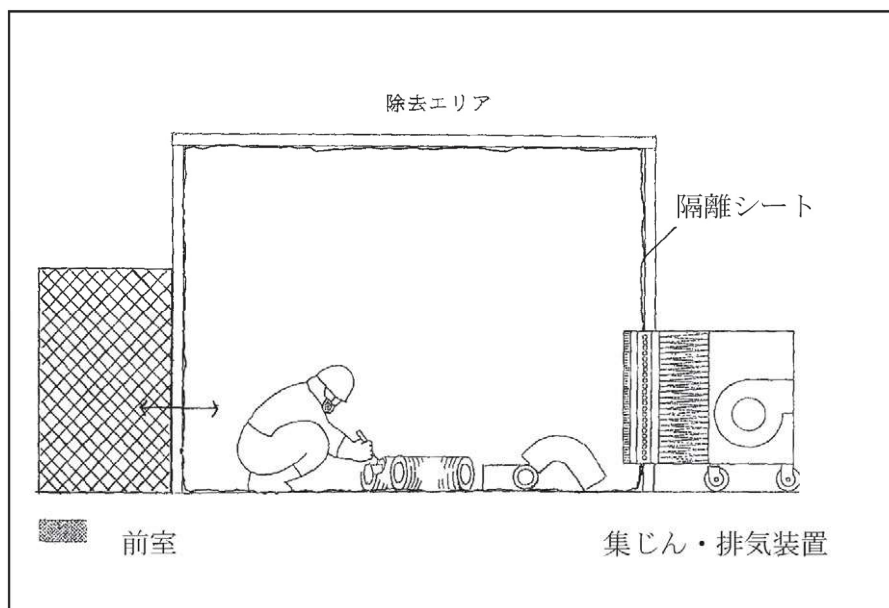


図 3. 117 除去隔離エリア



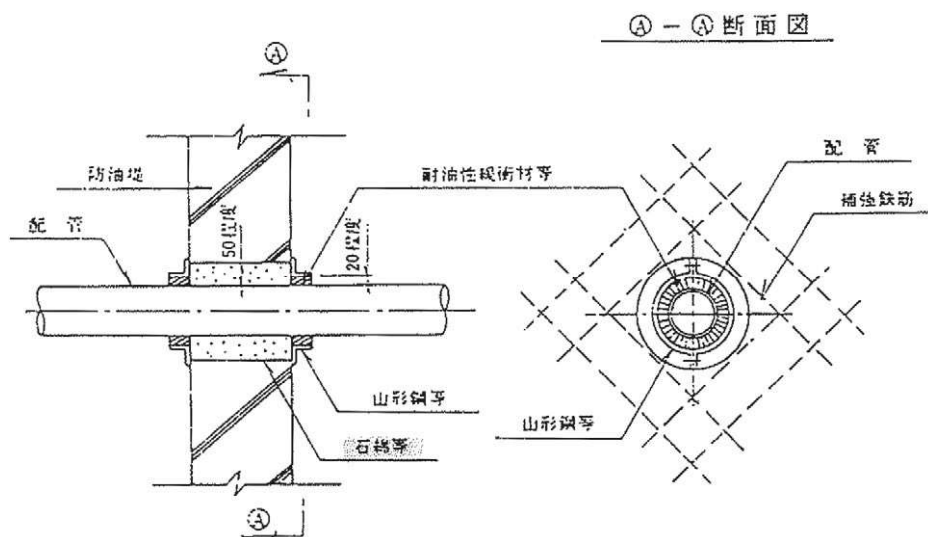
図 3. 118 掻き落とし除去作業の例

鉄くずはリサイクル 石綿含有パッキンは特別管理産業廃棄物として処分することが望ましい。



図 3. 119 特別管理産業廃棄物の例

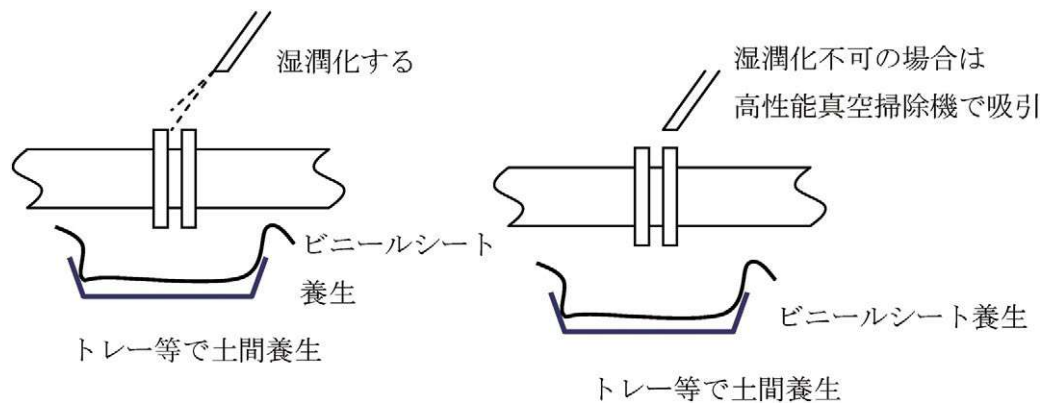
- iii) 防油堤のひも状石綿布の除去施工例 防油堤の配管部に下記要領にて施工されている。配管のひも状石綿布の施工方法はスリーブがあり隙間を埋めている場合と直接コンクリートに打ち込み施工した場合とある。石綿布をそのままにしてコンクリートと配管を切断しシート等で飛散防止養生し、直接処分する。また除去隔離エリア内でひも状石綿布を除去する。



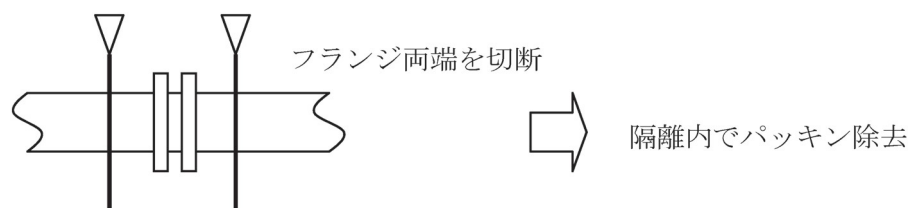
小口径配管貫通部の保護措置 消防法 危険物関係通達による

昭和 52 年 11 月 14 日

iv) 配管用シートパッキン交換例



v) 配管用シートパッキン解体・撤去例



vi) マンホール他フランジ部のヤーンパッキン交換劣化して原型を保つ状態で除去が困難な場合は、湿潤化をして下部はトレー等で養生を行う。

高性能真空掃除機で吸引しながら、スクレーパー等でフランジ部のパッキンを掻き落とす。
除去したパッキン・ガスケットはプラスチック袋等に梱包し石綿含有産業廃棄物として処分する。

3. 13 解体にあたりあらかじめ特定建築材料を除去することが困難な場合

地震時において、建築物が被災を受けた場合、応急危険度判定により立入禁止等の措置が講じられる場合がある。また、場合によっては、建築物の解体を余儀なくされる。

このように建築物の一部が崩壊したり、傾いたりして、人が立ち入ることが危険な状態の建築物を解体する場合、あらかじめ特定建築材料を除去することが著しく困難なケースが存在する。このような場合には、その建築物に散水するか、それと同等以上の効果のある措置を講じることとする。

具体的な措置としては、石綿の飛散を防止するための薬液等を散布し、建築物の周辺をシートで覆い解体を行うこと等が考えられる。

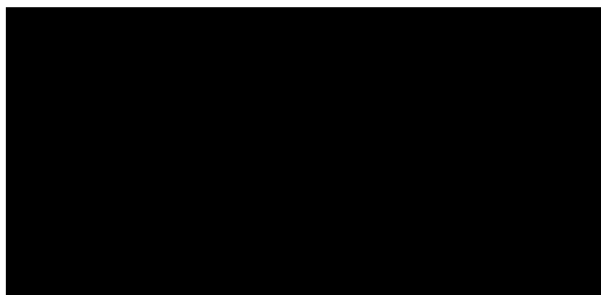
IV. 分析結果報告書

湯沢市長 佐藤一夫 様

分析結果報告書

道の駅おがち「小町の郷」アスベスト調査等業務委託

令和 7 年 1 月 31 日



石綿障害予防規則 第3条第5項に基づく
事前調査における石綿分析結果報告書（証明書）

湯沢市長 佐藤一夫 様

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法

定性分析方法2 (X線回折分析法・位相差分散顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第4章

1. 分析を実施した石綿分析機関



2. 分析を実施した年月日

分析実施日

令和 6 年 12 月 9 日 ～ 令和 6 年 12 月 10 日

3. 物件名称

物件名称

道の駅おがち「小町の郷」アスベスト調査等業務委託

分析結果一覧表

分析調査者

	分析調査者氏名	分析調査者資格取得状況・民間機関による技能評価の取得状況
定性		
定量		

分析結果

試料 No.	試料名称	定性分析結果				石綿含有判定結果		定量分析結果	別添 データ No.
		X線回折分析法		分散染色法		石綿の 有無	石綿の 種類	石綿含有率 (%)	
		石綿の 有無	石綿の 種類	石綿の 有無	石綿の 種類				
1	道の駅おがち 「小町の郷」 複層塗材E	有・ 無		有・ 無		有・ 無			1
2	道の駅おがち 「小町の郷」 下地調整材	有 ・無	Chr	有 ・無	Chr	有 ・無	Chr		2
	以下余白	有・無		有・無		有・無			
		有・無		有・無		有・無			
		有・無		有・無		有・無			
		有・無		有・無		有・無			
		有・無		有・無		有・無			
		有・無		有・無		有・無			
		有・無		有・無		有・無			
		有・無		有・無		有・無			
		有・無		有・無		有・無			

注) 種類の項には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/Act:トレモライト/アクチノライト

Ant:アンソフィライト

4. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の 名称及び用途		名称	道の駅おがち「小町の郷」	
		用途	—	
施工年及び建築物への 施工などを採用した年		平成 9 年 — 月 — 日		
採取箇所指示（判断）者の 所属、氏名、資格				
採取者の所属、氏名、資格				

試料 No.	試料名称			別添 データ No.
	採取場所	採取部位	建材名称	
1	道の駅おがち「小町の郷」	複層塗材E		1
	外部	外壁（北面）	複層塗材E	
2	道の駅おがち「小町の郷」	下地調整材		2
	外部	外壁（北面）	下地調整材	

5. 分析結果

試料 No.	試料名称						別添 データ No.
	定性分析結果				石綿含有判定結果		
	X線回折分析法		分散染色法				
	石綿の有無	石綿の種類	石綿の有無	石綿の種類			
1	道の駅おがち「小町の郷」 複層塗材E						1
	有 ・ ②無		有 ・ ②無		有 ・ ②無		
2	道の駅おがち「小町の郷」 下地調整材						2
	②有 ・ 無 Chr		②有 ・ 無 Chr		②有 ・ 無 Chr		
	有 ・ 無		有 ・ 無		有 ・ 無		
	有 ・ 無		有 ・ 無		有 ・ 無		
	有 ・ 無		有 ・ 無		有 ・ 無		
備考：							

注 1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr：クリソtail Amo：アモサイト Cro：クロシタライト Tre：トレモライト Act：アキチライト Ant：アンソフイライト

1. 使用した測定機器

1. 1 X線回折装置の製造業者、形式

X線回折装置の製造業者・形式	製造業者	スペクトリス株式会社
	形式	PANalytical Empyrean

1. 2 位相差・分散顕微鏡の形式

顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	株式会社 ニコン
	形式	80i TP-DPH
照明系	形式	12V 100W LLランプ
コンデンサ	形式	C-CPHコンデンサ
対物レンズ	形式	CFI Plan Fluor DS40X

2. X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	銅 (Cu)
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	Bragg-Brentano HD
フルスケール (cps)	自動
時定数 (s)	—
走査速度 (°/min)	連続スキャンニング 13
発散スリット (°)	1/4
散乱スリット (°)	1
受光スリット (mm)	0.04
走査範囲 (2 θ) (°)	5—70

1. 試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 12 日	試料No.	1
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、 採取方法)	形状又は材質	塗材状	
	試料の大きさ	10g	
	採取方法	スクレーパーで採取	
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日	

2. 一次分析試料の作製方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	磁性乳鉢
	粉碎器の製造業者・形式	MORTAR
標準ふるいの目開き	500 μ m	

※一次分析試料の加熱処理を実施した場合

使用した分析機器		電気炉		低温灰化処理装置		その他		()	
分析機器		分析機器の名称		電気炉					
		分析機器の製造業者・形式			ヤマト科学株式会社・F O 8 1 0				
分析装置の条件		電気炉		温度 (℃)			450±10		
				加熱時間 (m i n)			60		
		低温灰化装置		酸素流量 (m l ／m i n)					
				出力 (W)					
				灰化時間 (m i n)					
加熱処理前の一次分析試料の秤量値 (g)				加熱処理後の一次分析試料の秤量値 (g)				減量率 (r)	
4.34				3.55				0.8180	

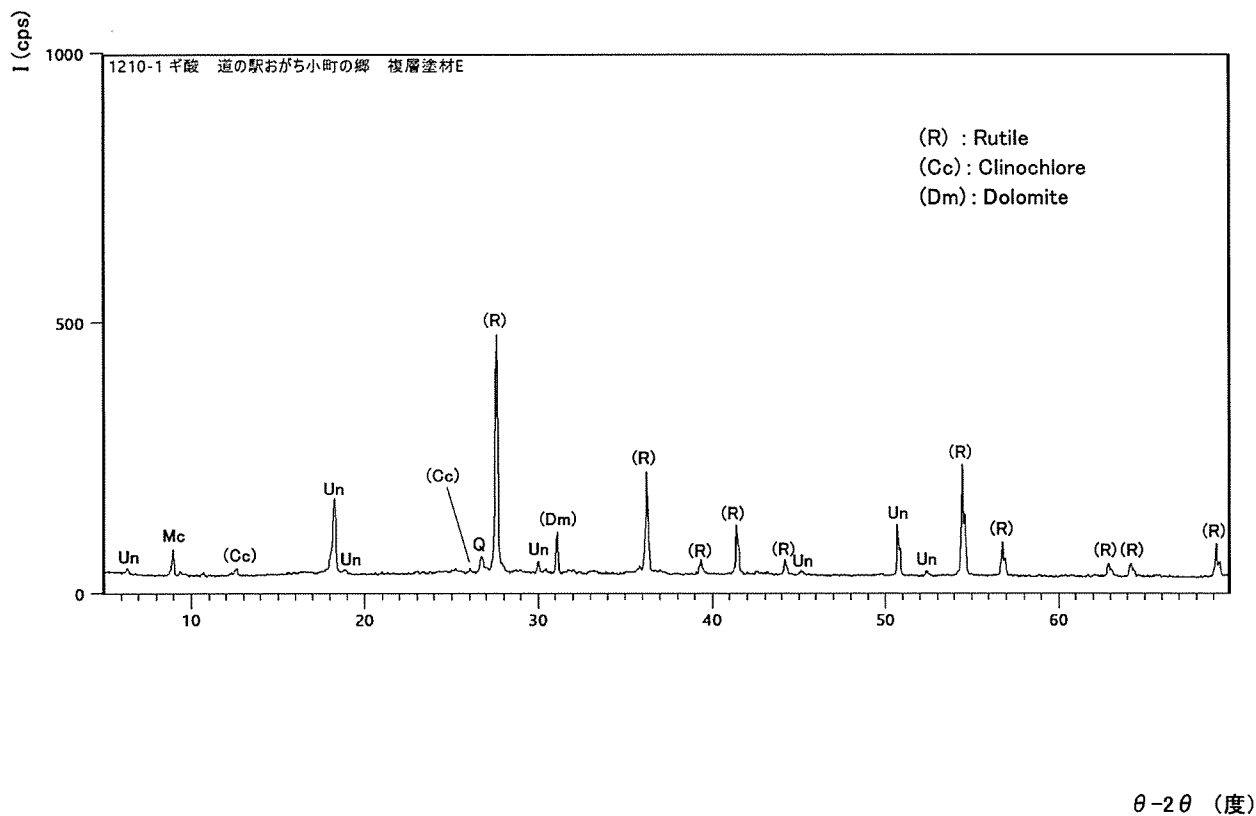
3. 判定結果

3. 1 X線回折分析法による定性分析

3. 1. 1 X線回折分析法による定性分析結果

石綿の種類	定性分析結果	
クリソタイル	有	(無)
アモサイト	有	(無)
クロシドライト	有	(無)
トレモライト／アクチノライト	有	(無)
アンソフィライト	有	(無)

3. 1. 2 X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



「ピークの記号」
 Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/Act:トレモライト/アクチノライト
 Ant:アンソフィライト Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト
 Vc:バーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト Br:ブルーサイト Se:セピオライト
 Cl:クロライト Mc:マイカ (イライト) Fl:長石 Gyp:ギブサム (石膏) Un:未同定ピーク

「注意事項」
 (2 θ) 5° ～70° のX線回折プロファイルを添付。

3. 2 位相差・分散顕微鏡法による定性分析

3. 2. 1 分析室の温度

分析室の温度（℃）	24.7
-----------	------

3. 2. 2 分析結果記入欄

・石綿名称（ クリソタイル ） 別添写真 参照

屈折率 $n_{25^{\circ}\text{C}}^D = 1.550$

調製試料 No.	n 計数視野数	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比 3 以上の繊維状粒子数	粒子数
1	95	1000	0	0
2	98	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	296	3000	0	0

・石綿名称（ アモサイト ） 別添写真 参照

屈折率 $n_{25^{\circ}\text{C}}^D = 1.680$

調製試料 No.	n 計数視野数	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比 3 以上の繊維状粒子数	粒子数
1	93	1000	0	0
2	89	1000	0	0
3	92	1000	0	0
合計	274	3000	0	0

・石綿名称（ クロシドライト ） 別添写真 参照

屈折率 $n_{25^{\circ}\text{C}}^D = 1.690$

調製試料 No.	n 計数視野数	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比 3 以上の繊維状粒子数	粒子数
1	88	1000	0	0
2	93	1000	0	0
3	91	1000	0	0
合計	272	3000	0	0

・石綿名称（ アンソフィライト ） 別添写真 参照

屈折率 $n_{25^{\circ}\text{C}}^D = 1.618$

調製試料 No.	n 計数視野数	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比 3 以上の繊維状粒子数	粒子数
1	96	1000	0	0
2	92	1000	0	0
3	93	1000	0	0
合計	281	3000	0	0

・石綿名称（ トレモライト ） 別添写真 参照

屈折率 $n_{25^{\circ}\text{C}}^D = 1.620$

調製試料 No.	n 計数視野数	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比 3 以上の繊維状粒子数	粒子数
1	94	1000	0	0
2	95	1000	0	0
3	91	1000	0	0
合計	280	3000	0	0

・石綿名称（ アクチノライト ） 別添写真 _____ 参照
 屈折率 $n_{25^{\circ}\text{C}}^{\text{D}}$ = 1.628

調製 試料 No.	n 計数視野数	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比 3 以上の繊維状粒子数	粒子数
1	90	1000	0	0
2	92	1000	0	0
3	95	1000	0	0
合計	277	3000	0	0

3. 2. 3 位相差・分散顕微鏡法による定性分析結果

石綿の種類	定性分析結果
クリソタイル	有 (無)
アモサイト	有 (無)
クロシドライト	有 (無)
トレモライト	有 (無)
アクチノライト	有 (無)
アンソフィライト	有 (無)

3. 3 X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく最終判定結果

石綿の種類	定性分析結果			石綿含有 最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		石綿含有の有無
	回折線のピーク の有無	3000粒子中の アスペクト比 3 以上 の繊維状粒子数	石綿の有無	
クリソタイル	有 ・ (無)	0	有 ・ (無)	有 ・ (無)
アモサイト	有 ・ (無)	0	有 ・ (無)	有 ・ (無)
クロシドライト	有 ・ (無)	0	有 ・ (無)	有 ・ (無)
トレモライト ／アクチノライト	有 ・ (無)			有 ・ (無)
トレモライト		0	有 ・ (無)	有 ・ (無)
アクチノライト		0	有 ・ (無)	有 ・ (無)
アンソフィライト	有 ・ (無)	0	有 ・ (無)	有 ・ (無)

※ X線回折分析法による定性分析（有）で、分散染色法（無）の場合で、石綿含有（無）と判定した場合の確認方法

使用した浸液の屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板 ⊥ 方向	偏光板 // 方向	

偏光板 ⊥ 方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。
 偏光板 // 方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

1. 試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 12 日		試料No.	2
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	セメント状		
	試料の大きさ	10g		
	採取方法	スクレーパーで採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2. 一次分析試料の作製方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	磁性乳鉢	
	粉碎器の製造業者・形式	M O R T A R	
標準ふるいの目開き	500 μ m		

※一次分析試料の加熱処理を実施した場合

使用した分析機器		電気炉		低温灰化処理装置		その他		()	
分析機器		分析機器の名称							
		分析機器の製造業者・形式							
分析装置の条件		電気炉		温度 (℃)					
				加熱時間 (m i n)					
		低温灰化装置		酸素流量 (m l / m i n)					
				出力 (W)					
				灰化時間 (m i n)					
加熱処理前の一次分析試料の秤量値 (g)				加熱処理後の一次分析試料の秤量値 (g)				減量率 (r)	

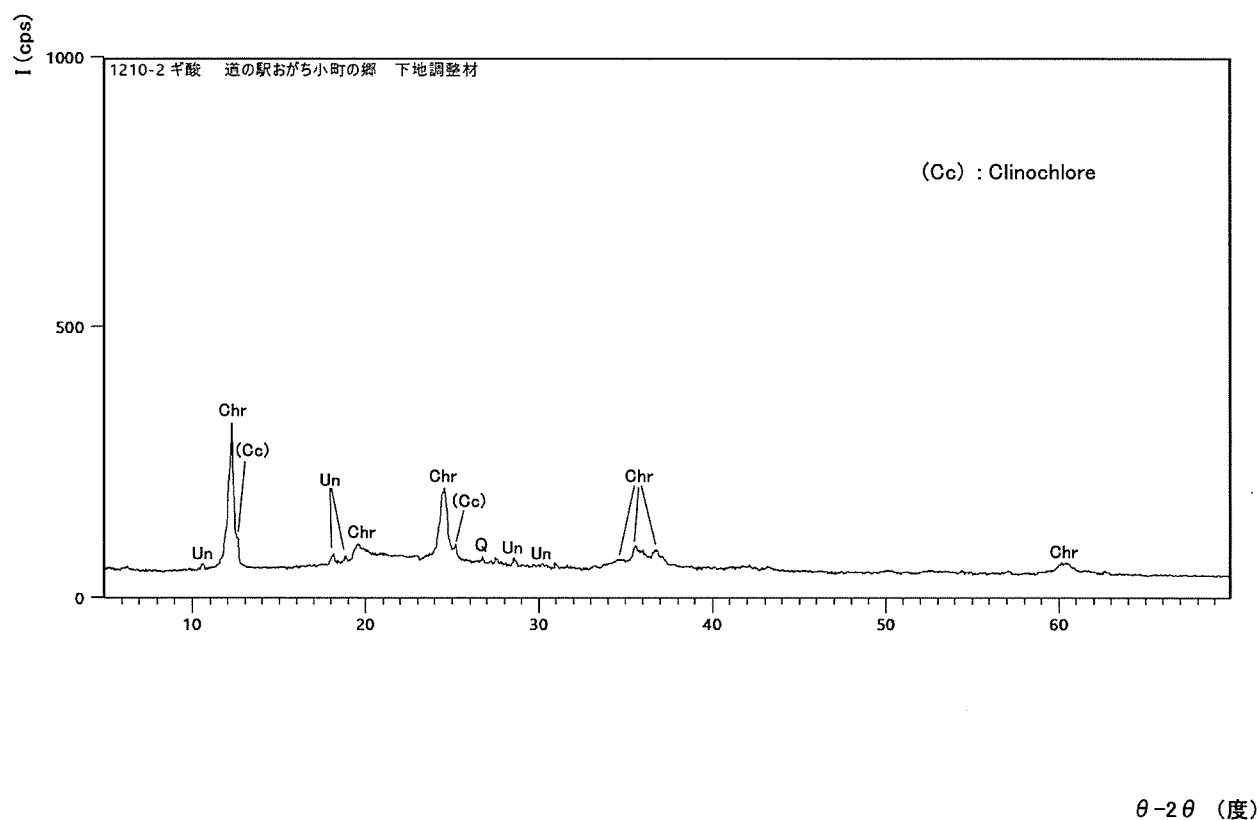
3. 判定結果

3. 1 X線回折分析法による定性分析

3. 1. 1 X線回折分析法による定性分析結果

石綿の種類	定性分析結果	
クリソタイル	①有	無
アモサイト	有	①無
クロシドライト	有	①無
トレモライト／アクチノライト	有	①無
アンソフィライト	有	①無

3. 1. 2 X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル



「ピークの記号」

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/Act:トレモライト/アクチノライト
 Ant:アンソフィライト Ca:カルサイト Q:石英 Tr:トリジマイト Cr:クリストバライト
 Vc:バーミキュライト Hb:ハイドロバイオタイト Br:ブルーサイト Se:セピオライト
 Cl:クロライト Mc:マイカ(イライト) Fl:長石 Gyp:ギブサム(石膏) Un:未同定ピーク

「注意事項」

(2θ) 5° ~70° のX線回折プロファイルを添付。

3. 2 位相差・分散顕微鏡法による定性分析

3. 2. 1 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.7
-------------	------

3. 2. 2 分析結果記入欄

・石綿名称 (クリソタイル) 別添写真 1 参照
 屈折率 $n_{25^{\circ}\text{C}}^D = 1.550$

調製 試料 No.	n 計数視野数	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比 3 以上の繊維状粒子数	粒子数
1	118	1000	1	0
2	114	1000	2	0
3	115	1000	2	0
合計	347	3000	5	0

・石綿名称 () 別添写真 _____ 参照
 屈折率 $n_{25^{\circ}\text{C}}^D =$

調製 試料 No.	n 計数視野数	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比 3 以上の繊維状粒子数	粒子数
1		1000		
2		1000		
3		1000		
合計		3000		

・石綿名称 () 別添写真 _____ 参照
 屈折率 $n_{25^{\circ}\text{C}}^D =$

調製 試料 No.	n 計数視野数	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比 3 以上の繊維状粒子数	粒子数
1		1000		
2		1000		
3		1000		
合計		3000		

・石綿名称 () 別添写真 _____ 参照
 屈折率 $n_{25^{\circ}\text{C}}^D =$

調製 試料 No.	n 計数視野数	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比 3 以上の繊維状粒子数	粒子数
1		1000		
2		1000		
3		1000		
合計		3000		

・石綿名称 () 別添写真 _____ 参照
 屈折率 $n_{25^{\circ}\text{C}}^D =$

調製 試料 No.	n 計数視野数	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比 3 以上の繊維状粒子数	粒子数
1		1000		
2		1000		
3		1000		
合計		3000		

・石綿名称（

別添写真 参照

）
屈折率 $n_{25^{\circ}\text{C}}^{\text{D}}$ =

調製試料 No.	n 計数視野数	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数（個数）	
			アスペクト比 3 以上の繊維状粒子数	粒子数
1		1000		
2		1000		
3		1000		
合計		3000		

3. 2. 3 位相差・分散顕微鏡法による定性分析結果

石綿の種類	定性分析結果	
クリソタイル	①有	無
アモサイト	有	無
クロシドライト	有	無
トレモライト	有	無
アクチノライト	有	無
アンソフィライト	有	無

3. 3 X線回折分析法及び位相差・分散顕微鏡法の定性分析結果に基づく最終判定結果

石綿の種類	定性分析結果			石綿含有 最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		石綿含有の有無
	回折線のピーク の有無	3000粒子中の アスペクト比 3 以上の 繊維状粒子数	石綿の有無	
クリソタイル	①有 ・ 無	5	①有 ・ 無	①有 ・ 無
アモサイト	有 ・ ①無	—	有 ・ 無	有 ・ ①無
クロシドライト	有 ・ ①無	—	有 ・ 無	有 ・ ①無
トレモライト ／アクチノライト	有 ・ ①無			有 ・ ①無
トレモライト		—	有 ・ 無	有 ・ ①無
アクチノライト		—	有 ・ 無	有 ・ ①無
アンソフィライト	有 ・ ①無	—	有 ・ 無	有 ・ ①無

※X線回折分析法による定性分析（有）で、分散染色法（無）の場合で、石綿含有（無）と判定した場合の確認方法

使用した浸液の屈折率	観察された分散色	アナライザー使用の場合の分散色		判定した鉱物等の名称
		偏光板⊥方向	偏光板//方向	

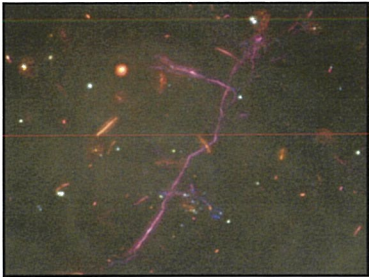
偏光板⊥方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が直交した場合を示す。
 偏光板//方向は、アスベスト繊維の伸長方向と偏光板の振動方向が平行になった場合を示す。

位相差・分散顕微鏡法による標準及び分析用試料の分散色の写真

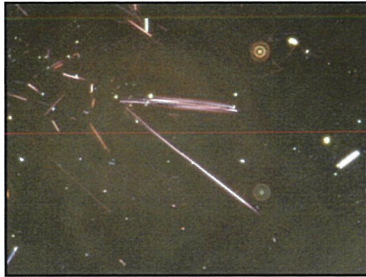
標準試料の分散色
アモサイト

クリソタイル

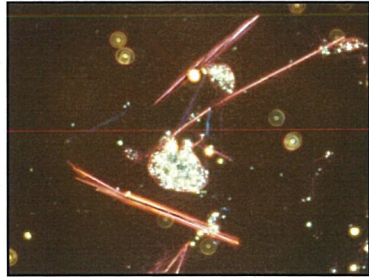
クロシドライト



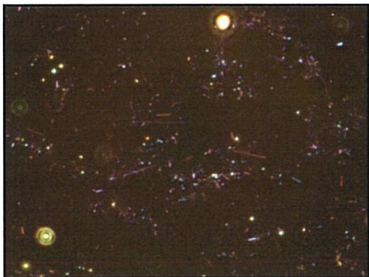
(屈折率 $n_D^{25^\circ}$: 1.550)



(屈折率 $n_D^{25^\circ}$: 1.680)



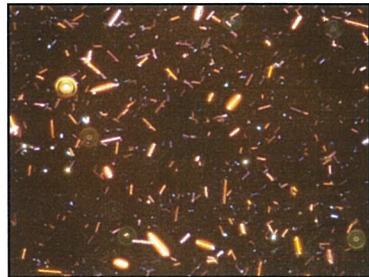
(屈折率 $n_D^{25^\circ}$: 1.690)



(屈折率 $n_D^{25^\circ}$: 1.620)



(屈折率 $n_D^{25^\circ}$: 1.628)



(屈折率 $n_D^{25^\circ}$: 1.618)

分析用試料の分散色

別添写真 1

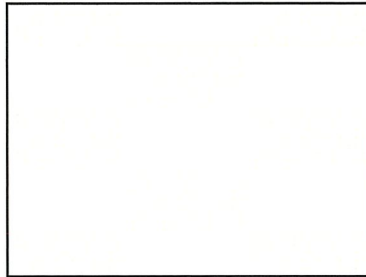
別添写真

別添写真

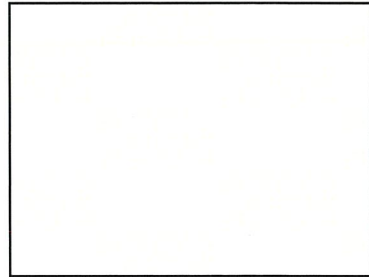


(屈折率 $n_D^{25^\circ}$: 1.550)

クリソタイル



(屈折率 $n_D^{25^\circ}$:)



(屈折率 $n_D^{25^\circ}$:)

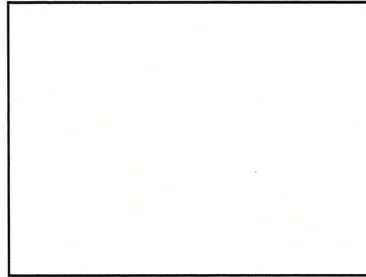
別添写真

別添写真

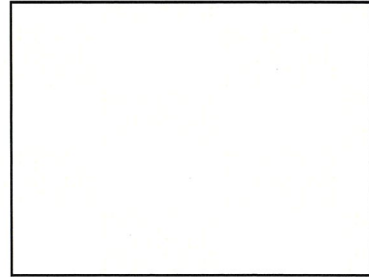
別添写真



(屈折率 $n_D^{25^\circ}$:)



(屈折率 $n_D^{25^\circ}$:)



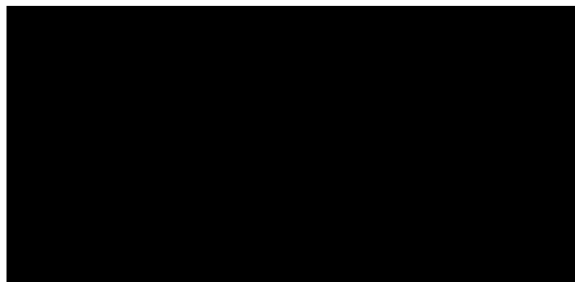
(屈折率 $n_D^{25^\circ}$:)

湯沢市長 佐藤一夫 様

分析結果報告書

道の駅おがち「小町の郷」アスベスト調査等業務委託

令和 7 年 1 月 31 日



石綿障害予防規則 第3条第5項に基づく
事前調査における石綿分析結果報告書（証明書）

湯沢市長 佐藤一夫 様

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1（偏光顕微鏡法）※アスベスト分析マニュアル第3章
----------	---------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	令和 6 年 12 月 12 日 ～ 令和 6 年 12 月 16 日
-------	-------------------------------------

3. 物件名称

物件名称	道の駅おがち「小町の郷」アスベスト調査等業務委託
------	--------------------------

4. 不検出確定手順の分析実施の有無

☒ 実施有	☐ 実施無
--------------------------------------	---------------------------

分析結果一覧表

分析調査者

	分析調査者氏名	分析調査者資格取得状況・民間機関による技能評価の取得状況
定性	山田 勝	(一社)日本繊維状物質研究協会 クロステック事業 20230630-IDE-54
		(公社)日本作業環境測定協会 評価区分1(Aランク) 2409合0116
定量		

分析結果

試料 No.	試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果			定量分析結果	別添 データ No.
		推定石綿 質量分率	合算	石綿以外で 確認された繊維	石綿含有率 (%)	
3	道の駅おがち 「小町の郷」 ロックウール吸音板		不検出	(有)・無	セルロース ロックウール	3
4	道の駅おがち 「小町の郷」 防湿ロックウール 吸音板		不検出	(有)・無	セルロース ロックウール	4
5	道の駅おがち 「小町の郷」 モルタル		不検出	有・(無)		5
6	道の駅おがち 「小町の郷」 リブラス	Chr 0.1-5%	0.1-5%	有・(無)		6
7	道の駅おがち 「小町の郷」 パルプセメント板	Chr 0.1-5%	0.1-5%	(有)・無	セルロース パルプ繊維	7
8	道の駅おがち 「小町の郷」 ビニール巾木	Chr 0.1-5%	0.1-5%	有・(無)		8
9	道の駅おがち 「小町の郷」 ビニール床タイル ㊦2 b		不検出	(有)・無	ウォラストナイト	9
10	道の駅おがち 「小町の郷」 ビニール床シート ㊦2		不検出	(有)・無	合成繊維 ガラス繊維	10
11	道の駅おがち 「小町の郷」 ビニール床タイル ㊦2 B	Chr 0.1-5%	0.1-5%	(有)・無	ガラス繊維	11
12	道の駅おがち 「小町の郷」 ビニール床タイル ㊦2 C		不検出	(有)・無	ウォラストナイト	12

注) 種類の項には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/Act:トレモライト/アクチノライト
Ant:アンソフィライト

5. 分析結果

試料 No.	試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果			定量分析結果	別添 データ No.
		推定石綿 質量分率	合算	石綿以外で 確認された繊維	石綿含有率 (%)	
13	道の駅おがち 「小町の郷」 ビニール床タイル ㊦3 A	Chr 0.1-5%	0.1-5%	有・ 無		13
14	道の駅おがち 「小町の郷」 ビニール床タイル ㊦3 D	Chr 0.1-5%	0.1-5%	有・ 無		14
15	道の駅おがち 「小町の郷」 クッションフロア		不検出	有 ・無	セルロース ガラス繊維	15
16	道の駅おがち 「小町の郷」 ビニール床シート (フローリング調)	Chr 0.1-5%	0.1-5%	有・ 無		16
17	道の駅おがち 「小町の郷」 ビニール床シート (マーブル調)	Chr 0.1-5%	0.1-5%	有 ・無	ガラス繊維	17
	以下余白			有・無		
				有・無		
				有・無		
				有・無		
				有・無		
				有・無		
				有・無		
				有・無		
				有・無		

注) 種類の項には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre/Act:トレモライト/アクチノライト
Ant:アンソフィライト

5. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の 名称及び用途	名称	道の駅おがち「小町の郷」	
	用途	—	
施工年及び建築物への 施工などを採用した年	平成 9 年 — 月 — 日		
採取箇所指示（判断）者の 所属、氏名、資格			
採取者の所属、氏名、資格			
試料 No.	試料名称 / 採取場所・建材の種類等		別添 データ No.
3	道の駅おがち「小町の郷」 ロックウール吸音板 1F No.7 生産物直売施設 等 天井・ロックウール吸音板		3
4	道の駅おがち「小町の郷」 防湿ロックウール吸音板 1F No.13 通路 等 天井・防湿ロックウール吸音板		4
5	道の駅おがち「小町の郷」 モルタル 外部D 外壁 等 床、外壁下地・モルタル		5
6	道の駅おがち「小町の郷」 リブラス 1F No.10 男子便所 タイル下地・リブラス		6

6. 分析結果

試料名称		石綿以外で 確認された繊維	別添 データ No.
偏光顕微鏡による定性分析結果 石綿の種類 / 推定石綿質量分率(合算)			
道の駅おがち「小町の郷」 ロックウール吸音板		①有 ・ ロックウール 無	3
—	①不検出 ・ 検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%		
道の駅おがち「小町の郷」 防湿ロックウール吸音板		①有 ・ ロックウール 無	4
—	①不検出 ・ 検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%		
道の駅おがち「小町の郷」 モルタル		有 ・ ①無	5
—	①不検出 ・ 検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%		
道の駅おがち「小町の郷」 リブラス		有 ・ ①無	6
Chr	不検出 ・ 検出 ・ ①0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%		
備考：			

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr：クリソタイル Amo：アモサイト Cro：クロソライト Tre：トレモライト Act：アキチナイト Ant：アンソファイト

注2) 推定石綿質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1を参照のこと。

注3) 推定石綿質量分率の報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、ウォラストナイト(WO)、ネフライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE)などがある。

5. 試料採取履歴

試料 No.	試料名称 / 採取場所・建材の種類等	別添 データ No.
7	道の駅おがち「小町の郷」 パルプセメント板 外部C 軒天井 軒天井・パルプセメント板	7
8	道の駅おがち「小町の郷」 ビニール巾木 1F No.4 職員入口 等 巾木・ビニール巾木	8
9	道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床タイル㊦2 b 1F No.18 倉庫 等 床・ビニール床タイル㊦2 b	9
10	道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床シート㊦2 2F No.18 車椅子便所 床・ビニール床シート㊦2	10
11	道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床タイル㊦2 B 1F No.4 職員入口 等 床・ビニール床タイル㊦2 B	11
12	道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床タイル㊦2 C 1F No.8 倉庫 等 床・ビニール床タイル㊦2 C	12
13	道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床タイル㊦3 A 1F No.2 生産物直売施設 等 床・ビニール床タイル㊦3 A	13
14	道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床タイル㊦3 D 2F No.1 食材供給施設 等 床・ビニール床タイル㊦3 D	14

6. 分析結果

試料名称 偏光顕微鏡による定性分析結果 石綿の種類 / 推定石綿質量分率		石綿以外で 確認された繊維	別添 データ No.
道の駅おがち「小町の郷」 パルプセメント板		④ セルロース ・ パルプ繊維	7
Chr	不検出 ・ 検出 ・ ④ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%	無	
道の駅おがち「小町の郷」 ビニール巾木		有 ・ ④	8
Chr	不検出 ・ 検出 ・ ④ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%	無	
道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床タイル㊦2 b		④ ウォラストナイト ・	9
—	④ 不検出 ・ 検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%	無	
道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床シート㊦2		④ 合成繊維 ・ ガラス繊維	10
—	④ 不検出 ・ 検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%	無	
道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床タイル㊦2 B		④ ガラス繊維 ・	11
Chr	不検出 ・ 検出 ・ ④ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%	無	
道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床タイル㊦2 C		④ ウォラストナイト ・	12
—	④ 不検出 ・ 検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%	無	
道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床タイル㊦3 A		有 ・ ④	13
Chr	不検出 ・ 検出 ・ ④ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%	無	
道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床タイル㊦3 D		有 ・ ④	14
Chr	不検出 ・ 検出 ・ ④ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%	無	

5. 試料採取履歴

試料 No.	試料名称 / 採取場所・建材の種類等	別添 データ No.
15	道の駅おがち「小町の郷」 クッションフロア 1F No.16 休憩所 床・クッションフロア	15
16	道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床シート（フローリング調） 1F No.2 生産物直売施設 床・ビニール床シート（フローリング調）	16
17	道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床シート（マーブル調） 1F No.2 生産物直売施設 床・ビニール床シート（マーブル調）	17

6. 分析結果

試料名称		石綿以外で 確認された繊維	別添 データ No.
偏光顕微鏡による定性分析結果 石綿の種類 / 推定石綿質量分率			
道の駅おがち「小町の郷」 クッションフロア		(有) セルロース ・ ガラス繊維 無	15
—	(不検出) ・ 検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%		
道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床シート（フローリング調）		有 ・ (無)	16
Chr	不検出 ・ 検出 ・ (0.1-5%) ・ 5-50% ・ 50-100%		
道の駅おがち「小町の郷」 ビニール床シート（マーブル調）		(有) ガラス繊維 ・ 無	17
Chr	不検出 ・ 検出 ・ (0.1-5%) ・ 5-50% ・ 50-100%		
		有 ・ 無	
	不検出 ・ 検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%		
		有 ・ 無	
	不検出 ・ 検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%		
		有 ・ 無	
	不検出 ・ 検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%		
		有 ・ 無	
	不検出 ・ 検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%		
		有 ・ 無	
	不検出 ・ 検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%		

1. 実体顕微鏡の形式

実体顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	株式会社 ニコン
	形式	SMZ745
倍率		6.7-50

2. 偏光顕微鏡の形式

偏光顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	株式会社 ニコン
	形式	ECLIPSE LV100ND
コンデンサ		LV-CUD（ユニバーサルコンデンサ ドライ）
対物レンズ（倍率）		10
分散対物レンズ		CFI PF

＊ 電子顕微鏡の形式

電子顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	—
	形式	—
フィラメント		—
加速電圧		—
倍率		—
最大傾斜角		—
EDX検出器の製造業者・形式	製造業者	—
	形式	—

1．試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	3
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	成形板		
	試料の大きさ	約25 c m ²		
	採取方法	カッターでカットして採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2．試料調製の状況

試料調製の実施の有無	有 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3．実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	有 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 酸処理 （酸種類： 2mol/L 塩酸） 浮遊沈降 その他 （ ナイフで削る ）
層構造の有無	有 無
層の記載（色・状態）	層1(2 %) 白色:(化粧面) 層2(98 %) オフホワイト色:繊維質(母材) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度 (℃)	24.5
------------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類 (推定質量分率)
層 1	有 ・ ☒ 無	_____
層 2	有 ・ ☒ 無	_____
層 3	有 ・ 無	_____
層 4	有 ・ 無	_____
層 5	有 ・ 無	_____

4. 3 不検出確定手順の分析結果

	一次試料		二次試料			
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整		プレパラート数	繊維の有無
	石綿以外の繊維と確認した理由				石綿以外の繊維と確認した理由	
層 1	3	有 ・ ③無	③灰化 ③酸処理 その他	{ 酸種類: 2mol/L 塩酸 その他: }	6	有 ・ ③無
	—				—	
層 2	3	③有 ・ 無	③灰化 ③酸処理 その他	{ 酸種類: 2mol/L 塩酸 その他: }	6	③有 ・ 無
	形状、光学特性が違う				形状、光学特性が違う	
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率				
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維	セルロース・ロックウール				
コメント	—				

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、

ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、ウオラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： —



アスベスト種類：

1. 試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	4
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	成形板		
	試料の大きさ	約25 c m ²		
	採取方法	カッターでカットして採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2. 試料調製の状況

試料調製の実施の有無	①有 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3. 実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	①有 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 ①酸処理 (酸種類: 2mol/L 塩酸) 浮遊沈降 ②その他 (ナイフで削る)
層構造の有無	①有 無
層の記載 (色・状態)	層1(2 %) 白色:(化粧面) 層2(98 %) オフホワイト色:繊維質(母材) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度（℃）	24.5
-----------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類（推定質量分率）
層 1	有 ・ ☒ 無	_____
層 2	有 ・ ☒ 無	_____
層 3	有 ・ 無	_____
層 4	有 ・ 無	_____
層 5	有 ・ 無	_____

4. 3 不検出確定手順の分析結果

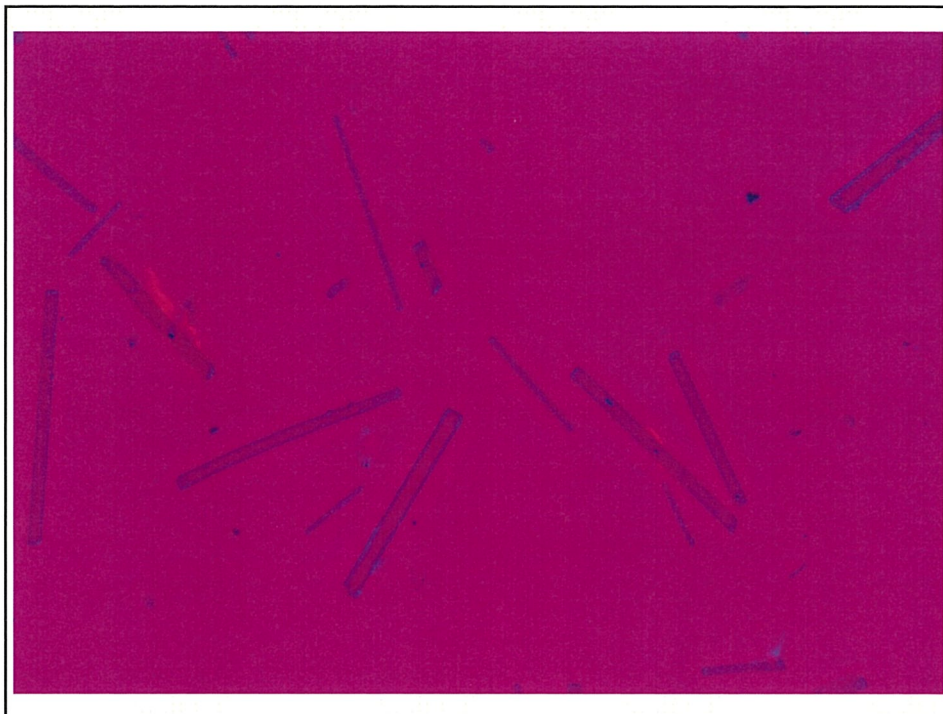
	一次試料		二次試料			
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整	プレパラート数	繊維の有無	
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由		
層 1	3	有 ・ ③無	③灰化 ③酸処理 その他	{ 酸種類: 2mol/L 塩酸 その他: }	6	有 ・ ③無
	—				—	
層 2	3	③有 ・ 無	③灰化 ③酸処理 その他	{ 酸種類: 2mol/L 塩酸 その他: }	6	③有 ・ 無
	形状、光学特性が違う				形状、光学特性が違う	
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率					
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
石綿以外で確認された繊維	セルロース・ロックウール					
コメント	—					

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： —



アスベスト種類：

1．試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	5
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	セメント状		
	試料の大きさ	約10g		
	採取方法	タガネで採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2．試料調製の状況

試料調製の実施の有無	有 ☒ 無 ☐
「有」の場合の調製方法	

3．実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	☒ 有 ☐ 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 ☒ 酸処理 (酸種類： 2mol/L 塩酸) 浮遊沈降 ☐ その他 (すりつぶす(軽粉砕))
層構造の有無	有 ☒ 無 ☐
層の記載（色・状態）	層1(100 %) 灰色・薄灰色 層2(%) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度 (℃)	24.5
------------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類 (推定質量分率)
層 1	有 ・ <u>無</u>	_____
層 2	有 ・ 無	_____
層 3	有 ・ 無	_____
層 4	有 ・ 無	_____
層 5	有 ・ 無	_____

4. 3 不検出確定手順の分析結果

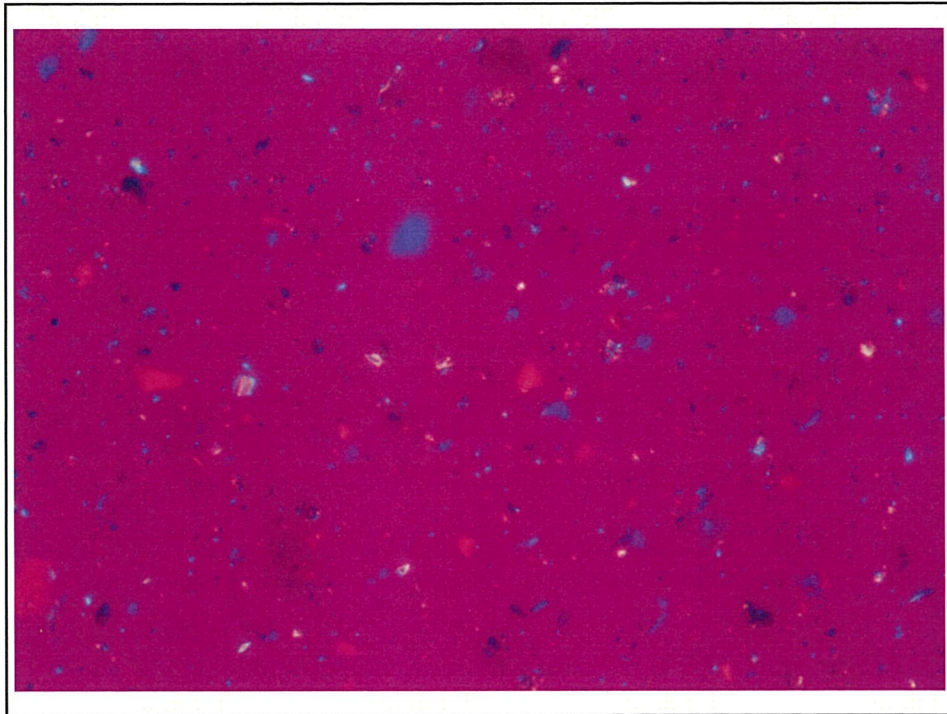
	一次試料		二次試料			
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整		プレパラート数	繊維の有無
	石綿以外の繊維と確認した理由				石綿以外の繊維と確認した理由	
層 1	3	有 ・ ④無	灰化 ④酸処理 その他	{ 酸種類: 2mol/L 塩酸 その他: }	6	有 ・ ④無
	—				—	
層 2		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

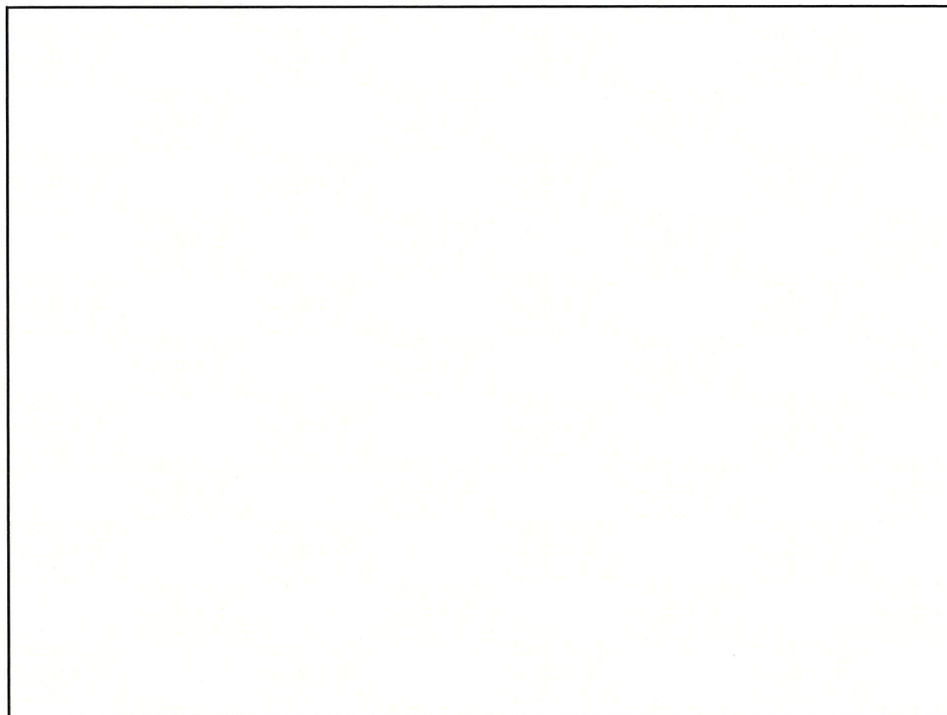
石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率					
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
石綿以外で確認された繊維						
コメント	—					

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルローズ(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： —



アスベスト種類：

1. 試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	6
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、 採取方法)	形状又は材質	セメント状		
	試料の大きさ	約5g		
	採取方法	タガネで採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2. 試料調製の状況

試料調製の実施の有無	有 ☐ 無 ☒
「有」の場合の調製方法	

3. 実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	☒ 有 ☐ 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 酸処理 (酸種類:) 浮遊沈降 ☒ その他 (すりつぶす(軽粉碎))
層構造の有無	有 ☐ 無 ☒
層の記載 (色・状態)	層1(100 %) 薄灰色 層2(%) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度（℃）	24.5
-----------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類（推定質量分率）					
層 1	⑨・無	Chr（0.1-5%）	Amo（—）	Cro（—）	Tre（—）	Act（—）	Ant（—）
層 2	有・無	_____					
層 3	有・無	_____					
層 4	有・無	_____					
層 5	有・無	_____					

4. 3 不検出確定手順の分析結果

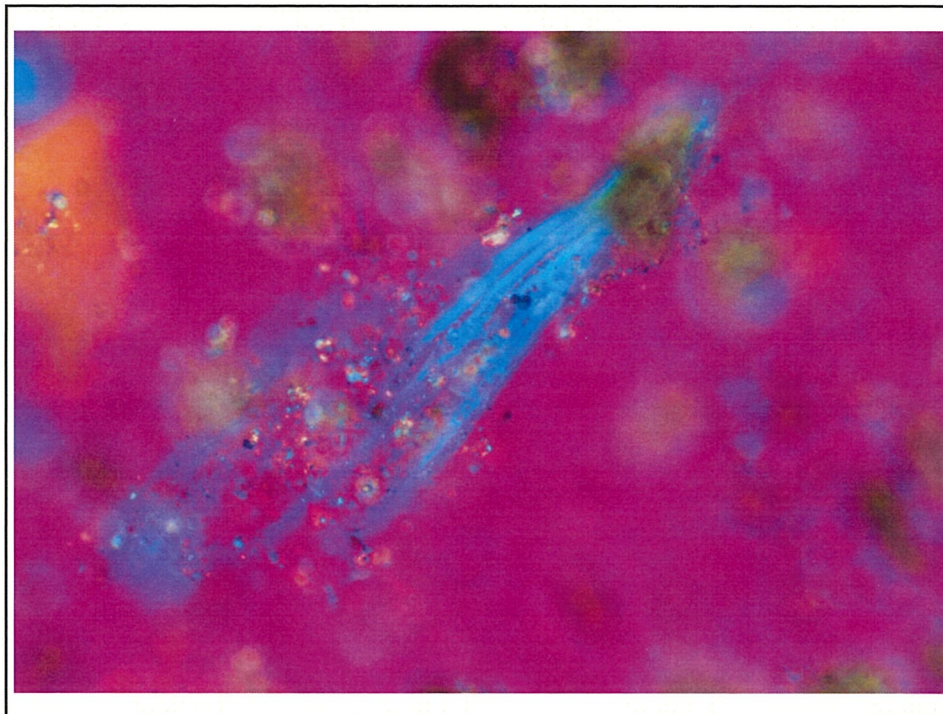
	一次試料		二次試料			
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整	プレパラート数	繊維の有無	
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由		
層 1		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 2		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

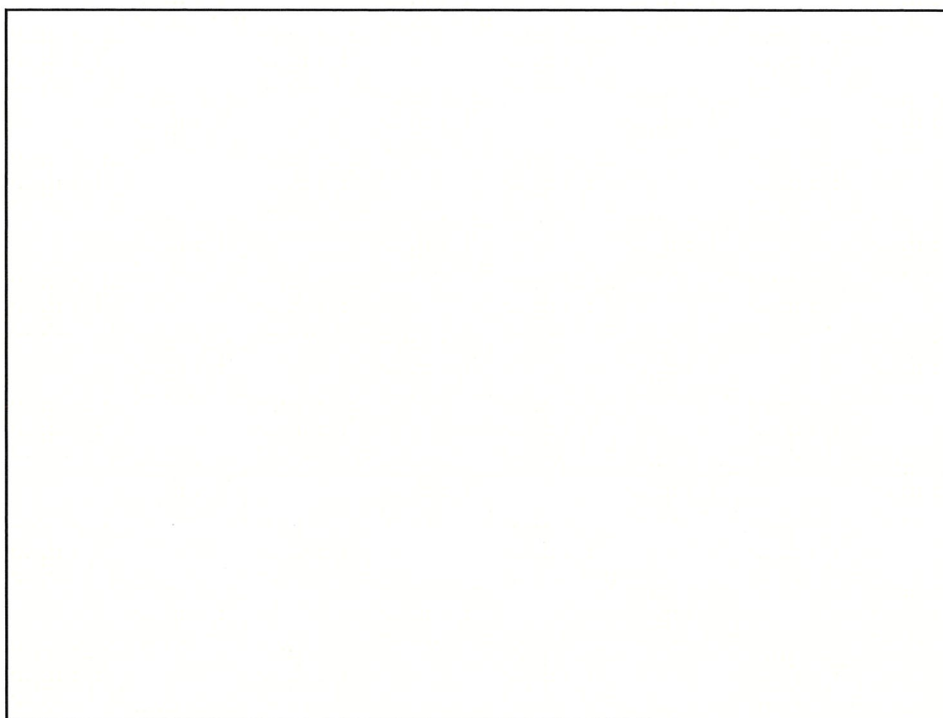
石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率				
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維					
コメント	Chr含有				

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： クリソタイル



アスベスト種類：

1. 試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 12 日		試料No.	7
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、 採取方法)	形状又は材質	成形板		
	試料の大きさ	約10 c m ²		
	採取方法	破断部を採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2. 試料調製の状況

試料調製の実施の有無	☒ 有 ☐ 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3. 実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	☒ 有 ☐ 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 ☒ 酸処理 (酸種類: 2mol/L 塩酸) 浮遊沈降 ☒ その他 (ナイフで削る)
層構造の有無	☒ 有 ☐ 無
層の記載 (色・状態)	層1(2 %) 白色:(化粧面) 層2(98 %) オフホワイト色:繊維質(母材) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度 (℃)	24.7
------------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類 (推定質量分率)
層 1	有 ・ (無)	_____
層 2	(有) ・ 無	Chr (0.1-5%) Amo (—) Cro (—) Tre (—) Act (—) Ant (—)
層 3	有 ・ 無	_____
層 4	有 ・ 無	_____
層 5	有 ・ 無	_____

4. 3 不検出確定手順の分析結果

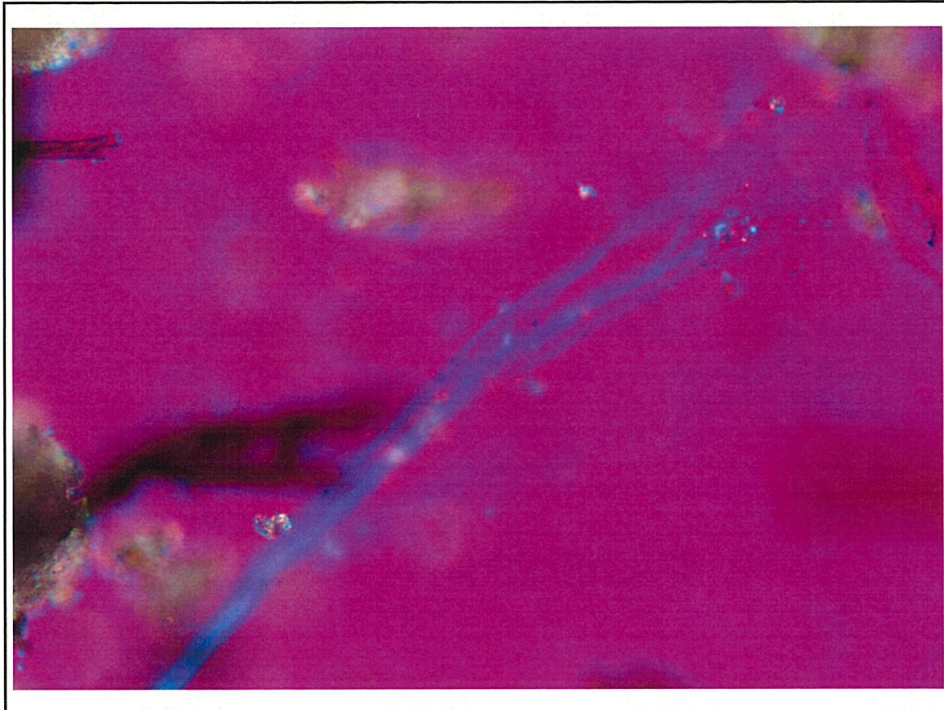
	一次試料		二次試料			
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整	プレパラート数	繊維の有無	
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由		
層 1	3	有 ・ ③無	③灰化 ③酸処理 その他	酸種類: 2mol/L 塩酸 その他:	6	有 ・ ③無
	—				—	
層 2		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:		有 ・ 無
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:		有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:		有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:		有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率				
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維	セルロース・パルプ繊維				
コメント	層2にChr含有				

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： クリソタイル



アスベスト種類：

1．試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	8
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	シート状		
	試料の大きさ	約25 c m ²		
	採取方法	カッターでカットして採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2．試料調製の状況

試料調製の実施の有無	①有 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3．実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	①有 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 ①酸処理 （酸種類： 2mol/L 塩酸） 浮遊沈降 ①その他 （ ナイフで削る）
層構造の有無	①有 無
層の記載（色・状態）	層1(97 %) アイボリー色:(巾木) 層2(3 %) 薄黄色・薄灰色:(接着剤) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度 (℃)	24.7
------------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類 (推定質量分率)					
層 1	有 ・ (無)	_____					
層 2	(有) ・ 無	Chr (0.1-5%)	Amo (—)	Cro (—)	Tre (—)	Act (—)	Ant (—)
層 3	有 ・ 無	_____					
層 4	有 ・ 無	_____					
層 5	有 ・ 無	_____					

4. 3 不検出確定手順の分析結果

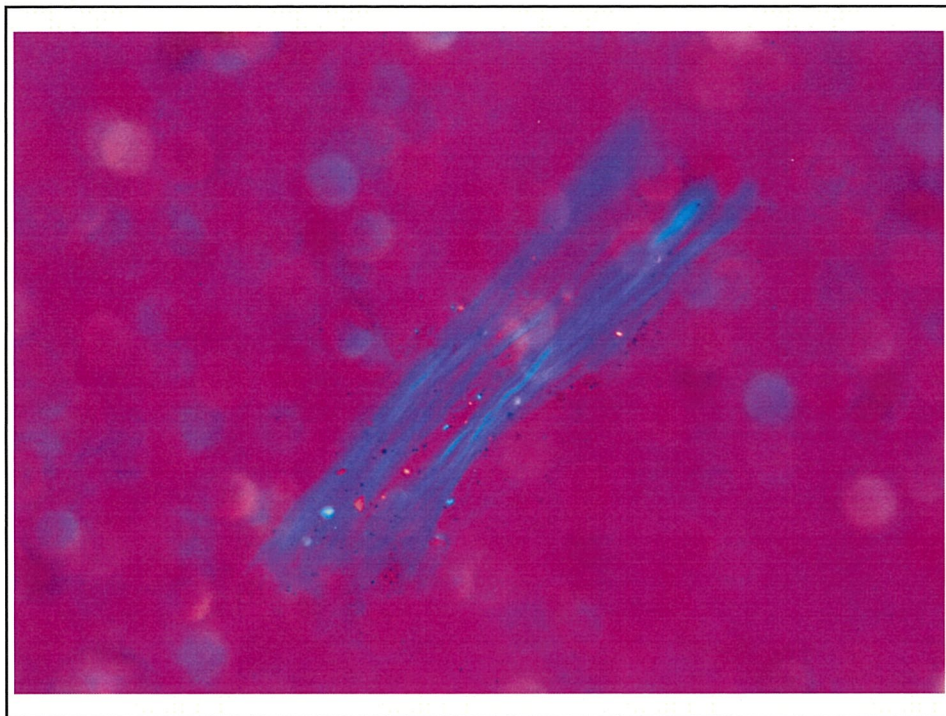
	一次試料		二次試料			
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整	プレパラート数	繊維の有無	
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由		
層 1	3	有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類： 2mol/L 塩酸 その他：	6	有 ・ 無
	—				—	
層 2		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類： その他：		有 ・ 無
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類： その他：		有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類： その他：		有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類： その他：		有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率				
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維					
コメント	層2にChr含有				

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： クリソタイル



アスベスト種類：

1. 試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	9
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	シート状		
	試料の大きさ	約10 c m ²		
	採取方法	カッターでカットして採取		
	施工日	平成 9 年 - 月 - 日		

2. 試料調製の状況

試料調製の実施の有無	①有 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3. 実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	①有 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 ①酸処理 (酸種類： 2mol/L 塩酸) 浮遊沈降 ①その他 (ナイフで削る)
層構造の有無	①有 無
層の記載（色・状態）	層1(98 %) アイボリー色：(Pタイル) 層2(2 %) 薄黄色：(接着剤) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度（℃）	24.7
-----------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類（推定質量分率）
層 1	有 ・ ☒ 無	_____
層 2	有 ・ ☒ 無	_____
層 3	有 ・ 無	_____
層 4	有 ・ 無	_____
層 5	有 ・ 無	_____

4. 3 不検出確定手順の分析結果

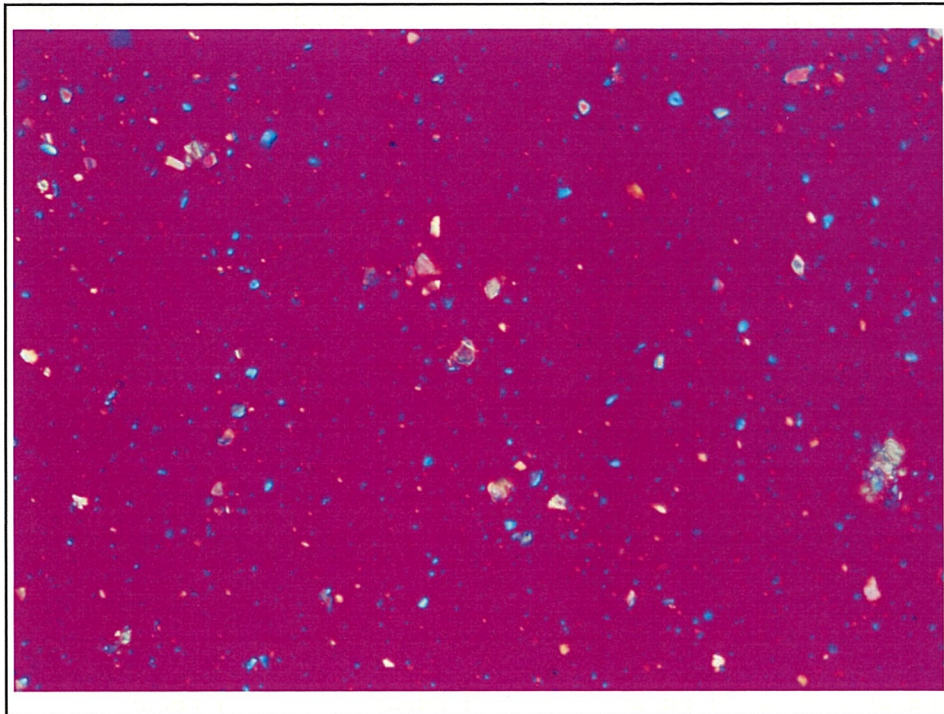
	一次試料		二次試料			
	プレパート数	繊維の有無	試料調整	プレパート数	繊維の有無	
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由		
層 1	3	有 ・ ③無	③灰化 ③酸処理 その他	{ 酸種類: 2mol/L 塩酸 その他: }	6	有 ・ ③無
	—				—	
層 2	3	有 ・ ③無	③灰化 ③酸処理 その他	{ 酸種類: 2mol/L 塩酸 その他: }	6	有 ・ ③無
	—				—	
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率				
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維	ウオラストナイト				
コメント	—				

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルローズ(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウオラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： —



アスベスト種類：

1. 試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	10
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	シート状		
	試料の大きさ	約10 c m ²		
	採取方法	カッターでカットして採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2. 試料調製の状況

試料調製の実施の有無	☒ 有 ☐ 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3. 実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	☒ 有 ☐ 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 ☒酸処理☐その他 (酸種類： 2mol/L 塩酸) (ナイフで削る)
層構造の有無	☒ 有 ☐ 無
層の記載（色・状態）	層1(99 %) 薄茶色:繊維質(ビニル床シート) 層2(1 %) 半透明:(接着剤) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度 (℃)	24.7
------------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類 (推定質量分率)
層 1	有 ・ (無)	_____
層 2	有 ・ (無)	_____
層 3	有 ・ 無	_____
層 4	有 ・ 無	_____
層 5	有 ・ 無	_____

4. 3 不検出確定手順の分析結果

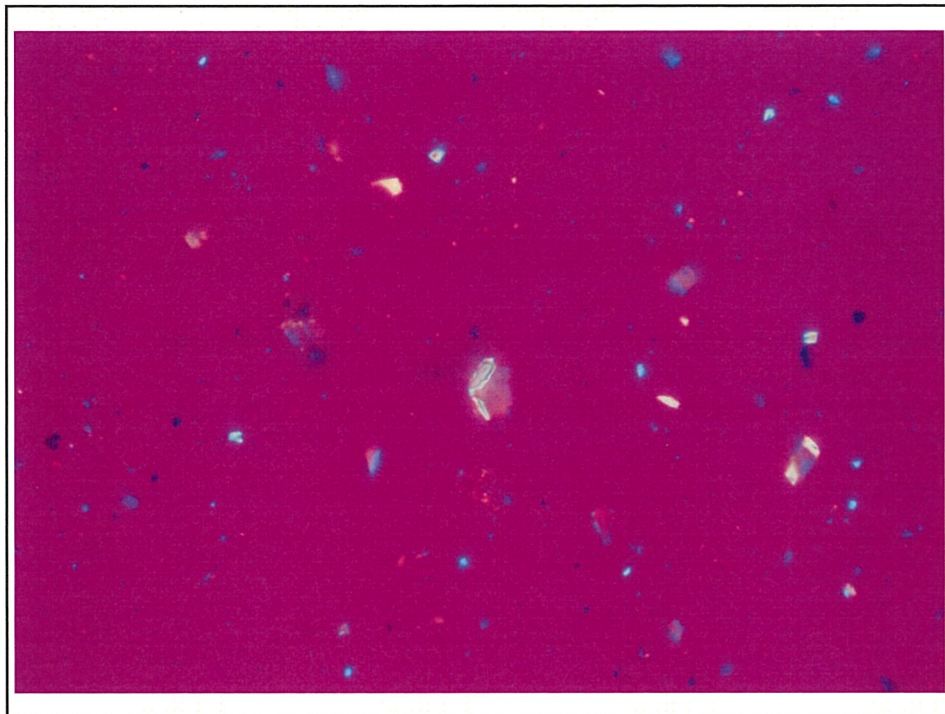
	一次試料		二次試料			
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整	プレパラート数	繊維の有無	
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由		
層 1	3	①有 ・ 無	①灰化 ②酸処理 その他	酸種類： 2mol/L 塩酸 その他：	6	①有 ・ 無
	形状、光学特性が違う					
層 2	3	有 ・ ②無	①灰化 ②酸処理 その他	酸種類： 2mol/L 塩酸 その他：	6	有 ・ ②無
	—					
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類： その他：		有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類： その他：		有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類： その他：		有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

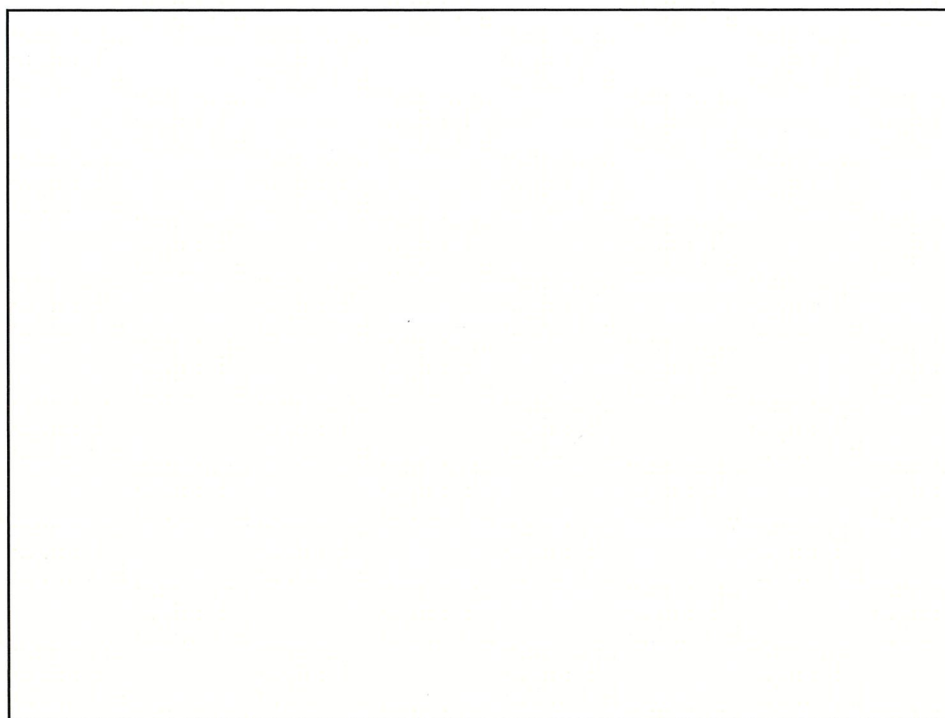
石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率				
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維	合成繊維・ガラス繊維				
コメント	—				

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： —



アスベスト種類：

1． 試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	11
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	シート状		
	試料の大きさ	約10 c m ²		
	採取方法	カッターでカットして採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2． 試料調製の状況

試料調製の実施の有無	有 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3． 実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	有 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 酸処理 （酸種類： 2mol/L 塩酸） 浮遊沈降 その他 （ ナイフで削る ）
層構造の有無	有 無
層の記載（色・状態）	層1(40 %) 薄桃色・アイボリー色: (Pタイル:表層) 層2(55 %) 黒灰色: (Pタイル:下層) 層3(5 %) 薄灰色: (接着剤) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度 (℃)	24.7
------------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類 (推定質量分率)
層 1	有 ・ ☒ 無	_____
層 2	有 ・ ☒ 無	_____
層 3	☒ 有 ・ 無	Chr (0.1-5%) Amo (—) Cro (—) Tre (—) Act (—) Ant (—)
層 4	有 ・ 無	_____
層 5	有 ・ 無	_____

4. 3 不検出確定手順の分析結果

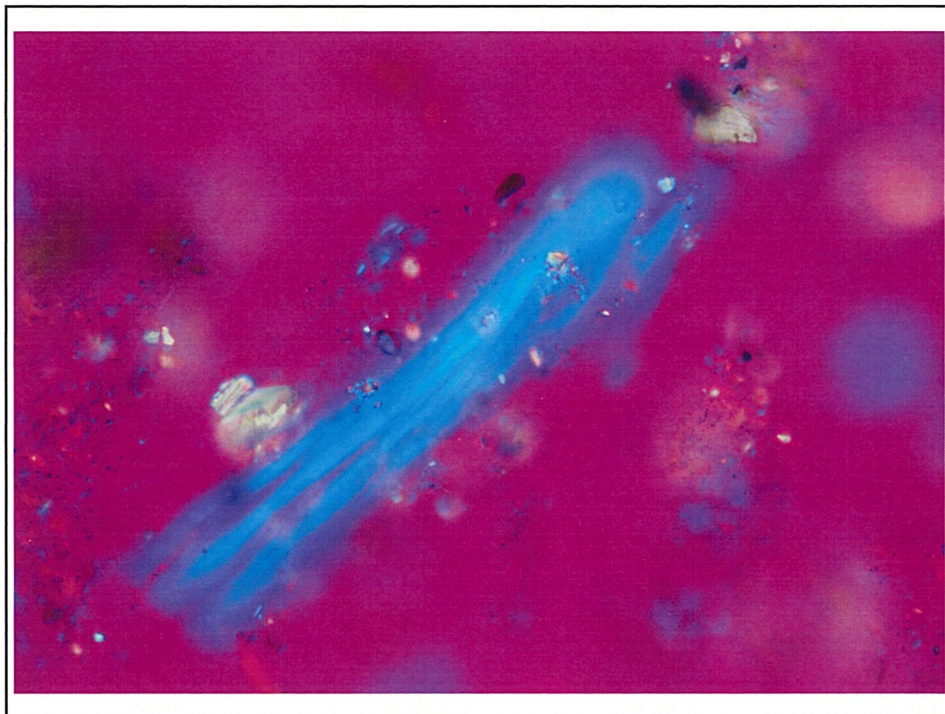
	一次試料		二次試料			
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整	プレパラート数	繊維の有無	
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由		
層 1	3	①有 ・ 無	①灰化 ②酸処理 その他	酸種類: 2mol/L 塩酸 その他:	6	①有 ・ 無
	形状、光学特性が違う				形状、光学特性が違う	
層 2	3	①有 ・ 無	①灰化 ②酸処理 その他	酸種類: 2mol/L 塩酸 その他:	6	①有 ・ 無
	形状、光学特性が違う				形状、光学特性が違う	
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:		有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:		有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:		有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

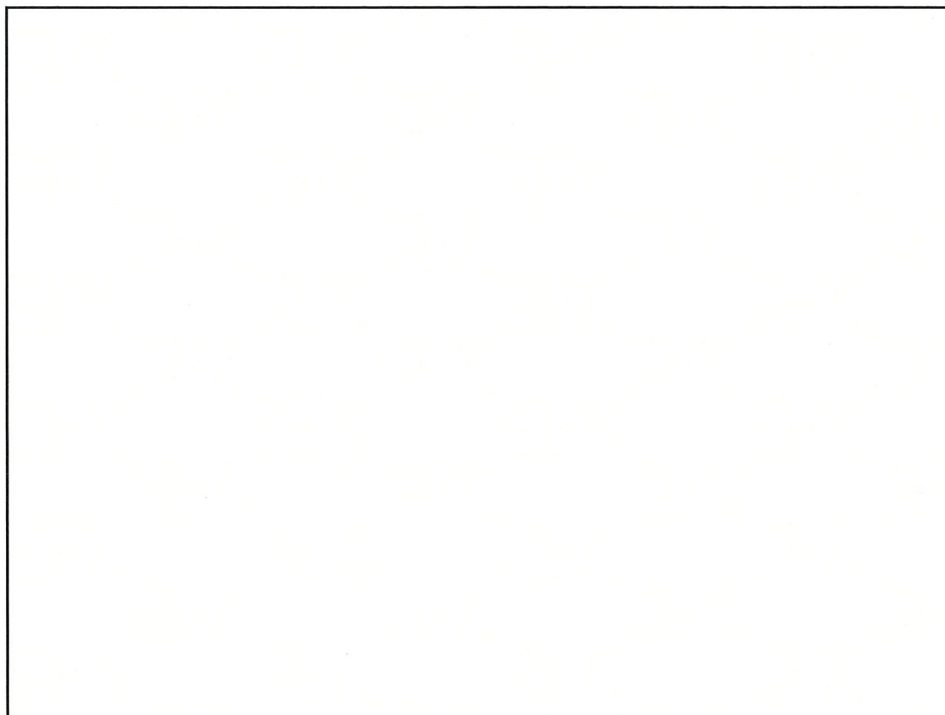
石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率				
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維	ガラス繊維				
コメント	層3にChr含有				

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルローズ(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： クリソタイル



アスベスト種類：

1. 試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	12
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、 採取方法)	形状又は材質	シート状		
	試料の大きさ	約10 c m ²		
	採取方法	カッターでカットして採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2. 試料調製の状況

試料調製の実施の有無	☒ 有 ☐ 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3. 実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	☒ 有 ☐ 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 ☒ 酸処理 (酸種類: 2mol/L 塩酸) 浮遊沈降 ☒ その他 (ナイフで削る)
層構造の有無	☒ 有 ☐ 無
層の記載 (色・状態)	層1(98 %) アイボリー色:(Pタイル) 層2(2 %) 薄黄色:(接着剤) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度 (℃)	24.7
------------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類 (推定質量分率)
層 1	有 ・ ③無	_____
層 2	有 ・ ③無	_____
層 3	有 ・ 無	_____
層 4	有 ・ 無	_____
層 5	有 ・ 無	_____

4. 3 不検出確定手順の分析結果

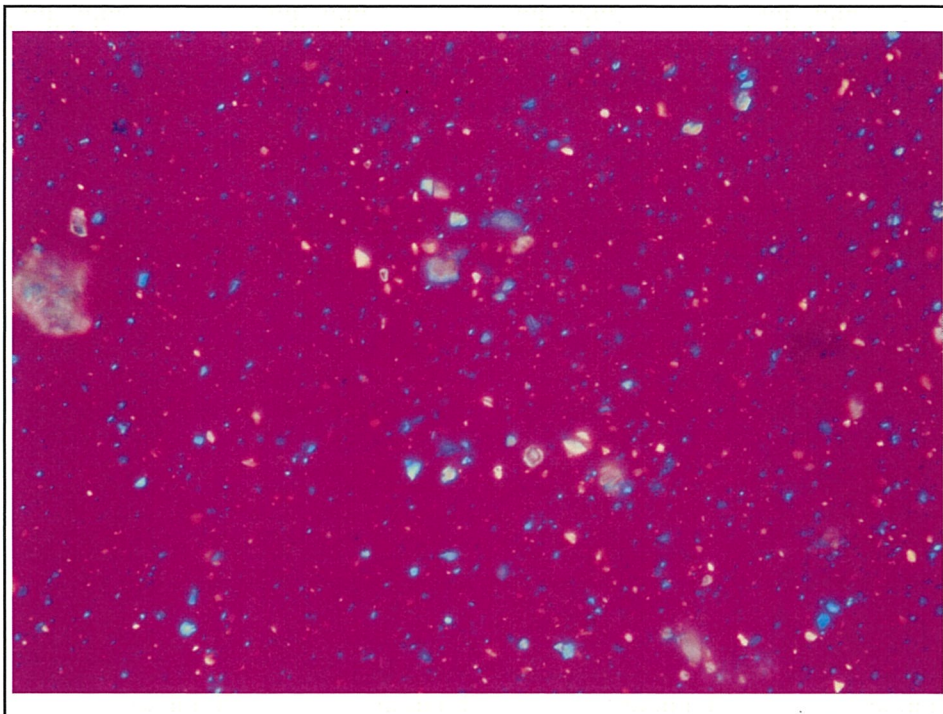
	一次試料		二次試料			
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整	プレパラート数	繊維の有無	
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由		
層 1	3	①有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: 2mol/L 塩酸 その他:	6	①有 ・ 無
	形状、光学特性が違う				形状、光学特性が違う	
層 2	3	有 ・ ②無	灰化 酸処理 その他	酸種類: 2mol/L 塩酸 その他:	6	有 ・ ②無
	—				—	
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:		有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:		有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:		有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率				
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維	ウォラストナイト				
コメント	—				

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： —



アスベスト種類：

1. 試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	13
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	シート状		
	試料の大きさ	約10 c m ²		
	採取方法	カッターでカットして採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2. 試料調製の状況

試料調製の実施の有無	☒ 有 ☐ 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3. 実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	☒ 有 ☐ 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 ☒ 酸処理 (酸種類: 2mol/L 塩酸) 浮遊沈降 ☒ その他 (ナイフで削る)
層構造の有無	☒ 有 ☐ 無
層の記載 (色・状態)	層1(98 %) 薄桃色・黒灰色:(Pタイル) 層2(2 %) 薄灰色:(接着剤) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度 (℃)	24.7
------------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類 (推定質量分率)
層 1	有 ・ <u>無</u>	_____
層 2	<u>有</u> ・ 無	Chr (0.1-5%) Amo (—) Cro (—) Tre (—) Act (—) Ant (—)
層 3	有 ・ 無	_____
層 4	有 ・ 無	_____
層 5	有 ・ 無	_____

4. 3 不検出確定手順の分析結果

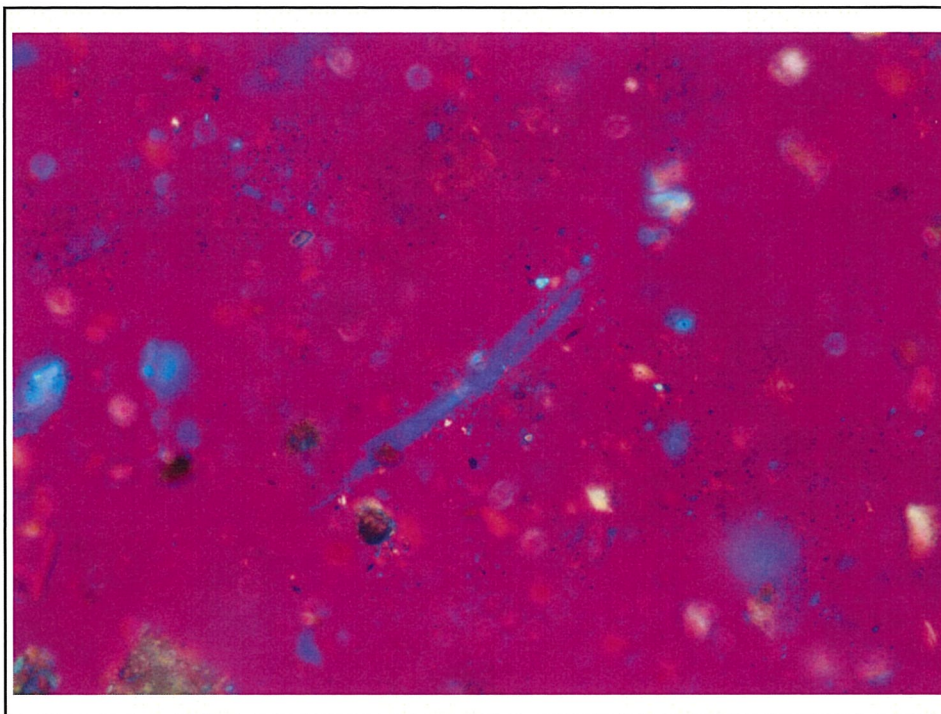
	一次試料		二次試料	
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整	プレパラート数 繊維の有無
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由
層 1	3	有 ・ <u>無</u>	<u>灰化</u> 酸種類: 2mol/L 塩酸 <u>酸処理</u> その他:	6 有 ・ <u>無</u>
層 2		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	有 ・ 無
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率				
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維					
コメント	層2にChr含有				

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルローズ(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： クリソタイル



アスベスト種類：

1．試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	14
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	シート状		
	試料の大きさ	約10 c m ²		
	採取方法	カッターでカットして採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2．試料調製の状況

試料調製の実施の有無	有 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3．実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	有 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 酸処理 その他 (酸種類： 2mol/L 塩酸) (ナイフで削る)
層構造の有無	有 無
層の記載（色・状態）	層1(95 %) アイボリー色・黒灰色：(Pタイル) 層2(5 %) 薄灰色：(接着剤) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度 (℃)	24.5
------------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類（推定質量分率）				
層 1	有 ・ ③無	_____				
層 2	③有 ・ 無	Chr（ 0.1-5% ）	Amo（ — ）	Cro（ — ）		
		Tre（ — ）	Act（ — ）	Ant（ — ）		
層 3	有 ・ 無	_____				
層 4	有 ・ 無	_____				
層 5	有 ・ 無	_____				

4. 3 不検出確定手順の分析結果

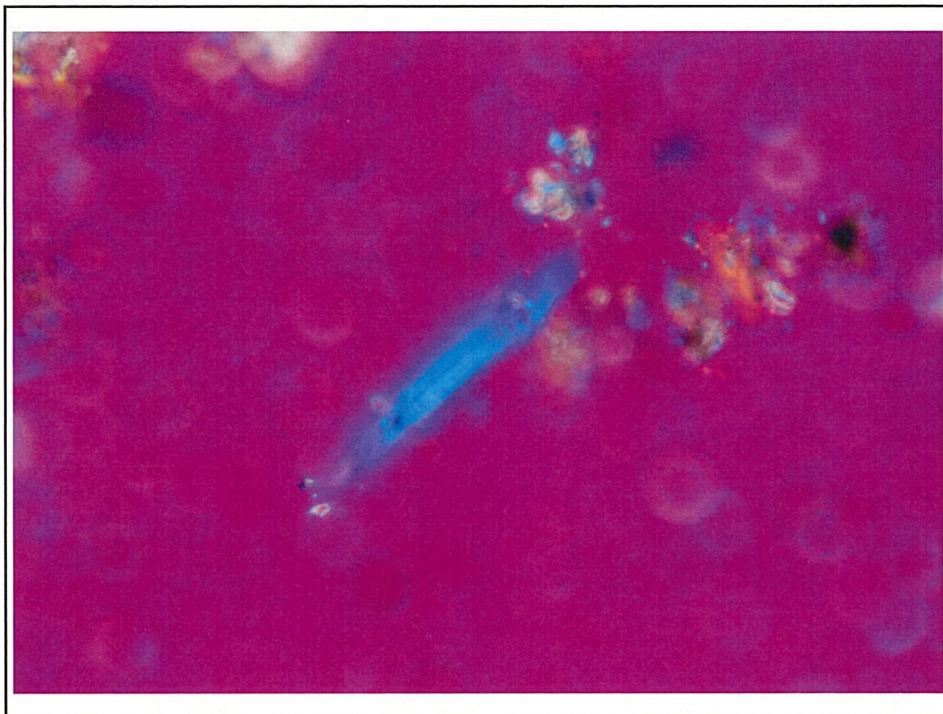
	一次試料		二次試料			
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整	プレパラート数	繊維の有無	
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由		
層 1	3	有 ・ ③無	③灰化 ③酸処理 その他	6	有 ・ ③無	
	—					—
層 2		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他		有 ・ 無	
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他		有 ・ 無	
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他		有 ・ 無	
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他		有 ・ 無	

4. 4 試料全体の分析結果

石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率				
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維					
コメント	層2にChr含有				

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルローズ(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： クリソタイル



アスベスト種類：

1．試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	15
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	シート状		
	試料の大きさ	約10 c m ²		
	採取方法	カッターでカットして採取		
	施工日	－ 年 － 月 － 日		

2．試料調製の状況

試料調製の実施の有無	有 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3．実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	有 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 酸処理 その他 (酸種類： 2mol/L 塩酸) (ナイフで削る) 浮遊沈降
層構造の有無	有 無
層の記載（色・状態）	層1(95 %) 層2(5 %) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%) 茶色・白色:繊維質(クッションフロア) 薄茶色・白色:(接着剤)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度（℃）	24.5
-----------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類（推定質量分率）
層 1	有 ・ ☒ 無	_____
層 2	有 ・ ☒ 無	_____
層 3	有 ・ 無	_____
層 4	有 ・ 無	_____
層 5	有 ・ 無	_____

4. 3 不検出確定手順の分析結果

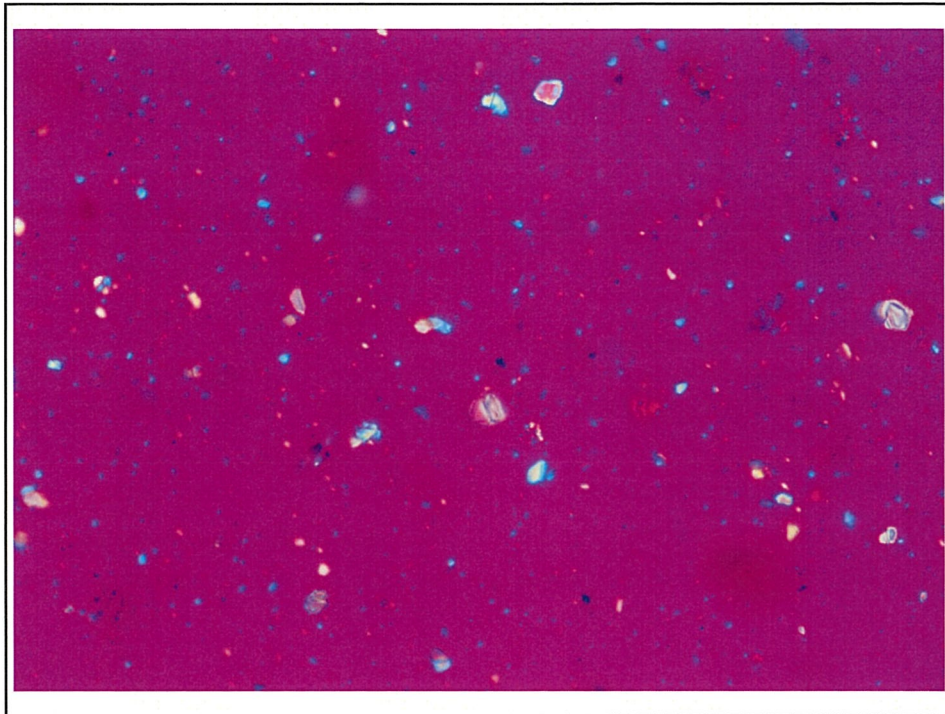
	一次試料		二次試料	
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整	プレパラート数 繊維の有無
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由
層 1	3	☒ 有 ・ 無	☒ 灰化 ☒ 酸処理 その他 酸種類: 2mol/L 塩酸 その他:	6 ☒ 有 ・ 無
	形状、光学特性が違う			形状、光学特性が違う
層 2	3	有 ・ ☒ 無	☒ 灰化 ☒ 酸処理 その他 酸種類: 2mol/L 塩酸 その他:	6 有 ・ ☒ 無
	—			—
層 3		有 ・ 無	☐ 灰化 ☐ 酸処理 その他 酸種類: その他:	☐ 有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	☐ 灰化 ☐ 酸処理 その他 酸種類: その他:	☐ 有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	☐ 灰化 ☐ 酸処理 その他 酸種類: その他:	☐ 有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

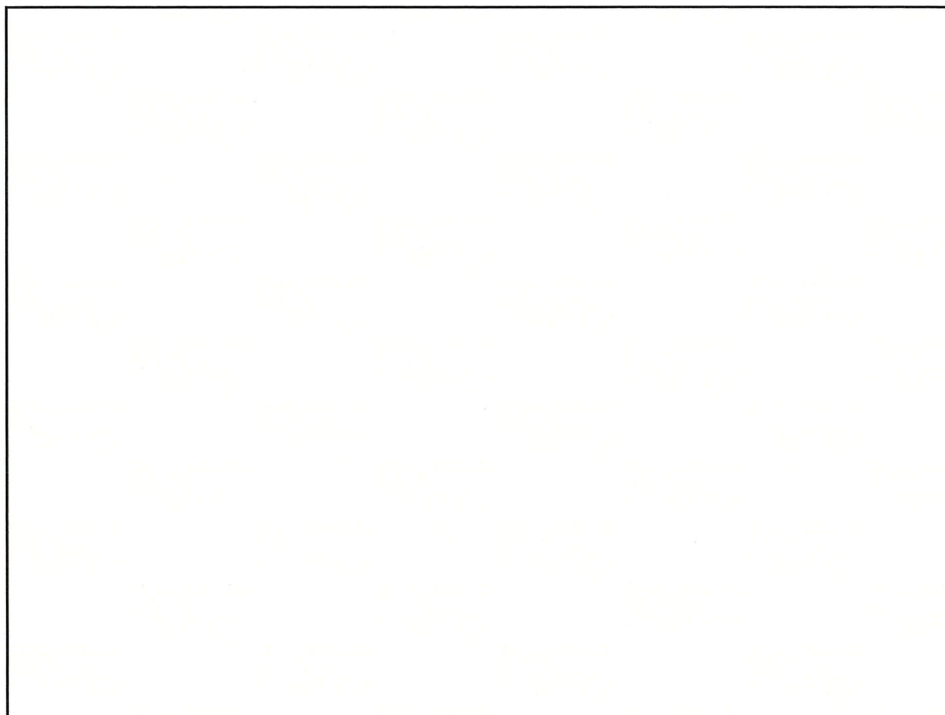
石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率					
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%	
石綿以外で確認された繊維	セルロース・ガラス繊維					
コメント	—					

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： —



アスベスト種類：

1．試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	16
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	シート状		
	試料の大きさ	約10 c m ²		
	採取方法	カッターでカットして採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2．試料調製の状況

試料調製の実施の有無	有 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3．実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	有 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 酸処理 （酸種類： 2mol/L 塩酸） 浮遊沈降 その他 （ ナイフで削る）
層構造の有無	有 無
層の記載（色・状態）	層1(95 %) 茶色・黒灰色:(ビニル床シート) 層2(5 %) 薄灰色:(接着剤) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度 (℃)	24.5
------------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類 (推定質量分率)
層 1	有 ・ (無)	_____
層 2	(有) ・ 無	Chr (0.1-5%) Amo (—) Cro (—) Tre (—) Act (—) Ant (—)
層 3	有 ・ 無	_____
層 4	有 ・ 無	_____
層 5	有 ・ 無	_____

4. 3 不検出確定手順の分析結果

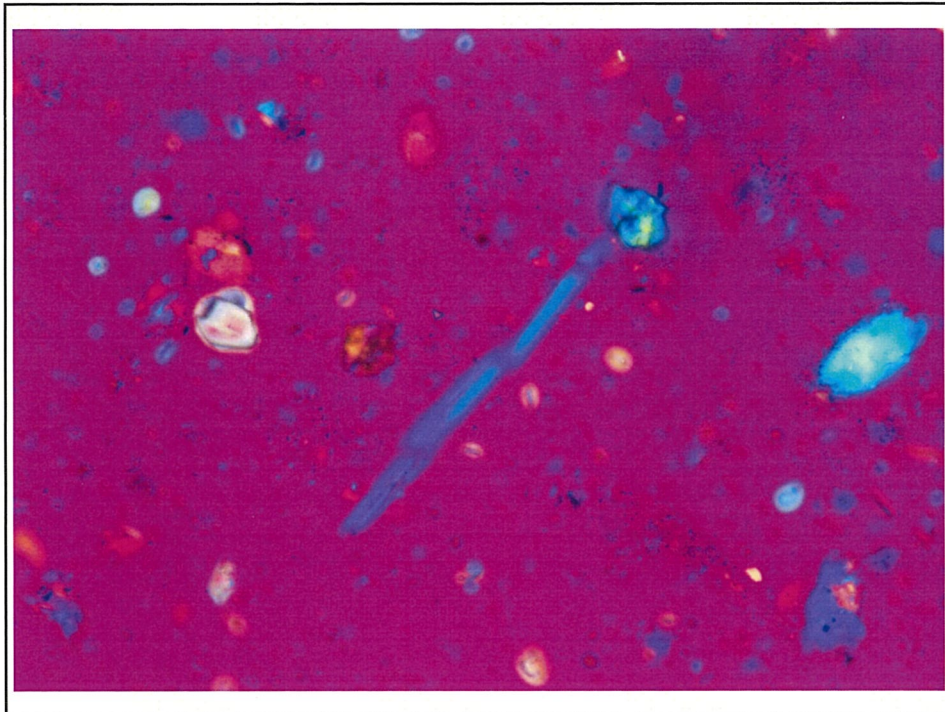
	一次試料		二次試料			
	プレパート数	繊維の有無	試料調整	プレパート数	繊維の有無	
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由		
層 1	3	有 ・ ③	③ 灰化 ③ 酸処理 その他	{ 酸種類: 2mol/L 塩酸 その他: }	6	有 ・ ③
	—				—	
層 2		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	{ 酸種類: その他: }		有 ・ 無

4. 4 試料全体の分析結果

石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率				
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維					
コメント	層2にChr含有				

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、
 ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、
 ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： クリソタイル



アスベスト種類：

1．試料採取履歴（詳細）

採取年月日	令和 6 年 11 月 14 日		試料No.	17
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	シート状		
	試料の大きさ	約10 c m ²		
	採取方法	カッターでカットして採取		
	施工日	平成 9 年 ー 月 ー 日		

2．試料調製の状況

試料調製の実施の有無	有 無
「有」の場合の調製方法	灰化

3．実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	有 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 酸処理 その他 (酸種類： 2mol/L 塩酸) (ナイフで削る) 浮遊沈降
層構造の有無	有 無
層の記載（色・状態）	層1(95 %) 薄茶色・黒灰色:(ビニル床シート) 層2(5 %) 薄灰色:(接着剤) 層3(%) 層4(%) 層5(%) 層6(%) 層7(%) 層8(%)

4. 分析条件

4. 1 分析室の温度

分析室の温度 (℃)	24.5
------------	------

4. 2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出されたアスベストの種類 (推定質量分率)
層 1	有 ・ ②無	_____
層 2	②有 ・ 無	Chr (0.1-5%) Amo (—) Cro (—) Tre (—) Act (—) Ant (—)
層 3	有 ・ 無	_____
層 4	有 ・ 無	_____
層 5	有 ・ 無	_____

4. 3 不検出確定手順の分析結果

	一次試料		二次試料		
	プレパラート数	繊維の有無	試料調整	プレパラート数	繊維の有無
	石綿以外の繊維と確認した理由			石綿以外の繊維と確認した理由	
層 1	3	②有 ・ 無	②灰化 ②酸処理 その他	酸種類: 2mol/L 塩酸 その他:	6 ②有 ・ 無 形状、光学特性が違う
	形状、光学特性が違う				
層 2		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:	有 ・ 無
層 3		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:	有 ・ 無
層 4		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:	有 ・ 無
層 5		有 ・ 無	灰化 酸処理 その他	酸種類: その他:	有 ・ 無

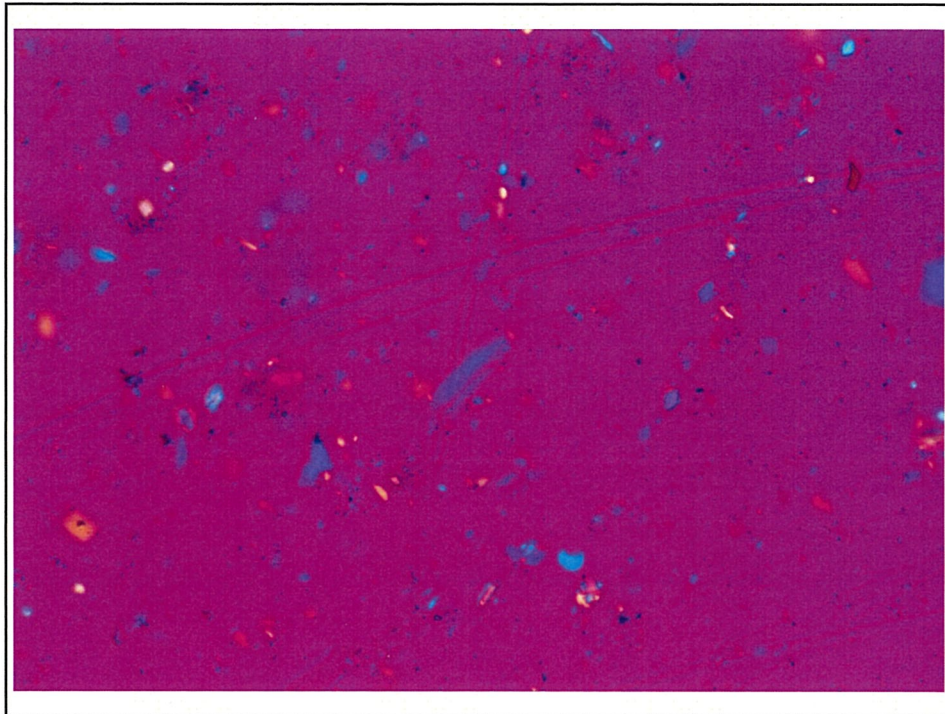
4. 4 試料全体の分析結果

石綿の種類	石綿の有無と推定質量分率				
クリソタイル	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	不検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維	ガラス繊維				
コメント	層2にChr含有				

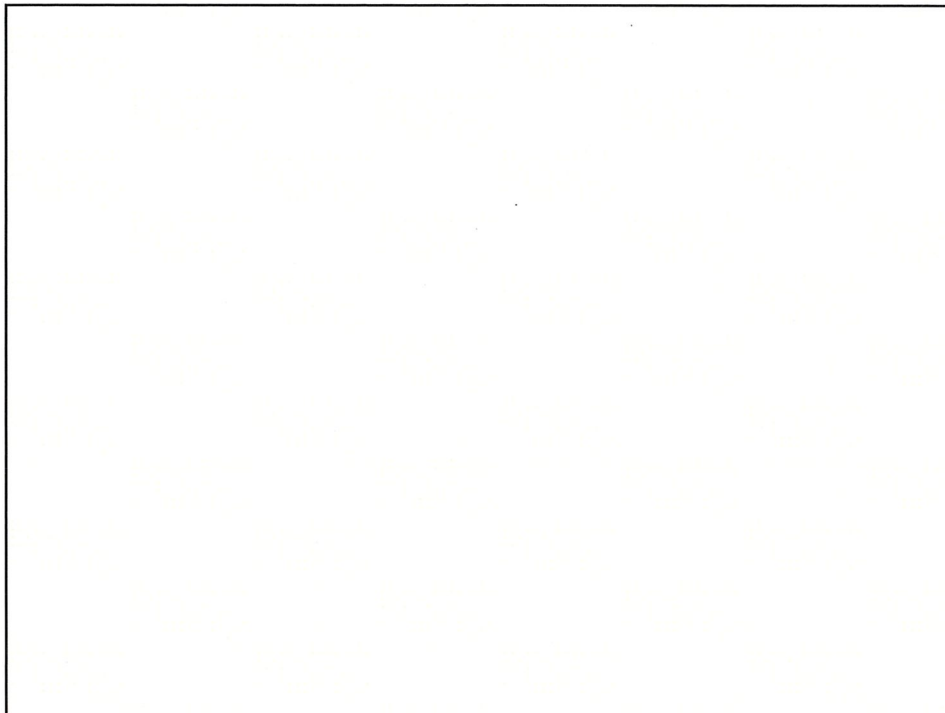
※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、

ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、ウオラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

試料中のアスベスト繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ+鋭敏色検板）



アスベスト種類： クリソタイル



アスベスト種類：

V. 石綿疑義建材一覽表

事前調査結果報告書向け「石綿疑義建材」リスト

分類	建材名	分類	建材名	分類	建材名
1	吹付材	7	スレート波板	13	ビニル床タイル
2	保温材	8	スレートボード	14	窯業系サイディング
3	煙突断熱材	9	屋根用化粧スレート	15	石膏ボード
4	屋根用折版断熱材	10	けい酸カルシウム板第1種	16	ロックウール吸音天井板
5	耐火被覆材	11	押出成形セメント板	17	その他の材料
6	仕上塗材	12	パルプセメント板		

分類	建材名	建物名	建材分析		見なし判定	無石綿証明
			石綿有	石綿無	石綿有	石綿無
	100角タイル	道の駅おがち「小町の郷」				○
	FG. PB㊦5	道の駅おがち「小町の郷」				○
	PB	道の駅おがち「小町の郷」				○
	PB（不燃）㊦12.5	道の駅おがち「小町の郷」				○
	PB㊦12.5	道の駅おがち「小町の郷」				○
	PB㊦9.5	道の駅おがち「小町の郷」				○
	PEシート	道の駅おがち「小町の郷」				○
	アスファルトフェルト	道の駅おがち「小町の郷」			○	
	ウレタン吹付	道の駅おがち「小町の郷」				○
	カーペット	道の駅おがち「小町の郷」				○
	カラスステンレスシート防水㊦0.4	道の駅おがち「小町の郷」				○
	カラー鉄板	道の駅おがち「小町の郷」				○
	カラー鉄板㊦0.4	道の駅おがち「小町の郷」				○
	カラー舗装㊦3	道の駅おがち「小町の郷」				○
	ガラスクロス吸音板㊦50	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クッションフロア	道の駅おがち「小町の郷」		○		
	グラスウールマット	道の駅おがち「小町の郷」				○
	グラスウール保温材	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス A	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス B	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス C	道の駅おがち「小町の郷」				○

分類	建材名	建物名	建材分析		見なし判定	無石綿証明
			石綿有	石綿無	石綿有	石綿無
	クロス D	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス E	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス F	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス H	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス I	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス J	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス K	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス L1	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス L2	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス（授乳室）	道の駅おがち「小町の郷」				○
	クロス（職員入口改修）	道の駅おがち「小町の郷」				○
	ケイ酸カルシウム板	道の駅おがち「小町の郷」			○	
	コンクリート	道の駅おがち「小町の郷」				○
	コンクリート金ゴテ	道の駅おがち「小町の郷」				○
	コンクリート金ゴテ B	道の駅おがち「小町の郷」				○
	タイル 100角	道の駅おがち「小町の郷」				○
	タイル 150角	道の駅おがち「小町の郷」				○
	タイルカーペット㊦ 6.5	道の駅おがち「小町の郷」				○
	テラゾータイル	道の駅おがち「小町の郷」				○
	ノンスリップタイル	道の駅おがち「小町の郷」				○
	バスリブ W=100	道の駅おがち「小町の郷」				○
	パルプセメント板㊦ 6.3	道の駅おがち「小町の郷」	○			
	ビニール巾木	道の駅おがち「小町の郷」	○			
	ビニール床シート（フローリング調）	道の駅おがち「小町の郷」	○			
	ビニール床シート（マーブル調）	道の駅おがち「小町の郷」	○			
	ビニール床シート（休憩室改修）	道の駅おがち「小町の郷」			○	

分類	建材名	建物名	建材分析		見なし判定	無石綿証明
			石綿有	石綿無	石綿有	石綿無
	ビニール床シート㊦2	道の駅おがち「小町の郷」		○		
	ビニール床タイル（更衣室改修）	道の駅おがち「小町の郷」			○	
	ビニール床タイル㊦2 B	道の駅おがち「小町の郷」	○	○		
	ビニール床タイル㊦2 C	道の駅おがち「小町の郷」		○		
	ビニール床タイル㊦3 A	道の駅おがち「小町の郷」	○			
	ビニール床タイル㊦3 D	道の駅おがち「小町の郷」	○			
	モルタル	道の駅おがち「小町の郷」		○		
	リブラス	道の駅おがち「小町の郷」	○			
	ルーフィング	道の駅おがち「小町の郷」			○	
	ロックウール吸音板	道の駅おがち「小町の郷」		○		
	押出成形セメント板	道の駅おがち「小町の郷」			○	
	下地調整材	道の駅おがち「小町の郷」	○			
	化粧PB㊦9.5	道の駅おがち「小町の郷」				○
	型枠用合板㊦12	道の駅おがち「小町の郷」				○
	合板	道の駅おがち「小町の郷」				○
	雑巾摺	道の駅おがち「小町の郷」				○
	磁器300角タイル	道の駅おがち「小町の郷」				○
	磁器タイル100角	道の駅おがち「小町の郷」				○
	磁器タイル100角 A	道の駅おがち「小町の郷」				○
	磁器タイル150角	道の駅おがち「小町の郷」				○
	磁器タイル150角H=150	道の駅おがち「小町の郷」				○
	磁器タイル300角	道の駅おがち「小町の郷」				○
	磁器タイル50角	道の駅おがち「小町の郷」				○
	磁器ユニットタイル100角	道の駅おがち「小町の郷」				○
	集成材（ボーダー）	道の駅おがち「小町の郷」				○
	集成材H=100	道の駅おがち「小町の郷」				○

分類	建材名	建物名	建材分析		見なし判定	無石綿証明
			石綿有	石綿無	石綿有	石綿無
	小口タイル	道の駅おがち「小町の郷」				○
	耐火２層管	道の駅おがち「小町の郷」				○
	耐火野地板（高圧木毛セメント板）	道の駅おがち「小町の郷」				○
	耐水PB㊦9.5	道の駅おがち「小町の郷」				○
	塗床（ノンスリップ）	道の駅おがち「小町の郷」				○
	塗膜防水	道の駅おがち「小町の郷」			○	
	湯沸器（2014年製、ノーリツ製）	道の駅おがち「小町の郷」				○
	湯沸器（2021年製、ノーリツ製）	道の駅おがち「小町の郷」				○
	湯沸器（97年製、パロマ）	道の駅おがち「小町の郷」			○	
	複層塗材E	道の駅おがち「小町の郷」		○		
	防湿ロックウール吸音板	道の駅おがち「小町の郷」		○		
	防塵塗料	道の駅おがち「小町の郷」				○
	木毛セメント板㊦25	道の駅おがち「小町の郷」				○
	木枠床下地	道の駅おがち「小町の郷」				○
	流し台（ステンレス製）	道の駅おがち「小町の郷」				○